

KEIO UNIVERSITY

GUIDEBOOK 2027



学問のすゝめ



明治期を代表するベストセラーの一つ『学問のすゝめ』。
慶應義塾の創立者である福澤諭吉が著した本です。

一人の人間が二つの人生を経験するような、
と形容された激動の時代の中で、
この本は学問の大切さを謳いました。
一人ひとりが自立すれば国も確立していく、
自立した人を育むものが学問だという考え方は、
人々を驚かせ、また大いに奮い立たせました。

学問とは、知識を得るだけの受身の学びではありません。
世の中で起こっている問題にまっすぐに向き合い、
答えを見つけ出そうとする、勇気や使命感に満ちたものです。
自らを信じ、ぶつかることをおそれずに
人と交流することで、学問はより深まり、
社会を変える原動力になっていきます。



三田キャンパス 図書館旧館(重要文化財)ステンドグラス
ラテン語で「ペンは剣よりも強し」と記されています(p.93参照)。

CONTENTS

学問のすゝめ

あなたの可能性を、学問の力で広げる慶應義塾…	2
慶應義塾の歴史…	4
数字で知る慶應義塾…	5

学部紹介…	6
学部インデックス…	6
文学部…	8
経済学部…	16
法学部…	24
商学部…	32
医学部…	40
理工学部…	48
総合政策学部・環境情報学部…	60
看護医療学部…	72
薬学部…	80
学部を超えた学び…	88

キャンパス紹介…	90
三田キャンパス…	92
日吉キャンパス…	94
矢上キャンパス…	96
信濃町キャンパス…	98
湘南藤沢キャンパス…	100
芝共立キャンパス…	102
メディアセンター(図書館)…	104
ミュージアム…	105

学生生活…	106
クラブ・サークル…	108
留学・海外研修…	110
学生寮…	114
学生相談室・保健管理センター…	115
学費・奨学金…	116

就職・進路…	120
就職・進路…	122
大学院…	128

入学試験案内…	132
入学試験制度・募集人員…	134
一般選抜…	135
一般選抜 試験日程…	135
一般選抜 試験教科・科目・配点…	136
一般選抜 データ…	138
一般選抜に関するQ&A…	142
総合型選抜…	144
その他の選抜方法…	154
学校推薦型選抜…	155

学園祭・ウェブオープンキャンパス・イベント…	156
アクセス…	157

※本ガイドブックに登場する人物の所属、学年、職位などは、特に注記がない限り、取材時のものです。

[表紙について]

三田キャンパスの東門から登校する際に見上げる、図書館旧館の八角塔を描きました。慶應義塾の持つ歴史や威厳に加えて、大学生活の始まりや、その先の未来への希望を感じられる作品を目指しました。空を背景にひときわ目を引く八角塔を主題とし、東門のアーチや植栽を取り入れることで、荘厳さを保ちながらも、色彩豊かで前向きな印象を表現しました。

環境情報学部3年 R.M.

このような学問への志に等しく応えたいという思いを、慶應義塾は創立以来ずっと大切にしてきました。時代は今また、大きな変化のときを迎えています。まわりに流されず、自分自身で考えて歩いていくために、私たちは、学問をすゝめます。

あなたの可能性を、学問の力で広げる慶應義塾

大学での学びには、これからの人生を変える力があります。
慶應義塾が大切にしてきたのは、自分の頭で考え実践するための学び、
そして、様々な人と協力し社会をより良くするための学びです。
この先の道を切りひらく、学びの幅と深まり、つながりとチャレンジ。
慶應義塾は、あなたの可能性を、学問の力で広げていきます。

深める



各自の学びを支える 充実した教育・研究基盤

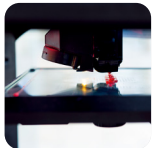
慶應義塾は、学ぶ意欲に多方面から応えます。100種類を超える学内奨学金は、すべて返済不要の給付型。メディアセンター（図書館）の蔵書数は500万冊以上と日本有数の規模を誇り、オンラインで利用できるデータベースも豊富に取り揃えています。また、国からの科学研究費の獲得は私立大学第1位。学生は充実した教育・研究資源を自在に活用し、学びを深めることができます。

学ぶ



多様な学問分野から選べる 学部と学び方

慶應義塾は、文学、歴史、経済・経営、法律、理工学、医療、さらには文理融合、新しい学問領域まで、多様な分野からなる10学部を擁する総合大学です（p.6参照）。学べることの幅が広いだけでなく、学び方も多彩。留学や他学部の授業、学内外のプロジェクトなどの機会を活用することで、学び方はさらに広がります。慶應義塾は、一人ひとりの志に合わせて学部と学び方を選べる大学です。



慶應義塾の理念

独立自尊

自立した人を、学問で育む

誰にもおごらず、慣習や常識にとらわれず、自分の良識と信念に基づいて考え行動し、他人も独立した個人として尊重する。福澤諭吉は、「独立自尊」の人を育むことを学問の狙いとししました。

実学

“自分の頭で考える”学びへ

「実学」とは、問題を発見し、仮説を立てて検証し結論を導く、“自分の頭で考える”プロセスに通じる「実証科学」のこと。“自分の頭で考える”力を養う、それが慶應義塾の学びの柱です。

半学半教

学びつつ教え、教えつつ学ぶ

慶應義塾では、学ぶ者と教える者を区別せず、教員と学生、先輩と後輩などの立場を越え、学び合い教え合いともに成長する「半学半教」の精神が大切にされています。



羽ばたく

多彩な進路、 新しい道に挑むスピリット

慶應義塾発のベンチャー企業数は、全国トップクラス。研究の社会実装はもちろん、社会課題解決を目的とするスタートアップ事例が数多く見られます。在学中に自ら社会に働きかけ、積極的にアクションを起こしている学生もいます。さらに、卒業生は、社会の様々な分野で活躍しています。学びを活かし、自ら新しい道に挑む、気概ある学生にあふれていることも慶應義塾の強みです。

つながる

様々な個性との出会い、 世界の人々との交流

慶應義塾では、多様なバックグラウンドを持つ様々な個性と刺激的な出会いが生まれます。また、世界を舞台に学ぶ環境も充実。300を超える協定校・機関と、様々な留学制度やダブルディグリー・プログラムを実施しています。また、慶應義塾で学ぶ留学生は2,000人以上。国内にいながら、世界の学生と学ぶ合うことも可能です。慶應義塾は、人とのつながりから生まれる学びも大切にしています。



自我作古

前人未踏に、挑む意志

「自我作古」は“我より古を作す”と読み、前人未踏の新しい領域に挑み、目標に向かって前進し続ける志と使命感を表しています。慶應義塾は、気概あるチャレンジを支える大学でもあります。

人間交際

人との交流が、人間力を培う

「人間交際」は、“人と人との交流の中で、総合的な人間力が培われる”という福澤の考えを表す言葉です。慶應義塾は人とのつながりを重視し心を豊かに大きく育む学びの場です。

社中協力

人のつながりを、未来への力に

「社中」とは、学生・教職員・卒業生など、慶應義塾に関係する人たちの総称。目的を共有する「社中」の協力体制は、パブリックスクール(義塾)として成長を重ねてきた原動力です。

慶應義塾の歴史



福澤諭吉、蘭学塾を開く

江戸築地鉄砲洲、中津藩奥平家中屋敷の邸内に福澤が蘭学塾を開きました。慶應義塾の起源です。

1858



日本初の演説会堂開館

議会政治や裁判に欠かせない演説や討論を日本に紹介するため、前年に「三田演説会」を発売。日本初の演説会堂・三田演説館(p.93参照)を開館し、演説の普及に努めました。

1875



第1回早慶戦

早稲田からの挑戦を受けて、三田綱町グラウンドで野球の試合が行われました。11-9で慶應義塾が勝利を収めました。

1903



創立50年記念図書館開館

曾禰達蔵・中條精一郎の設計により三田山上に建てられた図書館(旧館)。ゴシックスタイルが造りの壮麗な建築で、1969年に重要文化財に指定されました(p.93参照)。

1912



日吉キャンパス開設

三田が手狭な状態となったため日吉に新校地を定めることを決定。この年、第1校舎が竣工しました。

1934



SFCの開設

総合政策学部・環境情報学部の設立に伴い、神奈川県藤沢市に開設されました。テクノロジーと自然が調和する郊外型キャンパスです。

1990



ガクモンノススメ

「学問のすゝめ」150周年プロジェクト

「ガクモンノススメ」プロジェクト

『学問のすゝめ』初編刊行から150年の節目にあたり、改めて福澤諭吉の「学問によって社会を発展させる」という理想を考えるプロジェクトを始めました。

2022

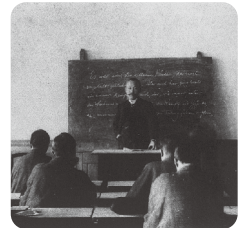
『学問のすゝめ』初編の刊行

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり」で始まる福澤諭吉の代表的著作です。



大学部発足

文学・理財・法律の三科を置きました。修業年限は3年。私立として最初の総合大学となりました。



創立50年記念式典

三田大講堂で開催。記念事業として図書館の建設が計画されました。



医学教育の出発

1873年から1880年まで塾内には医学所が開かれていたこともあり、創立60年にあたって医学科が開設されました。初代学部長は北里柴三郎です。



創立100年記念式典

創立100年を記念して新設された日吉記念館において、盛大に挙行されました。国内外からおよそ5,000名が参列し、世間から注目が集まりました。



創立150年記念式典

日吉の協生館と陸上競技場をメイン会場として、国内外から約8,300名が参列し、盛大に挙行されました。三田・SFC・大阪の中継会場にも約4,500名が集まり、創立150年を祝いました。



写真提供：福澤研究センターほか

数字で知る慶應義塾



創立
1858年

福澤諭吉により創立された慶應義塾大学は、江戸時代から続く日本最古の私立総合大学です。



奨学金
240億円

奨学金を目的とする基金の総額は国内最大規模。運用益は、返済不要の給付型奨学金に使われています。



科学研究費
第1位

科学研究費の獲得は私立大学で第1位です。充実した研究環境が整っています。



公認会計士合格者51年連続
第1位

2025年の公認会計士試験の合格者数は177名。大学別合格者数は51年連続第1位です。



司法試験合格者
第3位

2025年の司法試験の合格者は118名。法科大学院等別最終合格者数は第3位です。



上場企業の社長数
第1位

最も就職に強い大学の一つとしての高い実績。東証プライム上場企業の社長輩出大学第1位です。



外国語による授業
820+

外国語による授業(語学を除く)が820以上あり、また英語による学位課程も開設されています。



海外協定校・機関数
約340

創立以来の伝統を受け継ぎ、国際交流が活発に行われています。多くの塾生が留学や海外研修を体験し、年間約400名が海外で学んでいます。



国・地域からの留学生の受け入れ
80+

80以上の国や地域から約2,200名の留学生を受け入れています。



体育会・サークル(公認学生団体)
380+

体育会、文化団体連盟をはじめ、380以上の公認学生団体が、文化・スポーツなどの様々な分野において活動しています。



学生寮数
11

全国各地の学生に対する積極的な支援を目指し、キャンパスへのアクセスが良い11の学生寮を用意しています。



蔵書数
約530万冊

図書館の蔵書数は日本最大規模。協定を結んでいる他大学の図書館も利用できます。

学部紹介

学部インデックス

学部	学科・専攻	キャンパス						人数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
文学部 p.8	人文社会学科 哲学系(専攻:哲学、倫理学、美学美術史学) 史学系(専攻:日本史学、東洋史学、西洋史学、民族考古学) 文学系(専攻:国文学、中国文学、英米文学、独文学、仏文学) 図書館・情報学系(専攻:図書館・情報学) 人間関係学系(専攻:社会学、心理学、教育学、人間科学)	日吉	三田					教員数(専任者)……………141名 1学年定員/一般選抜募集人員…800名/580名 大学院等進学者数(含他大学院)……………65名 学生男女比 
経済学部 p.16	経済学科	日吉	三田				教員数(専任者)……………138名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,200名/600名 大学院等進学者数(含他大学院)……………40名 学生男女比 	
法学部 p.24	法律学科 政治学科	日吉	三田				教員数(専任者)……………116名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,200名/460名 大学院等進学者数(含他大学院)……………145名 学生男女比 	
商学部 p.32	商学科	日吉	三田				教員数(専任者)……………114名 1学年定員/一般選抜募集人員…1,000名/600名 大学院等進学者数(含他大学院)……………22名 学生男女比 	
医学部 p.40	医学科	日吉 信濃町※1	信濃町				教員数(専任者)……………192名 1学年定員/一般選抜募集人員…110名/66名※3 大学院等進学者数(含他大学院)……………1名 学生男女比 	
理工学部 p.48	機械工学科 応用化学科 管理工学科 物理学科 システムデザイン工学科 生命情報学科 電気情報工学科 物理情報工学科 数理科学科 化学科 情報工学科	日吉	矢上				教員数(専任者)(有期除く)……………260名 1学年定員/一般選抜募集人員…932名/650名 大学院等進学者数(含他大学院)……………678名 学生男女比 	
総合政策学部 p.60	総合政策学科		湘南藤沢(SFC)				教員数(専任者)……………44名 1学年定員/一般選抜募集人員…425名/225名 大学院等進学者数(含他大学院)……………35名 学生男女比 	
環境情報学部 p.61	環境情報学科		湘南藤沢(SFC)				教員数(専任者)……………43名 1学年定員/一般選抜募集人員…425名/225名 大学院等進学者数(含他大学院)……………74名 学生男女比 	
看護医療学部 p.72	看護学科		湘南藤沢(SFC)	信濃町	湘南藤沢(SFC)/ 信濃町		教員数(専任者)……………29名 1学年定員/一般選抜募集人員…100名/70名 大学院等進学者数(含他大学院)……………6名 学生男女比 	
薬学部 p.80	薬学科(6年制) 薬科学科(4年制)	日吉 芝共立※2	芝共立				教員数(専任者)……………66名 1学年定員/一般選抜募集人員…210名/150名 大学院等進学者数(含他大学院)……………65名 学生男女比 	

各学部における卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学受入の方針(アドミッション・ポリシー)についてはウェブサイトをご覧ください



シラバス(講義要綱)はこちら



学部の特色	関連資格・試験	入学試験制度(2027年度)
文化や社会のあり方、人間の本質を追究 多くの逸材を輩出してきた、長い歴史と伝統 多様な学問分野で、統合的な思考力を養成 教育環境を高めるファカルティ・ディベロップメント	公務員試験、図書館司書(図書館・情報学専攻)、司書教諭、学芸員、 中学校・高等学校教員免許(国語、社会、地理歴史、公民、英語、 独語、仏語、中国語、情報)、国立国会図書館職員採用試験 など	一般選抜 自主応募制による推薦入学選考 外国人留学生入試
世界をリードする、次代の経済人を育成 確かな基礎知識に基づく、応用・実践力の養成 情報の時代の要請にしっかりと応える人材育成 一歩先を行くための積極的なカリキュラム改革	公務員試験、 公認会計士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民) など	一般選抜 指定校による推薦入試 PEARL入試 帰国生入試 外国人留学生入試
法学と政治学の見地から複雑な社会事象を考究 論理的に思考し、説得的に議論する能力を養成 多様化・複雑化した社会に対応した多彩な専門科目 幅広い知見を備えた個性派・国際派の学生の育成	司法試験(弁護士、裁判官、検察官)、 公務員試験、 公認会計士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民) など	一般選抜 FIT入試 指定校による推薦入試 帰国生入試 国際/パコレア(IB)入試 外国人留学生入試
「実学」の精神で、未来の組織リーダーを育成 現代の産業社会全般を科学する4つの視点 時代の進展に応える多様で、柔軟なカリキュラム グローバル人材を育てる、英語によるプログラム	公務員試験、 公認会計士試験、 税理士試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、地理歴史、公民、商業) など	一般選抜 指定校による推薦入試 外国人留学生入試
人類の福祉に貢献する、患者中心の医療を実践する医療人の育成 研究体験を通じたリサーチマインドの醸成 研究医養成プログラム 医療系三学部合同教育を通じたチーム医療の実践 留学体験を通じた国際医療人の育成	医師国家試験、 特別職国家公務員試験(厚生労働省) など	一般選抜 ^{※3} 帰国生入試 外国人留学生入試
先進的教育研究体制で切り拓く、次代の最先端 未知なる科学技術の扉を開くキーワード「創発」 「次」を見据えた専門教育と、総合的な人間教育 「学門制」で広がる、学びの自由度と可能性	公務員試験、 中学校・高等学校教員免許(数学、理科、工業、情報)、 電気主任技術者、 無線技術士、 建築士 など	一般選抜 分野志向型入試 指定校による推薦入試 帰国生入試 外国人留学生入試
往来自由・文理融合の総合政策学部と環境情報学部 「研究を教員と学生がとむに行う」という教育スタイル 「政策を考え、未来を考える」学問を追究する 「実践知」を理念とした「創り、動かす人」を育成	公務員試験、 中学校・高等学校教員免許(社会、公民)、 建築士 など	一般選抜 AO入試
往来自由・文理融合の総合政策学部と環境情報学部 「研究を教員と学生がとむに行う」という教育スタイル 不確実性の高い時代の先導者たらん 地球、自然、生命、人間、社会を理解し、未来社会に貢献する人材を育成	公務員試験、 高等学校教員免許(情報)、 建築士 など	一般選抜 AO入試
保健・医療・福祉を一体化できる、先導者を育成 看護医療の可能性を拓く、時代や世界への視点 自由な発想を育てる少人数制教育 医療系三学部のグループアプローチによる医療実践	看護師、 保健師、 助産師の各国家試験 など (選択コースにより異なる)	一般選抜 AO入試
科学者の視点で未来医療を先導する薬学人の育成 実践型学習や研究を重視した先進の薬学教育 他学部との連携で領域を広げ、薬学の新しい知を創造 グローバルに活躍する薬剤師・薬学研究者の養成	薬剤師国家試験(薬学科のみ)、 公務員試験、 放射線取扱主任者試験 など	一般選抜 指定校による推薦入試

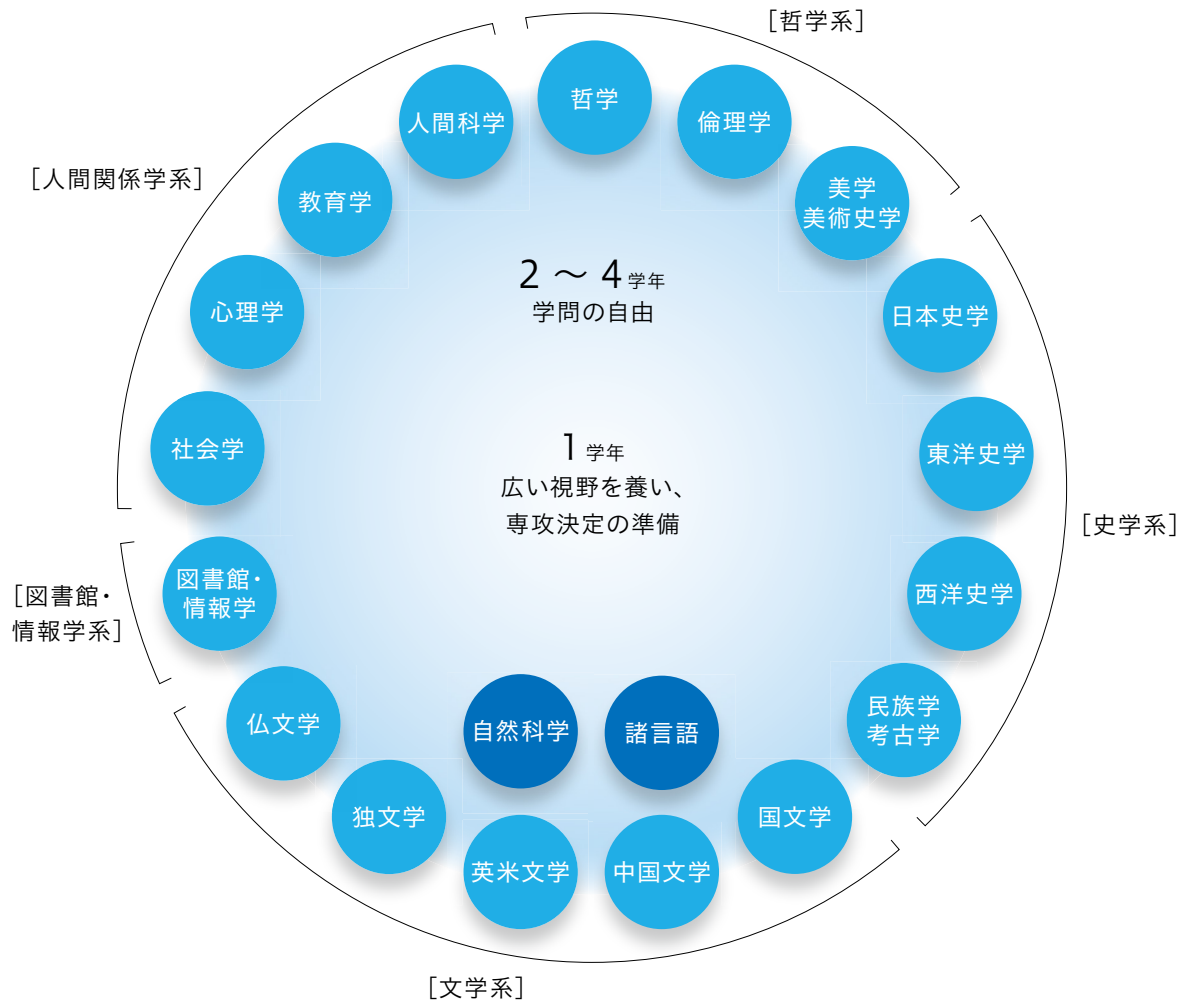
教員数・大学院等進学者数・学生男女比は2025年5月1日現在のものです。
上記の入試制度のほか、慶應義塾が設置する高等学校からの塾内進学があります。
※1 医学部1年生は、週1回信濃町キャンパスの授業を受講します。
※2 薬学部1年生は、週1回芝共立キャンパスの授業を受講します。
※3 うち1名は栃木県地域枠として募集

文学部

Faculty of Letters

人文社会学科

文化や社会のあり方、人間の本質を追究する



17専攻+2部門という 幅広く横断的な専攻分野

めまぐるしく変化する現代社会では、
“人間”と“人間が生み出した文化”の本質に目を向け、
幅広い教養と深い専門性を追究する学問の重要性が
従来にも増して高まっています。

<https://www.keio.ac.jp/ja/flet/>



統合的な思考力を養成する取り組み

創設130年を迎えた文学部

文学部の歩みは、1890(明治23)年、慶應義塾の大学部の発足にあたり
理財科・法律科とともに文学部が設置されたことに始まります。
2020年に創設130年を迎えた本学部は、以下の試みを通して
長きにわたる歴史と伝統を振り返りつつ、新たな時代に向かって邁進します。

- 文学部の将来像を考えるためのシンポジウムや公開講座等の開催
- 文学部の足跡や業績を記録する貴重な史・資料の収集・公開
- 文学部の研究・教育成果の国際的な発信
- 文学部、大学院文学研究科・社会学研究科にかかわる
若手研究者の奨励・支援(「井筒俊彦学術賞」「西脇順三郎学術賞」)

多彩な形式の授業を展開

さまざまな形式の授業は文学部の特色のひとつです。
特に文学部生全体に開かれた講義科目では、「アート・マネジメント講座」「人の尊厳」「人生の扉」など、
ユニークで多彩なオムニバス形式の授業が展開されています。
また、文化財研究における新視点を提起する「博物館資料保存論」「博物館学特論」、
音楽に関心をもつ学生に人気の「遠山記念音楽学講座(音楽学)」なども開かれています。
言語学関係の科目をまとめた「言語学関係講座(言語学概論・言語学特殊)」というカリキュラムも設けられています。

積極的な研究活動を支える学会と研究雑誌

文学部では専門分野ごとに学会が組織されており、専門研究雑誌が刊行されています。
1921年創刊という日本屈指の伝統を有する『史学』(三田史学会刊)をはじめ、
『哲学』(1926年、三田哲学会刊)、『藝文研究』(1951年、藝文学会刊)、
Library and Information Science(1963年、三田図書館・情報学会刊)などがそれで、
教員はもとより、卒業生、大学院生、場合によっては学部生も
積極的に研究の成果を公表できる環境にあります。

自主応募制による推薦入学者選考制度

高等学校の最終学年1学期または前期までの「全体の学習成績の状況」が4.1以上で、
文学部入学を第一志望とする現役の生徒が対象です。
指定校制ではありませんので、自分の意思で応募することができます。
一般の学力考査とは異なった視点・尺度を導入することによって、さまざまな資質をもち、
文学部への志望動機が明確で意欲的なみなさんに入学への道を開くことを目的としています(p.144参照)。
地方出身の入学者を対象とする特別奨学金も創設しました(p.145参照)。

多様な学力を評価する入試

文学部の一般選抜では、2025年度より、外国語の選択科目に「英語(外部試験利用)」を新設しています(p.136参照)。
文学部の教育理念と教育内容をふまえたうえで、
高等学校における学習指導要領の改訂や英語民間試験の状況を考量したものです。
これまでの入学試験とその後の学修の成果は証されていますが、
併せて、受験生の多様な学力を評価できるよう努めています。

4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

幅広い視野と教養を培う
総合教育科目

豊富な語種が特色
必修語学科目

自分の専門分野を深く追求
専門教育科目

1

学年

総合教育科目、必修語学科目を中心に学び、進むべき専攻を考えながら幅広く勉強していく。

2

学年

自分の所属する専攻が決まり、専門領域を学び始める。

日吉キャンパス

系列科目

人文科学系列

社会科学系列

自然科学系列

系列外科目

基礎情報処理科目、総合教育セミナーなど特定の系列に属さない科目

語学科目 必修語学科目のうち必修として履修しない科目 / 必修語学以外の語種(ギリシア語など)の科目 /

体育研究所、国際センター、教養研究センター、外国語教育研究センター、

他学部設置の総合教育科目相当科目

英語

ドイツ語

フランス語

中国語

韓国語

ロシア語

スペイン語

イタリア語

※2語種を必修選択

※留学生の必修語学は原則として英語と日本語

※東洋史学専攻では第2学年からアラビア語、ペルシア語、トルコ語も選択可

哲学専攻

倫理学専攻

民族学
考古学専攻

国文学専攻

図書館・
情報学専攻

社会学専攻

第1学年では視野を広げ 専攻を決める

文学部の学生が日吉キャンパスで過ごすのは第1学年のみです。

日吉での1年間は、さまざまな学問に接することによって

視野を広げる期間であるとともに、第2学年になってから進む

専攻を決めるための準備期間でもあります。

3 専攻によって開始時期は異なるが、研究会(ゼミ)に所属し、具体的テーマをもって研究を進める。

4 研究会での勉学の集大成として、卒業論文を作成する。社会学・人間科学の2専攻には非卒業論文コースもある。

三田キャンパス

インテンシブ・会話など特殊な形態の語学科目

福澤研究センター、保健管理センターなどの設置科目

美学美術史学専攻

日本史学専攻

東洋史学専攻

西洋史学専攻

中国文学専攻

英米文学専攻

独文学専攻

仏文学専攻

心理学専攻

教育学専攻

人間科学専攻

- 各専攻設置の専門教育科目 ●全専攻共通科目
- 教職課程センター、国際センター、日本語・日本文化教育センター、斯道文庫、メディア・コミュニケーション研究所、研究連携推進本部、言語文化研究所、福澤研究センターなどの設置科目
- 他学部設置の専門教育科目相当科目

※ほとんどの学生が第3、4学年に各専攻の研究会に所属。第4学年に卒業試験。

取得できる学位

- 哲学専攻、倫理学専攻:学士(哲学)
- 美学美術史学専攻:学士(美学)
- 日本史学専攻、東洋史学専攻、西洋史学専攻、民族学考古学専攻:学士(史学)
- 国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻、独文学専攻、仏文学専攻:学士(文学)
- 図書館・情報学専攻:学士(図書館・情報学)
- 社会学専攻、心理学専攻、教育学専攻、人間科学専攻:学士(人間関係学)

第2学年からは 専攻ごとに 学びを深める

1年次は単一学科の学生として入学し、1年かけて自分が進むべき専攻をじっくりと見極めることができます。そこには学問を自分自身のものとして成長するための自由があります。

卒業論文の 作成に向かう

専攻によってカリキュラムは異なりますが、所属専攻以外の科目も自由に履修できるよう配慮し、幅広い視野で複眼的、統合的に考える能力を培います。また、学習、研究の集大成として、ほとんどの学生が卒業論文を作成します。

研究分野紹介

	専攻	専門領域	
哲学系	哲学	西洋哲学が中心です。諸学問のなかで最も長い伝統を有する哲学を、先人の学問的蓄積を利用しつつ、新しい材料や観点を取り入れて研究しています。その研究領域は広く自由で、人文科学、社会科学、自然科学を含め、いろいろな分野に関連する哲学的問題や、既成の分野に制約されない境界領域を選ぶことができます。	古代ギリシア哲学 知識論 中世哲学 形而上学 西洋近世・近代哲学 宗教の哲学 現象学 論理学・論理哲学 言語哲学 科学哲学 心の哲学
	倫理学	倫理学は人間の生き方を探究する学問ですが、この専攻では、2つの道に分けて研究を行っています。ひとつは、古今東西の思想家との対話を通じて、人間存在の根底に迫る道です。これは、思想家の活動の舞台である文化の本質や特性を考える道に通じています。もうひとつは、現代の社会で生じている身近な問題を手がかりにして、近代の自然観や生命観、人間観や社会観を検討し、その修正や転換を探る道です。	西洋近代・現代倫理学 倫理思想史 応用倫理学 社会哲学 宗教哲学
	美学美術史学	美学、芸術学、西洋美術史、東洋・日本美術史、音楽学、アーツ・マネジメント等、芸術に関する学問領域の教育と研究を行う専攻です。これらは、私たちの感性やイメージの働きを解明しようとする学問であり、作品の制作や楽器の演奏技術の習得と直接結びつくものではありません。美と芸術に関する体系的・理論的考察、中世・ルネサンスから現代に至る西洋美術史・音楽史、古代から近代までの日本・東洋美術史および日本の近代音楽について等の講義があります。なお、履修の仕方により学芸員資格も取得できます。	美学・芸術学 西洋美術史 東洋・日本美術史 西洋音楽史 映像論・舞台芸術論 アート・マネジメント
史学系	日本史学	古代から近現代にかけての日本の歴史を実証的に研究する専攻です。歴史を学ぶためには多くのことを知る必要があり、国際的な視野に立っての幅広い考察が重要となってきています。また、通時代的な知識に加え、古文書学や史資料の取り扱いに関わる知識も修得しながら、通説にまどわされず、自ら真実を明らかにしていく姿勢を養っていきます。	古代仏教史 近代日本 古代法制史 経済史・経営史 中世史 トルコ社会史 キリシタン史 日本植民地史 近世史 近世近代日本経済史
	東洋史学	アジア・アフリカ諸地域の歴史的研究に挑んでいる専攻です。実証的な歴史研究の上に隣接科学の視座も加えた地域研究を行っています。対象となる地域が広く、歴史の年輪も深いため、本学の他学部や研究所、他大学から専門家を講師として招き、できるかぎり多様な対応を試みています。未開拓な研究課題もまだまだ多く残り、自己の才能を生かせる発展性をもった魅力的な専攻領域であると言えるでしょう。	東アジア近現代史 地中海交流史 食の文化交流史 都市史 トルコ社会史 歴史民俗学 オスマン帝国史 中東近現代史 ジェンダー史 中国古代・ 近世・近現代史 アラブ社会史
	西洋史学	古代から近現代にかけての欧米世界の歴史現象を実証的に探究している専攻です。したがって外国語の原書を読むことも多く、英語の他に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語による演習のうち、いずれかを3年次に履修することになっています。扱う現象が伝統的な政治史から社会経済史、社会史、文化史等へと広がり、デジタルで海外の史資料にアクセスしやすくなり、研究のフロンティアが広がっています。	古代ローマ史 イギリス中世史 西洋中世宗教史・文化史 スイス宗教改革史・農社会史 スペイン(カタルーニャ)近代社会・文化史 フランス近現代史・国際関係史 ドイツ近現代史・バルカン史
	民族学考古学	物質資料(モノ)を中心に人類の歴史・文化を探究するのがこの専攻の特徴です。大正期から現在までの発掘調査・民族調査によって収集された、国宝を含む約20万点の資料・標本類を保管しており、専攻生はこれらを用いて研究方法を学ぶほか、自分の研究を進めることもできます。また、専攻教員が国内外で行うフィールド・ワークに参加して資料や情報を収集する現場を体験し、そこから研究テーマを見つけていくことも可能です。	先史考古学 オセアニア 歴史考古学 民族学・考古学 近現代考古学 歴史人類学 動物考古学 自然人類学 民族考古学 文化財行政学 西アジア考古学
文学系	国文学	日本の文学・言語を中心に、学芸・芸能・民俗など広く日本文化を考えてゆくことを目的とする専攻です。特定分野や時代にとらわれず、大きく人間を取り巻く環境や社会の状況までを視野に入れて、広く学び、深く考えてゆこうというのが、本学国文学専攻の伝統的な気風となっています。書誌学や歴史学的方法に強いのも、ひとつの大きな特色です。	古典文学 (和歌文学、物語文学、日記文学、説話文学) 近代日本文学 日本漢文学 中日比較文学 日本語学
	中国文学	中国における「文学」とは、もともと学問・文芸全般を指す言葉であり、狭義の文学のみならず、広く言語を媒体とする文化全体を言います。当専攻は、「中国語学」「古典文学」「現代文学」の3つを柱としながらも、研究の対象はこれらに限ることなく、歴史・思想・芸能などを含めて、古代から現代まで、あらゆるジャンルにおける中国の文化を対象としています。	中国語学 (音声学・語彙論・語法論・中国語教育学) 中国古典文学 (詩文・小説・受容史) 中国現代文学 中国文化論 (映画、演劇など)

	専攻	専門領域		
文学系	英米文学	英語学・英米および英語圏文学を学問として研究することを目的とする専攻です。英語学では、文法、意味論、社会言語学、英語史、翻訳論など、英文学では中世から現代までの作品が、また米文学では17世紀から現代までの作品が研究できます。文化研究、神話研究、絵画や映画と文学、音楽と文学、比較文学、ジェンダー研究、精神分析と文学も研究対象の一部です。	英語史・英語学 言語学 (意味論、社会言語学) 中世英文学 書物史 近代・現代英文学 (小説・詩・演劇)	近代・現代米文学 (小説・詩・演劇) アメリカ文化史 現代批評理論 英米女性文学
	独文学	ドイツ語圏の言語と文学はもちろんのこと、思想、音楽、演劇、美術、歴史、メディア学といった隣接諸領域をも含んだドイツ語圏の人文領域を広く扱うのが独文学専攻です。ドイツ語学も、理論言語学、社会言語学、中世語研究など、広がりを持って学ぶことができます。文学研究・言語研究は優れて領域横断的な学問分野ですが、本専攻ではドイツ語力を高めながら、それぞれの関心の赴く方向に勉学を深めていくことができます。	ドイツ演劇史 現代演劇理論 中世ドイツの文学と思想 近代・現代ドイツ文学 言語学 ドイツ語学 表象文化論	メディア論 スポーツ史 18～20世紀ドイツ文化史 映画史
	仏文学	フランスの言語と文学を中心に、広く社会や文化、芸術、思想なども研究する専攻です。言語の研究では、統語論、意味論、語用論、レトリック、日仏対照研究、翻訳学などが主要な領域です。文学の研究では、フランスの中世・ルネサンスから近代・現代までの広い範囲にわたる作家や作品、文学史上の諸問題などを対象とします。関連分野として、文化史、美術批評、仏語圏文学、日仏演劇交流なども扱われます。	近世から現代までのフランス文学 (小説・詩・演劇・批評) フランス語圏の文学 フランスの文化と社会 近代フランス文学史・思想 フランス語学 (統語論・意味論・語用論・対照研究)	
図書館・情報学系	図書館・情報学は、知識と情報を扱う学問分野です。科学的知識や専門的知識を積み重ねることにより文明は発展し、情報を交換することにより社会生活は成り立っています。人は知識や情報をなぜ求めるのか、どのように探するのか、いかに継承していくのかといった問題を探究します。なお、一定の条件に合った履修をすると図書館司書や司書教諭の資格、教科「情報」などの教員免許の取得ができます。	図書館経営 図書館活動 情報メディア 情報行動 情報サービス 学術コミュニケーション 情報検索	情報組織化 情報処理技術 データベース管理 デジタルアーカイブ 書誌学 デジタルヒューマニティーズ	
人間関係学系	社会学	社会学専攻は現代世界に生きる人間を心理・文化・社会の3つの側面から総合的に理解することを目的としています。したがって、社会学とともに社会心理学、文化人類学の分野を含んでいます。各分野の理論や歴史を学ぶだけでなく、家族、都市、ライフ、文化、宗教、教育、医療、メディア、環境、ゲーミング、普及などのさまざまな事象を通して、人間に対する探求を深めていきます。学生の皆さんは多様な科目の中から自分の関心に沿ってカリキュラムを組み立てて学習を進めることができます。	社会調査 知識社会学 家族社会学 日本社会学 都市社会学 ライフストーリー研究 記憶と継承の社会学 文化社会学 社会心理学	普及学 教育社会学 文化人類学 コミュニケーション学 宗教社会学 環境行動論 比較文化論 世界社会学 医療社会学
	心理学	心理学専攻では知覚、認知、行動、学習、発達、生物、神経など諸領域の実験心理学に重点が置かれています。実験科学としての特徴を備えているという意味で文学部の中では異色の専攻であると言えるでしょう。1学年の適正人数を少数に設定しており、各学生が自身のテーマに沿った心理学実験を計画、実施して、実証的な卒業論文を作成することができます。	知覚心理学 認知心理学 行動・学習心理学 発達心理学 生理・神経心理学	
	教育学	学校での教育活動に限定されない、豊かな人間形成的営為の可能性を再発見し再評価するための探究を展開しています。また、学校教育の諸問題に対しても、さまざまな学問的アプローチを試みています。研究領域としては教育哲学・教育史・比較教育学・教育心理学の4領域を基軸とし、研究方法としては文献研究や調査研究から実験・実証研究に至る多彩なアプローチを駆使しながら、教育の根源と本質を探究しています。	教育哲学 人間形成論 西洋教育思想史 日本教育史 フランス教育史・教育思想史 社会教育史	比較教育学 国際教育開発論 教育心理学 パーソナリティ心理学 発達心理学
	人間科学	心理学・社会心理学・社会学・文化人類学などの伝統的な学問領域をベースとしながら、人間を総合的に理解していくことをめざす学際的な専攻です。特色としては、データを用いた実証的な研究を重視し、統計学を中心とした計量的なデータ分析法や測定法、実験的方法、また、フィールドワークを中心とした民族誌的なデータを得るための調査法など、方法論的な科目が複数配置されていることがあげられます。	社会心理学 進化心理学 社会階層論 法社会学 理論社会学 家族社会学 社会福祉学	数理社会学 医療人類学 文化人類学 計算社会学
自然科学・諸言語	自然科学	文学部には、自然科学や諸言語教育を担当している教員が配置されており、各専門課程の教育や研究を補うことができる体制が整備されています。人類学の教員が民族学者考古学専攻の講義を担当したり、韓国語の教員が社会学専攻の授業やゼミを担当することなどはじめ、研究内容に応じてさまざまな専攻の教員と共同研究を行うこともあります。	生物学 (発生物学、 免疫生物学)	化学(触媒化学、 ケミカルバイオロジー) 自然人類学 心理学
	諸言語		ギリシア語 ラテン語 西洋古典学 韓国語 文化人類学 ロシア語 ロシア文学・文化	スペイン語 スペイン語圏の 文学・文化 イタリア語 イタリア文学・文化 イタリア史



1 発掘調査(礼文島浜中2遺跡) / 民族学考古学専攻
 2 アブダビ(アラブ首長国連邦)のシェイク・ザイド・グランド・モスク(撮影: 勝沼聡) / 東洋史学専攻
 3 京都・二条家の簿冊の山(文学部古文書室所蔵) / 日本史学専攻
 4 バーチャルリアリティ実験 / 心理学専攻
 5 時禱書4月の暦(フランス、1500年頃)羊皮紙零葉(慶應義塾図書館所蔵) / 英米文学専攻

学生の声



興味関心のある教養と専門性を、同時に高められる環境

■入学前の想像を超える学びの自由度

受験生当時の私は、学際的な学問の素養を高めることに関心を抱いていました。そこで、4年間にわたる総合教育科目の履修と学部を跨いだ履修が可能で、さらに研究会を通じて専門性も身につけることができる慶應義塾大学文学部を志望しました。

実際に入学してみると学びの自由度は想像以上で、現在は専攻した哲学を研究しながら、1年次からずっと関心のある外国語、初めて触れる学問領域を学び続けています。

■英語も第2外国語も高い水準で身につける

学びの自由度を、二つの特性に分けてご紹介します。一つ目は、高校までに培った学力を伸ばしながら、分野を横断して学問を深められることです。文学部という名でありながら、扱う分野は情報処理や社会構造研究、医学史など大きく開かれています。また、必修の語学では、文法と発音、そしてネイティブ講師との実践学習が同時に進行するため、英語だけでなく、第2外国語も高い水準で身につけることが可能です。

二つ目は、個人に寄り添った専門性を習得できることです。具体的には、関心のある分野の研究会を複数選択可能で、先生や仲間と議論しながら専門性を磨くことができます。このように教養と専門性を、興味関心に応じて同時に高められる環境は非常に魅力的です。

■哲学研究会は活発に議論できる特別な空間

特に興味深かった総合教育科目は(論理学)です。簡単に説明すると、独自の記号を用いて日本語を数式として翻訳していくことで、推論の道筋を明らかにする学問です。論理学の構造を学ぶことで、物事を進めるにあたっての戦略をすばやく構築する方策と習慣が身につきました。

また、研究会は各々が研究テーマを設定し、活発に語り合える特別な空間です。私は哲学研究会で時間や認識について議論をしています。個人的には卒業論文に向けて、哲学をより開示された普遍的な思考のツールにすることに関心を抱きながら、研究を進めています。

■日本の大学生代表として訪中する体験も

加えて、国際政治経済について議論するコミュニティーでの活動やシンガポール留学によって、「人間交際(p.3参照)」を通じた教養の深まりを実感するようになりました。そして、座学との相乗効果で、国家総合職試験にも合格しました。学外では、法律事務所のパラリーガル業務、化粧品会社のマーケティングに携わり、学んだ知識を実践する機会にも恵まれています。

昨年には、中国の大学や企業を視察する外務省の推進事業に日本の大学生代表として参加しました。中国の政府関係者や同じ志を持つ日本人学生との交流は、自らを広く異なった視点で見ることにつながり、枠を決めずに全力で進んできた自分の熱量に意識的になることができました。大学では活動するほどに広がる新しい世界が待っています。是非期待してください。心より応援しています。

文学部3年 K.M.(東京都・白百合学園高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



お互いの学びを語り合い、尊重し合える友人に恵まれて

■「学問のすゝめ奨学金」で受験を決意

大学で学びたいことが具体的に決まっていなかった私は、1年生で多様な分野を学びつつ専攻を決め、専攻振り分け後も他分野の専門科目を自由に学べる慶應義塾大学文学部に魅力を感じていました。しかし、家庭の経済状況を考えると、上京して進学することは難しいと思っていました。そんな時に、地方出身者を支援する、入学前申請の「学問のすゝめ奨学金」(p.118参照)のことを知り、受験を決意しました。

入学後は、「学問のすゝめ奨学金」とともに日本学生支援機構の奨学金(p.117参照)にも採用されました。上限まで科目を履修し、学生団体でも活動するなど、充実した学生生活を送っています。

■「心」に迫る実験心理学の学び

早くから就職活動に励んだり、体育会やサークル団体の活動に熱中するなど、様々な選択肢がある大学生活ですが、私はその中でも学びを大切にしたいと考えています。そんな私にとってお互いの学びについて語り合い、尊重し合える友人に恵まれた文学部は、かけがえのない環境です。

所属する心理学専攻では、実験とその解析という科学的な手法で「心」に迫る実験心理学を学んでいます。少数教育で、知覚・認知・行動・学習・発達・神経など多彩な領域、多様なアプローチの研究が行える点に特長がある専攻です。

■日本中を飛び回りながら大自然を味わう

課外活動としては、慶應義塾ワンダーフォーゲル部(KWV)に所属しています。創立90年を超える公認団体で、週末の1泊2日の山行のほか、夏休みには北アルプス縦走など長期合宿を行っています。日本中を飛び回りながら大自然を味わう活動はとても刺激的です。

一方で、常に危険が伴うのが登山です。KWVでは組織的な安全対策を行うほか、学年ごとに分けられた役割をこなしていくことで、山行リーダーへと成長していける仕組みが整えられています。その緻密な組織づくりに先人の足跡を感じます。

■研究をさらに深め実社会に貢献したい

私は身体と心の動的な関係、特に自身で制御することのできない環境下での身体感覚の変化に関心があります。人が何かしらの行為を行ったときに「自らが行った」と感じる感覚は行為主体感 (Sense of Agency: SoA)と呼ばれており、身体を扱う心理学だけでなく臨床や工学など実社会に貢献できる研究分野です。私はこの分野に興味があり、大学院に進学して「心とは何か」という問いに迫りつつ研究を深めたいと考えています。将来は臨床・工学分野に心理学の立場から携わることを志しています。

一つのことを苦勞しながらもやり切った時、諦めていたら出会えなかった新たな自分に出会うことがあります。受験期の私の道しるべになったのは、そんな日々の中で培った「自分らしさ」でした。全力の学びの中で培った「あなたらしさ」で慶應義塾大学に入学されることを、そして共に学べる日を心より楽しみにしています。

文学部2年 S.I.(静岡県・県立沼津東高等学校 出身)

経済学部

Faculty of Economics

経済学科

世界をリードする、次代の経済人を育成



日本の経済学を体系化

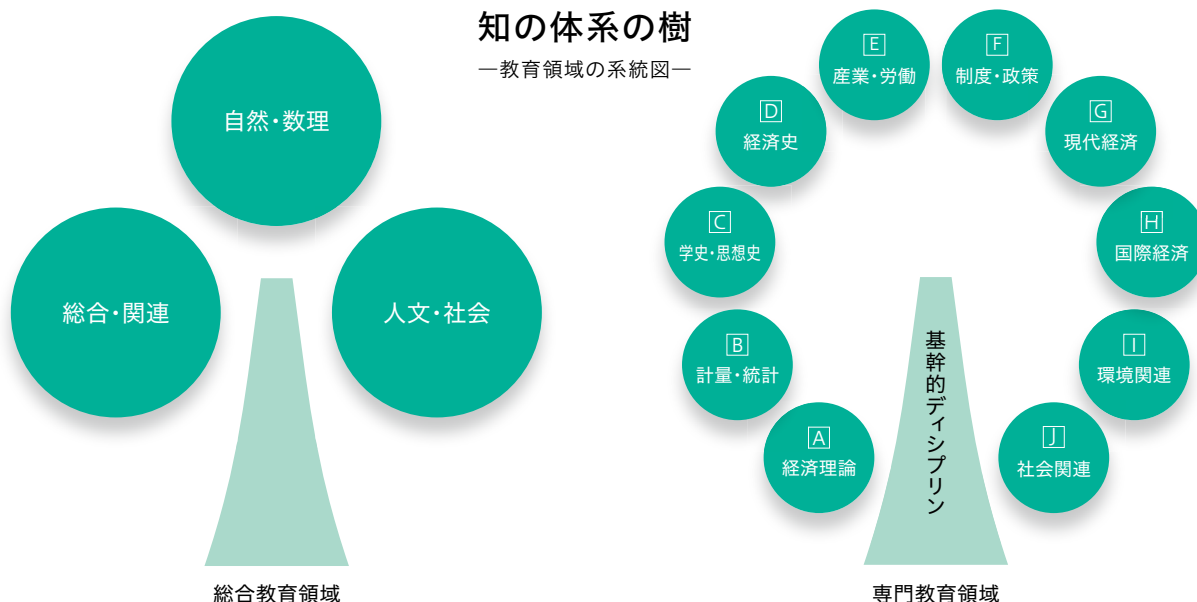
我が国の経済学は、慶應義塾の創設に始まり、本学部の前身である理財科により体系化されました。そして、「慶應経済人」と称された卒業生たちは、明治以降、日本経済の発展に指導的役割を果たしてきました。経済学部は、国際舞台でも経済学を武器に十分に発言し議論できる能力を養い、世界経済をリードする次代の経済人の育成を目指しています。

<https://www.keio.ac.jp/ja/econ/>



経済学の学問体系

現代の経済学の学問体系は伝統的な領域を基本としつつ、
現実に即した新領域を常に生み出しながらダイナミックに発展しています。
慶應義塾の経済学部はその幅広い領域を網羅しており、学生は自分の最も関心の強い専門分野を選択できます。
また、経済社会について多角的な観点から深く考察できる人を育てたいという考えから
総合教育領域でも多くの選択肢を用意しています。



専門教育の3つの柱

経済学部の専門教育には、講義だけでなく、学生の思考力・研究能力を伸ばすための「研究会(ゼミナール)」、
「研究プロジェクト」、「PCP(プロフェッショナル・キャリア・プログラム)」という3つの柱を用意しています。

■ 研究会(ゼミナール)

長い伝統を持つ、少人数クラスで開講される専門教育のコースです。2年間、特定の教員に師事することで専門分野を深く学び、その成果を卒業論文にまとめます。グループワークも含め、他者とのコラボレーションを重視した教育を行います。

■ 研究プロジェクト

学生が自らテーマを設定し、1年かけて論文を執筆する個人研究のコースです。
経済学だけでなくそれ以外の分野についても研究を行うことができます。個人の研究に対する熱意を形にすることが目的です。

■ PCP(プロフェッショナル・キャリア・プログラム)

すべて英語で開講される少人数クラスの専門教育のコースです。英語で専門知識を学習し、プロジェクト形式の授業を経験します。
このプログラムを通じて、グローバル化の時代に対応した人材を育成します。

3.5年早期卒業制度を導入

2023年度以降の入学者を対象に、3.5年(7学期)在学すれば卒業できる早期卒業制度を導入しています。
4月入学者(タイプAB学生)の海外大学院進学支援、9月入学者(PEARL学生)の日本での就職支援、
経済学研究科と連携した3.5年+1.5年の内部学士・修士5年プログラムの実現を目的としています。



4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

1

学年

総合教育科目、外国語科目とともに経済学の基礎を学ぶ。

2

学年

1学年の対象領域に加え、経済学の専門知識を深める。

日吉キャンパス

幅広い知識と教養を身につける 総合教育科目	
世界を理解し世界に向かって表現する 外国語科目	
体育科目	
タイプA	基礎教育科目(必修)
	基礎教育科目(選択)
	基礎科目(必修)
タイプB	基礎教育科目(必修)
	基礎教育科目(選択)
	基礎科目(必修)
基礎科目(選択必修)	
基本科目(選択必修)	
特殊科目(選択)	
関連科目(選択)	
履修プログラム	

I系 自然科学関連科目	
II系 人文・社会科学関連科目	
III系 その他の科目(オムニバス形式の科目・少人数セミナーなど)	
外国語I 英語(Study Skills)/英語セミナー、英語リーディング	
外国語II ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語(いずれか一つ選択、留学生は日本語)	
外国語III ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語(語種)	
体育実技、体育学講義、体育学演習	
微分積分、線形代数、統計学	
日本経済概論、歴史的経済分析の視点、微分積分入門、線形代数統論、情報処理	
マクロ経済学初級	ミクロ経済学初級、経済史入門
日本経済概論、歴史的経済分析の視点、統計学	
数学概論、微分積分入門、微分積分、線形代数、線形代数統論、情報処理	
マクロ経済学初級	ミクロ経済学入門、経済史概論
経済と環境、計量経済学概論、経済思想の歴史、マルクス経済学、経済数学、社会問題、フィールドワーク論	
簿記、解析学入門、確率論入門(以上選択)	
DEEP(Data-driven Economics and Econometrics Program)	
FACTS(Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects)	
第二外国語プラス!(Plurilingual and Pluricultural Studies)	

3・4
学年

経済学の専門知識を深めるとともに、自分の目標と関心に沿って、研究を行い、その研究成果を発表する。

研究会
(ゼミナール)

研究
プロジェクト

PCP

取得できる学位
学士(経済学)

三田キャンパス

変更者)、ロシア語、韓国朝鮮語、イタリア語

2つの履修タイプが 合流

A 経済理論 B 計量・統計 C 学史・思想史 D 経済史 E 産業・労働
F 制度・政策 G 現代経済 H 国際経済 I 環境関連 J 社会関連

毎年設置される科目より履修
研究会、PCP、研究プロジェクトを含む(以上選択)

民法、商法、労働法、租税法、会計学、経営学、
他学部設置の専門教育科目相当科目(以上選択)

詳細は
p.20へ

詳細は
p.17、p.20へ

詳細は
p.21へ

2つの 履修タイプで 学びをスタート： 教養を深める

経済学を修めるために、
経済学部では2種類の積み上げ型で
コースを構成しています。

タイプA

(経済理論・数学先習型)

入学試験で数学を選択した
学生向けのコースです。
一般的な仮定・前提から出発して
論理的に答えを導く数学的・
演繹的能力の習得を重視します。

タイプB

(経済実態・歴史先習型)

入学試験で地理歴史を選択した
学生向けのコースです。
経験的事実の積み重ねから
結論を導く帰納的能力の
習得を重視します。

設置科目一覽

※ 2025 年度開講実績科目。PCP 科目以外にも英語開講科目があります。

	専攻	専門領域		
基本科目	A 経済理論	経済事象をめぐる因果関係の論理を厳密かつ緻密に追跡します。この理論体系は、経済学の大きな樹冠を支える幹にたとえることができます。	ミクロ経済学中級 ゲーム理論	マクロ経済学中級
	B 計量・統計	観察データから、事象の原因を特定したり、メカニズムを誤りなく浮かび上がらせるために必要な緻密な手法の体系です。経済学に科学性を与える上で大きな役割を果たしています。広い応用範囲を持ちます。	計量経済学中級 確率・統計 時系列分析	計量経済学上級 ベイズ統計学
	C 学史・思想史	先人の学問や思想に現代の光を当てるとともに、現代の学問などに先人の考察を対照させることは、人々の知的営為の発展に貢献するところが大きいと言えます。	経済学史 社会思想史	社会思想
	D 経済史	経済に関わる歴史を事実即して検証し、その因果関係を論理的に論じます。市場がどのように形成され、各国の経済社会はいつ形作られたのか、近代化はどのような力学によって支えられたのかなど、興味深い内容です。	日本経済史 アジア経済史	欧米経済史
	E 産業・労働	市場の働きを個別具体的に、または横断的に観察し、問題を論じ、自由や公平や公正などに関わる社会的な見地から、いかなる規則やルールがとられるべきかを考察します。	工業経済論 労働経済学 医療経済学	産業組織 社会政策
	F 制度・政策	財政・金融制度の戦後からの歴史、経済の安定化のための財政政策・金融調整などを論じ、公共事業の発展のための最適な規制を提示します。	経済政策論 金融論 規制改革の経済学	財政論 日本経済システム論
	G 現代経済	日本経済を中心に、また体制を相互比較することにより、今日の経済を構造的にまた総合的に理解することを目指します。	現代日本経済論 現代資本主義論	日本資本主義発達史 経済体制論
	H 国際経済	グローバルな経済のシステムを理解するとともに、南北問題に代表されるような開発政策の重要性の理解を通じて、世界経済の持続的成長の道を考えます。	国際貿易論 開発経済論	国際金融論
	I 環境関連	経済を空間としてとらえると、良き自然環境の保全と活性ある経済社会をいかにして両立させるか、地域経済の特性はいかにして形成されてきたかなどを問うことができます。	経済地理 都市経済論	環境経済論
	J 社会関連	経済学と他の分野との境界面にある学際的分野です。社会の発展につれ、これからますます発展していく領域として期待されています。	人口論	社会史

特殊科目	専攻	専門領域
解析学 公共経済学 数理経済学 数理経済学特論 代数学 定量的マクロ経済学 メカニズムデザイン 経済学：理論と実践 組織の経済学 量子技術とマーケットデザイン 社会的選択理論 社会科学基礎論 経済統計 人工知能入門 スタートアップとビジネスイノベーション トークンエコノミーの理論と実践	データサイエンス・コンサルティング データ駆動型ファイナンスと資本市場戦略 計量経済学方法論 日本経済思想史 近代日本と東アジア 東欧経済史 経済史 日本経済史各論 現代日本経済史 東南アジア経済史 アジア経済史各論 近代東アジア経済史 中東イスラーム経済史概論 経済と環境の歴史 社会福祉論 公共私による新しい福祉価値の創造	ビジネス・エコノミクス 実験経済学 農業経済論 金融資産市場論 経済政策のミクロ分析 企業金融論 NPO 経済論 政策評価の理論と実践 ファイナンス論 メディア報道と経済政策 格差と援助の経済学 マクロファイナンス論 EU と日本の経済関係 国際経済と行動経済学 貿易政策 経済発展論
		都市と地域のモビリティ産業論 サステナビリティ論 戦争と社会 財政社会学 日本史料講読 簿記 グローバル人材マネジメント EU 競争法 応用ファイナンス ファイナンス特論 財政論 グローバル化の経済学 フィナンシャルマネージメントとレポートがけ 資源経済・環境と政策 専門外国書講読 演習

研究会 専門教育科目担当の各教員が、それぞれの専門分野について指導する少人数クラスで開講されるコースです。原則として2年間同じ教員のもとで学び、卒業論文を作成します。

研究プロジェクト 学生が自らテーマを設定し、専任教員の指導のもと、1年かけて論文を執筆する個人研究のコースです。

PCP FINANCE, POLICY AND THE GLOBAL ECONOMY
INDEPENDENT STUDY



新時代を見据えたプログラム

英語のみで学ぶPEARLプログラム

経済学部は、4年間一貫して英語で経済学を学ぶ9月入学のプログラム

「Program in Economics for Alliances, Research, and Leadership (PEARL)」を設置しています。

PEARLは、しっかりとした経済学の知識を基礎に語学力を生かして世界を舞台に活躍する、先導者の輩出を目的としています。

定員は約100名で、日本人、外国人を問わず国内外から幅広く学生をプログラムに受け入れます。

■ 入学選考

オンライン出願による審査のみで、学力を判定するためのIB、もしくはSATの成績、英語能力を測るためのTOEFLまたはIELTSの結果、そして、各人の志望動機や適性を見定めるための志望理由書、2分動画などをオンラインで提出してもらい、これらを総合的に評価して可否を決定します。面接や独自の筆記試験はありません。

参考までに2025年度の入学選考では、のべ863名の出願があり、217名が合格しました。

その内訳は、男女別では男性が97名、女性が120名、国籍別では日本国籍が80名、外国籍が137名でした(p.155参照)。

■ カリキュラム

履修タイプB(経済実態・歴史先習型)と同じです(p.19参照)。

授業はすべて英語で行われますが、日本語を母語としない学生のために集中的に日本語を学べる授業も提供します。

■ HEC 経営大学院との学部・修士5年プログラム

フランスのパリにあるHEC経営大学院と提携して、PEARLの学生を対象とした学部・修士5年プログラムを展開しています。

このプログラムでは、学部の最初の3年間を慶應義塾で学んだ後、渡仏してHEC経営大学院で2年間学び、

合計5年間で学士(経済学)と修士(経営学)の学位を取得できます。

専門性を磨く2つの履修プログラム:「DEEP」&「FACTS」

専門教育の3つの柱「研究会」「研究プロジェクト」「PCP」(p.17、p.20参照)に加え、

データサイエンスに関する「DEEP」(Data-driven Economics and Econometrics Program)と、

フィールドリサーチに関する「FACTS」(Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects)の

2つの履修プログラムを提供しています。社会的な要請の高い分野の人材を育成します。

国際性を育む教養プログラム:「第二外国語プラス!」

第二外国語学習を起点にその言語圏の文化・社会について集中的に探求し、

複言語・複文化社会への対応力を身につける履修プログラムです。

海外教育機関とのダブルディグリー・プログラム

経済学を基本とする教養を備え国際的に活躍できる人材を育てるため、経済学部では海外の教育機関と提携してダブルディグリー・プログラムを行っています。現在の提携校は、フランスのパリ政治学院とイタリアのボッコニ大学です。



■ パリ政治学院

1872年に創設されたグランゼコール（フランス独自の高等専門教育機関）のひとつで、歴代の大統領・首相をはじめ、フランスの政財界ばかりでなく、国際機関にも数多くの人材を輩出してきました。

■ ボッコニ大学

イタリアのミラノにキャンパスを持つ
1902年創設の伝統校で、
イタリアで初めて経済学部を設置した大学です。



経済学部から派遣されるダブルディグリー・プログラムの参加者は、在学中に提携校に一定期間（パリ政治学院ル・アーヴル校には2年間、ボッコニ大学には1年間）留学し、両校の修了要件を満たすことにより、卒業時に慶應義塾と提携校の2つの学位（学士）を取得します。異文化に身を置き、意識の高い仲間とともに、複数の言語を用いながら学生生活を送るという経験は、一生の財産になります。将来、国際的な舞台で活躍したいと考えている人はぜひ積極的に応募してください。

さらに、これらのダブルディグリー・プログラムに加えて、経済学部では半年から1年の交換留学プログラムを多数の海外教育機関と提携して実施しています（p.112参照）。

学部・修士5年プログラム

3年間慶應義塾に在籍し、その後の2年間で海外の提携校に在籍します。所定の要件を修めた経済学部生が慶應義塾大学の経済学士号と海外提携校の修士号を取得できます。現在の提携校はフランスのパリ政治学院とHEC経営大学院（HEC経営大学院はPEARL生のみ対象）、イタリアのボッコニ大学、米国のブランダイス大学、およびスティーヴンス工科大学、ドイツのケルン大学です。

文理連携の教育

学問の専門化が行き過ぎ、あまりにも理科系の知識にとぼしい文科系大学卒業者が増えています。このような問題を解決するため経済学部では、キャンパスが比較的近い東京科学大学と単位互換制度を設け、必要に応じて理科系の知識も学べるようにしています。この制度と連携して慶應義塾の大学院経済学研究科には東京科学大学の修士号も取得できるジョイント・ディグリー制度もあります。

学生の声



最高峰の経済学の学びを、 多様性あふれる仲間とともに

■自身の価値観を広げられる慶應義塾

私が高校までを過ごした地方では、同じような境遇の人としか関わる機会がありませんでした。そこで、様々なバックグラウンドを持つ学生が日本全国から集まる慶應義塾大学に進学すれば、自身の価値観を広げることができるのではないかと考えました。経済学部を選んだのは、高校時代に日本経済の衰退を痛感する出来事があり、不景気の原因を探りたいと考えたからです。

入学してみると、私のように地方から上京してきた人や、海外経験が豊富な人、都会で小学校から私立校に通ってきた人など様々な人が在籍していることを実感します。多様性あふれる仲間から日々たくさんの刺激を受けながら、最高峰の経済学の学びに取り組んでいます。

■経済学的な思考を研究会で身につける

現在は、国レベルの大きな視点で経済をとらえる、マクロ経済学を専門とする研究会に所属しています。3、4年生を合わせて50人ほどが在籍しており、授業はディスカッションが中心です。学生が自分で導いた結論に対して、経済学の権威である先生が意見をくださいます。そのような活動を通して、経済学的な思考や経済事象を論理的に説明する能力を身につけていきます。

研究会は交友関係を広げ、深める場でもあります。サークルや部活動などの所属団体にとらわれず、個性豊かな人たちと出会い、自然に親しい関係を築くことができます。

■留学生とともに英語で学ぶ機会も

4年間英語のみで経済学を学ぶプログラムであるPEARL(p.21参照)が設置されていることも、経済学部の魅力です。PEARL生でなくても、PEARLで開講される授業を受講することが可能で、留学生たちとともに英語で授業を受けることができます。

私も一年生のときに、PEARLの(物理学)を履修して授業を受けました。英語に触れる貴重な機会になりましたし、何より留学生の友人ができたことが嬉しかったです。

■体育會準硬式野球部での最高の思い出

また、私は体育會準硬式野球部に所属しています。体育會は、スポーツを通して慶應義塾が掲げる「気品の泉源・智徳の模範」となるような、未来の先導者の育成を目指している組織です。私たちが大会での日本一を目指すと同時に、人としても日本一の野球部になることをスローガンに掲げて活動しています。その成果として、全国ベスト4を達成した瞬間は最高の思い出です。体育會には、意外にも、大学からそのスポーツを始める人や、強豪校出身ではない人も多く所属しています。

大学では、高校時代までは想像もつかなかった学びや経験、交友関係が皆さんを待っています。受験勉強は辛いことも多いと思いますが、ぜひ合格をつかみ取ってください。体育會への入部もお待ちしています。

経済学部3年 A.K.(岐阜県・県立岐阜高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



学問を「生きたもの」として 感じさせてくれる先生方

■理系の強みを活かせる学びのステップ

私が経済に興味を持ったのは、コロナ禍がきっかけでした。高校入学とともに休校が決まるような状況下で、社会の停滞を目の当たりにし、社会全体を支える基盤としての「経済」を学びたいと思いました。

自分の得意分野は「理系」、教科でいうと数学でした。この強みを活かし、数量的な分析により社会の動きを読み解く経済学のスタイルに興味を持ちました。しかし、経済学部を「文系」とする日本では、入学当初から数学的な視点で経済を学べる大学は少ないという現状があります。その中で慶應義塾大学経済学部は、経済理論や数学を先に学べるコースがあり(p.19参照)、自分の興味に応えてくれました。

■企業との共同研究も行える研究会

経済学部の強みの一つは、経済学の様々な分野で高い評価を受けている先生方のもとで学べる点です。教科書の内容にとどまらず、最前線の研究や実社会と結びついた知見に触れることができるので、学問を「生きたもの」として感じるができます。

研究会では、統計解析を基盤に、マーケティングと行動経済学を組み合わせた学術的な研究に取り組んでいます。権威ある先生が指導、同じ研究会の大学院生がサポートしてくださる環境は、この上ないものだと思います。特徴的なのが、企業との共同研究を行えることです。学部生のうちから実際の企業が蓄積した「生のデータ」を分析し、先方とディスカッションしながら研究を進められることは得がたい経験です。

■自分にはなかった視点に触れる刺激

学生の多様性も大きな魅力です。出身地や興味関心、将来の目標など様々なバックグラウンドを持つ学生との日々の交流の中で、自分にはなかった視点に数多く触れることができます。地方出身で、狭いコミュニティにいた私には非常に刺激的な環境です。

課外活動は、「慶應アンサンブルファミーユ」というポップスオーケストラサークルの活動に力を入れています。演奏面だけでなく、運営面も学生主体で行う点に特徴があり、演奏会の企画から当日の進行管理まで、すべて自分たちで作ります。チームとしての協働も育む活動を通じ、「仲間」という一番の財産を得ることができました。

■行動経済学の学びで深まる「人」への興味

今後の目標は、様々な「人」と関わりながら、関わった「人」それぞれにとっての価値を届けられる存在になることです。そのように考えるようになった理由の一つは、行動経済学を学んだ経験です。“人は必ずしも合理的に行動するわけではなく、理屈だけでは説明できない選択をする”ことを学び、人そのものへの興味を持ちました。

大学生になると、自分で選べる「自由」が増えていきます。その第一歩として、受験についても自分自身の選択で、充実したものを勝ち取って欲しいです。心から応援しています。

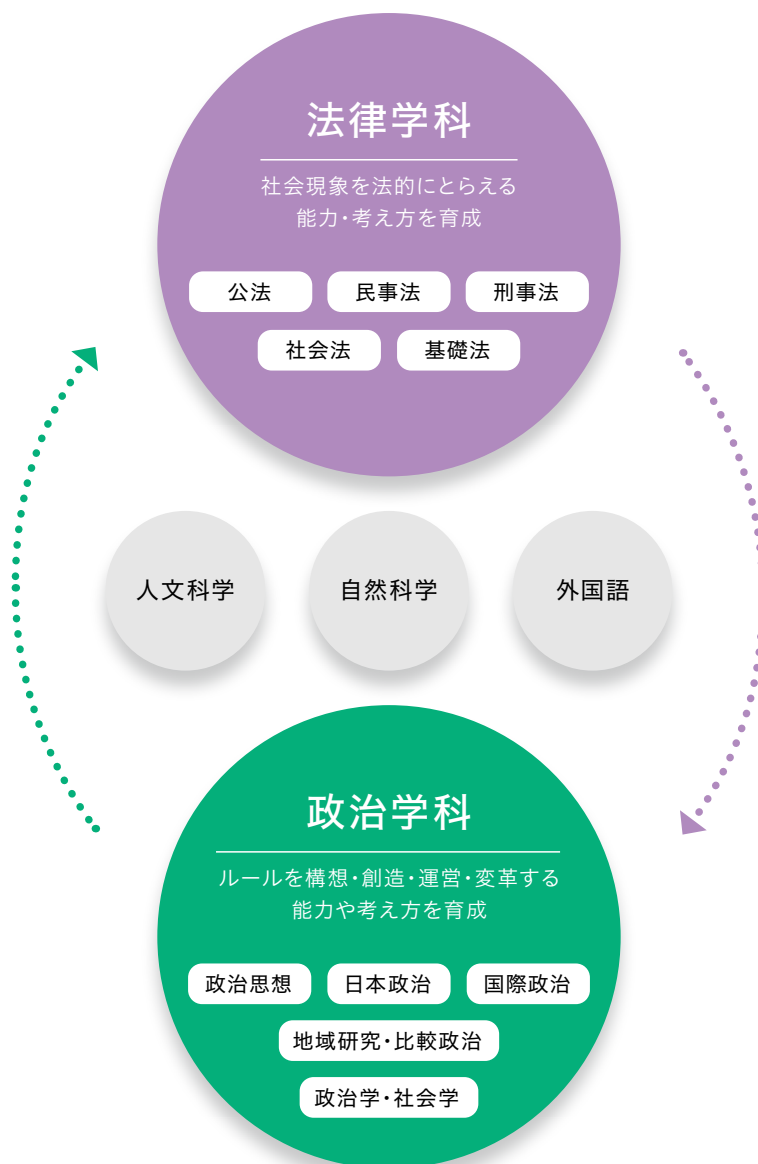
経済学部3年 A.S.(石川県・金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 出身)

法学部

Faculty of Law

法律学科・政治学科

複雑な社会現象を考察する、2つのアプローチ



社会は法律と政治との連携のもとに形作られている

法学部法律学科・政治学科では、
社会を構成する制度や事象を多角的かつ客観的な視点で深く理解する力、
さまざまな利害対立の解決を導くのに必要となる論理的思考をする力、
あるべき社会を実現するために主体的に発信・行動するための力を養成します。

<https://www.keio.ac.jp/ja/law/>



時代の要請に応える取り組み

多彩な専門科目の展開と自主的な履修プログラムの構築

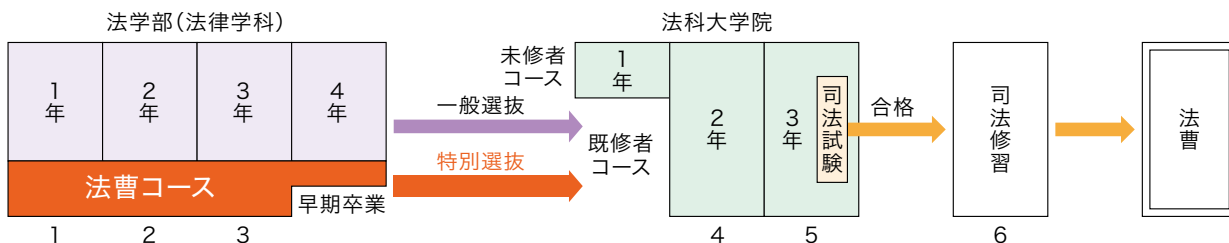
法学部・政治学の専門的な知見を幅広く獲得し、社会の成り立ちや現象をさまざまな視点から探究できるよう、専門科目が数多く開講されています。自由度の高いカリキュラムとなっており、それぞれの興味・関心、あるいは卒業後の進路にあわせた科目選択をし、自主的に履修プログラムを構築することができます。

社会で活躍できる人材の育成

両学科とも、法律や政治に関する専門的知識を得るだけでなく、大局的な視点から物事をとらえる能力、論理的に思考する能力、説得的に議論を展開する能力など、社会で活躍するために必要となる素養を磨くための教育が行われています。そのために、自ら思考し、発信し、議論をするための少人数教育が多彩に展開されているのも、法学部の特徴の1つです。社会を対象とする学問であるだけに、法学部生は、卒業後、社会のさまざまな分野から求められ、活躍しています。就職先は、金融、技術サービス、製造、情報通信といった民間企業のほか、法律・政治の専門を活かし、法曹実務家、マスコミ、国際機関、国家公務員といった仕事に就く人も少なくありません。

法曹コース

法律学科に設置された法曹コースは、学部と法科大学院の教育を連動させることにより、法曹になるための力量を高い次元で獲得できるようにする教育プログラムです。法曹コースを優秀な成績で修了すると、特別選抜で法科大学院に進学することができ、3年で学部の課程を終える早期卒業制度を利用すると、大学入学から最短6年で法曹になることができます。



外国語教育の強化・多様化

法学部では、外国語の授業を1年次から4年次まで、各人のレベルに合わせながら継続して履修し、語学力を強化することができます。とくに徹底して外国語を学びたい人のために、週4回の少人数クラスで高度な外国語能力を養成するインテンシブコースが設けられています。また、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語、アラビア語を選択できるほか、イタリア語、ラテン語、ギリシャ語、ポルトガル語等を第3外国語として学ぶこともできます。

幅広い知見と視点の獲得—副専攻制度

法学部・政治学に関する高度の専門性をもつ「スペシャリスト」であることに加え、幅広い知識をもつ教養人である「ジェネラリスト」としての素養も兼ね備えた人材の育成をめざしています。法学部・政治学の主専攻と並行して、人文科学や自然科学の領域を副専攻として学ぶことのできる制度も用意されています。

4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

1

学年

外国語、人文科学、自然科学、社会科学、そして法律学・政治学を学び、基礎知識を形成する。

2

学年

1年次の科目に加え、法律学・政治学の専門知識を深める。

日吉キャンパス

個性派・国際派学生の育成

共通科目

外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語、アラビア語
※選択必修外国語は2年次までに履修 ※各語種インテンシブコースの選択も可

人文科学科目 言語学、地域文化論、文学、歴史、科学史、論理学、倫理学、宗教学、哲学、音楽、漢文、美術、

自然科学科目 物理学(実験を含む)、化学(実験を含む)、生物学(実験を含む)、基礎数学、心理学、基礎統計学、

体育科目 体育実技、体育学講義、体育学演習

社会科学科目

法学(憲法を含む)(必修)、経済学、政治学、社会学、地理学、近代思想史

法律学科目

導入科目

法学の入門的な科目、法律学全体の基礎となる科目

基幹科目

さまざまな法律のなかで基幹となるものを扱う科目

展開科目

応用的・先端的な法律を扱う

法律学科

少数教育科目

法学演習、各種主要科目の演習、研究会(ゼミナール)、法務演習(法曹コースに独自の授業)など

自主選択科目

他学科・他学部等の設置する科目

社会科学科目

社会学系列(社会学、文化人類学、社会心理学)、

法学系列(法学、憲法、民法、行政法、国際法、刑法、商法、労働法、経済法、犯罪学)、

経済学・商学系列(経済原論、経済政策、財政論、国際経済論、金融論、経済史、経営学、会計学、労働経済論、

政治学科

政治学科目

必修基礎科目

政治思想基礎、政治理論基礎、日本政治基礎、地域研究・比較政治基礎、国際政治基礎

系列科目

政治思想論系列、政治・社会論系列、日本政治論系列、地域研究・比較政治論系列、国際政治論系列

少数教育科目

研究会(ゼミナール)、演習、文献講読、特殊研究

自主選択科目

他学科・他学部等の設置する科目

3
学年

さらに、法律学・政治学、それぞれの分野を学ぶと同時に、研究会に所属し、研究活動を進める。

4
学年

研究会の集大成として、卒業論文を作成する。

三田キャンパス

※その他、イタリア語、ラテン語、ギリシャ語、ポルトガル語を履修できる

人文科学特論など

自然科学研究会、自然科学特論など

科目、実定法を支える基礎法学の科目、発展的な学習をするための科目

社会保障論、計量経済学、日本経済論

取得できる学位

法律学科、政治学科：学士(法学)

学びの中心となる 研究会

研究会(ゼミナール)では、少人数の仲間と共に、ひとりの教員から2年間にわたって直接の指導を受けます。最終的には自分の問題・関心に基づいたテーマを選び、卒業論文にまとめます。研究会の選抜は、2年次秋学期に実施されます。

共通科目の特色

- 1 語学力、異文化理解能力、異文化コミュニケーション能力の向上を目指します。
- 2 基礎的、学際的な理解力を養うため、人文科学、自然科学、社会科学科目が充実しています。

詳細は
p.28、p.30へ

多彩に展開される 専門科目

専門的知見を身につけ、法律学、政治学のエキスパートとして通用する学生を育てるため、法律学科、政治学科のカリキュラムは、それぞれ充実した専門科目群を擁しています。専門科目の履修は1年次から始められ、基礎から応用へと段階を踏んで学べるように構成されています。また、多彩な科目群から、各人の興味と関心に応じた履修選択も可能となっています。

法律学科 設置科目

3つの区分を設け、法律学を体系的に修得

法律学の専門科目は、「導入科目」、「基幹科目」、「展開科目」という3つのカテゴリーに分類されており、基本・基礎的な科目から応用的な科目へと段階をふんで学習をすすめることができるようになっています。法律学の基礎をしっかりと固めたうえで、自分の関心のある分野について集中的に勉強、研究することにより、法律学の総合的な素養に加えて専門的な知識を修得することが可能となります。

どの法分野を学ぶ上でも基礎となる憲法・民法・刑法を1・2学年に重点的に配置しており、応用分野・先端分野を学ぶ際にも無理なく取り組むことができます。

研究会(ゼミ)では、学問を通じた教員と学生との人間関係を大切にしています。

分 野		科 目				
社会科学科目		法学Ⅰ・Ⅱ(憲法を含む)(必修) 政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、近代思想史Ⅰ・Ⅱのうち2科目選択必修				
法律学 科目	導入科目	必修	憲法(総論・人権)Ⅰ・Ⅱ	民法(総論)Ⅰ・Ⅱ	刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ	
		選択必修	国際化と法	法制史概論	法文化論	
	基幹科目		憲法(統治)Ⅰ・Ⅱ	刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ	民法(物権法)Ⅰ・Ⅱ	民法(債権各論)Ⅰ・Ⅱ
			会社法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	支払決済法Ⅰ・Ⅱ	民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ
			行政法総論Ⅰ・Ⅱ	行政救済法Ⅰ	所得税法	労働法Ⅰ
			経済法Ⅰ 知的財産法Ⅰ	民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ	国際法Ⅰ	国際私法Ⅰ
展開科目		日本法制史	東洋法制史	西洋法制史	ローマ法	
		法社会学Ⅰ・Ⅱ	法哲学Ⅰ・Ⅱ	法思想史	行政救済法Ⅱ	
		行政組織法Ⅰ・Ⅱ	行政作用法各論	企業税法	資産税法	
		租税法総論	国際租税法Ⅰ・Ⅱ	労働法Ⅱ	経済法Ⅱ	
		比較競争法	国際経済法	社会保障法Ⅰ・Ⅱ	刑事政策(犯罪者処遇論)	
		刑事政策(刑事制裁論)	被害者学	国際刑事法	法医学	
		民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ	消費者法	会社法Ⅳ	企業法総論	
		企業取引法	保険法Ⅰ・Ⅱ	金融商品取引法	倒産法Ⅰ・Ⅱ	
		民事執行・保全法	国際民事手続法	国際法Ⅱ	国際武力紛争法	
		国際海洋法	国際私法Ⅱ	国際取引法	英米法Ⅰ・Ⅱ	
		ドイツ法Ⅰ・Ⅱ	フランス法Ⅰ・Ⅱ	ラテンアメリカ法	知的財産法Ⅱ	
		環境法Ⅰ・Ⅱ	情報法	医事法Ⅰ・Ⅱ	政治学Ⅰ・Ⅱ	
		社会学Ⅰ・Ⅱ	経済政策Ⅰ・Ⅱ	経済原論Ⅰ・Ⅱ	財政論Ⅰ・Ⅱ	
		金融論Ⅰ・Ⅱ	会計学Ⅰ・Ⅱ	経営学Ⅰ・Ⅱ		
演習科目		研究会(法律学科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ				
		法学演習	刑法演習	憲法演習	民法演習	
		国際私法演習	商法演習	行政法演習	租税法演習	
		刑事訴訟法演習	民事訴訟法演習	国際法演習	刑事政策演習	
		外国法演習	基礎法学演習	社会法演習	法制史演習	
		知的財産法演習	環境法演習			
法曹コース 独自科目		法務演習Ⅰ(憲法・民法・刑法)	法務演習Ⅱ(憲法Ⅰ)	法務演習Ⅱ(憲法Ⅱ)	法務演習Ⅱ(民法Ⅰ)	
		法務演習Ⅱ(民法Ⅱ)	法務演習Ⅱ(刑法Ⅰ)	法務演習Ⅱ(刑法Ⅱ)	法務演習Ⅱ(会社法)	
		法務演習Ⅲ(憲法)	法務演習Ⅲ(民法)	法務演習Ⅲ(刑法)	法務演習Ⅲ(会社法)	
		法務演習Ⅲ(民事訴訟法)	法務演習Ⅲ(刑事訴訟法)			

学生の声



慶應義塾ならではの強みは、 三田法曹会との連携にも

■ 専門分野の学びと幅広い学びの両立

私は、法律を専門的に学びつつも、幅広い教養を身につけたいと考え、慶應義塾大学法学部法律学科に進学しました。法律に興味はあったものの、具体的にどのようなことを学びたいかが明確でなかった私にとって、どの法分野においても第一線で活躍する先生方がいらっしゃるという環境は非常に魅力的でした。

また、外国語や社会科学、自然科学などを幅広く学べる仕組みがあることも、魅力の一つだと感じていました。専門分野以外について学ぶことは、物事を多角的にとらえる上で有用で、将来の進路を問わず必要な能力を培うことができると考えました。

■ 多角的な視点の重要性を再認識

興味深かった授業は、法曹コース独自科目の一つである〈法務演習II (民法I)〉です。特に印象に残っているのは、条文や判例の文言に当てはまるかどうかを検討すれば、事例が解決するのではないという学びでした。具体的な事例であればあるほど、双方の主張の背景にある「生の意見」が見えてきます。「生の意見」を踏まえた妥当な結論を導くためには、多角的な視点が欠かせないことを再認識させてくれました。

また、三田法曹会という同窓組織と連携して、法曹実務家の先生のお話を授業で拝聴できることは、慶應義塾大学ならではの強みではないかと思います(p.3「社中協力」参照)。進路に迷っているとき、実際にその進路で活躍されている方のお話を直接伺えたことは、リアルな雰囲気を感じることにつながるもので、ありがたかったです。

■ サークル活動は挑戦の機会でもある

一方で私は、「十八人会」という法学部生が多く所属するサークルで運営に携わっています。そこでは、将来の進路を考える上でどのような機会があるとか、仲間と協力して考え、弁護士事務所の見学会やロースクールに通う先輩のお話を聞く会を企画しました。

サークル活動は高校までの部活とは異なり、予算や行事について学生だけで決めることができます。それだけ責任が伴いますが、やろうとすれば何でもできる自由度があり、何かに挑戦したい人にとっては絶好の機会・環境なのではないかと思います。

■ 一生をかけてでも取り組みたい仕事

将来は、国家公務員総合職として警察庁に勤務したいと考えています。犯罪や事故、災害などから国民を守るためにはどうすればよいかを考え続ける職業です。後悔しないよう熟考した上で、一生をかけてでも取り組みたいと思ったのがこの仕事でした。法的・論理的な思考を活かし、「生の意見」を意識した形で問題の解決に尽力したいです。

慶應義塾大学には、学びたいことを学び、挑戦したいことに挑戦できる環境が整っています。大学でやりたいことにも思いを馳せながら、その未来へ向けて頑張ってください。応援しています。

法学部法律学科2年 M.N.(東京都・開成高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



法学分野にとどまらず、 興味のあることは何でも学べる

■ 法を学ぶことは世界を学ぶこと

私は高校時代に模擬市長選挙に出馬し、政策立案を行う経験をしました。その際に、世の中の仕組みは法によって決まっていることを実感し、「法を学ぶことは世界を学ぶこと」であると考えようになりました。それが法学部への進学を志した理由です。

慶應義塾大学を目指したのは、同じ部活でリーダーシップを発揮していた先輩が入学されたことがきっかけです。「何にでもチャレンジできるし、自分の世界も広がる。入ってよかった」と話す先輩に触発され、私も努力して同じ大学で学びたいという思いが強くなっていきました。

■ 分野の異なる2つの研究会に所属

慶應義塾大学の法学部は、法学分野にとどまらず、興味のあることは何でも学べる環境であることが一番の強みだと思います。1・2年生で学んだ人文科学や自然科学の分野を3年生になっても継続的に深めることが可能です。私は、研究においても分野の異なる2つの研究会に所属し、日々実りある学びを得ることができています。

1つ目は憲法学の研究会です。「家族と憲法」というテーマで、春学期は同性婚訴訟の判例発表を行いました。2つ目はパフォーマンスアーツを研究する人文科学研究会です。私は幼い頃からミュージカルがとても好きなのですが、単なる愛好家で終わらせないという思いから、「日本産ミュージカルの世界規模での発展可能性」をテーマに、他国の演劇ビジネスとの比較研究を行っています。

■ 目標へ向け努力を重ねる友人たちの刺激

様々なバックグラウンドを持つ仲間に出会えることも大きな魅力です。私は法律サークルの「十八人会」に所属しているのですが、目標へ向け貪欲に努力を重ねる友人たちに日々刺激をもらっています。

また、学外活動として、大手興行会社が企画するプログラムに参加し、オリジナルミュージカルの脚本執筆に励んでいます。最年少参加者ということで周囲との経験値の差に悩みこともありましたが、作家・作曲家の先生からノウハウを教えていただき、ミュージカル愛を胸に必死に食らいついています。2025年にはオリジナル作品の上演を行い、多くの観客に見ていただけたことはとても貴重な経験になりました。

■ 日本の演劇界に新たな風を吹かせたい

将来は、日本産のミュージカルを世界中に広めたいです。大学入学を機に司法試験を目指そうと思っていましたが、上京して演劇作品に触れる機会が増える中で、演劇に携わることを諦めたくないという思いが強くなりました。日本の演劇界に新たな風を吹かせる人間になるために、学業とともに創作活動の継続に全力で取り組んでいます。

受験のプレッシャーに押しつぶされそうになることもあると思いますが、高い目標を持ち、後悔しない努力を重ねていけば、その道こそがあなたの正解になります。自分を信じて歩み続けてください。

法学部法律学科3年 M.Y.(福岡県・福岡雙葉高等学校 出身)

政治学科 設置科目

幅広い領域を5系列に分け、政治学を多角的に研究

カリキュラムは、共通科目に加え、政治学科目(必修基礎科目、系列科目)、社会科学科目から構成されています。

現代の政治学が対象とする学問領域は、きわめて広範かつ複雑です。

そのため、政治学科目(系列科目)は、大きく5つの系列に分かれており、地球規模での

政治・社会の動きを、思想、歴史、理論、実証研究など、多様な視座から学べるカリキュラムとなっています。

系列は、「政治思想論」、「政治・社会論」(政治学・行政学と社会学・メディア論)、

「日本政治論」、「地域研究・比較政治論」、「国際政治論」に分かれ、さまざまな科目が設置されています。

また研究会(ゼミ)、演習、文献講読、特殊研究といった少人数授業を重視して、

教員と学生との人間関係を大切にしています。

分野	系列	科目			
社会科学科目	社会学系列	社会学(必修)	文化人類学Ⅰ・Ⅱ	社会心理学Ⅰ・Ⅱ	
	法学系列	法学(憲法を含む)(必修) 国際法 労働法Ⅰ・Ⅱ	憲法(必修) 刑法 経済法Ⅰ・Ⅱ	民法Ⅰ・Ⅱ 商法ⅠA・B 犯罪学Ⅰ・Ⅱ	行政法 商法ⅡA・B
	経済学・ 商学系列	経済原論Ⅰ・Ⅱ(必修) 金融論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	経済政策Ⅰ・Ⅱ 経済史Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ	財政論Ⅰ・Ⅱ 経営学Ⅰ・Ⅱ 計量経済学Ⅰ・Ⅱ	国際経済論Ⅰ・Ⅱ 会計学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ
政治学科目 (必修基礎科目)		政治思想基礎 国際政治基礎	政治理論基礎	日本政治基礎	地域研究・比較政治基礎
政治学科目 (系列科目)	政治思想論	政治文化論 日本政治思想史Ⅰ・Ⅱ	政治哲学Ⅰ・Ⅱ 近代政治思想史Ⅰ・Ⅱ	政治理論史Ⅰ・Ⅱ 現代政治思想Ⅰ・Ⅱ	民主主義思想論Ⅰ 東洋政治思想史Ⅰ・Ⅱ など
	政治・社会論	行政学Ⅰ・Ⅱ 地域社会論Ⅰ・Ⅱ 社会変動論Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	政治過程論Ⅰ・Ⅱ 社会調査論Ⅰ・Ⅱ メディア社会論Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション発達史Ⅰ・Ⅱ など	社会階層論Ⅰ・Ⅱ 現代政治理論Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ	公共経済論Ⅰ・Ⅱ 現代社会理論Ⅰ・Ⅱ
	日本政治論	古代日本政治史Ⅰ・Ⅱ 日本行政史Ⅰ・Ⅱ	近代日本政治史Ⅰ・Ⅱ 近代日本政党史Ⅰ・Ⅱ	戦後日本政治史Ⅰ・Ⅱ 現代日本行政論Ⅰ・Ⅱ	日本外交史Ⅰ・Ⅱ 日本政治運動史Ⅰ・Ⅱ など
	地域研究・ 比較政治論	現代アメリカ論Ⅰ・Ⅱ 現代韓国朝鮮論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 現代アフリカ論Ⅰ・Ⅱ	現代ロシア論Ⅰ・Ⅱ 現代ラテン・アメリカ論Ⅰ・Ⅱ 中国法制史	現代中国論Ⅰ・Ⅱ 現代中東論Ⅰ・Ⅱ 現代台湾論	中国政治史Ⅰ・Ⅱ 現代東南アジア論Ⅰ・Ⅱ 西洋法制史 など
	国際政治論	現代国際政治Ⅰ・Ⅱ 現代韓国朝鮮論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	日本外交史Ⅰ・Ⅱ 国際政治経済論Ⅰ・Ⅱ	西洋外交史Ⅰ・Ⅱ 開発援助政策論Ⅰ・Ⅱ	現代ヨーロッパの国際関係Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ政治史Ⅰ・Ⅱ など
	研究会(ゼミ)・ 文献講読・ 演習等	研究会(政治学科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 文献講読Ⅰ・Ⅱ 特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 演習Ⅰ・Ⅱ			

学生の声



政治学の枠を越え、多様な専門性を備えたジェネラリストへ

■ 慶應義塾の先生方と意見を交わしたい

私は小学生の頃から法学に対して多大な興味があり、将来はその知識を活かせる、もしくは関連する職業に就きたいと考えてきました。その後、高校で「地政学」や「国際政治学(史)」といった分野に出会い、政治学に強く惹かれるようになりました。

たくさんの書籍を読む中で、特に面白いと感じた数冊には慶應義塾大学の先生方が関わっておられました。豊富な資料とデータに基づく研究、広範な要素を一つひとつ丁寧に簡約されていることに驚くばかりでした。入学すれば、このような先生方の講義を受け、意見を交わせるということは大きな魅力でした。

■ 政治現象の計量分析を行い論文に

入学後は政治学だけでなく、プログラミングや統計学も学んできました。それは、政治や社会についてデータに基づく研究を行いたいと考えたからです。実際、私の所属する研究会では一人ひとりが興味のある政治現象や社会問題の計量分析を行い、その学術的・創造的発見を論文として発表しています。分析に際しては、先生が学生目線で一から指導していただき、学生も学年の壁なく教え合います。OB・OGの方々との関わりも深く、卒業後もネットワークを広げることができます。

1年次から4年次まで、継続して複数の外国語を履修することもできます。私はアラビア語やインドネシア語などの珍しい言語も学び、今では現地のニュースメディアに触れることもできています。

■ 文理を問わない幅広い学びの機会

興味関心のある科目を履修し、他分野についての専門性も備えたジェネラリストになれるのは、政治学科ならではの感覚です。私自身「考古学・民俗学」や「外国語」、「情報工学」など、他学部や研究所の科目を文理を問わずに履修し、幅広い学びの機会を得ています。他学部の学生との交友関係も築けるので、新たな視点の獲得や学際的な研究にもつながっています。今後は、将来目指している業界と関連性が深い機械学習などAI技術について学びを深めたいです。

また、豊富な蔵書数を誇るメディアセンター(図書館)も魅力です。先生が講義で取り上げた名著から、友人との会話で話題に上った小説まで、気になった書籍をすぐに借りることができる、知的想像力の探求に最適な環境があります。

■ 社会とのつながりも広がるサークル活動

一方で私は、文芸サークルに所属しています。部員それぞれが作品を持ち寄って部誌を制作し、学園祭やワークショップを開催する際に販売します。企業から声をかけていただきイベントに参加することもあり、社会とのつながりも広く持つことができます。

慶應義塾大学は多様な研究心・学習意欲に応えてくれる場所です。皆さんの夢の実現を心より願っています。

法学部政治学科3年 A.H.(愛知県・南山高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



各分野の第一人者の先生から学べる、恵まれた環境への誇り

■ 法律と国際政治の両方を学べる

私は様々な大学のオープンキャンパスに参加する中で、法学部の模擬講義を受けて法律の面白さに触れ、法律を学びたいと思うようになりました。一方で、海外に住んでいた経験や、世界史の授業で国際政治に興味を持ったことから、政治学への関心も捨てきれませんでした。

2つの分野のどちらを選ぶべきか悩んでいたとき、慶應義塾大学のホームページで、法律科目の必修がありながら国際政治の授業も豊富に揃う「政治学科」の存在を知りました。法律と国際政治の両方を学べる環境に強く惹かれ、慶應義塾大学を志望することを決意しました。

■ 自分で問いを立てて研究する力を養う

3年生からはアメリカ政治の研究会に所属し、少人数での活発な議論や先生との個別面談など、高校では得られない密度の濃い指導を受けています。自分で問いを立てて研究を進める力が身につく、交友関係も広がるなど、研究会に所属してよかったと思っています。

さらに、法律学科の授業も履修できるため、私は春・秋を通じて国際法を学んでいます。春学期の国際法演習では、現役の外交官の方による「外交実務の視点からの考察」というテーマの授業を受講しました。法律への関心を突き詰められることはもちろん、関心分野に近い友人と出会い、切磋琢磨することもできます。

■ 多様な学生と関わるができる強み

学部には各分野の第一人者の先生が数多くいらっしゃいます。新聞を読んでいて出会うことも度々あり、日々更新される国内政治や国際政治のニュースについての見解を授業で伺えることもあります。このような恵まれた環境で学んでいることを誇りに思っています。

また、学生の多様性も強みの一つだと思います。帰国子女や地方出身者、内部進学者、サークルや体育会に所属している人、学外活動を頑張っている人など、高校までの交友関係とは比べ物にならない、多種多様なバックグラウンドを持つ人々と関わるすることができます。新たな価値観に触れながら送る学生生活は、とても刺激的です。

■ テニスや勉強会のサークルでも活動

私は高校で硬式テニス部に所属していたこともあり、大学でもサークルでテニスを続けています。慶應義塾大学には多くの大学公認テニスサークルがあるので、自分に合ったサークルを選ぶことができます。また、勉強会のサークルにも所属しています。外交や法律、公務員試験の勉強をしている学生団体で、勉強会のほか、法律事務所や中央省庁、大使館の訪問、講演会など、様々なイベントを開催しています。

受験勉強は大変だと思いますが、乗り越えた先には、頑張ってきたと思える環境が待っています。じっくり吟味して、心から行きたいと思える大学や学部を見つけてください。その選択が慶應義塾大学法学部政治学科であれば、とても嬉しく思います。

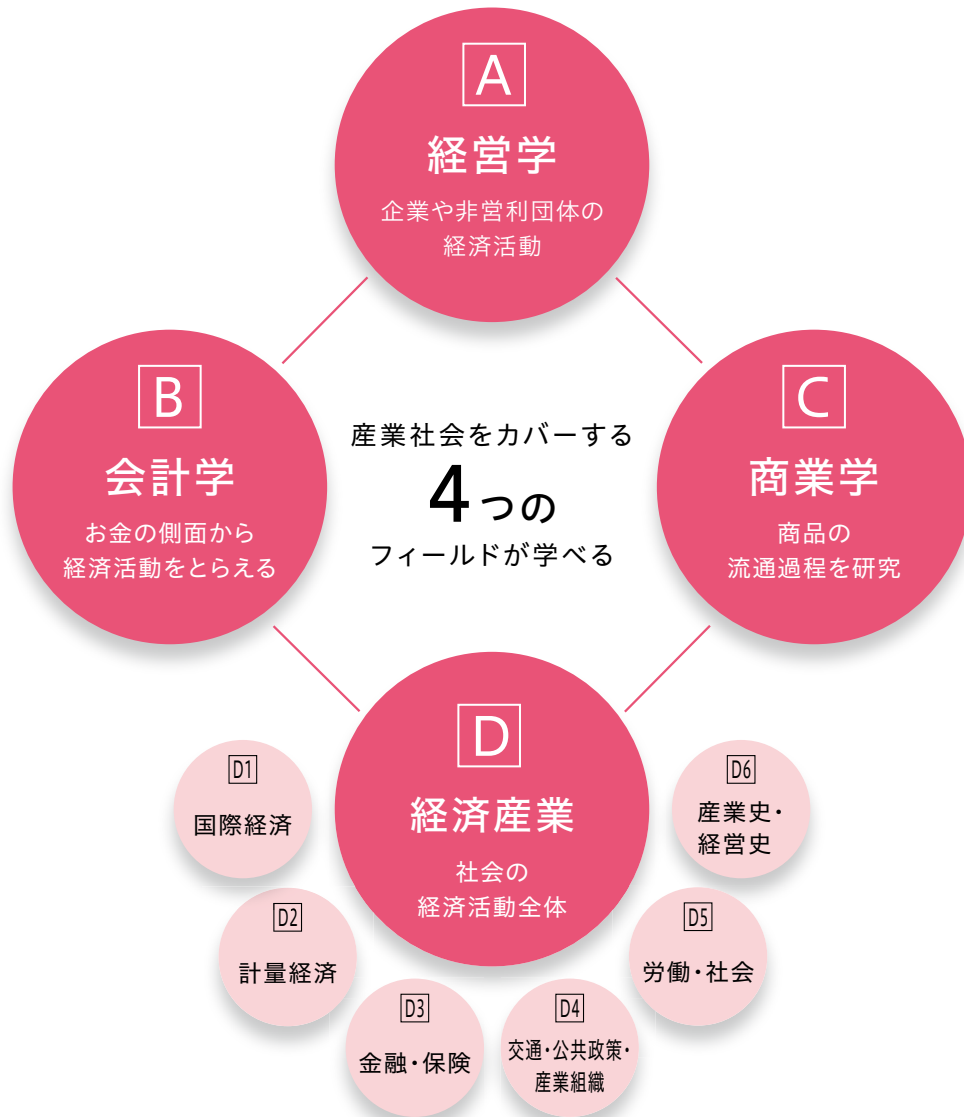
法学部政治学科3年 A.N.(東京都・都立西高等学校 出身)

商学部

Faculty of Business and Commerce

商学科

福澤諭吉の「実学」の理念を産業社会の科学として継承・実現



産業社会の発展に貢献できる リーダーを養う

理論的かつ実証的な観察・分析を通じて
現代の産業社会が抱える問題を自らの力で発見し、
解決案を提示し、実行するための能力、
および高い倫理観と責任感を兼ね備えたリーダーを養います。

<https://www.keio.ac.jp/ja/fbc/>



カリキュラムのコンセプト

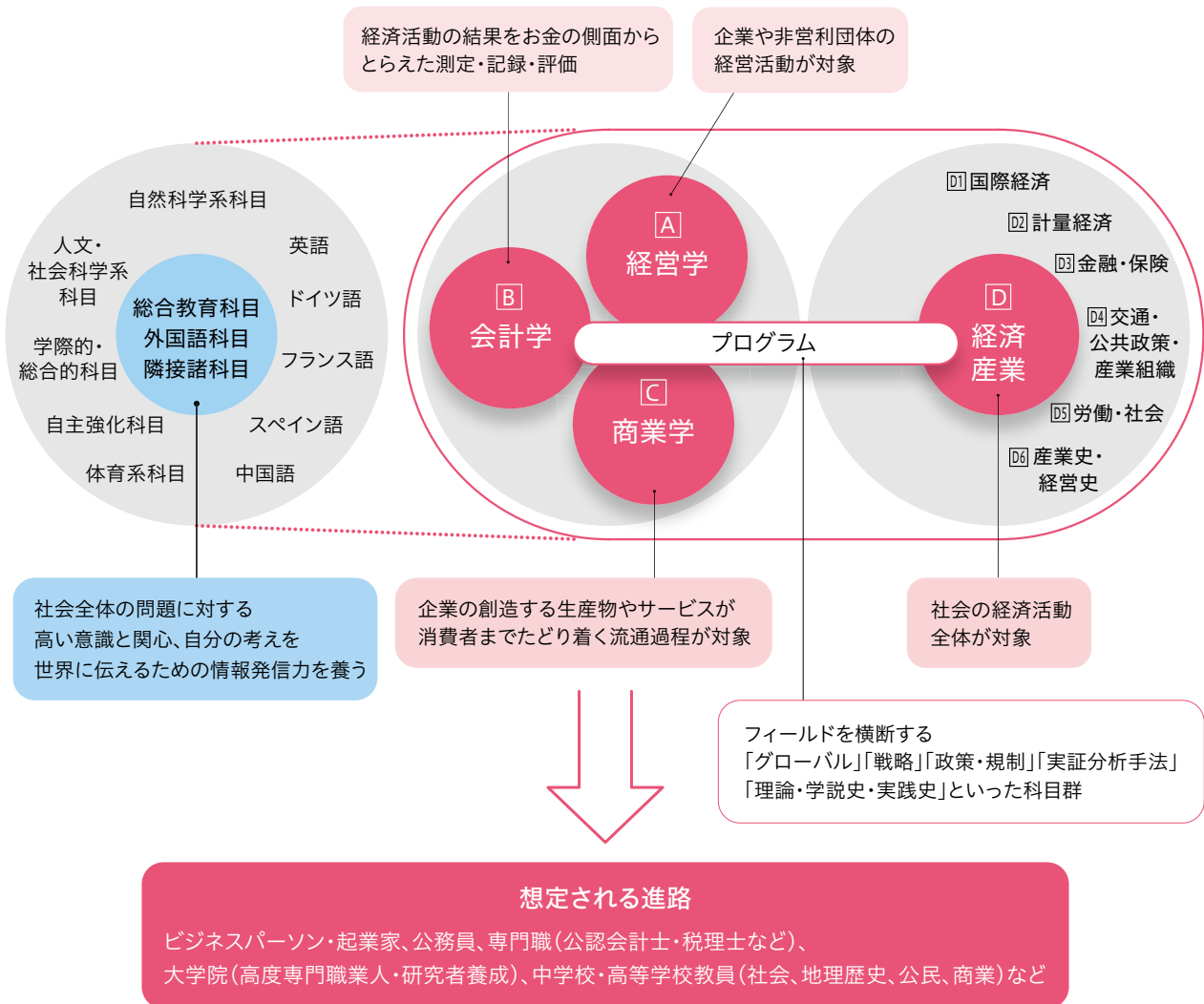
将来の目標に合わせ体系的に履修をデザイン

商学部の学問のコアは、経営、会計、商業、経済産業という大きな4つのフィールドから構成されています。これらのフィールドは相互に補完的な関係にあります。学生は4つのフィールドを柱として専門性を培うとともに、各自の知的関心と希望する将来の進路にそって、自主的かつ個人的に専攻分野や科目を選択し、履修することが可能です。また、フィールドの垣根を超えた横断的課題を体系的に履修するためのプログラムとして、グローバル、戦略、政策・規制、実証分析手法、理論・学説史・実践史も用意されています。

興味・関心と専攻分野選択の例

例えば、トップ・マネジメントの意思決定プロセスに関心があれば経営学フィールドを中心に、また公認会計士を目指すなら会計学フィールドを、あるいは流通・広告に興味があるのなら商業学フィールドを中心に履修できます。また、グローバルなビジネス環境に興味を持つ学生が経済産業フィールドから国際経済関連科目を中心に履修することも考えられます。一方、広範な視野の中で問題発見と問題解決の知的な鍛錬を希望するなら、ひとつのフィールドに偏らず、例えば、データや事例に基づいて定量的・定性的なエビデンスを導出する各種ツールを習得できるプログラム「実証分析手法」から幅広く科目を選んで学ぶこともできます。

〈カリキュラムのコンセプト〉



4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

1
学年

総合教育科目、外国語科目とともに商学の基礎となる科目、数学などを学ぶ。

2
学年

1年次の対象領域に加え、商学の専門知識を広げていく。

日吉キャンパス

さまざまな教養を高め
判断力を養成する

総合教育科目

- I類 自然科学系科目
- II類 人文・社会科学系科目
- III類 学際的・総合的科目
- IV類 自主強化科目
- V類 体育系科目

} 4年間を通して学べる

世界に向けたコミュニケーション力を養う

外国語科目

英語

ドイツ語

フランス語

中国語

スペイン語

※2カ国語履修 ※自主強化科目および専攻・関連演習科目として外国語中・上級のクラスがある

商学の基礎を固める

基礎科目

I類(基礎必修科目) 経営学基礎、商業学基礎、経済学基礎Ⅰ・Ⅱ、会計学基礎、微積分基礎、統計学基礎

II類(基礎選択科目) 微積分、線形代数、確率論、ゲーム理論基礎、統計学、経済史Ⅰ・Ⅱ、私法

専門の基礎をつかむ

専攻科目

I類(専攻選択必修科目)

経営学(組織と戦略)、経営学(企業をめぐる諸問題)、会計学(財務会計論Ⅰ)、会計学(財務会計論Ⅱ)、会計学(管理会計基礎)、商業学(マクロ・マーケティング)、商業学(ミクロ・マーケティング)、経済学(マクロ経済学)、経済学(ミクロ経済学)

II類(専攻選択科目)

監査論、原価計算基礎、応用簿記Ⅰ・Ⅱ、企業法Ⅰ・Ⅱ、産業経済論a・b

商学関連科目



3
学年

大半の学生が研究会(ゼミナール)に所属し、大学での活動が研究会を中心に進む。

4
学年

専門性を追求し、研究会の集大成として、卒業論文を作成。

取得できる学位
学士(商学)

三田キャンパス

学部、修士課程を 5年間で修了する道

3・4学年での修士課程
設置科目の先取り履修と、
修士課程の早期修了制度を
組み合わせることで、
学士号、修士号の両方を
5年間で取得することができます。

基礎力を身につける

経済学・統計学・数学といった
基本的な理念および
分析ツールの学びや、
経済社会の時間的・空間的な視点、
経済社会を規定する
法体系の学習など
4フィールドを学ぶうえでの
土台となる科目です。

詳細は
p.33、p.36へ

フィールド(専門領域)とプログラム(専門横断的課題)を軸に、体系的に知をみがく
III類(専攻フィールド選択科目)

フィールド

A]経営

B]会計

C]商業

01]国際経済 02]計量経済 03]金融・保険
04]交通・公共政策・産業組織
05]労働・社会 06]産業史・経営史

プログラム(グローバル、戦略、政策・規制、実証分析手法、理論・学説史・実践史)

半学半教の伝統でじっくり学ぶ
IV類(専攻フィールド演習科目)

研究会(ゼミナール)

研究演習

専門外国書研究

GPP Passport Members' Workshop

幅広い教養を演習形式を中心に学ぶ
商学関連科目

国際教養演習
外国語演習
社会数理各論

法学各論
経済学史Ⅰ・Ⅱ

教授会が適当と認める授業
科目(他学部設置科目含む)
または商学部設置科目のうち
商学関連科目として
履修申告したもの

4フィールド9分野

1・2学年で培った幅広い教養や
総合的な判断力を活かし、
各専門分野の多くの科目を
組み合わせて学びます。

2年間のゼミナールで 研究に集中

「半学半教」の伝統を色濃く
受け継ぎ、少人数制で
専門的な知識を学びながら
自らの考えを形成し、
議論する訓練をします。

設置専攻科目一覧

	分野	科目例		
A	経営	企業経営や組織についての理論的また方法論的研究だけでなく、現代日本の企業に対する実証的・計量的研究を含めた広範な問題を扱っています。そこで扱われるアプローチもアメリカ経営管理論からドイツの経営経済学にまでおよんでいます。	マネジメント各論	
	B	会計	洋式簿記の最初の紹介者である福澤諭吉を祖として、その伝統を守っています。財務会計、管理会計、会計監査を対象に、国際的、戦略的、歴史的観点から取り上げています。	会計史Ⅰ・会計史Ⅱ 財務会計各論 会計監査各論 管理会計各論 会計史各論
	C	商業	商品やサービスを中心として起こる市場の問題を、理論的・経験的に解明することを目指しています。その対象は、マーケティング意思決定、流通・小売、広告・コミュニケーション、サービス、消費者行動等々にまでおよんでいます。	マクロ・マーケティング論 マクロ・マーケティング各論 ミクロ・マーケティング論 ミクロ・マーケティング各論 マーケティング学説史 マーケティング史
D	経済産業	D1 国際経済	国際化の時代において、世界経済と日本経済の関係がより密接かつ多面的になる中、貿易、資本移動、技術移転、国際通貨制度といった諸問題を理論的・実証的に解明し、政策提言を図ります。	国際経済学Ⅰ・国際経済学Ⅱ 国際経済学各論 世界経済論Ⅰ・世界経済論Ⅱ 世界経済各論 国際金融論Ⅰ・国際金融論Ⅱ 国際金融各論
		D2 計量経済	理論とデータを使って企業や家計の行動を定性的・定量的に分析し、社会の変化に対応した市場や政策の在り方を考察します。	応用経済学各論：マクロ 応用経済学各論：ミクロ 経済政策各論 経済統計各論 計量経済学各論
		D3 金融・保険	金融の分野は、個々の経済主体の金融問題から国民経済全体の貨幣的側面まで幅広く研究対象を包摂します。保険の分野は経済的保障のうちでもっとも重要な保険制度を対象とし、その制度の経済的、機能的、数理的な諸側面が分析の対象になります。	金融論Ⅰ・金融論Ⅱ 金融各論 保険学Ⅰ・保険学Ⅱ 保険学各論 リスク・マネジメント各論
		D4 交通・公共政策 産業組織	資本主義経済における望ましい市場競争のあり方－競争と独占－を究明することを目指します。また、交通などの公益事業を取り上げ、政府規制の在り方を分析の対象とします。	産業組織論Ⅰ・Ⅱ 産業組織各論 交通経済論Ⅰ・Ⅱ 交通経済各論 公共政策各論 財政学Ⅰ・Ⅱ 財政学各論
		D5 労働・社会	仕事と暮らしの経済学です。具体的には個人の就業行動、企業の雇用行動、それらが調整される労働市場の分析です。またその中での労使関係、組織心理、さらに仕事と暮らしを社会的に支える社会保障などについても考えます。	労働経済学Ⅰ・労働経済学Ⅱ 産業関係論Ⅰ・産業関係論Ⅱ 産業関係各論 産業社会学Ⅰ・産業社会学Ⅱ 産業社会学各論 組織心理学 a・組織心理学 b 社会保障論Ⅰ・社会保障論Ⅱ 社会保障各論
		D6 産業史・経営史	経済生活の歴史を産業発展、経営活動、金融といった個別の視点からとらえ、解明していくことを目指します。	産業史 産業史各論 経営史 経営史各論
グローバル		Global Passport Program(GPP)におけるコースワークとして英語で実施される科目例です。大学院修士課程レベルの内容を扱う科目を中心に、経営、会計、商業、経済産業分野から提供され、理論の修得と知的レベルの向上を目指します。		
		Advanced Academic Writing for Undergraduates Advanced Studies in International Finance Business and Strategic Management in Asia Choice Analysis Technique Consumer Psychology in Global Markets Domestic Tax Law (Comparative Studies on Tax Systems) Economic Analysis Economic Growth e-Marketing Essentials of Regression Analysis Using R Financial Econometrics Global Responsibility and Leadership Health Economics IFRS Basic International Economics: Empirical Studies on Trade and FDI International Landscape of Development and Stabilization International Tax Law Introduction to Time Series Analysis with R Introduction to Management Strategy Japanese Economy Macroeconomic Aspects of Public Finance Managerial Economics Microeconomics of Taxation Organizational Architecture Spatial Economics Stochastic Calculus, An Introduction with Application Theoretical Study on Development, Trade and Environment The Role of Culture in Communication		

「世界の」未来を先導する志のために

Global Passport Program (GPP)

経済産業界が急速にグローバル化する現在、「世界の」未来を先導するためには、より広い視野で世界の事象を理解し分析できる高い知的レベル、世界レベルの課題に果敢に取り組むチャレンジ精神などが求められています。商学部では、「世界の」未来を先導する志に応えるとともに、このような志を持つ学生を多く育むために、全学部の3・4年生を対象に英語で提供する選抜型プログラム「Global Passport Program」を実施しています。その目的は、「グローバルに活躍する人材に求められる高い知的レベル、チャレンジ精神、自立心や多様性に対する理解度を育む教育の実践」にあります。

■ 3つの特徴を持つカリキュラム

① 専門性の高いコースワーク

大学院修士課程レベルの内容を扱う科目を履修し、高度な専門知識を英語で学びます。

② 理論と現実の接点を強く意識したワークショップ (Passport Members' Workshop)

外部(または塾外)の専門家講師による少人数のゼミ形式授業を履修し、理論に即して現実の問題を解決するプロジェクトに取り組みます。コースワーク、ワークショップともに多くの留学生在履修しており、三田キャンパスにいながら「留学空間」を体験し、世界の多様性を学ぶことができます。

③ 経験知を学ぶアクティビティ

キャンパス内外での活動を通じ、世界に通じる道を体験し経験知を蓄積していきます。具体的には、グローバル企業の工場見学や国際機関や企業のリーダーとして活躍するゲストを招いての講演会、海外での約1週間の短期研修を実施しています。

GPPプログラムに参加するには、各学期に実施する選考に応募し合格する必要があります。

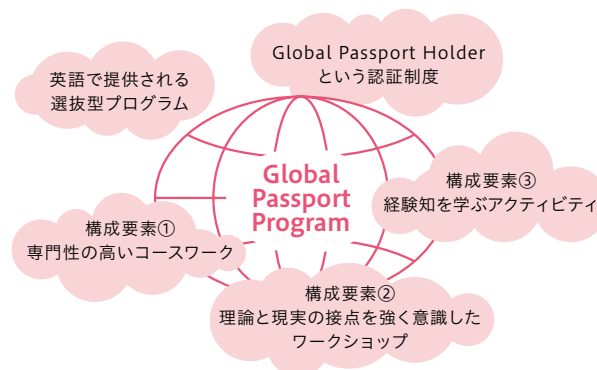
選考は、英語試験結果 (TOEIC、TOEFL iBT、IELTS)、

GPA (成績評価) および自己PR動画を用いて行い、

上位40名を選抜します。

修了要件を満たした学生には、塾長ならびに商学部長より

Global Passport Holderとしての認証が授与されます。



応用力を強化する

「国際教養プログラム」「数理科学プログラム」

専門分野である商学以外にも何か一つ、自分の興味がある分野を自主的かつ系統的に学べるように、

1・2年次からはじまる「プログラム」が用意されています。「自分は大学でこれを学んだ」という

得意分野をアピールできるよう、4年間を通しての体系的な学習を支援するカリキュラムです。

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語の各言語圏に設置されている

「国際教養プログラム」と、数学を中心とする「数理科学プログラム」があります。

「国際教養プログラム」では、語学力だけでなく、各言語圏の歴史や文化に関する知識と理解を深めます。

「数理科学プログラム」では、論理と数字に対する知力を養い、社会活動と結びつく応用的スキルを身につけます。

所定の条件を満たし、プログラムを構成する授業から必要単位を取得した学生には「認定証」が発行されます。



国際的なビジネスに従事する能力を高める 「ダブルディグリー・プログラム」

商学部では、海外名門大学とダブルディグリー・プログラムの協定を結んでおり、現地の大学でさまざまなバックグラウンドを持った優秀な学生とともに学び、切磋琢磨する機会を提供しています。当プログラムに参加することによって、2つの学位を取得することが可能です。

※当プログラムに参加するには、所定の書類審査と面接試験に合格する必要があります。
※2025年度実績

■ 北京大学光華管理学院

本プログラムは、商学部生(3・4年生)が日本代表学生として、世界中の名門ビジネススクールから派遣された学生と共に、北京大学のビジネススクールに2年間留学して、英語での双方向型授業を受講することによって、慶應義塾大学と北京大学の両方から学位を取得できるものです。

卒業後の進路

国内外の組織リーダーとして活躍

商学部の卒業生数は、学部創設以来6万人を超えます。この卒業生たちは現在、経済界を中心に国内外を問わず広範な分野で積極的に活躍しています。

公認会計士試験 大学別合格者数、51年連続1位

公認会計士試験の大学別合格者数では51年連続1位となっています。本学出身の会計士による結びつきは強く、公認会計士三田会が組織され、研修の実施など活発な活動を行っており、心強い存在です。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1位	慶應義塾大学(178名)	慶應義塾大学(187名)	慶應義塾大学(165名)	慶應義塾大学(171名)	慶應義塾大学(177名)
2位	早稲田大学(126名)	早稲田大学(109名)	早稲田大学(128名)	早稲田大学(131名)	早稲田大学(149名)
3位	明治大学(72名)	明治大学(86名)	明治大学(101名)	明治大学(81名)	明治大学(81名)

学生の声



大きな目標を持って、活動に取り組める研究会

■ 幅広く学んでから興味がある分野へ

私は高校の頃からビジネスに興味がありました。将来、社会人となり活躍するためには、学術的知見はもちろん、やはり実務的な学びが重要になるのではないかと考え、商学部を目指しました。

その中でも慶應義塾大学商学部のカリキュラムは、経営学、会計学、商業学、経済産業という4つのフィールドから構成されていて(p.33、p.36参照)、幅広い分野を包括的に学べるところが魅力でした。最初から一つの分野に絞るのではなく、幅広く学んでから興味がある分野へと進める仕組みが、好奇心旺盛な私にはピッタリだと感じました。

■ 課題解決に寄り添ってくださる先生

研究会では、マーケティングと消費者行動について研究しています。テーマ設定から分析、その後の新規立案まで、グループで主体的に取り組んでいます。つまづいた際には、先生が課題解決へ向け同じ立場に立って共に考え、私たちの成長に寄り添ってくださいます。社会へ出てからも、研究で培った論理的思考力を活かしていきたいです。

また、私たちの研究会は、外部の大会に出場したり、海外での研究発表に参加したりと、常に大きな目標を持って活動に取り組めることが魅力です。大変なことも多いですが、その分楽しいことも多く、非常に充実した日々を過ごすことができている。これらの活動を通して一生物の仲間ができたとも思っています。

■ 一人ひとりとの出会いが魅力的

周りは様々なバックグラウンドを持つ人ばかりなので、一人ひとりとの出会いが魅力的で、自分の世界が日々広がっていく感覚です。学生の数が多くは知っていましたが、授業やサークルでこんなに多くの人との関わりができるとは思っていませんでした。

商学部ならではの長は、やはり学べる分野が多岐にわたることでしょうか。先に述べた4つのフィールドはもちろん、私は企業に関する法律などについても学んできました。実務的に役立つ幅広い知見を身につけられることが強みだと思います。

■ 子ども食堂の運営に携わった貴重な経験

私は1年生の時から、サークル活動の一環として、大学での子ども食堂の運営に携わってきました。自分たちで一から企画を作り上げることは私にとって初めての挑戦で、常に新鮮な気持ちで取り組むことができました。大学の食堂の方々や地域の子どもたちと交流することもでき、非常に貴重な経験になりました。

入学してから、今までの当たり前が更新され続け、自分の視野が広がっていると感じています。皆さんは今、受験生として悩むことも多いと思いますが、自分の目標を達成できる大学選びをしていただければと思います。その中で慶應義塾大学を選んでいただけたら嬉しいです。その先には、楽しく充実した学生生活が待っています。

商学部3年 M.H.(栃木県・県立宇都宮女子高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



自分の世界を広げてくれる、“思いがけない出会い”

■ 自分の興味をとことん追究できる環境

私は、ビジネスの仕組みを解明したいという思いから商学部を志望しました。きっかけは、何気ない売り場の風景が、実は計算し尽くされたマーケティング戦略のもとに成り立っているものだと知ったことです。理論と実務が結びつく面白さを、より深く追究したいと考えるようになりました。

慶應義塾大学商学部を選んだのは、学べる領域の広さと、自分の興味を深められる環境が非常に整っていると感じたからです。マーケティング分野だけでも、広告・流通・消費者行動など細かな領域を専門とする先生が揃っていて、「気づきや疑問をとことん追究したい」という気持ちを大切にできる点に、大きな魅力を感じました。

■ 様々なバックグラウンドを持つ仲間たち

商学部を選んでよかったと感じている理由は、自分の世界を広げてくれる“思いがけない出会い”がたくさんあることです。ここでいう“出会い”とは、学問に限らず、人との交流や、そこで得られる多様な価値観、さらには社会と関わる経験なども含まれています。

商学部は各学年に約1,000人が在籍しています。学年を越えたつながりも強く、他学部との活動も活発です。様々なバックグラウンドを持つ仲間と囲まれ、そこから生まれる“出会い”があるからこそ視野も広がり、本当に夢中になれることを見つけれたと感じています。

■ 多岐にわたる研究会活動での達成感

所属する研究会では、商業学(マーケティング分野)の中の広告論について研究しています。活動はグループワークが中心で、ディベート、ビジネスコンテスト、論文執筆、海外学会での発表など多岐にわたります。忙しい日々ではありますが、その分やり遂げたときの達成感は格別です。仲間との距離も近く、活動には全力で向き合い、議論では率直に意見を交わしつつも互いに支え合う、そんな雰囲気があります。

学生一人ひとりに真摯に向き合ってください先生方の存在も、大きな魅力です。研究の相談だけでなく、日常の悩みにまで耳を傾けてくださり、常に学生を第一に考えてくださる先生方に支えられています。

■ やりたいことに自由に挑戦できる

授業以外では、商学部ゼミナール委員会に所属し、研究会運営や広報活動を担当しています。50を超える研究会と所属学生が関わる大きな組織での仕事は責任も伴いますが、学部全体に貢献できる点にやりがいがあります。また、サークル活動や、インターン、資格勉強などの学外活動にも積極的に取り組みました。「やりたいことに自由に挑戦して自分を変えていける」のは、大学生活ならではの感覚です。

皆さんにとって今は、不安やプレッシャーを感じる時期かもしれませんが、しかし、努力した時間は必ず力になります。諦めずに頑張ってください。慶應義塾大学お待ちしております。

商学部3年 T.N.(神奈川県・横浜市立金沢高等学校 出身)

医学部

School of Medicine

医学科

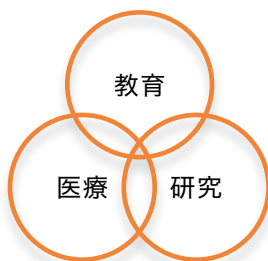
高い倫理観と実践力を、人類の福祉のために

5つの価値

— 医学部の基本思想 —

1

基礎臨床一体型
医学・医療の実現



Physician Scientistの育成

Physician Scientistとは、研究能力を備え、同時に豊かな人間性と深い知性を有し、確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して人類の福祉に貢献する医師のこと。

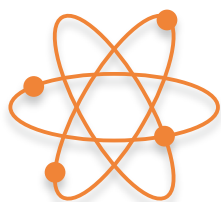
2

総合大学ならではの
多角的教育・研究



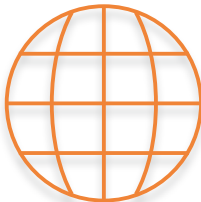
3

独自の医学・医療
ネットワーク



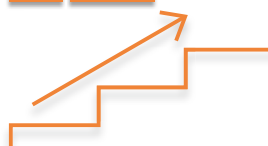
4

グローバルな
教育への取り組み



5

多彩な
キャリアパス



<https://www.keio.ac.jp/ja/med/>



グローバルな教育への取り組み

慶應義塾大学医学部は、さまざまな国際交流の機会を提供しています。最大のプログラムは、5年生が行う海外施設での臨床実習です(p.45参照)。2025年度には、学年の約半数にあたる60人の学生がアメリカやヨーロッパなど世界中の提携大学の医療機関に臨床留学をしました。現地の医学部生や他の国から参加した留学生と切磋琢磨しながら濃密な1カ月を過ごすことにより、学生達は大きく成長して帰国します。

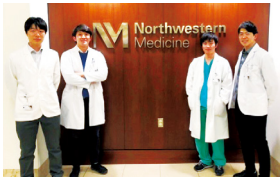
学生の研究活動の支援も積極的におこなっています。医学部では第3学年の研究室配属である「自主学習」(p.44参照)として、海外の研究機関で約4か月間の研究に取り組むことが可能です。2025年度は、ジョンズ・ホプキンス大学に3名、コロンビア大学に2名の学生を派遣しました。また、英語を公用語とする沖縄科学技術大学院大学(OIST)との交流も活発に行われています。2025年度は、International Research Summer Campで

20名の2年生が研究体験をし、6名の3年生が「自主学習」をOISTで行いました。

また、慶應義塾大学病院では海外からの医学部生に臨床実習の場を提供しています。2025年度は、北米、南米、欧州、アジア、オセアニアの国々から、多くの留学生を受け入れました。医学部生にとって、これらの海外学生との交流も貴重な機会となっています。

学生の課外活動による国際交流も活発に行われています。

文化や風土、生活環境の異なる地域での活動もまた医学部生の経験を豊かなものになっています。



臨床留学(米国 シカゴ)
外来や様々な手術を見学、充実した4週間



臨床留学(ドイツ ケルン)
他の国からの留学生も交えての食事会



課外活動(OIST)
International Research Summer Camp



自主学習(JHU)
4か月間を過ごしたジョンズ・ホプキンス大学の校舎前で

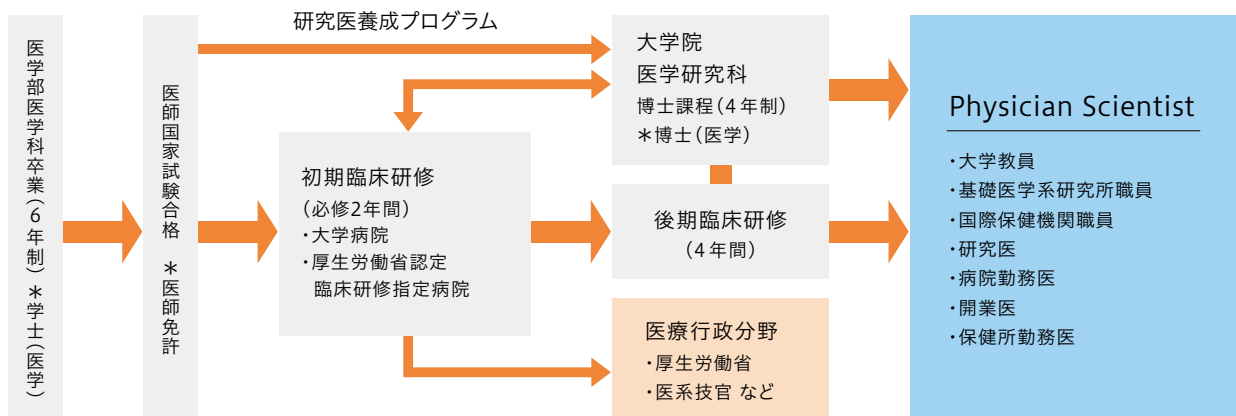
多彩なキャリアパス

進路

- 慶應義塾大学病院や臨床研修病院で、初期臨床研修医、後期臨床(専門)研修医として研鑽を積む。
- 大学院医学研究科に進学し、基礎・臨床医学分野の研究・教育に従事する。
- 厚生労働省などで医療行政に従事する。
- 海外の大学や医療機関など世界の最前線で研究や診療を行う。

上記のほかに、法律家や政治家、あるいは宇宙飛行士に至るまで、多様な分野で卒業生が活躍しています。

慶應義塾には、100を超える関連病院があり、連携活動を活発に行っています。





6年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

1
学年

日吉キャンパス(週1信濃町)

2
学年

信濃町キャンパス

3-4
学年 学年

メディカル・プロフェッショナリズム(MEP):プロフェッショナルアイデンティティを醸成していく科目

三学部合同教育初期

外国語(主に英語)

早期臨床体験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

行動科学Ⅰ

基礎教育

自然科学(情報科学会)
人文・社会科学

医学概論

基礎医学

分子生物学/医化学

基礎医学

解剖学
生理学
病理学
薬理学
免疫学
微生物学

社会医学

医療統計

行動科学Ⅱ

基礎・臨床医学統合

循環器・呼吸器・消化器・神経・
リウマチ/血液・腎内代

自主学習

臨床医学

社会医学

三学部合同教育とは

医学・看護・薬学の三学部合同による多職種教育(IPE)を実施しています。初期・中期・後期の段階別プログラムを通じ、学年に応じた目標のもと、混成チームでの協働学習を行い、患者中心のチーム医療を実践できる医療人の育成を目指しています。

早期臨床体験実習とは

臨床教育を受ける前の段階において、医療現場を体験する実習カリキュラムです。低学年から医療現場を体験することにより、医療現場への想像力を高め、医療のあり方や医師への動機づけを高めます。2027年度から、1年・2年・3年と連続した実習になります。



取得できる学位 学士(医学)

5-6

学年 学年

共用試験CBT/OSCE

共用試験Post-CC OSCE

三学部合同教育中期

三学部合同教育後期

臨床実習入門

行動科学III

海外
臨床実習
選択

地域
臨床実習
基盤型

アドバンスド
臨床実習
3週間

内科選択(×2)
外科選択
救急科
産婦人科
小児科
精神科
総合診療科
大学選択
自由選択

臨床実習
1週間

32科ローテーション

詳細は
p.44へ

医学概論とは

1年生に対し、信濃町キャンパスで開講される医学・医療の入門編の講義です。1か月に一度、信濃町の専門科目教員とのゼミナールを行います。

自主学習とは

3年生の7-10月に、研究室に配属し、教員とマンツーマンで、研究活動をおこないます。夏休みを含めれば、4か月間、研究に没頭できます。学内の研究室のみならず、海外や国内の学外施設での研究留学も可能です。

海外選択臨床実習とは

米国・欧州・アジア・豪州など国外の施設を中心に、半数以上の学生が4週間実習することで、海外の医療機関の実態を理解し、そこからみえてくる日本の医療を相対化します。国内実習も選択でき、郊外の医療機関で4週間の実習を行います。

積極的・能動的に研究に取り組む「自主学習」

「自主学習」は、学生が教員と直接マンツーマンに接しながら、積極的かつ能動的に研究に取り組むカリキュラムです。基礎および臨床医学の分野で設定された多彩な研究テーマの中から、学生自身が興味のあるテーマを選択し、3学年の4か月間、研究に専念します。2023年からは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)や、ジョンズ・ホプキンス大学などの学外施設、海外施設での「自主学習」も可能になりました。

研究が大きく進展することもあれば、試行錯誤に費やして終わってしまうこともあります。もちろん努力に応じた成功を成し遂げることは嬉しいことですが、それだけが「自主学習」の目的ではありません。思い通りに行かない経験や、準備不足で大きな失敗を招くなどの痛い経験も、学生の成長に必要なものであると考えているからです。

私たちが生命について分かっていることはごく一部です。そういった謙虚な気持ちで生命に接し、思考実験を繰り返し、実際に試行錯誤する。そうすることで生命の偉大さ、神秘さ、複雑さに触れる。この体験こそが、医学生物学研究の本質に触れることであり、慶應義塾の理念である実学の基礎となります。

「自主学習」が終わった後も研究を継続させ、指導教員との共同作業により、成果を学会で発表する学生もいます。さらなる努力を重ね、英文論文としてまとめる学生もいます。これらの自主的な作業を通じて、独立した一個人としてのさらなる成長を望んでいます。

学生の声

研究漬けの日々、世界との交流

パッチクランプ法という電気生理学の実験手法の習得の後、目的を持った実験を行いました。指導官の丁寧なご指導のもと、平日は研究漬けの日々を過ごしました。研究室外では、OISTのバレーボールクラブの練習に参加するなど、世界中からの学生や科学者と交流することができました。奨学金を含めプログラムを提供して下さった慶應義塾とOISTに感謝申し上げます。



[OIST(沖縄科学技術大学院大学)での自主学習]

異なる分野の考え方や手技を学ぶ

OISTでは π 共役ポリマーユニットというラボに所属し、未知なる有機化合物の合成をしました。私は医学から少々離れた研究室を選んだのですが、神経細胞の研究などの生物系のラボを選択することも可能です。医学とは異なる分野の考え方や手技を学び、最先端の研究と素晴らしい環境を体感することができました。短期インターンでしたが、非常に刺激的な2か月間でした。



[OIST(沖縄科学技術大学院大学)での自主学習]

自分で研究を組み立てる楽しさ

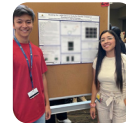
主体的かつ自立的な基礎研究活動の経験を経て、実験手技の習得に加え、疑問解決のために自分で研究を組み立てる楽しさを感じました。幅広い背景を持つ研究者とのディスカッションや会話の中で様々な意見に触れ、日々刺激を受けながら活動できました。研究に加え、米国の研究者や医師の働き方や医師の研究制度について知ることもでき、かけがえのない経験となりました。



[ジョンズ・ホプキンス大学での自主学習]

サイエンスに没頭した4か月間

医学部の手厚い支援のおかげで、世界トップのJHUでサイエンスに没頭した4か月間を過ごし、研究に対する考え方が成長したと感じます。数々のセミナーを聴講できた上に、最後には仕事内容を口頭発表する機会まで得られ、濃密な時間を過ごすことができました。また、アメリカのmedical schoolを目指す現地の学生とも親睦を深められ、互いに良い刺激を与えられたと思います。



[ジョンズ・ホプキンス大学での自主学習]

沖縄科学技術大学院大学(OIST)との連携プログラム

このプログラムは医学部を中心に2019年から開始され、医学部生のResearch Internshipへの派遣、理工学部を加えた両大学教員の研究紹介イベント「Showcase talk series」を開催しています。2023年度からは、学部3年生が医学部必修科目「自主学習」の学外派遣先として、OIST Research Internshipに参加しています。

世界各国へ広がる[臨床実習]

1984年にスタートしたこのプログラムでは、面接で選抜された学部の5年生が、希望する海外の病院にて1～3月期の約1か月間臨床実習を行います。

より多くの学生が本プログラムに参加できるように支援を進めており、派遣先は米国、英国をはじめ、スウェーデン、ドイツ、フランス、オーストリア、オーストラリア、中国、ブラジルなど世界各国へ広がっています。

また、このプログラムに参加する学生のために、外国人教員(医師)が渡航前に10回程度のPreparation Courseを開催し、英語での診療技術の獲得の機会を提供しています。

最近の派遣実績

コロンビア大学、ワシントン大学、ミネソタ大学、ノースウェスタン大学、ハワイ大学(以上、米国)、キングズ・カレッジ・ロンドン(英国)、カロリンスカ医科大学(スウェーデン)、ケルン大学(ドイツ)、リール大学、ソルボンヌ大学(以上、フランス)、エラスムス大学(オランダ)、インスブルック医科大学(オーストリア)、シドニー大学(オーストラリア)、北京大学(中国)、サンパウロ大学(ブラジル) 他

学生の声

モットーは“習うより慣れよ”

ドイツ・ケルン大学整形外科での実習で、現地の“習うより慣れよ”のモットーのもと、様々な手技の経験を積ませていただきました。また現地の医学生との交流を通して、文化や考え方の違いに触れることで、医学生・医師としての今後の在り方について考え直す貴重な機会となりました。

[医学部5年/留学先:ケルン大学]



多様性と寛容性の精神を育む

シドニー大学のRoyal North Shore Hospitalで臨床実習を経験しました。シドニーは人種が多様で、医療が人種に合わせて、適切に提供されていることが印象的でした。働き方や人々の価値観、生活の仕方など日本との大きな差異を感じ、多様性と寛容性の精神を育むことができました。

[医学部5年/留学先:シドニー大学]



視野が広がる新鮮な学び

ワシントン大学のアルツハイマー・センターで、最先端の臨床試験や日米の医療の違いを学びました。医療制度、患者さんや同僚とのコミュニケーション法など、すべてが新鮮で視野が広がりました。その後、日本にはない神経領域に特化したICUに私費留学し、神経疾患に対する集中治療の考え方を学び成長することができました。

[医学部5年/留学先:ワシントン大学(セントルイス)]



日本の医療との違いを学ぶ

キングス・カレッジ・ロンドンで手技や診療に学生として参加させていただきました。また、Major Trauma科(外傷外科)というNHS(イギリス国営医療制度)の最前線では、国営の医療制度の実際や人種的多様性を目の当たりにしました。日本の医療との違いを学ぶことができ、大変良い経験になりました。

[医学部5年/留学先:キングス・カレッジ・ロンドン]



ニーズに応える医学部独自の奨学金制度

医学部では、医学部独自の奨学金を豊富に用意し、慶應義塾全体の奨学金と併せて充実した体制で学生を支援しています。多くの学生が義塾全体の奨学金と医学部独自の奨学金からそれぞれのニーズに応じた支援を受けており、地方出身の学生も積極的に活用しています。

入学後に応募できる奨学制度

奨学制度名		種別	金額	募集期間	学年	奨学生(2025年度実績)		備考(対象など)
						申請者数	採用者数	
医学部人材育成特別事業奨学金 (国際活動支援奨学金)		給付	上限200万円	5-12月頃	1~6年生	37	36	国際的なフィールドで積極的に活動を行う学生
医学部北里柴三郎 未来人材育成基金		給付	渡航費の一部	9月	5年生	55	52	国際的な活動を積極的に行う医学部生(短期海外留学プログラム(臨床)に応募し、合格していることが条件)
医学部奨学基金奨学金		給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	35*	6	2年生以上に在籍し、次のいずれかの項目に該当する者。①学業優秀であり、かつ経済的援助を必要とする学生②社会的貢献が顕著、かつ経済的援助が必要な学生
医学部贈 医学基金	経済支援奨学生	給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	35*	17	2年生以上に在籍し、経済的困窮が要因となり就学・学業に支障が生じ、経済的援助を必要とする学生
	顕彰部門	給付	5万円程度	12月頃	4~6年生	5	1	①学術活動②文化芸術活動③スポーツ活動④社会貢献活動の多様な分野において、医学部学生の範となる特に優れた業績をあげた学生
	研究奨励部門	給付	5万円程度	12月頃	2~6年生	9	2	2年生以上に在籍し、研究経験を有する学生
医学部研究医養成奨学金		給付	上限100万円	5月頃	5,6年生	12	12	募集時点で5年生もしくは6年生に在籍しているMD-PhDコースの選択者
総合医学教育奨励基金奨学金 (医学部)		給付	上限100万円	10月頃	2~6年生	35*	13	2年生以上に在籍し、人物・学業・成績ともに優れ、課外活動にも意欲的で、経済的支援を必要とする学生
医学部教育支援奨学金		給付	上限5万円	1月頃	4年生	73	73	4年生向けに臨床実習に備えた奨学金

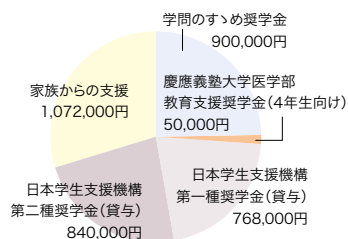
※3つの経済支援の奨学金をまとめて募集、全体採用者数30/35名

これまでの奨学金受給事例

【注意】過去5年間のデータ(学年は在籍時)に基づいた参考事例です。すべての奨学金(給付型)の併給を保証するものではありません。また、慶應義塾が提供するすべての奨学金は、成績・人物・経済状況などの選考があります。

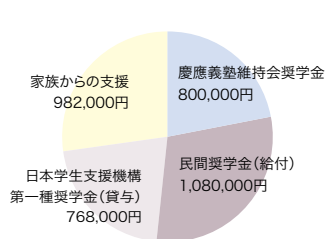
① 地方出身者で「学問のすゝめ奨学金」を利用した学生の例

[世帯収入500万円程度 九州出身 4年]



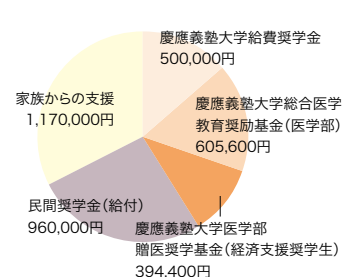
② 大学の奨学金と民間の給付型奨学金を活用した学生の例

[世帯収入600万円程度 関東出身 1年]



③ 成績優秀者の例

[世帯収入700万円程度 関東出身 5年]



詳細や最新の情報はウェブサイトをご覧ください。
なお、全学部共通の奨学金は、p.117をご参照ください。



慶應義塾大学奨学制度



医学部奨学金

学生の声



1年次から医学の専門分野に触れ、 高まるモチベーション

■ コロナ禍を経験し医学部を目指す

私は中学3年生のときにコロナ禍を経験し、人の生活の根本を支える医療の重要性に改めて気づきました。中学・高校を通して理系科目に関心を持っていたこともあり、自分も医療に携わりたいという思いから医学部を目指す決心をしました。

慶應義塾大学を志望したのは、高校3年生の夏に参加したオープンキャンパスの模擬講義が非常に興味深く、このような授業を受けたいと思ったことがきっかけです。早速1年次に、模擬講義をしてくださった先生の授業を受ける機会があり嬉しかったです。色々な学問分野に触れて多様な人と関われる、総合大学であることも魅力でした。

■ 高校時代とつながる学び、異なる学び

授業全体を振り返ると、物理・化学・生物の実験が興味深く、特に物理学実験では受験のために勉強した数々の理論を実体験でき、高校の学びとのつながりを感じられて楽しかったです。多くの一般教養科目の中から自由に選択できる日吉キャンパスでの授業は、高校までの学びとは異なり、自分の興味を追究できる貴重な体験でした。

医学部の先生の専門分野についてお話を聞ける授業も印象に残っています。1年生という早い時期から医学の様々な分野に触れられたことは将来を考えるきっかけになり、モチベーションが高まりました。

■ 部活のやりがい、サークルで広がる交友関係

仲間たちは、勉強はもちろん、運動、研究、プログラミングなど様々なことに力を入れている人が多く、熱意とエネルギーにあふれています。1年間過ごしてみて、一貫校出身者の集中力の高さや時間の使い方の上手さには驚きました。私とは異なる経験を持っている彼らと、お互いに学び合えることが多くあると思います。

また、慶應義塾大学医学部は部活動が盛んですが、私は大学から馬術を始めました。先輩方の丁寧な指導のおかげで日々の練習や試合で少しずつ成長を感じられてやりがいがあります。医学・歯学・薬学系の他大学との連携も進んでいます。さらに、総合大学だからこそ築ける人間関係も大切にしたいと考え、全学部生対象のオーケストラサークルにも所属しています。多様な仲間との活動は、交友関係と視野を広げる貴重な機会になっています。

■ 将来へ向けて見聞を広める6年間に

将来は模索中ですが、患者さんやそのご家族の心理や境遇を理解し効果的な診療を行うためには、多くの知識や経験が必要なので、幅広い人間関係を築き見聞を広める6年間にしたいです。

ここには、仲間の刺激を受けながらお互いを高めあえる環境があります。受験勉強は粘り強さが必要で大変ですが、周りの友人と励まし合い、焦らず自分なりのペースで、時に自分に合った息抜きをしつつ頑張ってください。応援しています。

医学部1年 M.K.(神奈川県・日本女子大学附属高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



様々な活動に打ち込む、 エネルギーあふれる仲間からの刺激

■ 多くの先輩方の素晴らしいサポート

私は地方出身で、大学進学にあたっては様々な情報やリソースが集まる東京に出てみたいという思いが強かったです。医学部の中で慶應義塾大学を選んだ一番の理由は、在校生・卒業生ともつながりがとても強く、良い刺激が得られそうだと感じたことです。

入学してからは、実際に多くの先輩方から素晴らしいアドバイスやサポートをいただき、慶應義塾大学が長きにわたり継承してきた、人々の交流や協力体制の歴史を実感しています。

■ 妊産婦へ向けて健康情報を発信

慶應義塾大学医学部では3年次に自主学習(p.44参照)というプログラムがあり、全員が研究室に入って4ヶ月の長期にわたり研究に取り組むことができます。私は産婦人科領域に興味があり、産科の研究室に参加しました。妊娠期やその前後における母体の生活習慣が、生まれてくる子の将来の疾患リスクに関係しているという学説に基づき、妊産婦向けの健康情報を発信する活動を立ち上げ、現在も継続しています。

また、5年次には、海外の病院で1ヶ月間の臨床実習を行うプログラムも用意されています(p.45参照)。学年の約半数の学生が任意で参加するのですが、私はドイツのケルン大学での実習を予定しています。

■ 部活動や学生団体の活動も積極的に

入学して最も魅力に感じているのは、学業以外の活動に打ち込む学生が多いことです。まずは何といても部活動です。私は医学部の軟式庭球部に所属していますが、慶應義塾大学は、東日本医科学生総合体育大会(38大学の医学部生が参加する23競技34部門で争われる大会)で何度も総合優勝している強豪校です。部活動以外にも、様々な学生団体の活動する学生、ベンチャーの立ち上げに関わっている学生、研究ですずに業績を上げている学生など、優秀でエネルギーあふれる仲間たちが刺激となり、自分ももっと頑張らなければと思っています。

私は複数の学生団体でも活動しています。特に力を入れている日中医学学生交流協会では毎年、中国をはじめとする東アジアの大学の医学部や病院を訪れています。また、医療系3学部が主催する四谷祭(p.156参照)の実行委員も務めています。医学部をはじめ医療系学部の雰囲気がかめる学園なので、興味のある方はぜひご来場ください。

■ 国民の医療リテラシー向上を目指して

将来的には、国民全体の医療リテラシーを向上させたいと思っています。かなり大きな目標なので、実現は難しいのではないかと気持ちもありました。しかし、様々な分野で活躍する先輩方の背中を見て、努力すれば目標に近づくことは必ずできると考えるようになりました。

慶應義塾大学医学部は、医学を学びながら様々なことに挑戦したい人に最適だと思います。自由かつサポートの整った環境で、皆さんの力を存分に発揮してもらえれば嬉しいです。

医学部5年 S.F.(岐阜県・県立岐阜高等学校 出身)

理工学部

Faculty of Science and Technology

機械工学科・電気情報工学科・応用化学科・物理情報工学科

管理工学科・数理科学科・物理学科・化学科

システムデザイン工学科・情報工学科・生命情報学科

想像力を育み、真理を究める—次代を拓く最先端



未知の扉を開く鍵「創発」

創発とは、各構成要素の相互作用によって、
個々の構成要素の性質だけからでは予測・説明できないような飛躍的な結果が
全体として発現することを意味します。

理工学部には、新たな科学技術を開花させるために、
お互いが協力・啓発し合い、より高次の成果を発現する、
開かれた創造の場があります。

<https://www.keio.ac.jp/ja/st/>



「学門制」で広がる学びの可能性

自由で創造的な学習環境

「学門」とは、“学びの庭への入口”といった意味を含めた言葉です。

最新の理工学のベースとなる学問群(物理、電気、機械、情報、数学、データサイエンス、システム、化学、生命)が関連性・融合性の観点から5つの「学門」に分類されており、入試の時点ではいずれかを選択して志願します。

入学後はまず、選択した学門の中から、自分の興味や関心に応じて理工学全体を見渡します。

そして徐々に学びの焦点を絞り込んでいき、第2学年進級時に合わせて所属学科を決めることができます。

入学後の学科選択や科目選択がより自由になることはもちろん、別々の学門から入学した異なる関心を持つ学生同士が、ともに学ぶことができる—それは、科学技術を学ぶ者にとって、非常に刺激的で創造的な学習環境と言えるでしょう。

学門制

学門 A	学門 B	学門 C	学門 D	学門 E
物理・電気・ 機械分野	電気・情報分野	情報・数学・ データサイエンス分野	機械・ システム分野	化学・生命分野
<ul style="list-style-type: none"> 物理学 (20%) 物理情報工学科 (40%) 電気情報工学科 (20%) 機械工学科 (20%) 	<ul style="list-style-type: none"> 電気情報工学科 (30%) 情報工学科 (25%) 物理情報工学科 (20%) システムデザイン工学科 (25%) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報工学科 (30%) 数理科学科 (30%) 管理工学科 (35%) 生命情報学科 (5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械工学科 (50%) システムデザイン工学科 (35%) 管理工学科 (15%) 	<ul style="list-style-type: none"> 化学科 (20%) 応用化学科 (60%) 生命情報学科 (20%)

各学科で約5名まで「学門を越えた学科配属」(学門越え)が認められます。

配属は学生の希望に基づき、1年次の成績と書類審査により決定します。

※分野志向型入試による入学者は学科に所属するため、学門制は適用されません。

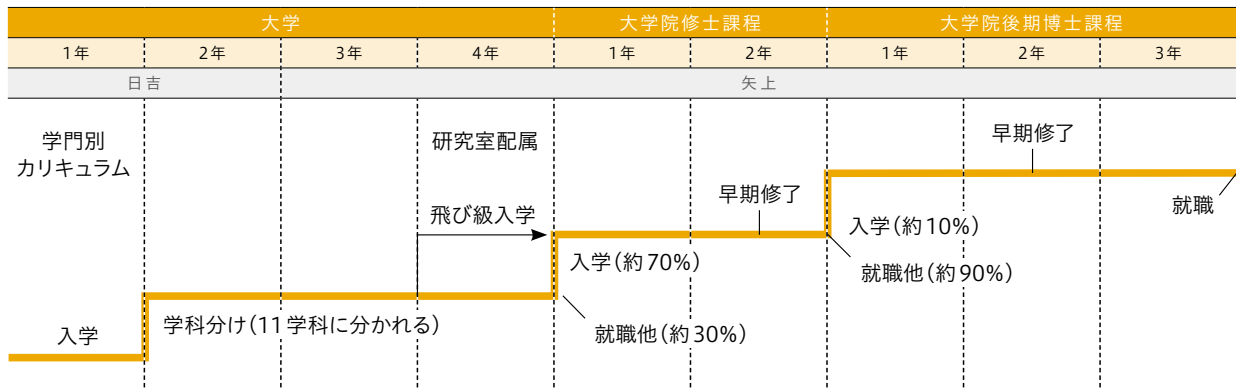
学門から学科へ、さらに大学院へ

学門別に入学した学生は第2学年から11学科に分かれて専門教育科目を履修します。

学部を卒業した学生の約70%が大学院修士課程に進学します。

なお、大学第3学年修了で大学院修士課程へ進学できる、飛び級入学制度も設けています。

大学院へのステップ



4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

1

学年

理工学全般の基礎となる数学、物理学、化学、生物学等を履修。外国語とともにコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

2

学年

自分の学科が決定し、学科ごとに分かれて専門基礎科目を学ぶ。

日吉キャンパス

必修外国語科目

英語(第1、2学年)
諸外国語:ドイツ語、フランス語、ロシア語、
中国語、朝鮮語(1語種を選択、第1学年)

4年間タイムリーに

理工学部が目指しているのは、科学技術における各分野の専門家にとどまらず、科学技術と人間社会のより良い関係を提案し実現できる、社会のリーダーを養成することです。そのために、必修外国語科目と総合教育科目も、カリキュラムにおけるひとつの重要な柱と位置づけています。総合教育科目の最大の特徴は、人文・社会・学際系、自然科学系、各種外国語など様々な分野を4年間を通じて学ぶことができることです。

総合教育科目(外国語科目を含む)(選択)

基礎教育科目

(必修)

自然科学実験
情報学基礎
理工学概論
生物学序論
数学2A
物理学A、B、C、D
化学A

(学門別による必修科目)

- 学門ABD
数学1A、1B、2B
化学B
- 学門C
数学2B、3A、3B
化学B
- 学門E
数学1A、1B
化学C、D

※分野志向型入試による入学者は学門制が適用されないため、必修科目が異なる場合があります。

専門教育科目

専門基礎科目
(必修/選択)

機械工学科	電気情報工学科
応用化学科	物理情報工学科
管理工学科	数理科学科
物理学科	化学科
システムデザイン工学科	情報工学科
生命情報学科	

実験・研究の 基礎を固める

数学・物理学・化学・生物学といった講義科目のほか、実験の進め方の手順をしっかりと身につける「自然科学実験」や、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基礎的な利用技術)を学ぶ「情報学基礎」などが用意されています。これらは第2学年以降で専門科目を学ぶ上で、また実験・研究を進める上で非常に重要な科目です。

自主選択科目

上記の科目の枠組みに制約されずに、各自

3 学年
学科専門科目が始まる。本格的に専門知識を修得する。

4 学年
研究室に所属し、研究テーマにそって卒業研究を遂行。約70%の学生が大学院に進学する。

矢上キャンパス

取得できる学位

- 機械工学科、電気情報工学科、応用化学科、物理情報工学科、管理工学科、数理科学科統計学専攻、システムデザイン工学科、情報工学科：学士(工学)
- 数理科学科数学専攻、物理学科、化学科：学士(理学)
- 生命情報学科：学士(理学)または学士(工学)

人間、社会、自然に関わる科目(約130科目)、外国語科目(約90科目)および総合教育セミナー(約30クラス)のうちから、第1、2学年で10単位以上、第3、4学年で8単位以上を取得。

学科専門科目 (必修/選択)

機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科
管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科
システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	

※第4学年からはそれぞれ研究室に所属し、指導教員のもとで卒業研究に取り組む。
※希望により、学科専門科目として、大学院の設置科目を先取りして履修することも可能(※第4学年のみ)。
※数理科学科は数学専攻、統計学専攻のいずれかを第4学年で選択。

選択した 学科別に学ぶ

学科選択は、原則として本人の希望が優先されます(希望者数が、学科ごとの目標学生数と大きく異なる場合は、第1学年の成績を基準に選考)。専門基礎科目は、第3学年以降の高度な学習や研究に備えて基礎力を充実させる理工学部独自の科目です。さまざまな科目の中から本格的に取り組みたいテーマを自ら発見し、専門学習の第一歩を踏み出すことになります。

新領域開拓を 目指す

新たな科学技術の開拓に積極的に挑戦してもらいたいという目的から設置されている科目です。専門性の高い必修科目に加え、多彩な選択科目が用意されています。また、内外の著名な学者、企業の第一線で活躍する研究者や技術者による数多くの特別講義も行われています。

の興味と能力に応じてフレキシブルに選択履修することのできる科目

教育システムの体系

2つのプログラムの連動

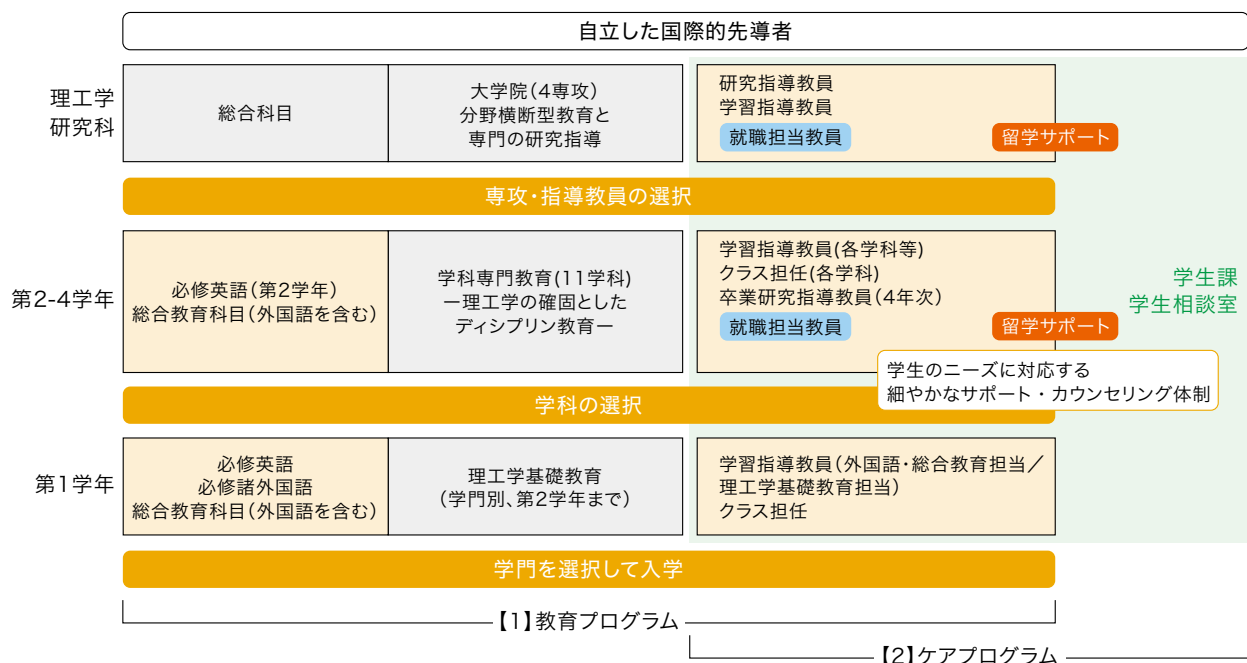
理工学部における教育システムの体系は、【1】教育プログラムと【2】ケアプログラムの連動によって構成されています。

【1】では、学門制入学・理工学基礎教育・学科専門教育・分野横断型大学院への進学システムによって、理工学の広範な学問分野を跨ぐ学際性を、さらに、充実した外国語教育と総合教育によって、国際性と豊かな教養を涵養します。

【1】の各要素が、創発的ネットワーク環境の中で有機的に機能し合うとともに、

【2】のケアプログラムが学部から大学院までの全学生を組織的に、かつきめ細やかにケアし、

【1】を強力に支援することによって、プログラム全体を実効あるものにしていきます。



学生の安心となるケアプログラム

学生の自立性を重視した教育は、とすれば放任教育となる危険性をはらんでいますので、岐路において適切な指針を提示する体制と学生の相談窓口となる支援体制を整えておくことは極めて重要です。

そのため理工学部では、従来からさまざまな情報提供手段(履修案内やガイダンスや理工学部ウェブサイトなど)を介して勉学の支援を行っています。

学生の相談窓口として、学習指導教員(21名)、第1、2学年のクラス担任(担任1名あたり学生15～75名)、第4学年での卒業研究指導教員(教員1名あたり学生約4名)、学生課、学生相談室など複数の窓口を設けています。

これらの窓口を介して、授業・大学生生活・研究活動・進路就職・奨学金・福利厚生・課外活動といった多岐にわたる課題に、入学から卒業までのどの時期でも対応できる体制を整えて、個々の学生のニーズに対して細やかな支援を行っています。

特に学生相談室(p.115参照)は、臨床心理士や、公認心理師の資格保有者を含むカウンセラーが担当しており、学業、課外活動、進路、心身の健康、その他生活一般に関する幅広い相談に対応しています。

外国語教育と総合教育

学生が各自の資質と個性に応じた語学力と豊かな教養を身につけられるように、外国語教育と総合教育のシステムを構築しています。第1、2学年の必修英語では、レベル別構成を実施しています。第1学年を対象に入学時と学年末に英語統一テストを実施し、学生が各自の英語力に適したレベルの授業を選択するとともに、学習効果を確認できるようにしています。総合教育では、人間、社会、自然に対する深い洞察力と知力の養成を目的として、外国語科目や少人数のセミナー、人文・社会・自然科学系の約220の総合教育科目を設置し、学生が学部4年間にわたって自身の興味に応じて自律的に選択して履修できるようにしています。外国語科目は、リーディングやライティング、リスニングやスピーキングなど、目的にあった語学能力が身につけられるよう、多彩な英語および諸外国語科目が設けられています。総合教育科目の学びを通じて、科学技術者・研究者に求められる視野の広さや柔軟な思考力が育まれます。

第1学年の履修スケジュール例(春学期)

	月	火	水	木	金	土
1 時限	基礎教育科目 (数学)	基礎教育科目 (生物学)	基礎教育科目 (物理学)	基礎教育科目 (実験)	基礎教育科目 (物理学)	
2 時限		基礎教育科目 (化学)		基礎教育科目 (実験)	基礎教育科目 (情報学)	
3 時限	総合教育科目	総合教育科目	基礎教育科目 (理工学概論)		必修英語	総合教育科目
4 時限	基礎教育科目 (数学)					
5 時限		必修諸外国語※		必修諸外国語※		

※ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語から1語種を選択

■世界を見据える「グローバルリーダーシップセミナー」

次世代のリーダーとして、国際的な場で求められる国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の必要性を肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表、討論、海外での実地研修を行います。多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。

■理工学部生の海外留学を支援



理工学部では、理系の学生こそ、海外で国際的な視野を育む経験が必要と考え、学部1、2年生から、夏季・春季の休校中に短期で留学できるプログラムや交換留学への参加を奨励しています。アジア・北米・欧州の大学に短期での留学を体験できます。多文化・多言語への理解を深める経験を支援するための奨学金制度もありますので、是非チャレンジしてください。また、理工学部では、さまざま

な留学プログラムを紹介するインタラクティブ動画「世界へすゝめ」を公開しています。留学を経験した学生や卒業生の声を直接聞くことができる内容となっています。右のQRコードよりご覧いただけます。



■ダブルディグリープログラム



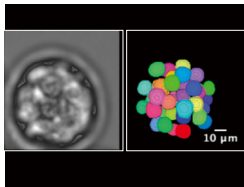
理工学部では、ヨーロッパの複数の大学とダブルディグリープログラムを実施しています。ダブルディグリープログラムは、慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に学位を取得できる仕組みです。単に2つの学位が取得できるだけでなく、専門分野の学習と、異なる文化圏への理解を深めることができます。2005年以来、本学から200名を超える理工学部生がダブルディグリー

プログラムに挑戦しています。留学先で多様な文化や考えに接し、現地学生と切磋琢磨する経験を積み、修了後は国際的な人材として社会で活躍しています。学部生対象ダブルディグリーの提携校はフランスのグランゼコールであるエコールサントラルグループ(フランス)です。大学院生対象ダブルディグリーの提携先は、ドイツのミュンヘン工科大学、スウェーデンの王立工科大学、ベルギーのブリュッセル自由大学、イタリアのミラノ工科大学、スペインのマドリッド工科大学など欧州のトップ大学10数校です。



特色ある研究・取り組み

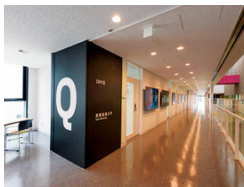
AI技術で生殖補助医療を支援



世界では1億8千万人以上が不妊に悩まされています。最も一般的な治療法の一つが生殖補助医療であり、胚培養士が目視で評価し、子供が生まれる可能性が高い胚(卵)を選びます。しかし予測は難しく、出生率は15%と依然として低いまです。理工学部の舟橋研究室では、マウス胚の3D画像からどの胚が生まれるかを81%の精度で予測するAIを開発し、胚培養の専門家による精度(55%)を大きく上回ることに成功しました。この技術により、胚をほとんど傷つけない低侵襲な方法で高精度に評価できるようになります。胚培養士の負担を軽減し、生殖補助医療における意思決定を支援するうえで大きな可能性が示されています。理工学部ではこのように情報の力を活用し、生物学、医療への応用に向けた研究も進めています。



量子コンピューティングセンター



量子力学の世界では、電子の位置が確率的にしか決まらない、異なる電磁場の状態が共存する、などの奇妙な原理が成立します。これを計算に役立てようというのが量子計算です。上の例を計算の場合に翻訳すると、計算が確率的になる、複数の異なる計算結果が共存する、となります。この原理をうまく使うと、従来計算機を凌駕する超高速計算が可能になるのです。そして人類は、こんな夢物語的計算機を手にしつつあります。量子コンピューティングセンターでは、世界最先端の量子計算機を自由に使える環境を整備し、複数企業と連携しながら、金融・化学・AIなどに応用できる量子アルゴリズムの開発を行なっています。従来1ヶ月かかる計算が1日で完了するなら、色々な世界が変わります。この圧倒的ポテンシャルをもつ量子計算の研究活動に参加しませんか？



理工学部・理工学研究科の研究成果を紹介する「KEIO TECHNO-MALL(慶應科学技術展)」



毎年12月にKEIO TECHNO-MALL(慶應科学技術展)を開催しています。理工学部・理工学研究科の研究成果を広く発信し、共同研究や技術移転など、産学連携のきっかけとなる出会いの場を提供するイベントです。出展ブースでは教員の他、各研究室の学生が展示やデモンストレーションを通じて、来場者に研究成果のプレゼンテーションを行っています。例年、企業や官公庁、他大学などから多くの方々にご来場いただき、研究成果を社会に向けて発信するだけでなく、学外の方々からの生の声をうかがう貴重な場となっています。



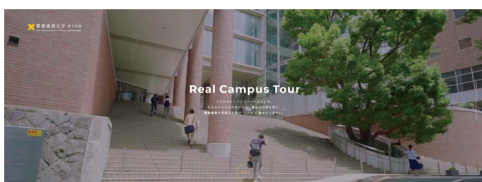
■ 学び、広がり、進んでいく。#慶應理工StudentVoices



慶應義塾大学理工学部の「今」を現役の1~4年生の理工学部生がインタビュー形式でお伝えする動画、「学び、広がり、進んでいく。#慶應理工StudentVoices」を公開しています。授業や研究と両立しながら、理工学部生は普段どのような学生生活を送っているのか、ウェブサイトやパンフレットだけでは分からない「今」の理工学部をみなさんも覗いてみませんか？



■ リアルキャンパスツアー



入学前・受験前の皆さまに向けて「リアルキャンパスツアー」を公開中です。矢上キャンパスを訪れることが難しい方でも、塾生の日常を見て慶應義塾大学理工学部の「リアル」に触れることができます。公式ウェブサイトと合わせて是非訪れてみてください。



学科と設置科目

全学科の案内は、ウェブサイトよりご確認ください。



創造性と総合力を併せ持つリーダーの育成を目指す

慶應義塾は創立以来、「独立自尊」を体現する人材の育成を行ってきました。機械工学分野においても、この精神のもと、自らの力で世界を先導することのできる、創造性と総合力のある技術者や研究者の育成を目指しています。海外におけるトップレベルの大学との交換留学も積極的に実施し、国際社会をリードする人材を数多く輩出しています。機械工学科では、「実体験の重視」「基本の重視」「個性の重視」「コミュニケーション能力の重視」という思想のもと、機械工学の基盤である力学体系を理解するとともに、技術者倫理を踏まえ、地球環境・社会環境も視野に入れた総合的な現象解明や、創造的な設計・ものづくりを遂行する能力を持つ技術者や研究者の育成を目標として掲げ、時代の要請に応える人材の育成を行っています。

	研究分野			科目		
機械工学科	材料力学・ マテリアルサイエンス	生体材料 ソフトマテリアル マテリアルインフォマティクス	複合材料 エコマテリアル 材料強度学	高分子材料 マテリアルデザイン マルチフィジックス	材料力学 機械力学 熱力学 流体力学 図形情報処理 機械工学創造演習 機械工学総合実験 機械工学デザイン演習 機械工学ものづくりプロジェクト コンピュータシミュレーションの基礎応用 分子動力学 熱物質移動論	マテリアルデザイン 構造材料の科学 連続体の力学 精密加工学 振動工学 制御工学 ロボティクス・メカトロニクス エネルギー変換工学 反応システムと環境 航空宇宙工学 デザイン科学 他
	機械力学・制御・ ロボット	ヒューマノイド 人間工学 非線形ダイナミクス	惑星探査ローパー バイオメディクス 超音波検査	フィジカルAI センサ工学 磁気浮上		
	デザイン・ 設計・加工	デザイン科学 技術者倫理 マイクロナシステム	SFプロトタイプング 人間工学 超精密加工	感性工学 医療工学 バイオファブリケーション		
	流体力学・ 流体工学	極超音速航空機 衝撃波 機械学習モデル	乱流モデル 超音波洗浄・治療 バイオフィジックス	気候変動 ナノ流体 人工臓器		
	熱力学・燃焼工学・ 伝熱工学	エネルギー工学 ソフトマター ハイドレート	燃料電池 分子シミュレーション 海水淡水化	燃焼工学 熱物性 核磁気共鳴		



明日のエレクトロニクス分野に変革を起こすことのできる人材を育成

電気電子工学は、電気と光を情報の処理・伝達の手段やエネルギー源として工学技術に応用する学問分野です。現代社会において、電子機器がない日常生活は想像もできないことですが、これからも人間の安心・安全やシステムのスマート化、地球環境問題の解決など、豊かで快適な社会を実現するため、電気電子工学を専門とした人材は情報工学も駆使しながら活躍する場が広がっていくと期待されます。技術の発展は突発的なものでなく、過去の知見の積み重ねによって成し遂げられます。最先端の学問を探究すると同時に、基礎学問の習得も重要です。電気情報工学科では、ナノエレクトロニクスやオプトエレクトロニクスから生まれる新たなデバイスの開発と、これを基盤に展開される回路・情報システムの開発を念頭に、技術のイノベーションを創出できる人材を育成します。

	研究分野			科目		
電気情報工学科	インフォマティクス	通信工学・通信ネットワーク 5Gワイヤレスシステム システム制御 信号処理工学	画像センシング・画像工学 数値モデリング・最適化 人工知能・機械学習 IoT	センサーネットワーク ヘルスケア・医療 ロボティクス	電気回路理論 情報工学 量子力学基礎 固体物性工学 機械学習基礎 画像工学 制御工学 シグナルプロセッシング 通信ネットワーク工学基礎 ワイヤレスコミュニケーション 応用数学・応用確率論 電気情報数学 プログラム実習 アルゴリズム同演習 コンピュータシミュレーション実習 電気情報工学セミナーⅠ・Ⅱ	電気回路基礎 デジタル・アナログ回路 エレクトロニクス基礎 LSI回路設計Ⅰ・Ⅱ 光・量子エレクトロニクス フォトリソグラフィ エレクトロニクスデバイス 電気情報工学実験第1・2 他
	フォトリソグラフィ	レーザプロセス レーザ物理工学 光通信システム	生体医用光工学・光計測工学 レーザー回路・光演算 ナノフォトリソグラフィ	レーザ工学 ナノ構造解析 量子暗号・量子通信		
	エレクトロニクス	アナログ高周波回路 LSI設計・システムLSI ナノエレクトロニクス カーボンナノチューブ	バイオセンシング 有機分子エレクトロニクス グリーンエレクトロニクス ナノスケール半導体	非線形材料 ウェアラブルデバイス 量子ナノ工学 ストレッチャブルエレクトロニクス		



化学の「基礎」と「応用」を重視し広い視野を持つ人材を育成

応用化学科は、化学の「基礎」と「応用」の両方を重視し、実学としての化学を習得した多くの人材を社会に輩出してきました。無機化学、有機化学、物理化学、高分子化学、分析化学、材料化学、電気化学、化学生物学、生物化学、化学工学、環境化学を網羅した密で幅広いカリキュラムで教育を行い、高い専門性に加えて広い視野を持つ人材を育てています。化学に関連する基盤領域をしっかりと学び、さらに最先端の研究を通して化学に関連するグローバルな問題を解決する能力を身につけた、未来を切り拓くリーダーの育成を目指しています。

	研究分野			科目		
応用化学科	マテリアル デザイン	材料化学 電気化学 光機能材料デザイン 無機構造科学 有機機能材料化学	高分子材料 イオン液体 ナノ蛍光体 機能性セラミックス 有機結晶	マテリアルズインフォマティクス 電池材料 波長変換材料 スマートマテリアル 電子機能材料	無機化学基礎 有機化学基礎 物理化学基礎 高分子化学基礎 分析化学基礎 生体物質化学基礎 応用化学計算基礎 マテリアルデザイン概論 環境化学概論 応用化学実験	有機化学 生物化学 分子生命化学 化学工学 無機工業化学 有機工業化学 環境分析化学 マテリアル科学 応用化学系英語 他
	環境・分析・ 化学工学	化学工学 環境化学 分析化学	ファインバブル 地球環境 ケミカルセンサー	反応装置工学 PM2.5 蛍光・発光色素		
	オーガニック サイエンス	天然物有機化学 分子有機化学 有機合成化学 有機物質化学	生物現象の解明 有機化学反応の開発 触媒化学 時空間パターン	有機物の構造決定 創薬化学 天然物の全合成 自己駆動油滴		
	バイオサイエンス	高分子化学 生物化学 分子生命化学	医用高分子 細胞生物化学 糖質医薬	粒子とコロイド 分子生物学 ケミカルバイオロジー		



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

世界を革新する応用物理を学ぶ

物理情報工学科は、世界を革新する応用物理を学ぶ学科です。「世界的に高く評価される研究」と「国際社会のリーダーとなる学生の育成」を使命として、超伝導技術を駆使した省エネ社会、量子コンピュータの実現による高速演算、スピントロニクスによる次世代情報技術、未来社会インフラのための制御技術など、物理と数学を基盤とした「ものづくり」のための応用物理学を学びます。情報・エネルギー・システムなど多岐にわたる専門科目と研究活動を展開し、世界を先導するサイエンティストやエンジニアの育成を目指しています。

物理情報工学科

研究分野				科目	
量子・情報物理	量子情報 量子計算 量子制御 量子光エレクトロニクス	スピントロニクス 量子コンピューティング 量子アニーリング 情報光学	ナノデバイス ナノフォトニクス トポロジカル物理 磁気物理	電磁気学同演習 電気回路同演習 熱物理 量子力学 ソフトウェア開発演習 制御工学同演習 物性物理 統計物理 数理物理 フォトンクス 計算物理 半導体工学 応用量子物性 光物性物理	量子コンピューティング アルゴリズムとデータ構造 モデリングと制御 プラズマ物理 バイオシステム 物理情報工学実験 プレゼンテーション技法 他
創発物性科学	高分子光学 表面物性 プラズマ核融合工学 相関電子物理・超伝導	微小エネルギー変換・熱分析 界面反応プロセス 物質探索 ソフトマター 物性理論・計算物質設計	低次元性導体物理学 物理化学 大規模並列計算		
情報計測・ 情報制御	生体計測 信号処理 画像処理 IoT	システム制御 遺伝子制御 生体制御	量子物性・機械学習 人間・機械系 電力系統制御 航空管制制御		



「人間」「もの」「情報」「金」を柱とし、現実社会における問題の解決を図る

管理工学とはさまざまな技術を統合し、人間の諸活動を含めたシステム全体の設計やコントロール、新たな管理技法の開発などを目指す理論および技術体系です。管理工学科では、経済学や心理学なども含めた学科目を幅広く設置し学生の視野を広げるとともに、複雑な現実社会の中から問題点を抽出し、解決を図る能力を持つ技術者の養成を心がけています。管理工学科では「人間」「もの」「情報」「金」の4つをキーワードとして、さまざまな視点や発想から科学技術とマネジメントを考えます。そのため理工学の基礎知識に加えて、管理工学の基礎となる統計解析や情報処理、システム解析、インダストリアル・エンジニアリング、人間工学、経営管理、オペレーションズ・リサーチなどの教育を行っています。

管理工学科

研究分野				科目	
人間工学/ ヒューマンファクターズ	ヒューマンインターフェース 安全マネジメント 自動走行システム	高度道路交通システム(ITS) ヒューマンエラー 技術経営	ユーザーエクスペリエンスデザイン 航空安全 コーチング	管理工学基礎演習 管理工学実験・演習 ソフトウェア工学 アルゴリズム論 管理工学用数学 オペレーションズ・リサーチ 確率 プログラミング言語 機械学習 フィナンシャル・エンジニアリング 金融データ分析 品質管理 応用統計学 生産管理 統計解析 経営管理論 人間工学 インダストリアル・エンジニアリング 経済性工学	知能アーキテクチャーデザイン 計算機構成 情報ネットワーク 情報工学 データベース概論 データ解析 データ解析 多変量解析 品質マネジメント 統計調査論 ビジネスエコノミクス ビジネスアカウンティング 経営計画・評価論 マーケティング プロダクションシステム・デザイン 他
インダストリアル エンジニアリング(IE)	生産在庫管理 生産スケジューリング 作業習熟・技能伝承	動作研究 サプライチェーンマネジメント 生産システムマネジメント	経済性工学 生産情報システム		
統計学	応用統計解析 実験計画法 マーケティング調査	データサイエンス 多変量解析 品質管理	統計モデリング 統計的機械学習		
オペレーションズ リサーチ(OR)	数理モデリング システム最適化 評価とリスクのマネジメント	空間データ解析 意思決定論 社会システム分析	社会シミュレーション 地域モデル分析		
人工知能の基礎と 応用・情報システム	マルチエージェントシミュレーション 人と共生する自律型汎用人工知能 社会基盤構築のための先進的ソフトウェア工学	ヒューマンエージェントインタラクション AIロボットによるスマート社会創造 群知能と創発システム	社会シミュレーションとデータ同化 深層学習によるデータ解析技術		
金融工学・ 経営管理	資産運用 金融市場分析 ポートフォリオ理論	シミュレーション技法 金融資産評価 リスク管理	フィナンシャル・プランニング リアルオプション分析		
経済学・経済分析	ビジネスエコノミクス ゲーム理論 競争的マーケティング戦略	経営科学 情報の経済学 サプライチェーン・コーディネーション	経営戦略 価格設定		



数学を探究し、数学を応用して自然現象や社会現象の本質を理解する

数学は数量と厳密な論理に基づいて物事を整理する学問としてはるか昔から発展を続けており、現代では「科学の言葉」としての地位を獲得しています。数学そのものを探究すると同時にそれを応用し、数学を共通の言葉としてさまざまな科学に通じる「理(ことわり)」を明らかにしようとする学問が数理学です。本学科では応用も見据えて数学を包括的に学び、厳密な論証をたどる力と数学的思考力を養います。深い理解に基づいて数学を探究・応用できる人材の育成を目指しています。卒業時に「学士(理学)」が授与される「数学専攻」と「学士(工学)」が授与される「統計学専攻」の2専攻が設置されています。

数理科学科

研究分野				科目	
代数学・整数論	数論幾何 解析的数論 岩澤理論	保型形式と保型表現 代数的整数論 超越数論	楕円曲線	数理科学基礎 位相空間論 代数学同演習 数学解析 応用解析 関数論同演習 実解析同演習 関数方程式同演習 関数解析 数値解析 確率論同演習 幾何学同演習 統計学同演習 数理統計学同演習 データ解析同演習 時系列モデル	計算機科学同演習 アルゴリズム論 数理最適化 有限数学 情報処理 情報数学 保険数学 リスク数理 数理理論学 他
数理解析・関数方程式	偏微分方程式論 力学系	非線形解析 数値解析	流体の基礎方程式 変分解析		
確率論・エルゴード理論	確率解析 拡散過程	統計力学 数理ファイナンス	極限定理 エルゴード理論		
幾何学・大域解析学	微分幾何学 ゲージ理論	作用素環 微分相幾何学	複素幾何学 離散群		
離散数学・計算機科学	グラフ理論 数理最適化	アルゴリズム 組合せ論	理論計算機科学 メカニズムデザイン		
統計科学	数理統計学 統計的機械学習 医学統計学 時系列解析	ベイズ予測 データ解析 金融工学 生物統計学	パターン認識 生物資源評価		



「普遍性」と「創発」を理解して素粒子から宇宙、社会現象までを解明する

物理学科での教育カリキュラムは、学生が将来基礎科学と応用技術の両方で活躍することを意識して組まれています。「力学」「電磁気学」「量子力学」「熱・統計力学」には、十分な講義時間を割き、着実に理解が深まるよう工夫されたカリキュラムを用意しています。第3学年以降では、より最先端に近い分野についても学ぶことができます。

物理学科

研究分野				科目	
物性物理学	超低温物理学 スピントロニクス	磁性物理学 ソフトマター	光物性物理学	量子力学 熱統計力学 電磁気学	物性物理学 生物物理学 光学
理論物理学	半導体ナノ構造 メゾスコピック系 超伝導・超流動	統計物理学 第一原理計算物理 原子核理論	重力・量子情報 素粒子論	応用物理学 計算物理学実習 素粒子物理学 相対性理論 天体物理学	物理学実験 物理学セミナー 論文講義発表 他
レーザー物理学	高分解能レーザー分光	量子エレクトロニクス			
生物物理学	X線ナノイメージング	生体超分子科学			
宇宙物理学	ミリ波・サブミリ波天文学	電波天文学			
素粒子物理学	ニュートリノ物理学	大統一理論検証	宇宙線観測		



科学の「幹」となる進化する化学探究・解明からはじまる創造のサイエンス

「人と自然が一番近いサイエンス」、それが化学です。「化学」とは物質の性質とその変化を対象とした学問であり、私たちが生活していく上で、必要不可欠なさまざまな物質を自由自在に創り出すことができる唯一の手段です。このように「化学」は多くの科学技術の文字通り「根幹」であり、将来にわたって科学技術の舞台で主役を演じ続けます。化学科は、1学年あたりの学生約40名に対して、約20名の教員が理工学部で最もきめ細やかな少人数教育を行っています。第4学年の卒業研究の多くは、そのままそれぞれの分野の専門学会で発表できるような最先端の内容です。新分野を開拓し、独創的な新技術を創成することのできる真のリーダーに成長するよう全力でサポートしています。

化学科

研究分野				科目	
物理化学	量子物理化学 量子状態イメージング	マテリアルズインフォマティクス 運動量分光	量子コンピュータ 機能電子物性	化学実験第1・第2 有機分子変換(有機化学第1) 精密有機合成(有機化学第2) 合成デザイン(有機化学第3)	有機構造決定法 応用有機化学 有機合成化学研究法 化学反応速度論
無機化学	表面化学	触媒化学	機能性薄膜	天然物化学(生命化学第1) 生物活性化学(生命化学第2) 分子生物学(生命化学第3)	分子分光学 物理化学演習第1・第2 他
生物有機化学	生体分子化学 天然物化学	ケミカルバイオロジー 生物有機化学	生物活性物質	電気化学(無機分析第1) 錯体化学(無機分析第2) 固体化学(無機分析第3)	
有機合成化学	分子触媒化学 有機金属化学	光触媒反応 遷移金属触媒	均一系触媒反応 錯体触媒、不斉合成	分子量子化学(物理化学第1) 量子統計化学(物理化学第2) 電子状態理論(物理化学第3)	
材料化学	無機物性化学 機能材料化学	光機能性材料 光エネルギー変換	ダイヤモンド電極 分子集合体		
生命化学	生命機構化学 細胞生物学	生物無機化学 免疫調節	神経変性疾患		



基盤技術を総合的に活用し新しいシステムをデザインする

システムデザイン工学とは、科学技術の影響がおよぶ社会や人間、自然環境などを対象に、工学システムとそれを取り巻く環境との調和性を実現しようという工学分野です。いわば「環境空間」というキャンパスに「モデル化」という筆を用いて、「システム」という絵を設計していく、新たな理工学といえるでしょう。システムデザイン工学では、個々に独自の発達を遂げてきた要素技術を統合し、技術と技術、技術と人間、技術と社会がより高度に調和した状態を目指すためのデザインを扱います。具体的には宇宙、エネルギー、環境、建築、情報、ロボット、バイオなどの各分野のハードウェアシステムやインフラストラクチャを対象に、その制御技術やシステムのデザインを研究しています。

システムデザイン工学科

研究分野				科目	
設計・生産システム	デザインオートメーション 3Dプリンティング 半導体製造	最適デザイン レーザ加工 知能化工学機械	ロボット援用・ロボット加工 マイクロ・ナノ加工 デジタルトランスフォーメーション	システムデザイン工学概論 社会・経済・文化と工学 システムデザイン工学 実験第1・第2	マルチメディアデザイン 生産システム マニファクチャリングアナリシス メカトロニクス
情報・制御システム	モデリングと制御 ネットワークアーキテクチャ 機械学習・深層学習 分散協調制御	電力ネットワーク制御 スマートシティ 分散処理 生体信号解析	画像意味理解 分子動力学 サイバーフィジカルシステム デジタルツイン	熱流体システム第1・第2 力学的モデリング デザインリテラシー演習 電磁気工学 回路とシステム第1・第2	システムデザイン工学演習 マシンデザイン システム生命工学 サステナビリティ工学 設計・計画の最適化数理 構造システム工学
ロボティクス バイオメカニクス	モーションコントロール ハプティクス 産業用ロボットシステム 自律メカトロニクス	人間支援 システムエネルギー変換 モータドライブ パワーエレクトロニクス	生体医工学 組織工学 バイオファブリケーション メカノバイオロジー	ダイナミカルシステム 工学材料 電気機器システム 制御システム設計論 システム工学	構造システム工学 建築熱・空気環境工学 空間設計製図I・II 複雑システムのシミュレーション 環境システム科学 他
建築デザイン	建築・都市デザイン サステナビリティデザイン 移動・滞留空間デザイン	居住環境設計 防災まちづくり 地理情報システム解析	建築構造物の性能設計・最適設計 アクションリサーチ		
空間・環境システム	建築・人連成システム 応用力学	計算力学 宇宙システム工学・知的制御	構造ヘルスマニタリング		
エネルギーシステム	流体物性 エネルギー環境システム工学 熱流体中の移動現象	伝熱制御 システム熱物性工学 ソフトマター	ナノ・マイクロ空間熱流体システム マイクロ・ナノ熱工学 Optical MEMS		



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部



情報通信の技術とその未来を正しく理解し世界をリードする先端技術者を養成する

情報工学とは情報の力を工学的に利用するための分野です。コンピュータ科学、メディア工学、通信工学を「情報」の観点から融合的に扱う工学分野で、情報工学科では情報の発生、獲得、伝達、蓄積、処理、表示などにわたる学術の発展と人材の育成を通じて、社会に貢献することを目指しています。さまざまな技術の複合体である現在のIT製品を理解するにはコンピュータ、通信、情報メディアの3つの分野すべてをカバーする必要があります。情報工学科のカリキュラムは、これらの分野の基礎から応用までがバランス良く習得できるように作られています。なお第2・第3学年では徹底した基礎教育により、情報技術者としての生涯に役立つ地道な土台作りから始まります。

情報工学科

研究分野				科目	
コンピュータシステム	計算機アーキテクチャ CPU 組込みリアルタイムシステム	オペレーティングシステム 計算機ネットワーク アクセラレータ	ビッグデータ セキュリティ システムLSI	機械学習基礎 アルゴリズム第1・第2 オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ ビジュアルコンピューティング ディジタル信号処理 データモデリング ネットワーク工学I・II パターン情報処理 プログラミング同演習 第1,2A,2B,3 プログラミング方法論 コンピュータ実習 プログラミング基礎同演習 情報工学概論 量子コンピューティングI	応用確率論・応用数学 計算理論・情報理論 計算機基礎 計算モデル論・数値解析 人工知能・自然言語処理 組込みリアルタイムシステム 通信理論・符号理論 通信システム ヒューマンインタフェース データ解析論 他
ソフトウェア	ソフトウェア工学	データベースシステム	量子情報処理システム		
知的情報処理・ヒューマンインタフェース	知的情報処理 感性工学 機械学習	ヒューマンインタフェース 人工知能(AI) 自然言語処理	音声理解		
画像・音声・コンテンツ	画像情報工学 コンピュータビジョン コンピュータ可視化	CG インタラクティブコンテンツ ヒューマンインタフェース	ヒューマンコンピュータインタラクション ユビキタスコンピューティング		
通信・ネットワーク	モバイルコミュニケーション インターネット 分散システム	フォトネットワーク スマートグリッド コンピュータネットワーク	アプリケーション指向ネットワーク 量子インターネット		



生命現象をシステムとして捉え生命科学の新しい時代を拓く

水の惑星「地球」にいのちが誕生して36億年。DNAの二重らせん構造が提案されて約70年。今、ヒトゲノムの塩基配列が簡単に解析できるようになり、生命科学は新しい時代に入りました。生命のしくみの謎解きには、生命システムを物理の言葉で語ったり、分子の変化で表したり、情報論的に説明したりする「生命情報学」が必要なのです。生命情報学では、「生き物の実験を行えるだけでなく、計算機も大いに利用することができる」人材を目指します。多様な生命システムの解明は、医療・創薬、食料・新エネルギーの増産、環境浄化・モニタリング、化学産業のバイオプロセス化などのさまざまな分野へ応用され、新しい産業を起こすことが期待されています。新しい分野を自らの手で開拓し、リードしていく人材を育成します。

生命情報学

研究分野				科目	
進化発生・神経情報学	神経行動学 神経可塑性	メカノバイオロジー バイオイメージング	生物多様性 形態形成	生命情報実験A～D 分子生物学第1・第2 細胞生物学第1～第3 生物統計学 発生生物学 生命系の有機化学第1・第2 生体高分子科学 生体反応論 生命現象の物理学 生命系の物理化学第1・第2 バイオサイバネティクス システムバイオロジー バイオンフォマティクス バイオプログラミング第1・第2	基礎生命実験 情報の基礎 分子細胞生物学の基礎 生命系の数学 基礎システム制御論 生命情報総合演習第1・第2 アルゴリズムと情報処理 ケミカルバイオロジー 階層生物学 生命系の分子化学第1・第2 生命倫理学 他
生命分子工学	進化分子工学 人工細胞工学	合成生物学 プロテオミクス	抗体・ペプチド創薬 ドラッグデリバリー		
ケミカルバイオロジー	天然物化学 がん医薬	生物有機化学 神経再生医薬	生物活性物質 休眠遺伝子活性化		
生物機能化学	酵素工学	バイオリサイクル	生物有機化学		
バイオ分子化学	糖鎖生命工学	ドラッグデリバリーシステム	ウイルスセンシング		
リハビリテーション神経科学	リハビリテーション工学	神経生理学			
非線形バイオフィotonics	バイオフィotonics メディカルフォトニクス	光物理化学 分子分光学	ラマン分光 ラベルフリーイメージング		
バイオンフォマティクス	バイオンフォマティクス オミクスデータ解析	ゲノム科学 機械学習	機能性RNA 数理モデル		
システム生物学	システム生物学	定量生物学	計算生物学		



こちらもぜひご覧ください。
理工学部 学部案内



学生の声



授業や研究のレベルだけでなく、学生の質もとても高い

■ 学科選びに1年間の猶予がある強み

私は情報工学について学びたいという思いがあり、そこを起点に進学を考えていました。そのため学部や学科で迷ったことはあまりない一方、大学選びには紆余曲折がありました。慶應義塾大学に決めた主な理由としては、情報工学の分野で一步先に位置付けられていること、入試問題との相性が良かったことの2つが挙げられます。

学部としての強みはやはり、学科選びに入学してから1年間の猶予があることでしょうか。受験を終え、時間的にも精神的にも余裕がある中で、見直しを含めてあらためて自分が専門とする分野について考えられることは魅力的だと思います。

■ エンジニアの力を身につけながら成長

実験では、数人でグループを組み、ソフトウェアなどを用いて自由にアプリケーションを開発したり、大学のGPUを使って機械学習や通信のシミュレーションを行ったりと、面白いだけでなくエンジニアの力を身につけながら成長することができます。講義においては、先生方との双方向のコミュニケーションが大切にされています。

さらに、情報工学科は授業や研究のレベルだけでなく、学生の質もとても高いのが特徴的です。先生や先輩方の論文等の実績はトップレベルですし、同期の仲間との実験では毎回レベルの高さに驚かされます。また、学科名のイメージ通り、たくさんプログラミング言語に触れます。5つ以上を扱った私は特に多い方だと思いますが、そこにやりがいを感じている学生も多いように感じます。

■ 実行委員長として学園祭を創り上げる

学業以外では、矢上祭(p.156参照)の実行委員会で委員長を務めました。360人もの委員を取りまとめ、学園祭を創り上げていくのはとてもやりがいのあるものでした。フィナーレの打ち上げ花火前に、来場者の前で挨拶をした時の景色は今でも鮮明に覚えています。

その経験と学びで得た能力を活かし、現在は全塾協議会(言わば慶應義塾大学の生徒会)の役員を務め、主にIT部門を担っています。矢上キャンパスにとどまらず、どうしたら大学が学生にとってより良いものになるか、終わりのない問いに日々向き合っています。

■ 全力で取り組む先に広がる世界へ

卒業後は大学院に進む予定ですが、今は、卒業までの1年間を研究者最初の1年間として大切に、全塾協議会役員の職務を全うする、という2つの目標があります。目の前のことに一歩ずつ全力で取り組む先に、新たな世界が広がっていると信じています。

私は、どこで、誰と、何を学び、経験するのかを最後に決めるのは“縁”だと思っています。先に待つ縁を少しでも良くするためにできることが、信じて努力することなのだと思います。あなたの縁が素晴らしいものでありますよう心から応援しています。

理工学部3年 T.I.(東京都・本郷高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



「学門制」の強みを生かし、自分に最適な学科を選択

■ 理系全般の基礎に触れたうえでの専門決定

理工学部を志望したのは、将来の目標が漠然としていた私にとって「学門制」の存在が魅力的に映ったためです(p.49参照)。近年は複数の分野を融合させた研究が主流なこともあり、理系全般の基礎に触れてから専門を決められる制度は大きな意味を持つと思います。所属学門内の学科以外に進める「学門越え」という制度も用意されています。

私は、高校での実験や授業を通して興味をもった化学・生物系へ門戸が開かれている学門Eを受験しました。入学後の学びを通して多くの学科に魅力を感じましたが、より専門的な化学の奥深さに触れ、やはり化学の道に進みたいと思い応用化学科に進学しました。規模が大きく幅広い分野を網羅していることも決め手の一つとなりました。

■ 学びの先にあるユニークな考察

理工学部の授業は、演習やディスカッションなど、“学びをもとに個人がどう考えるか”ということに焦点を当てたものが多いです。

その象徴といえるのが学生実験です。教科書を鵜呑みにせず、自分の五感で実際の現象を確認すること。一つの現象にどう意味を見出すかは人によって異なり、生まれる考察は唯一無二であること。これらの重要性を実験のたびに感じることができ、大変有意義な時間を過ごせています。

■ 仲間の本質を尊重し高め合う

理工学部と聞くと、女性が占める割合が少ない点を気にされる方もいるかもしれません。しかし、性別などの「特徴」ではなく、人柄や能力、価値観といった「本質」を尊重する学生が多いです。そのため、誰でも不安を感じることなく充実した毎日を送ることができるでしょう。

また、課外活動として、大学公認の学生団体「ワグネル・ソサィエティー女声合唱団」に所属しています。定期的な演奏会のほか、国内外の大学との合同演奏会、ウィーンやチェコでの海外公演など演奏機会は多岐にわたります。その企画・運営も学生が行うので活動を通して多くのものを得られましたが、中でも一番大きいのは、やはり常に心の支えになってくれる仲間存在です。慶應義塾大学ではあらゆる場面で、切磋琢磨しながら高め合うことができる仲間に出会うことができます。

■ 自分の意思を胸に全力で取り組む

4年生からは、癌の基礎研究に携わる研究室に配属される予定です。研究活動を主軸としながらも、合唱団の活動など他のことにも全力で取り組みたいと思います。

私は、自分の興味や意思に正直でいる、ということを大切にしています。将来どのような道に進むとしても、自分で決めたことを妥協せずにやり通したという経験が自分の基盤になるはず。受験生の皆さんには、勉強以外のことも含め全力で取り組み、自分の可能性を広げてほしいです。慶應義塾大学には、熱意さえあればそれを実現できる環境が揃っています。慶應義塾大学でお会いできることを楽しみにしています。

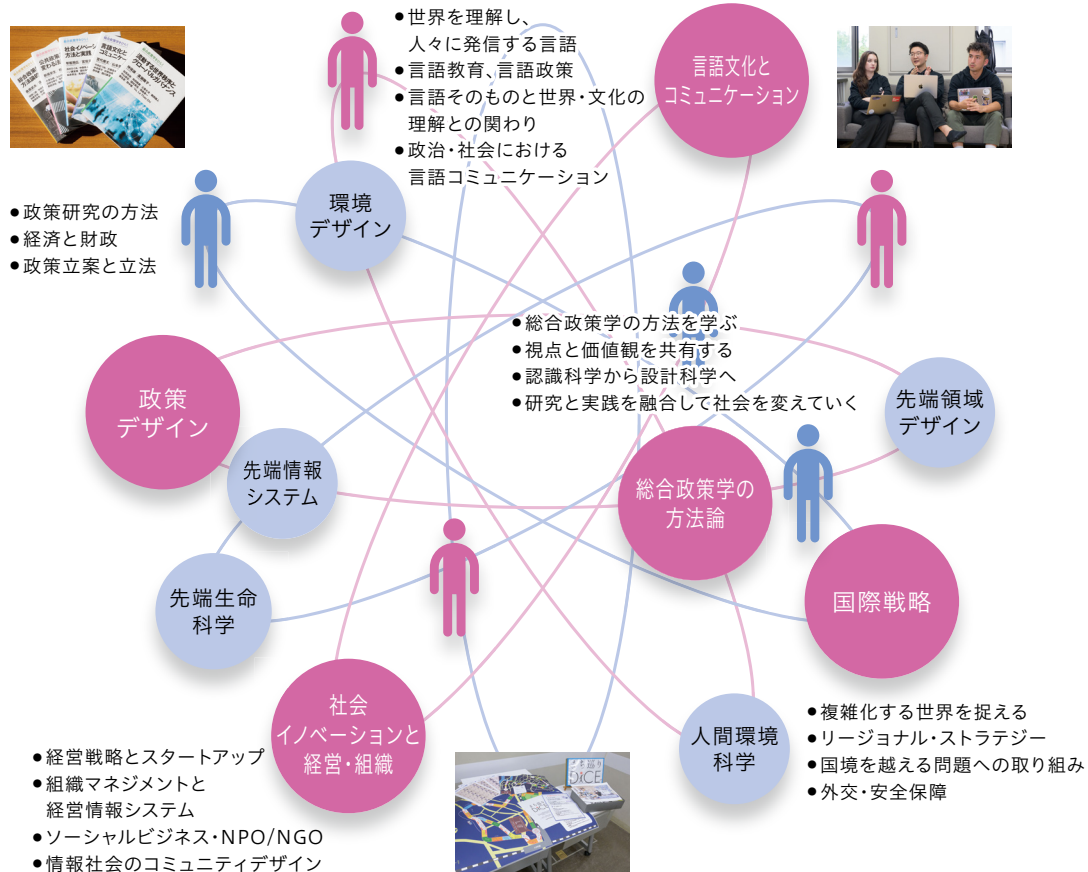
理工学部3年 M.H.(東京都・筑波大学附属高等学校 出身)

総合政策学部

Faculty of Policy Management

総合政策学科

政策を「創り、実践する人」を育てる



未来を切り拓くための政策を考える

大きく流動するグローバル社会に生きる私たちは、

既存の解決方法を受け入れず、新しい思考を要求する問題群と向き合っています。

そもそも現実社会の問題群は特定の学問領域の内側に立ち現れるわけではありません。

問題解決のための有効な政策的判断を導くためには、学際的、領域横断的な視点が必要です。

総合政策学部は、政策を「人間が何らかの行動をするために選択し、決断すること」と捉え、

社会的コミットメントと実践を通じて知を形成してゆくという「実践知」の考え方を掲げ、

イノベティブな政策を生み出す力を涵養し、

よりよい日本と世界を創造する志のあるリーダーを育てます。



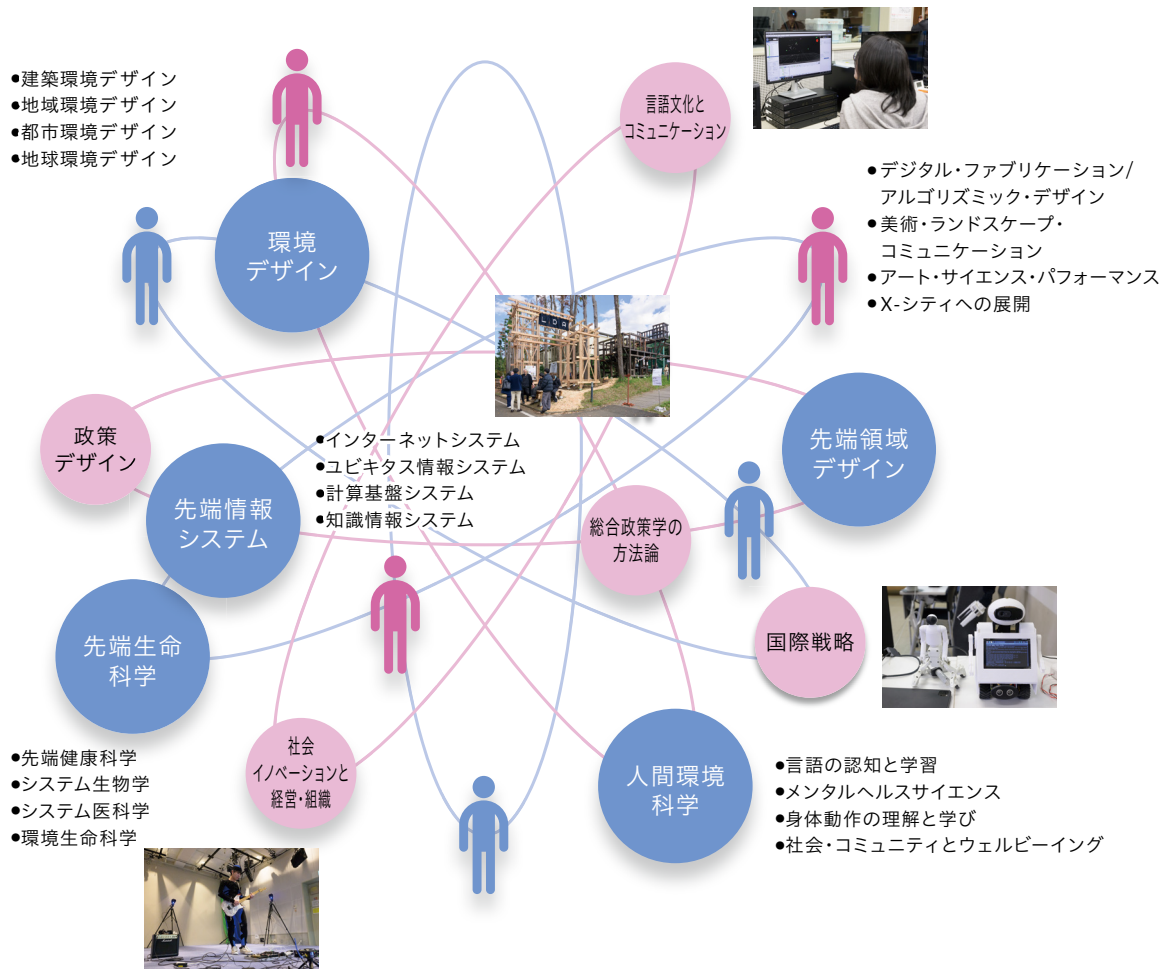
<https://www.keio.ac.jp/ja/sfc-pem/>

環境情報学部

Faculty of Environment and Information Studies

環境情報学科

人と地球のサイエンスで、未来社会を創造



「環境と情報の世紀」におけるグローバルリーダー

近年私たちを取り巻く環境の変化は早く、
予測が困難で不確実性が高いVUCAの時代と呼ばれています。
環境情報学部では最先端のサイエンス、テクノロジー、デザインを駆使し、
柔軟に人文・社会科学と融合することによって、
地球、自然、生命、人間、社会を理解し、未解決の問題に取り組み、解決策を創造します。
学問分野を横断した学びにより変化に対応できる力を養い、
先を見通せない時代を生き抜き、
未来を創造する先導者を生み出します。

<https://www.keio.ac.jp/ja/sfc-pem/>





総合政策学部

問題の本質を発見し、政治、法律、経済、社会、文化、テクノロジー、心と体などさまざまな領域を取り込みながら、学生と教員が一体となって解決を目指します。

総合政策学部における卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)についてはウェブサイトをご覧ください。



国際戦略の分野

国際社会にはいま協調と対立の機運とが併存しています。世界をグローバル、リージョナル、ナショナルな視点から複眼的に捉え、多様な主体に焦点をあてた国際戦略とガバナンスのあり方について考えます。



■ 複雑化する世界を捉える

グローバルに展開する政治・経済・社会現象を幅広く分析し、紛争と協調、成長と分配、統治と参加、技術革新の影響など、多角的な視点から世界を捉え、ガバナンスのあり方を追求します。

■ リージョナル・ストラテジー

グローバル化の進展によって、地域のありかたが問われています。東アジア、欧州、米州、中東、アフリカなど、世界各地でグローバル化とそれへの抵抗が相克するメカニズムを考えます。

■ 国境を越える問題への取り組み

戦争、貧困といった「脅威・欠乏からの自由」を確保し、安全・安心を実現するために何ができるのか、国際レベル、国家レベルの政策に加え、個人及びコミュニティのあり方を研究します。

■ 外交・安全保障

東アジアは緊張の度合いを高めています。国際協調をとらねれば平和を達成できるというシナリオは現実味を失っています。いかにして、この地域における緊張を軽減できるかを総合的に考えていきます。

言語文化とコミュニケーションの分野

言語は人々をつなぎ、文化を生み出します。言語の文化は、人間同士を結ぶコミュニケーションによって培われます。このような言語文化とコミュニケーションの視座から、世界のさまざまな現象・問題を考えます。



■ 世界を理解し、人々に発信する言語

従来の語学に留まらず、言語を通して世界の思想や文化、人々の生活について理解を深めます。また、高度に言語を運用できるプロフェッショナルとして、グローバルなコミュニケーションを行える能力を培います。

■ 言語教育、言語政策

言語文化やコミュニケーションの問題について、第二言語習得論や学習環境デザインなどの観点から探究します。また、そのような言語教育上の研究を、多文化共生を目指す言語政策へと結びつけて発展させていきます。

■ 言語そのものと世界・文化の理解との関わり

言語にはどのような働きがあり、その言語を使って私たちはどのように文化的な世界と、そして人々と関わっているのか。この問題について、理論言語学や社会言語学、文学・物語などの角度から取り組みます。

■ 政治・社会における言語コミュニケーション

言語コミュニケーションには、その時々や政治の問題が映し出されます。国内の使用言語をめぐる葛藤や、宗教と社会の関係、越境体験などです。これらの問題をさまざまなアプローチを通して考察します。

社会イノベーションと経営・組織の分野

スタートアップや老舗企業、NPO/NGO、政府機関等が、新しい発想と方法による課題解決を目指す社会イノベーションに取り組んでいます。研究と実践の融合の中から、「社会的な成果」と「経済的な成果」を追求する新たな方を学びます。



■ 経営戦略とスタートアップ

事業のスタートアップやベンチャーの成功には、ミッションの明確化、深い経営知識、迅速で確かな実行力が必要で、社会性も求められます。激動する環境において、これらを成し遂げるこれからの経営戦略を探究します。

■ 組織マネジメントと経営情報システム

あらゆる組織活動においてその担い手も顧客も多様な個人です。新しい時代のライフスタイルや顧客ニーズ、キャリアパス、リーダーシップ、組織文化の理解を深め、マーケティング、組織デザイン、人材開発等の発展を考えます。

■ ソーシャルビジネス・NPO/NGO

社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネスやNPO/NGOの歴史と現状を理解し、今後の新しい展開を構想します。社会起業家に求められる要素、組織や活動の方法、政策の考え方を実践的に身につけていきます。

■ 情報社会のコミュニティデザイン

コミュニティや組織のガバナンスやプラットフォームのあり方を考えます。現代に求められる「安心・安全」「持続可能性」「社会的包摂」の実現方策など、マクロとミクロの視点から新しい社会のデザインに挑みます。

政策デザインの分野

変化を続ける政治・経済・社会的環境に適応し、毎日をより良いものにする手段として政策を広く捉えます。

政府や様々な主体が参加して政策をデザインし、国際競争力強化や地方創生に繋げる方法と概念を学びます。



■ 政策研究の方法

政策研究は、理念や構想、政策立案および制度設計、政策実施から評価に至る一連の過程から構成されます。社会で起きている問題の本質を解きほぐし、解決策を探るための政策研究の方法を定性、定量、混合手法を横断しつつ身につけていきます。

■ 経済と財政

国や自治体の政策を立案する上で、経済と財政は根幹となる部分です。厳しい財政状況という現実を踏まえ、実社会の問題解決に直結する経済分析に取り組み、理解を深化して現実的な政策に結びつけていきます。

■ 政策立案と立法

技術革新、ダイバーシティの広がり、ボーダレス化に即した法制度や政策立案が求められるなか、SFCの強みを活かして、技術や社会環境の変化までも視野に入れた、持続可能な社会につながる具体的な政策立案や法制度について学びます。

総合政策学の方法論の分野

総合政策学部で強調されてきたのは複数の分野を学び、新しい問題解決の方法を切り拓くことでした。

現在は、そうした「分野の掛け算」に加えて、必要に応じて新たな方法を学び取る「方法の足し算」へと発展しています。



■ 総合政策学の方法を学ぶ

総合政策学は、世界を認識するための認識科学を前提に、目的の実現に向けて仕組みのデザインをよりよく行う設計科学を志向しています。そのため目的に合わせて複合的に研究の方法を学び、組み合わせる手法を身につけます。

■ 視点と価値観を共有する

具体的な方法にくわえて、多様な視点や価値観を交わすことも問題解決に向けた研究と実践に欠かせません。講義はもちろん、このキャンパスでは多様な視点と価値観が共有され、それが研究の大きな基盤となっています。

■ 認識科学から設計科学へ

設計科学を志向すると、よりリアルな認識科学が求められます。そのためにインタビューやフィールドワークといった定性的研究、データサイエンスや社会実験といった定量的研究、さらには両者を組み合わせた混合研究の方法を学びます。

■ 研究と実践を融合して社会を変えていく

研究の成果を生かすためには実践が欠かせません。研究会やプロジェクトでフィールドに出て現実の課題に取り組み、先達にお話を伺い、その学びを還元させていく。そうした研究と実践の融合の循環で社会を変えていきます。



環境情報学部

先端のサイエンスを追求し、生命、心身の健康、環境とエネルギー、デザイン、防災やメディアなどの新しい課題に、総合政策学部と一体となった社会科学のアプローチを力として、変動する国際社会の未来を担うグローバル情報社会を創造します。

環境情報学部における卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)についてはウェブサイトをご覧ください。



先端情報システムの分野

コンピュータやネットワークはその存在を主張せず、情報システムは水や空気のように日常に溶け込み、我々の生活をさまざまな形で支援する、そのような先端情報システムを創造し、諸問題に挑みます。



■ インターネットシステム

社会活動や生活の安全・安心・快適を支えるインターネットやモバイル技術について、実際のネットワークを運用しながら実践的に研究します。

■ ユビキタス情報システム

AIを活用したセンシング技術やデータ処理技術等の高度化、ロボティクスや自動運転、ドローン利用システム等の実現など、情報の力で人や街を拡張する新しいユビキタスコンピューティングを研究します。

■ 計算基盤システム

先端情報システムの基盤を支えるさまざまなシステムソフトウェアや量子コンピューティングをはじめとする新しい計算基盤システムについて研究し、それらを創出・運用できる技術者集団を育成します。

■ 知識情報システム

人の体から宇宙まで、さまざまな対象から得られる超大規模データをリアルタイムに処理して新たな知を創造し、発展的に共有・抽出・検索・予測するサービスの基盤技術を研究します。

先端領域デザインの分野

まだ確固たる名称のない、未知なるデザイン・研究領域(= X-Design)の開拓にチャレンジします。異端(eXtreme)かつ実験的(eXperimental)に、領域を横断・乗算(Crossing, X)し、真の自己表現(eXpression)を行ない、未来の地球・社会・文化のために貢献します。



■ デジタル・ファブリケーション / アルゴリズムック・デザイン

デジタル・ファブリケーションや3D/4Dプリンティング、コンピュータ・アルゴリズムを駆使して植物のように建築を育てたり、未知なるモノづくり領域の開拓に挑戦します。

■ 美術・ランドスケープ・コミュニケーション

幾何学や美術、環境デザインや地図表現、歴史や地域景観、場づくりやコミュニケーションについて探究し、未知なる次の建築・都市・景観・場づくりをデザインすることに挑戦します。

■ アート・サイエンス・パフォーマンス

自らの直感に基づく芸術的な活動、実直なデータを収集し客観的な分析を中心とする科学的な活動を超越的に融合し、音楽や映像などの分野で、唯一無二の自己表現・パフォーマンスを探究します。

■ X-シティへの展開

Xデザインの精神や技法を応用し、都市や地域の新たなコンセプトを提唱し、実際に実践を通じて具現化します。

先端生命科学の分野

SFCでは、医・薬・理・工・農・情報・政策を融合した世界最先端の生命科学を展開しています。

分野にとらわれず、あらゆる学問を総動員して生命のしくみを解明し、健康・医療・食品・環境分野に貢献します。



■ 先端健康科学

未来の健康長寿社会に貢献するために、最先端テクノロジーと健康政策などの社会科学を駆使して、文理融合の斬新な切り口で挑戦しています。

■ システム生物学

ゲノムやメタボロームなどのオミクス解析を実施し、それらの情報をコンピュータ上で統合させ、複雑な生命をシステムとして理解しています。SFCはシステム生物学の世界的パイオニアです。

■ システム医科学

システム生物学を医学・薬学に応用し、分子生物学、情報科学、分析化学などを融合した新しい切り口で病気のメカニズムの解明や治療法の開発に貢献します。

■ 環境生命科学

"地球の役に立つ"微生物や分子を探索しています。また、特定の環境下に存在する生物を遺伝子レベルで網羅的にモニタリングするなど、環境学にも大きく貢献しています。

環境デザインの分野

建築・都市・地域レベルから地球レベルにわたるスケールの異なる幅広い視野で、

持続可能な未来の環境デザインに関して、データ・エビデンスベースの実践的な教育・研究に取り組んでいます。



■ 建築環境デザイン

建築空間のデザイン、構造のデザイン、生産手法などの建築の空間に関わる環境を意識し、実社会に展開するための構築方法やデザイン手法、IT技術の応用などのデザインについて実践的に取り組んでいます。一級建築士試験を受験できる授業体系となっています。

■ 地域環境デザイン

リモートセンシング、IoTによるフィールドセンシング、地理情報システム、気象・気候解析などの空間情報技術やデータ分析技術を研究・開発・活用して、災害リスク適応や地域活性化の要請を捉えた脱炭素型社会・持続可能なまち・地域デザインの支援に取り組んでいます。

■ 都市環境デザイン

都市の歴史や文化・文脈を読み解き、まちづくり、地方地域再生、生態環境や防災システムなどの視点も加え、都市や地方の環境の創造と保全を通じた安全で豊かなハードとソフトの環境デザイン研究と実践に取り組んでいます。

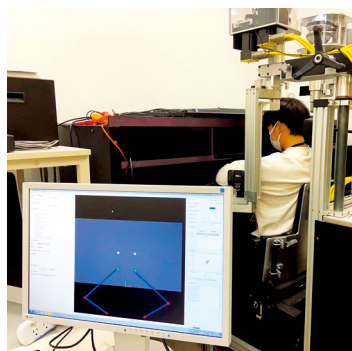
■ 地球環境デザイン

地球規模の技術革新や国際的な協調関係の構築などを通じて、人新世時代に突入した人類社会が直面する気候変動への対応、災害リスク軽減と持続可能な発展(SDGs)といった緊急な課題に対する戦略的な解決策を考え、実践的に取り組んでいます。

人間環境科学の分野

人間が身体や言語を駆使しながら環境と相互作用するプロセスと変化を、個人、コミュニティ、社会レベルで捉え、考察します。

それにより、人間の認知や行動への深い理解と、健康でウェルビーイングな社会の実現を目指します。



■ 言語の認知と学習

人間の言葉の理解や獲得における認知のメカニズムに、言語学・心理学・神経科学・デザイン学など多方面からアプローチし、状況や場の影響も考慮した人間の「知」を探究します。

■ メンタルヘルスサイエンス

人間の生理的・心理的な状態や諸機能を臨床心理・精神保健・数理モデルなど多様な手法を用いて探究するとともに、環境の改善を提案することで、人々のウェルビーイングの維持・向上を目指します。

■ 身体動作の理解と学び

身体動作の制御や学習の原理を科学的に理解するために、生体力学や脳神経科学などからアプローチし、スポーツや芸術活動などの技能の向上や、失われた身体機能の回復のために役立てます。

■ 社会・コミュニティとウェルビーイング

コミュニティや社会が複雑化・流動化していく中で、人間はどのように変化していくのか、多種多様な手段でその相互作用を捉えて考察し、健康・教育・文化の発展を促します。

学生の声

〈総合政策学部〉



目標を持って、 全力で突き詰められる人のSFC

■ 様々な分野の学問を横断的に学びたい

総合政策学部を志望したのは、一つの学問にとらわれずに勉強したいと思ったからです。私は幼いころから取り組んできたクラシックバレエの労働問題に興味があり、そこを軸に、経済や経営、労働法、社会構造などを横断的に学べる大学を探していました。

SFCならそれができると思ったので目指すようになりました。調べていくうちにキャンパスの自然豊かな環境や、出身の先輩方の活躍を知り、SFCに入りたい気持ちがさらに強くなりました。

■ 所属する研究会での発見と刺激

私はソーシャルマーケティングをテーマにしている研究会に2年生の秋学期から所属しています。この研究会の特徴は、インプットとアウトプットをバランス良く行える点だと思います。毎週輪読する内容のプレゼンを行いながら、個人研究やチーム研究を進めます。輪読で学んだ内容を自分の研究に活かすことができるため、たくさんの発見があります。大学の内外で様々な取り組みをしている人が多いので、フィードバックも多角的で毎回刺激をもらっています。

自分がやりたいことに素直で、それを全力で突き詰められる人にたくさん出会えることがSFCの魅力だと思います。目標を持って、起業している人、学内外の様々な活動に取り組んでいる人にあふれたキャンパスです。そのような人たちはみんな目が輝いていて、出会ってお話をする、多くの気づきを得ることができます。

■ バレエの魅力を伝え、問題に向き合う

授業や研究会活動の一方で、私はバレエに関する学生団体を運営しています。学生生活の中で知り合った友人と問題意識が一致し、活動することになりました。「バレエと生きる人の交差点」というコンセプトのもと、バレエの魅力をより多くの人に伝えるため、ダンサーの労働問題と向き合うために活動しています。

具体的には、ワークショップ・イベントを開催したり、映像作品を制作したりしています。映像作品の制作では、大学内の映像サークルと協力して撮影を行っていて、SFCで出会った人たちと実際に活動できることがとても楽しいです。

■ 自分の思いを言語化する力を磨く

私は、価値あるものを多くの人に届けられる人になりたいと思っています。そのために今は、言語化する力を磨いています。高校までは言語化が苦手で、だからこそ、バレエという表現方法に頼っていました。しかし、そのバレエの価値を届けるためにも自分の思いや考えを言語化することの必要性を実感しています。その力を磨くために、研究会や学生団体の活動にも貪欲に取り組んでいます。

皆さんが、大学で突き詰めたいと思っていることは何でしょうか。SFCは、一人ひとりの思いにきっと応えてくれます。

総合政策学部3年 M.Y. (神奈川県・県立湘南高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



自分で自由に組み立てる学びを、 新たな一歩のきっかけに

■ 1年生から研究会で学びを深められる

大学を選ぶ中で慶應義塾大学の総合政策学部に着かされたのは、学べる領域の広さと、それぞれの領域の深さです。私は広い興味分野を持っていました。単なる経済学ではなく、まちづくりであったり、環境問題であったり、特定の一分野にとどまらないものだったのです。そんな私にとって横断的な学びの可能性はとても魅力的でした。

研究活動の大きな特色は「研究会」の存在です。SFCでは1年生から研究会に所属できます*。授業で得た知見や生まれた興味を研究会で深め、やりたいことを決めていく、というイメージです。また、研究会は自分の強みを伸ばす場でもあります。私は今、NPO法人での地域活性化活動の経験を活かし、まちづくりに関する研究を行っています。地元香川県の地域活性化について詳細にまとめることが目標です。

■ 問われるのは自分の意見を伝える力

SFCでは、一般選抜の小論文(p.137参照)からも読み取れる通り、自分の意見を相手に伝える力が問われると思っています。それを強く感じたのが入学後の授業でした。グループディスカッションで、全員がしっかりと芯のある意見を持ち、積極的に議論する姿勢に驚かされました。

また、SFCには起業する学生が多いですが、その大きな理由は、学び方を自分で自由に組み立てられるカリキュラムにあると思います。時間を有効に活用できる学びの構築、そこから生まれる余裕が、新たな一歩を踏み出すきっかけになっていると思っています。

■ 七夕祭の開催責任者としてのやりがい

課外活動としては、SFCでの学園祭である七夕祭(p.156参照)の実行委員会に所属し、執行部長という学生側の開催責任者を務めています。七夕祭は、学園祭でありながら地域の夏祭りという側面を持ち、藤沢市の後援も得て盛大に開催されるイベントです。

夜には花火も打ち上げられる、高校の文化祭とは比べ物にならない規模のイベントを学生主導で行うので、やりがいも非常に大きいです。また、協賛を依頼するための連絡業務や数百人の団体を統率する経験は、将来にも大いに活かせるものだと思います。

■ 地方から慶應義塾を目指す受験生のために

私は高校時代、都市部と地方の教育の格差、特に地方の進学への選択肢の少なさを感じていました。そのような問題意識から私は、地方から慶應義塾大学を目指す受験生に学生の声を届ける活動に取り組んでいます。今までに、地元の高松市で行われた早慶合同説明会や大阪シティキャンパスでのSFC説明会などに参加してきました。

皆さんには、思っていることを言語化できるようになってほしいです。それは、自分の意見を相手に伝える力になり、受験にも入学後にも役立ちます。多くの時間を割いてきた努力は決して無駄にはなりません。信念を持って最後まで頑張ってください。応援しています。

総合政策学部2年 S.O. (香川県・県立高松高等学校 出身)



自ら考えて行動し、 未来を切り拓いていく力を育む

■自分の興味に合わせて学びをデザイン

私は、好奇心旺盛な性格から、多様な学びの機会を得られる大学を探していました。その中で出会ったSFCは、一つの分野に限定して学ぶのではなく、興味が広がるたびに新たな領域を探索できる環境が整っていて、私にとって最適な学びの場だと感じました。

最大の魅力は、自由度の高い学びのスタイルです。必修科目が少なく、様々な分野の授業を横断的に履修できるので、学生一人ひとりが自分の興味に合わせて学びをデザインできます。初めは幅広く知識を身につけながら、最終的には先端的なテーマや専門分野に深く踏み込んだ学びにつなげることが可能です。

■視野が広がる研究会のフィールドワーク

1年生から研究会に所属できることも、SFCの特長の一つです*。私は、「コミュニケーション」という観点から場づくりを考える研究会に所属しています。この研究会では、フィールドワークを通じた実践的な学びを大切にしています。自分の体を動かして実際に現地に足を運び、観察を通して得た気づきや発見、理解を深める過程はとても新鮮で、自分の視野がどんどん広がっているのを感じます。

温かなコミュニティのような一面も見逃せない魅力です。研究会の後には当番制でご飯を作り、みんなで食卓を囲みながらお話をする時間があります。この何気ないひとときが、学びと同じくらい心に残る大切な時間になっています。

■児童養護施設にボランティアで貢献

課外活動は、児童養護施設でのボランティア活動に力を入れています。具体的には、交流会が開かれるたびに、工夫を凝らし勉強の要素を取り入れたレクリエーションを準備しています。個人として募金活動にも挑戦し、多くの方々の協力を得て活動費を集めることができました。

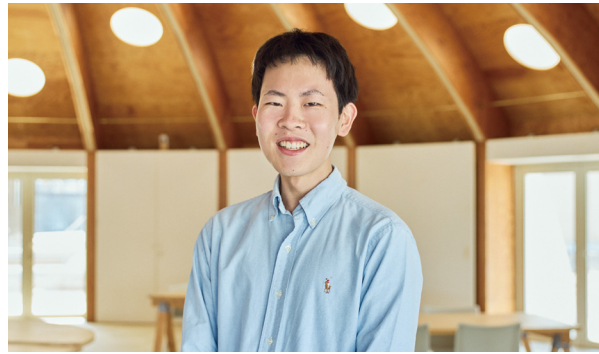
この活動を通じて、児童虐待や社会的養護の現状についても深く知る機会を得ました。同時に、熱意を持った心優しいボランティアクルーとの出会いは大きな刺激となり、自分が社会に対して何らかの貢献ができていくという実感を得る貴重な体験になったと感じています。

■SFCでの経験は一生の財産になる

SFCには、強い意志を持ち、様々な挑戦をしている学生がたくさんいます。日々このような仲間たちから刺激を受け、切磋琢磨しながら、自分の可能性を広げていける環境があります。自ら考えて行動し、未来を切り拓いていく力を育める場所です。

卒業後は、「人々の生活を豊かにする何かを創り出したい」という目標を持っています。その実現へ向け、自分の興味を追求しながら進路を考えていきたいと思っています。私は、SFCでの経験は一生の財産になると確信しています。その確信を、合格の先で皆さんにも実感してもらいたいです。心より応援しています。

環境情報学部2年 A.S. (福岡県・筑紫女学園高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



興味関心のあるテーマを、 多角的な視点から深められる強み

■自分がやりたいことを見つけられる

私は受験校を考えていた高校3年生の時に、慶應義塾大学環境情報学部の公式サイトを閲覧しました。その際に、様々な専門領域で最先端の研究をされている先生方とともに、文理融合で学際的な学びができること、カリキュラムの自由度が高いことを感じました。

ここであれば、やりたいことがまだ決まっていない自分でも、集中して取り組める興味関心のあるテーマを見つけ、将来へ向けた学びの方向を定めていけるのではないかと思います。思いを志望しました。

■論理だけでは語れない「人間の行動選択」

現在私は、入学後に見つけた「人間の行動選択」というテーマのもと、「人間の推測のメカニズムとリスク選択」について研究しています。そのために脳情報科学を専門とする研究会に所属しています。

株式の取引や商品の購入、ギャンブルなどお金が動く現象には必ず人間の行動が関わっています。その際に人間は、論理的に考えて最もリスクを減らせる行動だけを取るわけではありません。現在の社会情勢、周囲の人や自分の今の状況など、様々なデータをもとに考えているはずなのですが、常に最も合理的な行動を選択するわけではないのです。私は、論理だけでは語れない人間の面白さを吟味した上で、その曖昧さまでを含めて「人間の行動選択」を予測したいと考えています。

■行動経済学や機械学習も研究の一部分

学際的な学びの強みは、興味関心のあるテーマを、多角的な視点から深められる点にあると思います。私の場合、デジタルデザイン系の研究をしている人や行動経済学を専門に学んでいる人から話を聞き、心理学系の科目、脳情報やゲーム理論の科目を併せて履修することで、自分の研究テーマ、実験手法への考察を深めています。

さらに、脳情報科学を学ぶ過程では、コンピュータがデータからルールやパターンを学習し、それに基づいて判断や予測を行う機械学習についても学んでいます。「人間の行動を予測する」ことを一つの大きな目標に、その達成へ向けて学際的な研究に取り組む日々です。

■海外で実感した語学力の大切さ

初めての海外旅行も強く印象に残っています。大学2年生の夏に米国のハワイに行ったのですが、せっかくの海外なので、翻訳機には頼らずに乗り切ろうと決めていました。入国審査での英語の質問に「ああ、本当に海外にいるのだ」と感じたことを今でもよく覚えています。フレンドリーな人々との会話、レストランで苦労した座席交渉などを通し、語学力とともに伝える気持ちの大切さを学び、英語が話せることで広がる世界を実感しました。この経験を活かし、今後は海外留学にも挑戦したいと考えているので、語学試験のための勉強にも力を入れています。

受験生の皆さん、自分の憧れに近づくとチャンスです。諦めずに頑張ってください。SFCでお待ちしています。

環境情報学部2年 R.K. (東京都・本郷高等学校 出身)

*原則として、2年次から学期ごとに最大2つの研究会を履修できますが、1年次であっても、担当者から特に認められた場合に限り、1学期に研究会A(4単位)、研究会B(2単位)のいずれか1科目だけ履修することができます。

総合政策学部・環境情報学部のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

自分の学び方は、自分で決める

自分の研究テーマや目的にいちばん適した学び方を一人ひとりが自由に組み立てる、他にはないユニークなカリキュラムを採用。総合政策学部・環境情報学部の学生は、2つの学部の授業や研究会を自由に行き来して学ぶことができます。

1 学年
大学生活に慣れるとともに、基礎的な力を養成し、今後の学習の基盤となる力をつける。

2 学年
関心を持った領域の学びを広げ、深めつつ、自分に合った研究会を探し、参加する。

自由に選んで専門性を高めるための科目群

総合政策系

- 国際戦略の分野
- 言語文化とコミュニケーションの分野
- 社会イノベーションと経営・組織の分野
- 政策デザインの分野
- 総合政策学の方法論の分野

環境情報系

- 先端情報システムの分野
- 先端領域デザインの分野
- 先端生命科学の分野
- 環境デザインの分野
- 人間環境科学の分野

基盤科目(共通) / 先端科目

- デザイン言語総合講座
- データ・ドリブン社会の創発と戦略
- 公共政策
- アルゴリズムックデザイン
- ベンチャー経営論
- 多文化コミュニケーション
- ゲノム分子生物学
- 創造実践学研究法
- 開発とローカリズム
- 外交と戦略
- ポリシーマネジメント
- オープンデザイン戦略
- 地球システム
- 国際企業論
- 環境ヘルスサイエンス
- アナログ・デジタル電子回路基礎
- 芸術と科学
- 都市と環境
- パブリックマネジメント
- 感覚の生理と心理
- モノ創り実験工房
- 比較体制論
- 触覚と社会
- 脳と行動
- ヒューマンセキュリティ
- 世界史のなかの日本
- コーポレートガバナンス
- 生命現象と現実社会の比較論

研究会

基盤科目

総合講座科目

SFCでの学びを見渡す

総合政策学

環境情報学

ウェルネス科目

心身の健康を養う

心身ウェルネス 体育1～5

言語コミュニケーション科目

多言語を学び世界への「窓」を開く

英語 朝鮮語 中国語 マレー・インドネシア語 アラビア語 ドイツ語

フランス語 スペイン語 日本語 ロシア語 イタリア語

情報技術基礎科目

ICTを使いこなすスキルを磨く

情報基礎1・2 オブジェクト指向プログラミング基礎

システムプログラミング基礎 スクリプト言語プログラミング基礎

データサイエンス科目

データを駆使し分析する基礎を学ぶ

統計基礎 線形代数 微分・積分 CGと数学

医療・健康のデータサイエンス 国際社会のデータサイエンス ほか

選択必修で知の技法の基礎を養うための科目群



3 学年
次の年に一緒に卒業プロジェクトに取り組みたい教員を見定め、履修許可を受ける。

4 学年
学部での研究の集大成となる卒業プロジェクトに、2学期(1年間)かけて取り組む。

修士課程

博士課程

取得できる学位

- 総合政策学部: 学士(総合政策学)
- 環境情報学部: 学士(環境情報学)

8つのプログラム

- GR: グローバル・ガバナンスとリージョナル・ストラテジー
- HC: ヒューマニティーズとコミュニケーション
- PS: 政策形成とソーシャルイノベーション
- CB: 認知・意味編成モデルと身体スキル
- EG: 環境デザイン・ガバナンス
- XD: エクス・デザイン
- CI: サイバーインフォマティクス
- BI: 先端生命科学

プロフェッショナル育成コース

社会イノベータ

- 量子情報処理 経営分析 地球環境技術論
- イメージと精神分析 リーガルマインド
- 言語とヒューマニティ コンピュータショナルデザイン
- スポーツエンジニアリング NPOの設立と経営
- 宗教と現代社会 構成的認知論 まちづくり論
- デザインスタジオ 地方自治論
- 安全保障政策 メタボローム解析実習
- パーソナルプレイスデザイン グローバルガバナンス
- 組織戦略 デジタルファブリケーション
- 生命と知能の進化 政策過程論
- インタフェース設計論 ほか

- 地上学への研究 全世界インタフェースデザイン グリーンインフラ
- メンタルヘルスの研究と実践 防災社会デザイン ゲーム理論と経済数学
- xSDG コーチングとライフスキル 街と情報 現代アメリカ政治・外交研究
- デザインとジオメトリー 言語科学 先端生命科学 ほか 150 プロジェクト以上

修士研究会

卒業プロジェクト

修士論文

博士論文

ウェブ上のシラバスサイトで開講するすべての授業科目の内容をご覧ください。
<https://gslbs.keio.jp/pub-syllabus/search>



文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

総合政策学部・環境情報学部・ 湘南藤沢キャンパス(SFC)の情報をチェック

カリキュラムの特徴

■完全セメスター制度による柔軟なカリキュラム

完全セメスター制度を導入しているSFCでは、入学時期が4月と9月の2回、同様に卒業時期も3月と9月の2回あります。また、半年ごとに履修登録と、成績通知・進級卒業判定が行われているので、学習計画の達成度の確認、自分で組み立てたカリキュラムの変更や修正が行いやすくなっています。

■クォーター制に対応し、4年間をより柔軟に

慶應義塾大学では、4学期制と2学期制を併用した学事日程を導入しています。これに対応して、SFCでも春学期と秋学期のそれぞれ前半・後半に科目を多数配置することで、短期間に集中して学習に取り組むことができます。このことにより、海外留学、フィールドワークなど、大学を離れた活動も、休学することなく取り組みやすい環境となり、4年間の学習計画を柔軟に設計することができます。

■「研究を教員と学生がともに行う」という教育スタイル

SFCでは多様性のある一人ひとりの個性が尊重され、たくさんの学生が教員や仲間とともに研究や活動を行い、好きなことを実現しています。科目が基礎から専門へと配列されていないため、学生自身が、学年にとらわれず、研究に必要なカリキュラムを柔軟に組み立てられることもまた、SFCの大きな特徴です。

■広がる「学び」の可能性

総合政策学部・環境情報学部のGIGA(Global Information and Governance Academic Program)では、核となる授業がすべて英語で開講され、最先端のサイエンステクノロジー、デザイン、政策、国際戦略、社会イノベーションなどの分野を学際的なアプローチで留学生と一緒に学ぶことができます。このカリキュラムを通して、実践的な能力を持った21世紀社会においてグローバルに活躍できる人材を育成します。また、要件を満たせばGIGAプログラムのサティフィケート(プログラム修了証)を取得することも可能です。

■3.5年早期卒業制度と学部・大学院修士4年一貫教育プログラム

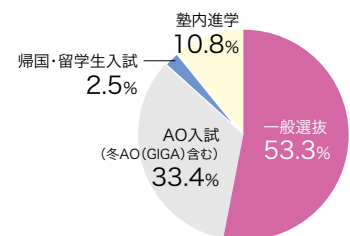
3.5年早期卒業制度とは、優れた成果を挙げた者に対して3.5年(7学期)在学すれば卒業できるようにする制度です。9月入学者の4月就職、4月入学者の海外大学院進学などを支援することを目的としています。また、学部・大学院修士4年一貫教育プログラムは、学生の意欲と能力に応じて、学部を4年間で卒業する場合とほぼ同じ費用と期間で、学士および修士の2つの学位取得を可能にする画期的な制度です。



SFCへの門

総合政策学部と環境情報学部では、一般選抜と年3回のAO入試(p.150参照)を実施しています。SFCは日本ではじめてAO入試を採用したキャンパス。これまで一般選抜による学力テストだけでは判定できないさまざまな能力に秀でた学生を受け入れ、さらに大きく成長できる環境を提供して社会に送り出してきました。2025年度総合政策学部・環境情報学部入学生の内訳は右のグラフのとおりです。

※2026/2027年度帰国生入試より募集を停止します。
※2027年度外国人留学生入試より募集を停止します。



2025年度入学者内訳
総合政策学部・環境情報学部
入学者総数：871名

あらゆる分野で活躍するSFCの卒業生たち

問題発見・解決能力に優れたSFCの卒業生は、活躍するフィールドも極めて多彩。それぞれの領域において業界の発展を牽引している企業が就職先として選ばれています(p.127参照)。また起業に関わった会社が上場したり、ミリオネアとなったコンピューターゲームを製作した人もいます。ほかにも国際・国家・地方公務員、法曹界あるいはプロ野球やJリーグ、プロのミュージシャンなど幅広い分野で“SFCスピリット”が活躍しています。



総合政策学部・環境情報学部アラカルトコンテンツ

研究所

SFC研究所

実践的な研究活動を通じて、より良い社会の実現に貢献。

SFC研究所は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)が、産業界、行政、NPO、地域社会などの外部と連携する研究活動を推進しています。総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科の附属研究所として、21世紀の先端研究をリードしつつ、実社会と緊密なつながりを持ちながら、学際的で有機的な研究活動を行うことをミッションとしています。SFC研究所では、外部からの400名以上の訪問研究者を含め、約700名の研究者により活発な研究活動がおこなわれています。



雑誌

KEIO SFC REVIEW



学生が主体となって取材・編集をしている広報雑誌です。SFCキャンパスの広報はもちろん、卒業生やSFC関係者らの新たなネットワークにつながる様々な記事を発表しています。また、SFCの全教員のプロフィールを紹介する特集(BRAIN号)『KEIO SFC REVIEW』の一環として発刊しています。



教員

多様な公官庁交流を実施

手付かずの領域に踏み込み、新しい状況を洞察し、問題解決への最適解を示すためには、土台となる技術や制度、組織を理解し、大胆に設計し直す知恵が必要です。その鍵は、公共政策にとどまらない、企業や非営利組織、個人といった多様なアクターの協働です。SFCでは、この「実践知」を深めるために、警察庁、環境省、総務省、厚生労働省、防衛装備庁との教員交流を実施し、社会安全政策、環境人材育成、高度ICT人材育成および社会保障制度に関する授業や研究に取り組んでいます。

授業

インターンシップとフィールドワーク

SFCでは、キャンパス外での学習・研究活動(オフキャンパス・スタディ)を推奨しています。オフキャンパス・スタディの一環として、フィールドワーク、インターンシップ等、様々な学習環境を設けています。研究プロジェクト科目の「フィールド研究1・2」では、春季・夏季休校期間中に、学生自身が個々の研究テーマに関連した実地調査や研究活動や就業体験を行い、具体的な成果を上げることが目的としています。毎年国内はもちろん、世界中でフィールドワークが実施されており、単位として認められています。

授業

多様な国際交流 — 交換留学と海外研修

慶應義塾大学では、毎年100校を超える外国の大学との間で、1年間海外で大学生活を送る「慶應義塾派遣交換留学制度」を実施しており、両学部から毎年約50名が参加しています。また、交換留学以外にも私費により毎年数名の学生が留学しています。このほか、SFCが独自に海外の大学と協定を結んで春季と秋季に実施している「海外研修」には、約8か国に毎年約200名の学生が参加しています。さらに海外の大学や大学院との間で、複数の学位を取得できるダブルディグリープログラムやインターネットを通じた連携授業も進めています。



SFC公式ウェブサイト

SFCパンフレットと連動しながら、SFCの魅力や施設紹介はもちろん、教員や在校生、卒業生の声など豊富なコンテンツを用意しているウェブサイトです。ソーシャルメディアも活用し、受験生や保護者の方に向けた情報発信を積極的に行っています。



YouTube

総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科の講義コンテンツや、キャンパス紹介を「YouTube」で配信しています。また、過去の「オンライン・オープンキャンパス」の様々なコンテンツもこちらから視聴できます。



X@keioSFC

SFC公式Xです。最新のSFC情報をつぶやいています。在学生向けのアナウンスや、注目のイベントなどのご案内も発信しています。



Instagram



SFCパンフレット



教員検索



SFCの学生紹介



S-face

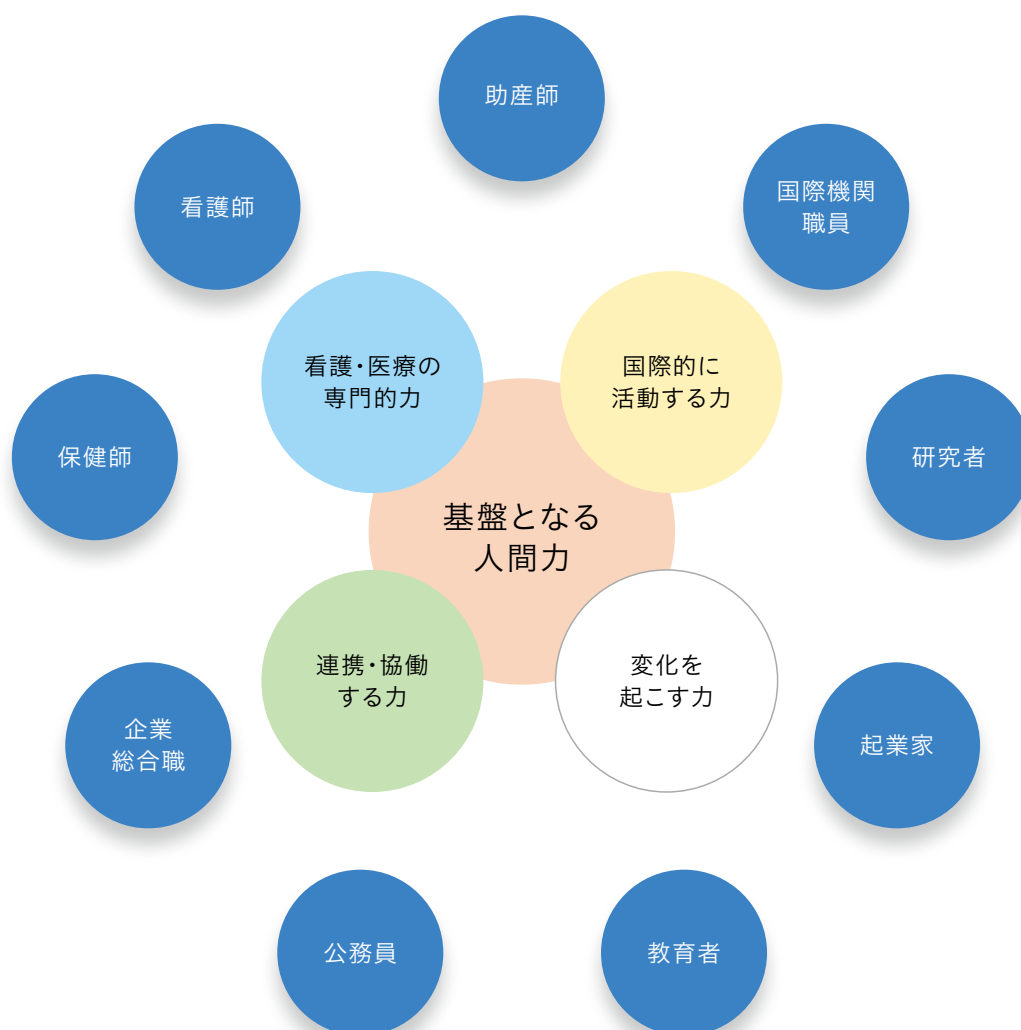
SFC研究所では、SFCの研究者を紹介する「S-face」を公開中。ウェブサイト、動画、冊子の3種類のメディアで多角的な発信を続けています。

看護医療学部

Faculty of Nursing and Medical Care

看護学科

保健・医療・福祉を一体化できる先導者を育成



看護医療の可能性を拓く、 時代や世界への視点

複雑でリスクの多い現代社会において、人々のよりよい健康や生活のあり方も多様化し、既存の保健・医療・福祉の領域を越えた看護の働きが重要になっています。そこには、人間に対する深い理解と尊重とともに、健康と生活の状態を把握する力、専門的知識や看護実践力、国際的な視野などが必要です。看護医療学部では、このような人間性と能力を備えた、先導者として活躍できる人材の育成を目指しています。

※将来のキャリアプランはp.78参照

<https://www.keio.ac.jp/ja/nmc/>



カリキュラムのねらい

看護医療学部で身につける5つの力

学則で定める卒業に必要な単位数を取得し、以下の5つの力を身につけることが、学士号授与の要件となります。

■ 基盤となる人間力

基本倫理としての生命・人間尊重の精神とともに、
人間的に調和の取れた人格を備え、社会人として成長することができる力。
ならびに、幅広く社会への関心を持ち、人々との出会い交流し、相互作用を起こすことができる力。

■ 看護・医療の専門的力

これからの社会や、人々の生活を見据え、看護の知識や技術を駆使して
新しい看護活動の場を創造し、保健・医療・福祉を先導するための基礎的な力。

■ 連携・協働する力

高度化された医療に対応する、さまざまな専門職で構成されたチームにおいて、
お互いの専門性を最大限に活かしながら、より優れた実践につなげるために行動できる力。

■ 国際的に活動する力

国際的な感覚とともに、日本のポジションや役割を的確に捉えることのできる幅広い教養を備え、
他の国々の医療専門職と協働できる、柔軟な発想や行動力を含めた基礎的な力。

■ 変化を起こす力

看護や医療および社会で起こっている、あるいは起こる可能性のある事象へ関心を持ち、
そこから問題を発見する批判的な力と、その問題を解決し、既存の枠を変革していく力。

これら5つの力は、「人間・社会科学領域」、「健康科学領域」、「看護科学領域」、「統合領域」の4領域で構成されるカリキュラムを通して学びます。

カリキュラムの構成

設置科目の
詳細は
p.76へ

4領域16分野で展開される多彩なカリキュラム

5つの力を身につけるための、基礎的な内容から実践的な内容まで幅広く学ぶことができる
4領域・16分野で構成されます。4つの領域すべてが、5つの力を身につけるための分野・科目を含んでいます。

■ 人間・社会科学領域

人間や社会を、広く深く理解するための科目が配置されています。

情報技術 自然言語 ヒューマンアング 制度・社会

■ 健康科学領域

心身の健康と、健康が破綻した時の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

健康科学・病態学 先端医療

■ 看護科学領域

人間をどうとらえ、人間が生活する環境や人間の健康をどうとらえ、看護をどうとらえるか。
さまざまな視点からアプローチできる科目が配置されています。

基礎看護学 母性看護学/助産学 老年看護学 小児看護学 成人看護学
精神看護学 在宅看護学 地域看護学 グローバルヘルス

■ 統合領域

「人間・社会科学領域」と「健康科学領域」における学びを基盤に、「看護科学領域」の9つの分野全体を見渡し、
医療とは何か、看護とは何かを、あらためて問い直すための科目が配置されています。

看護・医療統合

4年間のカリキュラム

(2026年4月1日現在)

総合大学の利点を活かした学び

看護医療学部では、総合大学の利点を活かし、学生の興味や関心に応じて他学部の科目を履修することができます。湘南藤沢キャンパスには総合政策学部、環境情報学部があり、学部の枠を超えて互いに刺激しあいながら学びを深め、視野を広げています。さらに看護医療学部、医学部、薬学部の医療系学部の合同教育を行っています。3学部の学生が相互に交流を深め、将来、患者中心のグループアプローチによる医療が実践できる医療人に成長できるようサポートしています。

医療系三学部合同教育 (p.89参照)

地域に根差したローカルな学びと世界中の学生との交流によるグローバルな学び

少子高齢化が進む日本において、人々の健康寿命を延ばし、また病気や障害を抱えながらも、住み慣れた地域で安心して暮らすことを支えるために、地域の住民やヘルスケア専門職の方々の協力や最先端のテクノロジーの活用により、要介護状態の予防、在宅ケアや介護サービスにおける看護職の役割を学ぶ科目が多くあります。

同時に、主に1年次に学ぶ英語に加えて、海外に渡航して海外の制度や医療を学ぶ科目や、アジア・米国・英国の看護学生を迎えてグローバルな視点で人々の健康問題を捉え、その解決にむけた方策を考える科目が充実しています。このようにローカルな学びとグローバルな学びにバランスよく取り組むことができます。

1

学年

豊かな表現力、コミュニケーション能力と、情報を活用する技術を修得する。

2

学年

看護学の基礎として、看護の対象である人間を理解し、看護ケアに必要な知識や技術を身につける。各実習科目を通して、人々の多様な生活や生き方、あらゆる形態の医療および保健・福祉の実際を知り、看護の果たすべき社会的役割についての関心を高める。

湘南藤沢キャンパス

人間・社会科学領域

情報技術

自然言語

ヒューマンケアリング

制度・社会

健康科学領域

健康科学・病態学

看護科学領域

基礎看護学

母性看護学／助産学

老年看護学

小児看護学

成人看護学

在宅看護学

地域看護学

グローバルヘルス

統合領域

大学院健康マネジメント研究科

3
学年

病气を持つ人を理解するための専門知識と、治癒・回復を支援するための援助技術を身につける。1・2年次の学習も統合して、演習(事例学習、技術演習)や臨地実習を行い看護実践に必要な基本的能力を修得する。

信濃町キャンパス

4
学年

各自の選択したコースに基づき、より専門性を深めるための学習を行う。医療連携も考慮した、視野の広い看護職を目指す。

湘南藤沢キャンパス・信濃町キャンパス

取得できる学位
学士(看護学)

さまざまなフィールドでの 実習

高い看護能力の修得を目指し、実習にも重きを置いています。

- 1 学年
病院における見学実習
- 2 学年
学内演習で身につけた技術を応用し、大学病院や外部の一般病院・高齢者施設などで実習
- 3 学年
さまざまな健康レベルにある人を理解し、看護を学ぶための、大学病院や外部施設(緩和ケア病棟・精神科病院など)での実習
- 4 学年
在宅療養中の人々に対する看護を学ぶための、外部の訪問看護ステーションなどでの実習
- 保健師選択コース
自治体の保健所・保健センターや企業の健康管理部門での実習
- 助産師選択コース
一般病院・大学病院の産科病棟・外来、助産院などでの実習

大学院看護学専攻との 5年一貫教育プログラム

看護学への関心と研究の意欲が高く、志の高い看護医療学部生のキャリア形成を支援するプログラムです。学部3年次(原則)に出願し本プログラムへの参加が認められた学生は、4年次に大学院の科目を先取り履修します。大学院の入学試験に合格し、健康マネジメント研究科看護学専攻に入学した後1年間で必要な残りの単位を取得し修士論文審査に合格することで、修士課程を1年間で修了し、学部入学から最短5年間で修士(看護学)の学位を得ることができます。

先端医療

基礎看護学

母性看護学/助産学

精神看護学

在宅看護学

地域看護学

看護・医療統合

大学院設置科目(一部)の早期履修

*各領域の具体的な設置科目はp.76参照

設置科目一覧

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目
人間・社会科学領域	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー	データサイエンス マルチメディア表現 保健統計学
	自然言語	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	ヘルスケア情報学 プログラミング入門Ⅰ プログラミング入門Ⅱ
	ヒューマン ケアリング	心の理解と共有	看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える
健康科学領域	健康科学・ 病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 急性期病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論	慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学
	先端医療		看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学
看護科学領域	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理 生活援助技術	医療支援技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護ケア実践Ⅰ(看護活動の実際) 基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助)
	母性看護学/ 助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	救急医学・救急看護 クリニカルエンジニアリングと医療安全管理
	老年看護学	老年発達援助論 老年発達援助実践	先端医療技術 遺伝と医療
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学	看護理論と実践 看護と哲学
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践	性と生殖における健康と権利★ 助産ケア学Ⅰ(ローリスクマタニティケア)★ 助産理論★ 助産診断・技術学Ⅰ(ローリスク妊産婦の診断とケア)★ 助産ケア学Ⅱ(ハイリスクマタニティケア)★ 助産ケア学Ⅲ(子育て家族へのケア)★ 助産診断・技術学Ⅱ(ハイリスク妊産婦の診断と治療)★ 助産管理★ 助産実践★
	精神看護学	精神看護学 精神看護学演習	慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践
	在宅看護学	在宅看護論 在宅看護技術演習	精神ケア実践
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	在宅看護実践
	グローバル ヘルス	災害と看護	公衆衛生看護活動論☆ 公衆衛生看護管理展開論☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ(行政看護)☆
	統合領域	看護・ 医療統合	看護研究Ⅰ 移行期看護論 医療システムアプローチ実践
		ナーシングマネジメント論 ナーシングマネジメント実践	看護研究Ⅱ 先端看護学 プロジェクトⅠ(基礎) プロジェクトⅡ(応用)

(2026年4月1日現在)



特色ある入試、学びの広がり

■ 意欲や適性を多面的に評価する入試制度

看護医療学部では、一般選抜に加え、AO(アドミッションズ・オフィス)入試、第2学年学士編入学試験を実施しています。

これらは、一般選抜とは異なる視点で、受験生の多彩な背景を評価しようとするものです。

詳細はp.152～153をご参照ください。第2学年学士編入学試験については学部ウェブサイトをご参照ください。



看護医療学部での学びや
キャンパスライフについて
看護医療学部ウェブサイトでも
ご紹介しています。

■ グローバルな視点で医療を学ぶプログラムを用意

春季・夏季休校期間には、看護医療学部独自の国際交流プログラム(選択科目)が5科目用意されています。

グローバルな視点で医療に触れることから生まれる問題意識は、未来の看護医療のあり方を模索していく原動力となります。

■ 世界の医療・保健制度Ⅱ(海外研修)

英国の医療・看護・福祉の制度とケア提供の実際について、講義や医療施設の見学を通して学びます。

■ 国際看護実践Ⅰ(国内研修)

看護医療学部と交流の深いウルチ大学(韓国)、復旦大学(中国)、サフォーク大学(英国)、ワシントン大学(米国)等の短期留学生と合同で、グローバルな保健・医療の課題について日本国内で学びます。

■ 国際看護実践Ⅱ(海外研修)

ウルチ大学(韓国)における研修を通して、グローバルな視点から看護コンピテンシーについて学びます。

■ 臨床看護実践(海外研修)

米国における最新の看護実践と看護教育の場を見学し、Patient- and Family- Centered Care の医療について学びます。

■ プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修)(医療系三学部合同)

ラオスにおける地域の人々の保健状況や健康に対する意識を知るとともに、国際協力についても学び、被援助国と援助国側の関係、開発におけるパートナーシップ、保健分野における持続可能な開発、住民中心の健康づくりの可能性を考えます。



※表記内容は2025年度時点での実績です。プログラム内容や研修先は変更になる場合があります。なお、社会情勢により開講されない場合もあります。

海外での学習や活動を支援する独自の奨学金

看護医療学部の前身、慶應義塾大学医学科附属看護婦養成所卒業生の寄附による

「青田与志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金」から、

海外での自主的な学習・研究活動に対する奨学金を支給しています。

これまでに奨学生は700名以上おり、世界各国で各自の興味に沿った多様なテーマの研究を行いました。

〈これまでの渡航先：米国、イスラエル、インドネシア、カンボジア、ザンビア、シンガポール、タイ、台湾、南アフリカ、インド、コンゴ、ガーナ、カナダ、東ティモール、フィリピン、パレスチナ、オーストラリア、英国、タンザニア、アイルランド、ルワンダ、ブータン、ヨルダン、ドイツ、ベトナム、スウェーデン、トルコ、スイス、フィンランド〉

進路希望に応じた選択コース制

看護医療学部では、卒業と同時に、全員が看護師の国家試験受験資格を取得できます。

さらに、保健師・助産師の養成のために選択コース制を導入しており、4年次に選択コースを修了すると、

保健師または助産師の国家試験受験資格も取得できます（人数制限あり・同時選択不可・助産師コースは女子のみ）。

選択コース希望者は、保健師コースは2年次秋学期、助産師コースは3年次秋学期に希望票を提出し、

選抜の結果、履修が許可されると、4年次において卒業に必要な科目と並行して各コースの必修科目を履修します。

各コースに設置された科目の中には、コース外の学生が履修できるものもあります。

卒業生全員

看護師国家試験受験資格



保健師選択コース修了者 (20名程度)

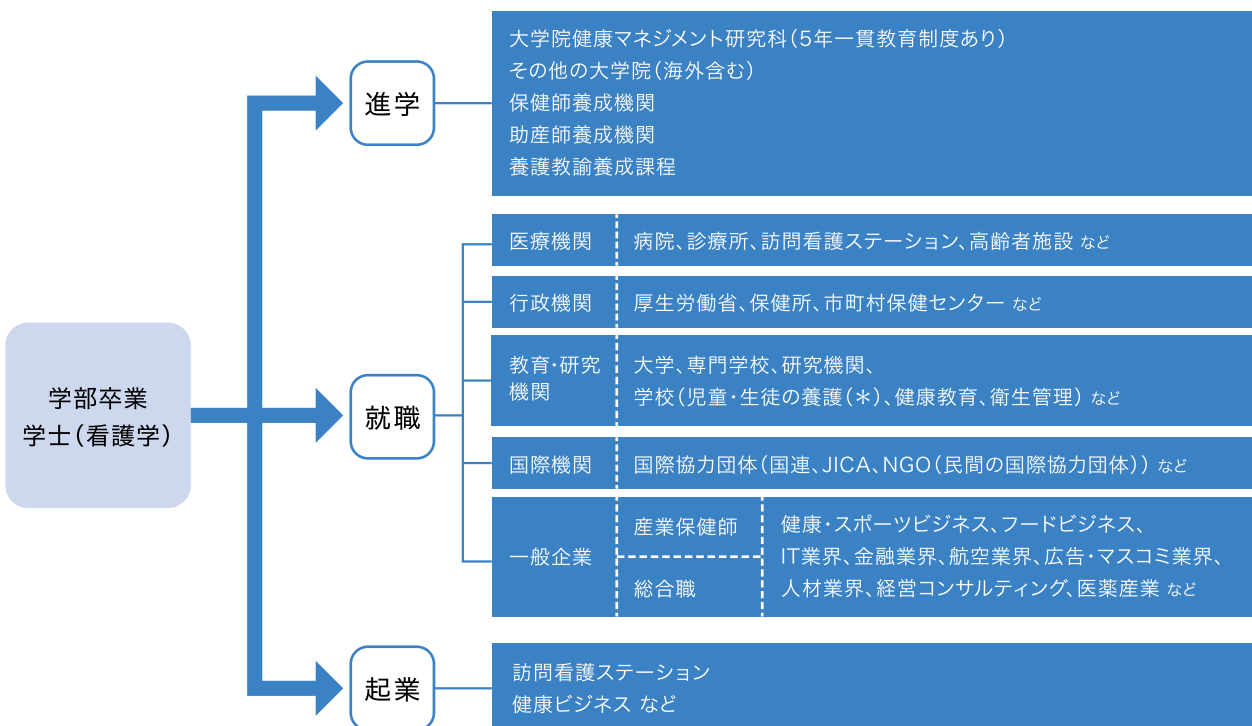
保健師国家試験受験資格

助産師選択コース修了者 (最大6名、女子のみ)

助産師国家試験受験資格

卒業後の進路

卒業後の進路は、慶應義塾大学病院をはじめとする病院への就職から、産業保健師や自治体への保健師としての就職、IT業界や金融業界などの一般企業への就職まで、実に多彩です。大学院や保健師・助産師養成課程へ進む学生もいます。



*保健師の資格取得後、申請により養護教諭2種の資格を取得できます（別途文部科学省令で定める科目の修得が必要）。

学生の声



少人数だからこそ得られる、 質の高い学びと手厚いサポート

■ 慶應義塾を選んだいくつもの理由

私は昔から医療職に興味を持っていました。高校生の時、人と関わることが好きであることから、医療職の中で最も患者さんと近くで関わることのできる看護師になりたいと思いました。

慶應義塾大学を志望した理由としては、総合大学であること、最先端の研究が行われていること、質の高い学びを得られると感じたこと、などが挙げられます。さらに、これまでお世話になってきた尊敬できる方々が慶應義塾大学にゆかりのある方が多く、自分も同じ環境で学びたいと考えたことも理由の一つです。

■ 医療系三学部の特別実習に主体的に参加

授業は、講義、演習、実習と大きく3つに分けることができます。講義で得た知識を学内での演習を通して技術として習得し、病院や施設での実習で実践するという流れで学ぶことができます。講義の中には、3Dプリンターを用いて介護・看護用品を作る授業もあり、患者さんの生活を支える様々な知識、技術を得ることができます。

医学部、看護医療学部、薬学部の医療系三学部での合同教育も行われています(p.89参照)。その中には希望者のみが参加する枠内で地域診断を行う特別実習があり、私は1年時にはメンバーとして、2年時にはファシリテーターとして参加しました。他の医療系学部の学生と約2週間活動を共にすることで多角的な視点を得られたほか、現地の衛生看護科の高校生との交流や、小・中学校での特別授業・実験の実施など、様々な経験を積むことができました。

■ 学生同士、先生や卒業生とのつながり

看護師資格を活かして、様々な場所で実際に活躍されている方々の話をうかがう機会もあります。先生方を通して、多彩な活動を行っている先輩方や看護職の方々とつながることもできます。

また、1学年100人ほどの学生数なので、学年を越えた強いつながりを得られることも魅力です。技術習得のための自主練習の際にも、教員の研究室に連絡することでアドバイスや指導を受けることができるなど、少人数だからこそサポートも手厚く、入学前に感じた通りの質の高い学びを得ることができています。

■ 小児分野の専門看護師を目指して

将来は、小児分野に関わり、小児の専門看護師の資格を取得したいと考えています。そして臨床において、子どもたちの意思を尊重し、療養中であっても、やりたいことを可能な限り我慢せずにできるような支援を提供できる看護師を目指したいと思います。

慶應義塾大学の看護医療学部では、男女を問わず、質の高い看護医療を学ぶことができます。自分のやりたいことを追及できる環境も整っています。皆さんが興味のあることに積極的にチャレンジし、より良い大学生活を送れるように願っています。

看護医療学部2年 H.Y.(東京都・中央大学附属高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



「とにかくやってみることを 応援してくれる先生や先輩

■ 多様な価値観に触れ、視野を広げたい

私は、人と直接関わる医療系の仕事に関心があり、受験を前に、看護系の学部を視野に入れるようになりました。慶應義塾大学の看護医療学部を志望したのは、総合大学ならではの学びの環境に魅力を感じたからです。様々な学部の学生との交流を通して多様な価値観に触れ、視野を広げられると思いました。

看護の学びという厳しいイメージをお持ちかもしれませんが、先生や先輩はとても優しく、「とにかくやってみることを」応援していただけます。それもまた、慶應義塾大学看護医療学部の大きな魅力です。

■ 起業されている方からのリアルな学び

履修科目では、「看護医療ソーシャル・アントレプレナーシップ入門」がとても面白いです。起業されている卒業生の方などから、「自分たちの力で社会を変えるには」という観点でリアルなお話を伺い、学びます。

日本各地で1週間ほどのフィールドワークを行う「地域診断実習」にも積極的に取り組んでいます。これは学部の垣根を越えた任意参加の実習で、地域の課題や強みを発見し、最終日にアクションプランを発表します。大学の中だけでは分からない地域の方々の思いや、参加した仲間のお考えを知ることができ、とても刺激になります。

■ 「健康医療ベンチャー大賞」で部門優勝

グローバルな視点を養うプログラムが充実している点も特長の一つです。海外の医療を手厚く学び、現地の方々と交流できる多くの機会が用意されています。私は、青田与志子記念教育研究奨励基金(p.78参照)という学部独自の奨学金の支援を利用し、タイとカンボジアへの海外研修に参加しました。

授業以外の活動では、医学部が主催している「健康医療ベンチャー大賞」というビジネスコンテストに力を入れています。前回大会は2次審査までの進出でしたが、今回は農と食を通じたメンタルヘルスケア「Agricare」を提案し、学生アイデア部門で優勝を勝ち取ることができました。“ありのままの自分が受け入れられる居場所を作りたい”という私の熱意とアイデアは、審査会場の観客の皆さんにも評価いただき、オーディエンス賞も同時に受賞することができました。

■ 総合大学の強みは想像以上に大きい

将来はいずれ起業したいと思っています。同じSFCの総合政策学部や環境情報学部には起業する方が多く、接していると起業は特別なことではないという不思議な感覚になります。実力のある多様な人が集うキャンパスで、日々感動とエネルギーをもらっています。

地域診断実習やビジネスコンテストへの参加は個人の意思なので、「こういうこともできる」と受けとめてもらえればと思います。一番お伝えしたいのは、総合大学の強みは想像以上に大きいということです。看護師にとどまらず、「看護」という学問に興味関心を持っている方には、慶應義塾大学看護医療学部をおすすめします。

看護医療学部2年 M.I.(神奈川県・横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 出身)

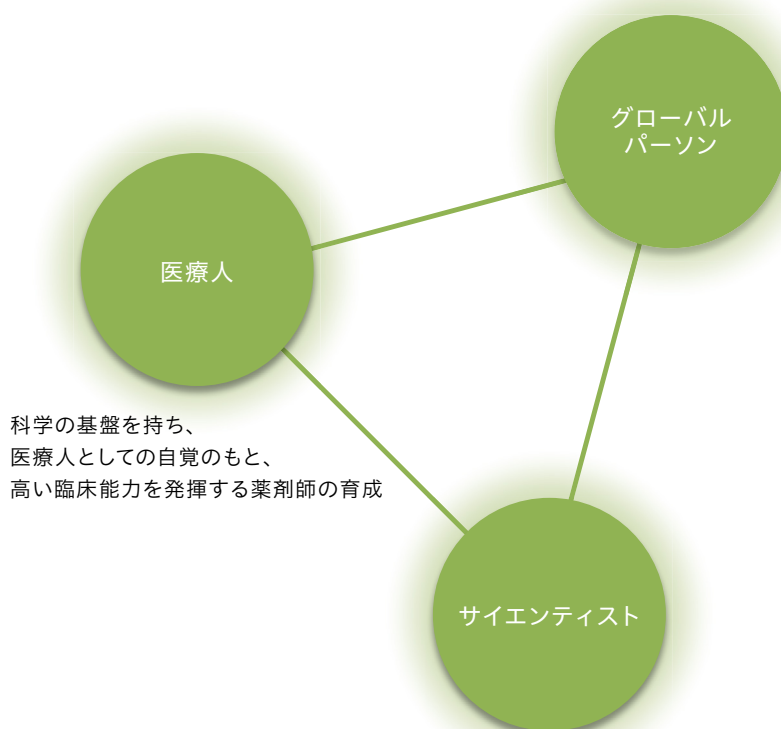
薬学部

Faculty of Pharmacy

薬学科・薬科学科

科学者の視点で、未来医療に貢献する

自国単独では解決し難い医療課題に対し、
国際的観点から取り組む
グローバルパーソンの育成



科学の基盤を持ち、
医療人としての自覚のもと、
高い臨床能力を発揮する薬剤師の育成

創薬、臨床開発、環境・生命科学などの
幅広い分野において、
高い専門性を備えた科学者の育成

未来の薬学を拓く、3つの基準

6年制の「薬学科」と4年制の「薬科学科」の2つの学科を有し、
科学的基盤に基づき高い臨床能力を発揮できる薬剤師、
行政や製薬企業においてグローバルに活躍できる人材、
薬科学研究を先導する科学者を育成しています。

<https://www.keio.ac.jp/ja/pha/>



「薬」を軸として、科学を総合的に理解する

〈薬学科〉

薬剤師として薬をより高度に使いこなすために

薬学科では、薬物の適正使用に必要な知識と、その進歩に追従できる科学者としての基盤を持ち、そして患者さんを最優先にしたチーム医療を担う薬剤師を育成します。

薬剤師としての技能を持つだけでなく、患者さんの立場に立って考えることのできる医療人を育てるため、ヒューマニティ教育に加え、コミュニケーション能力の養成、さらには医療倫理教育を統合的に行っています。さらに、薬学科においても長期の卒業研究期間を設けることで、医療における問題を解決する能力を磨きます。

〈薬科学科〉

生命を理解し、新たな薬を生み出すために

高度な知識と技術を集約する産業の代表格である創薬を支える上で、日本の薬学はこれまで大きな貢献をしてきました。

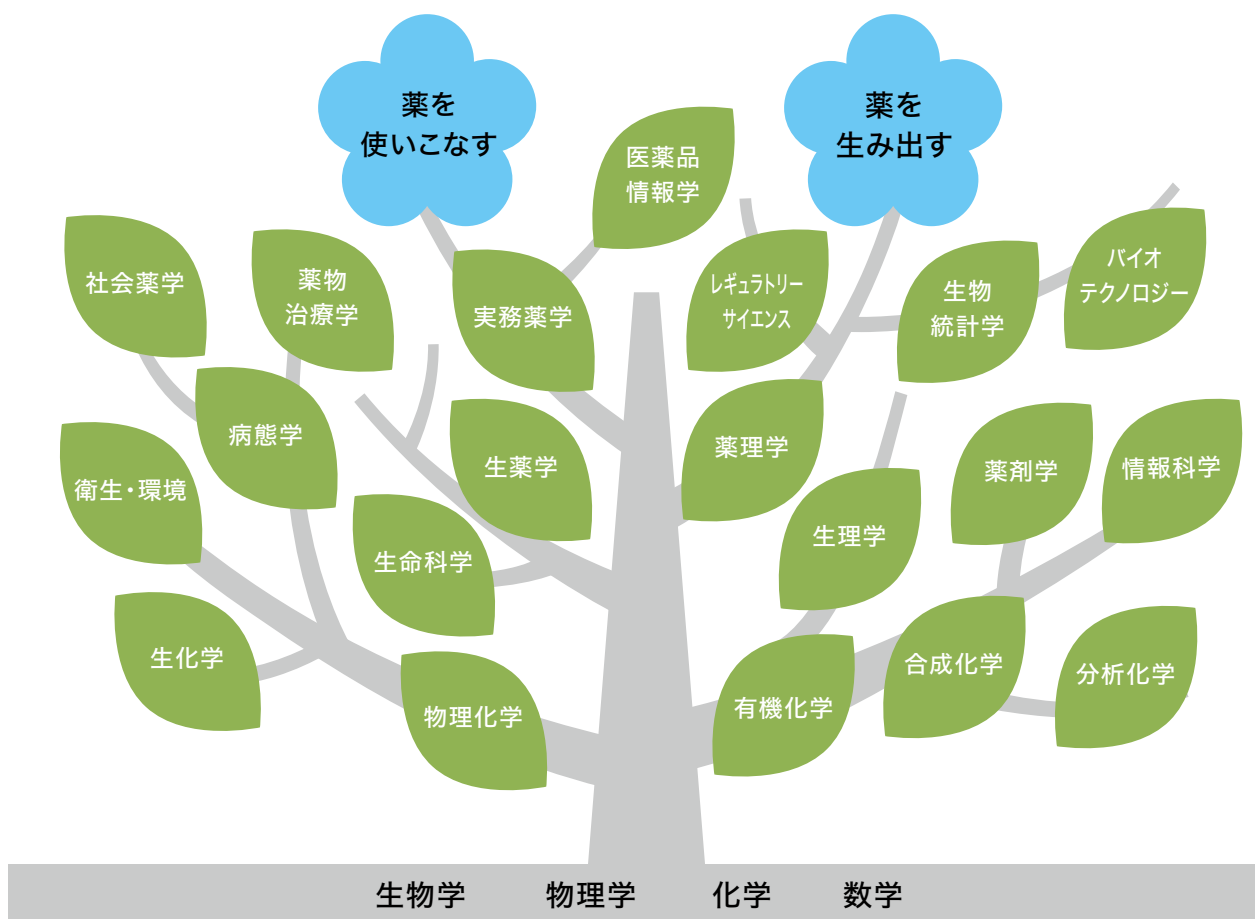
この伝統を引き継ぐ薬科学科は、有効かつ安全性の高い医薬品の創製、開発、生産、さらには食品、化粧品、環境や衛生分野など薬学関連領域での教育・研究に従事する人材の養成を目的としています。

自然科学を学ぶことはもちろんですが、これに加えて

薬学としての特徴的科目を学ぶことのできるカリキュラムとなっています。

3年次後半からは、研究室に配属され、指導教員の下で

科学者に必要な実践能力・問題解決能力の基盤をつくり、大学院での課題研究につなげます。



薬学科カリキュラム (2026年4月1日現在)



日吉キャンパス／芝共立キャンパス※

※週1回芝共立キャンパスの授業を受講します。

倫理・医療プロフェッショナル教育

外国語教育



薬科学科カリキュラム (2026年4月1日現在)



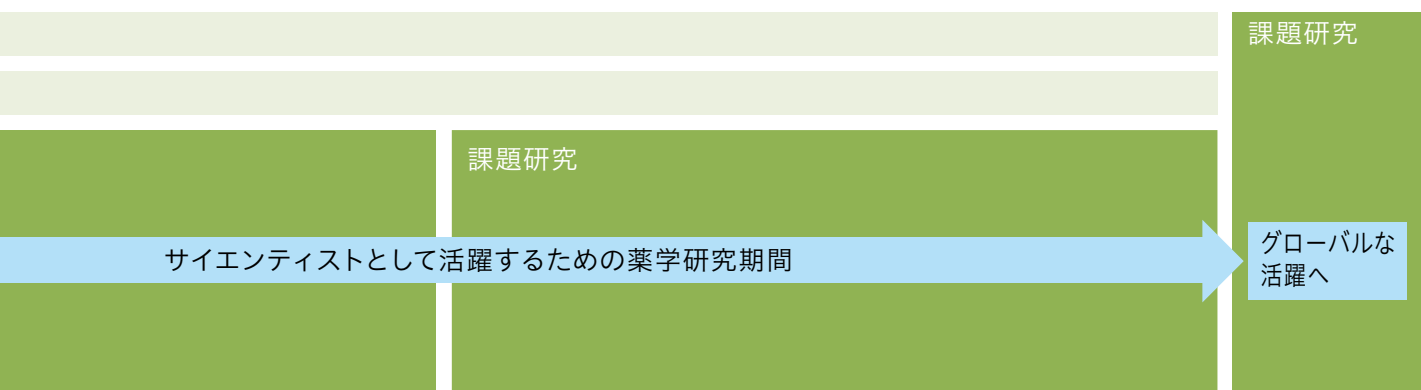
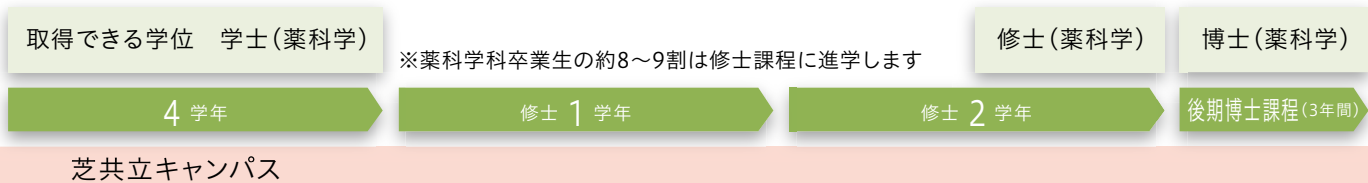
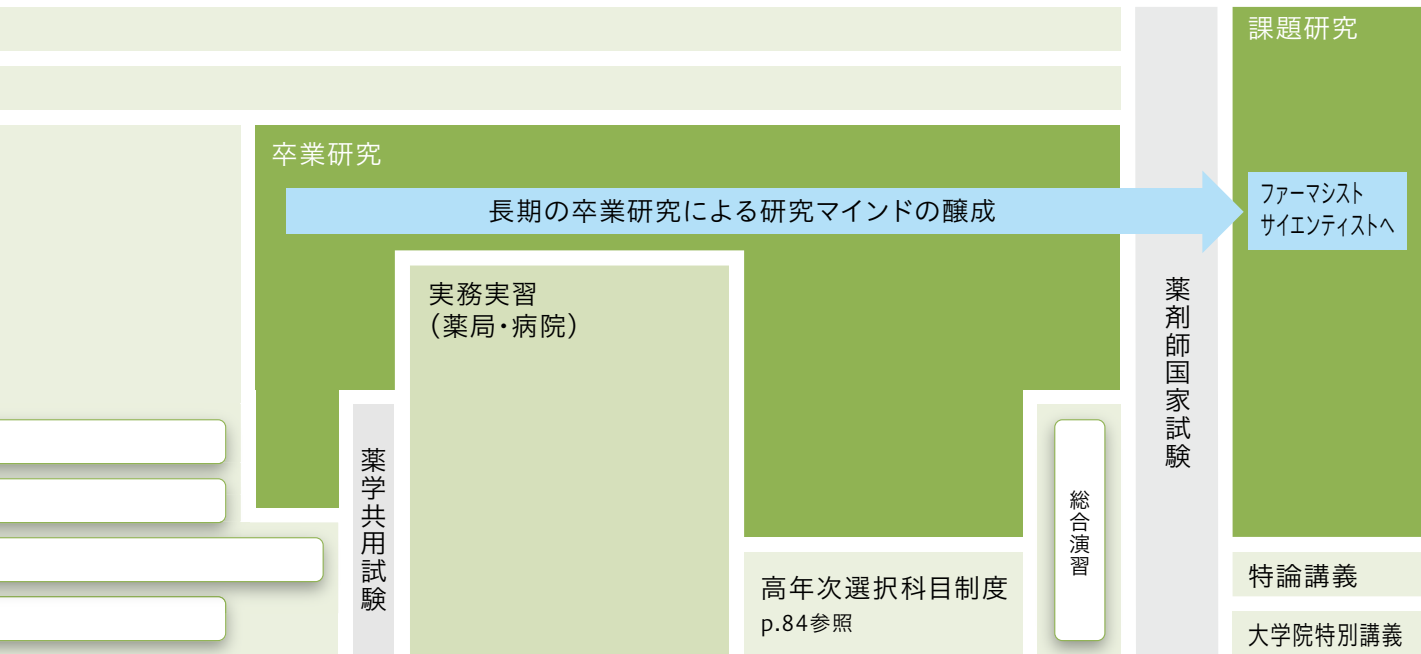
日吉キャンパス／芝共立キャンパス※

※週1回芝共立キャンパスの授業を受講します。

研究倫理教育

外国語教育





大学院特別講義(学部生の先取り履修も可)

修士-博士 大学院一貫コース(修士1年+博士3年)
大学院講義先取り履修 *p.85参照

早期修了

文学部

経済学部

法学部

商学部

医学部

理工学部

総合政策学部

環境情報学部

看護医療学部

薬学部

薬学の新しい知を創造するために

グローバルパーソン育成のために

薬学部では、国際的な視野を持って日本の薬学を先導できる人材を養成するため、海外での研修や実習プログラムを数多く設けています。

(これらのプログラムに参加するためには、成績、英語力、面接などによる選抜に合格することが必要です)

■ Thai Pharmacy Experience (2年次、3年次)

タイ・コンケン大学薬学部の訪問と、大学病院や地域医療施設の見学、現地薬剤師との交流を通じて、国際性豊かな薬剤師、薬学研究者となるための感性を養います。

■ Advanced Regulatory Science Overseas Practicum (薬学科は6年次、薬科学科は修士課程進学後)

米国または欧州の政府機関・研究機関等での研修を通じ、国際的な医薬品開発の素養と視野を広げます。

■ International Advanced Pharmacy Practice Experience (薬学科6年次)

米国のアイオワ大学、ノースカロライナ大学、フロリダ大学およびタイのコンケン大学などの協定校で、4～5週間にわたって薬剤師の活動を体験し、海外の医療システムや先進的な薬物療法を学びます。

サイエンティスト育成のために

薬学部では、全ての学生が科学者としての基盤を持つことで、医療現場や社会にある課題を発見し、創造的に解決できるよう、実践型学習や研究を重視しています。入学直後から早期体験学習を、1年次秋からは本格的な基礎実習が開始され、2年次から3年次春まで午後は毎日のように実験を行うことで科学的思考力を鍛えます。

薬学科では、3年次秋から薬剤師としての実務能力を磨くための実習に進み、4、5年次の薬局・病院実習に備えます。

いずれの学科も、卒業研究期間は約1年半に及び、新たな創造を目指し、指導教員と共に研究課題に取り組みます。

学部内に約20ある研究室・センターだけでなく、塾内外の幅広い研究機関から研究活動の場を選択することが可能です。

医療人育成のために(薬学科)

大学病院薬剤部や薬学部附属薬局の存在は、薬剤師養成における慶應義塾の大きな強みです。

病院薬剤部長や附属薬局長は薬学部教員を兼任し、勤務する薬剤師も薬学部の教育に携わっています。

薬学部では、これら施設を活用した臨場感ある実習を行っているほか、教員と学生が医療現場との接点を保つことで、高度薬物治療や地域医療に関する最新動向を即時に反映させた教育が可能となっています。

さらに、将来チーム医療を担う医療人を早期から育成するため、医学部、看護医療学部、薬学部の

医療系三学部合同教育を1年次から行っていることも、慶應義塾における医療人教育の魅力です(p.89参照)。

アントレプレナー育成のために(薬科学科)

アントレプレナーシップとは、単に「起業家精神」という意味に留まらず、

社会課題を見つけそれを解決するため常に挑戦し続けるマインドとも言えます。

薬科学科では将来の多様なキャリアパスを見据えながら、早期体験学習を通じて

課題発見力を身につけることで、アントレプレナーシップの育成を行っています。

高年次選択科目制度による学びの集大成(薬学科)

薬学科の6年次では、進路や興味、適性などに柔軟に対応する4つのコースを設けています。

- 研究をより深化させる研究アドバンストコース
- 臨床での課題解決能力を高める国内アドバンスト実習コース
- グローバルな活躍を目指す海外アドバンスト実習コース
- 薬学を広く復習して知識を深める演習コース



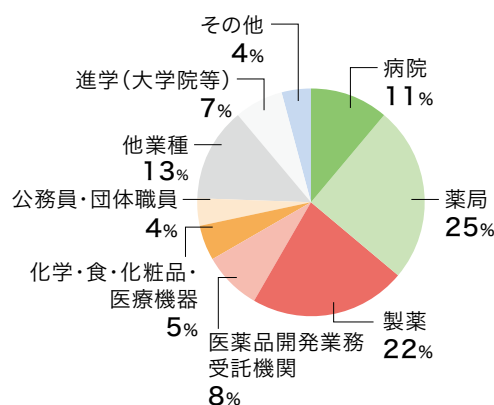
卒業後の進路

〈薬学科〉

高い「薬剤師国家試験」合格率と多様なキャリアパス

薬剤師国家試験合格率は常に高い水準にあります。合格することはもちろんですが、資格に甘んじることなく、むしろそれをひとつの通過点としてとらえることも大切です。本学において、薬学科卒業生の進路は多様です。薬剤師としてどのような形で社会に貢献するかは、あなた次第です。

■ 薬学科卒業生の進路 (2022-2024年度) ※小数点以下は四捨五入

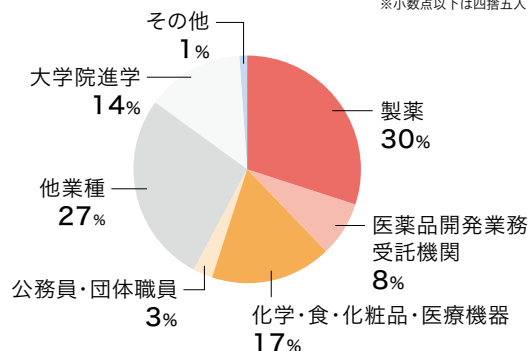


〈薬科学科〉

研究者への大切な一歩「大学院」

薬科学科を卒業した学生は、例年8～9割が大学院に進学します。学部卒業後すぐに就職することもできますが、薬や生命にかかわる仕事に携わることを目指す学生にとって、大学院進学は将来への大切な一歩になることでしょう。大学院修了後は、医薬品メーカーの研究職にとどまらず、幅広い分野で活躍しています。

■ 薬科学専攻修士課程修了生の進路 (2022-2024年度) ※小数点以下は四捨五入



修士-博士 大学院一貫コース(薬科学専攻)

薬科学科卒業生が進学する大学院の薬科学専攻では、通常5年間かけて修了する修士と博士課程を合計4年間で修了できるコースを設けています。これは特に優秀な学生を対象とし、研究者としてのグローバルスタンダードである博士を早期に取得することを可能とするものです。このコースに入るには成績基準を突破することのほか、大学院開講科目を学部4年次から先取り履修することが必要です。

学生の声

〈薬学科〉



人と交流する機会も、 将来の選択肢も幅広く持てる

■薬学部を目指すきっかけは免疫の学び

私は昔から心理学など文系の学問に興味があり、数学や物理は得意科目ではなかったので、理系には向いていないと感じていました。しかし、高校の生物の授業で免疫について学び、体の中で起こっていることをもっと知りたいと思うようになりました。そこから、人の命を救うための知識を身につけられる大学を目指し始めました。

数ある薬学部の中で慶應義塾大学を選んだのは、薬剤師に限らず自分の進路に幅広い選択肢を持てる大学だったからです。単科大学と異なり、他学部の人たちから違う分野の話や交流ができる、総合大学であることも大きな魅力でした。

■実際の現場で活躍されている方の講義

今までで面白いと感じた授業の一つは〈免疫学〉です。研究者としても第一線で活躍されている先生に、実際の研究の話も交えながら、免疫について高校とは比べものにならないくらい詳しくご講義いただきました。ときどき慶應義塾での取り組みやニュースについてもお話くださるので、90分の授業が充実していました。

一つの科目を一人の先生が担当するだけでなく、薬学部の外にいらっしゃる方が講義をしてくださることも多いです。医学部の先生方や、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の職員の方、化粧品会社の社員の方など、実際の現場で活躍されている方々の話をお聞きする機会が設けられています。普段の授業でこのような貴重な体験ができるのも、慶應義塾大学ならではの魅力だと思います。

■「慶應かるた会」の競技活動も充実

私は中学・高校と競技かるたの部活を続けてきたので、大学でも競技かるたのサークル「慶應かるた会」に所属しています。全学部が所属できるサークルなので自然と他学部の学生とつながりができ、練習以外の場では学年の枠を越えて遊びに行くこともあります。

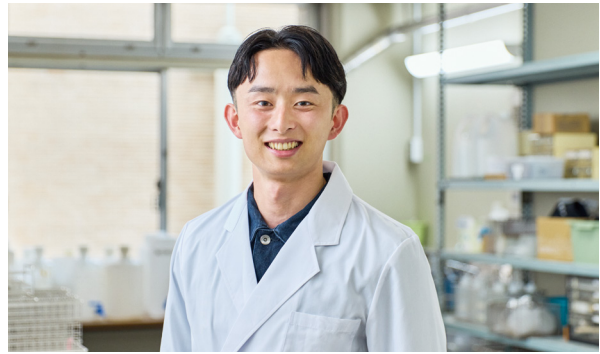
薬学部は必修の授業や実習も多いので、両立の努力が必要なお仕事もありますが、多くの刺激が得られます。ときには自分のモチベーションにもなる関わりが生まれる、非常に充実した活動になっています。

■今はひたすら自分の興味の枝を伸ばす

薬剤師を目指すか、企業に就職するか、それとも他の道に進むか。卒業後のことは明確には決まっていますが、今はひたすら自分の興味の枝を伸ばしている最中です。広く選択肢を持ち続けられるように、最大限に知識を身につけたいと考えています。

慶應義塾大学は、私のように薬剤師に絞られず進路に迷っている人にもおすすめの大学です。ここまで人材に長けた大学はなかなかないと思います。自分とは異なる価値観を持った人たちが、様々な世界のプロの方々や交流の機会が得られる環境があります。入学した先で、きっと皆さんの進みたい道も見つかるはずですよ。

薬学部薬学科3年 M.K.(東京都・都立桜修館中等教育学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



視野や価値観を広げてくれる、 多様性に富んだコミュニティ

■学部の枠を越えて交流できる魅力

私は、薬剤師免許を持つ祖父母が、身内の不調に対して的確に助言する姿を間近で見て育ちました。薬に関する深い知識が身近な人を支えていることを知り、自然と薬学に関心を持つようになりました。

慶應義塾大学薬学部を志望した理由は、学部の枠を越えて多様な人と交流できる環境に魅力を感じたからです。実際に入学後は、医学部や看護医療学部の学生との学び、他学部の学生が集う部活動など、総合大学ならではの経験を積むことができました。それぞれに強みを持つ、個性豊かな薬学部生からも様々な刺激をもらっています。仲間と切磋琢磨しながら成長できる多様性に富んだコミュニティで、自分の視野や価値観、行動範囲が大きく広がったと感じています。

■主体的な研究活動、医療現場での実習

現在、最も力を入れて取り組んでいるのは研究室での活動です。所属する薬剤学講座では学生一人ひとりにテーマが与えられ、各自が主体的に研究を進めます。思うようにいかないことも多い一方、成果が得られた瞬間の喜びは格別です。先生や先輩、同期との距離も近く、相談しやすい温かい雰囲気によって研究に向き合っています。

また、5年次には薬局と病院での実務実習を経験しました。実際の医療現場で患者さんと関わりながら医療従事者の仕事を実践することで、今まで自分が学んできた知識がどのように役立つのかを実感し、将来像を考える有意義な体験となりました。

■軟式野球の部活と薬学の学びを両立

理工学部体育會軟式野球部での活動にも力を入れてきました。理工学部の学生を中心として、全学部が開かれた部活です。高校の部活と異なり、組織運営や予算管理、グラウンド確保など、多くのことを自分たちで主体的に行います。入学前は、薬学部は忙しく部活との両立は難しいと思っていましたが、時間をうまく使うことで十分に続けることができました。目標へ向け仲間と努力した経験は一生の財産です。

また、長期休暇を活かして様々な場所を旅行してきました。特に東南アジアを訪れた際には、日本とのインフラの差に衝撃を受けました。日本では当たり前に行われる医療が十分に届かない地域があることを知り、医療のあり方について考えるきっかけにもなりました。

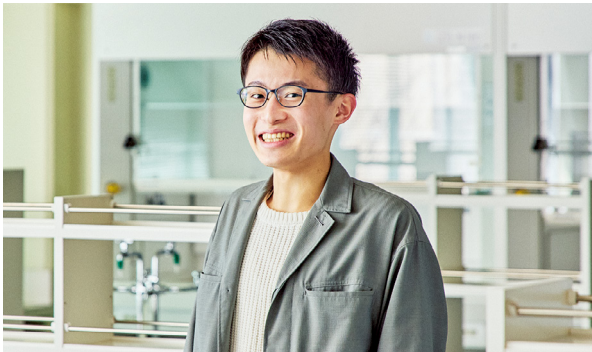
■医療の仕組みをアップデートしていきたい

日本の医療は、財源の逼迫や高齢化など、多くの構造的課題を抱えています。私はこれらの課題に向き合い、医療の仕組みそのものをアップデートしていく存在になりたいと考えています。将来的には、世界の医療の発展にも貢献できる人材を目指したいと思っています。

受験は強い思いを持って努力した人が結果をつかむものだと思います。自分の将来をしっかりと思い描き、その実現に向けて一歩ずつ進めれば必ず力がつきます。最後まで諦めずに頑張ってください。

薬学部薬学科5年 K.M.(千葉県・県立船橋高等学校 出身)

〈薬科学科〉



興味のあるかを広く探り、 研究のスタートを早く切れる

■ 研究者として新たな発見をしたい

薬は自分が子供のときから身近にありましたが、薬を飲んで症状が改善するたびに「薬が効く」とはどのようなことなのか不思議に感じていました。高校時代の「生物」では体で起こる様々な現象について学び、こんなにも複雑な人の体の中で薬がどのように効くのか、そのメカニズムについて学びたいと思い、薬学部を志望しました。

学科の選択は、継続して一つのことに取り組むことが昔から好きで、研究者として新たな発見をしたいという思いがあったので、研究に打ち込める薬科学科を選びました。

■ 他大学や病院との共同研究にも参画

私が所属する研究室は和気藹々とした雰囲気です。研究を自由に進められる環境が整っていると思います。実験については、先生や先輩方が基本から丁寧に教えてくださいます。週に2回実施されるカンファレンスでは、発表形式で各自の研究内容を共有するのですが、新たな気づきや発見の連続です。一方で、他大学や病院との共同研究にも参画させていただいており、非常に貴重な経験になっています。

卒業後は大学院に進み、現在の研究をさらに深めていきたいと考えています。薬の源になる物質の発見から、研究開発、承認、販売まで、薬が世に出され、患者さんのもとに届くまでには多くのプロセスがありますが、将来はその過程のどこかに携わりたいです。

■ サークル活動で広がる交友関係

サークルは薬学部バドミントン部に所属しています。3年生の春までは部長も務め、初心者経験者関係なく楽しく活動しました。薬学部のサークルは同じ学部生のコミュニティなので、普段のキャンパスライフも共にできる仲間に出会うことができます。

また、日吉キャンパスに通う1年生の頃には、全学部対象の日吉のサークルにも所属していました。他学部も含めたサークルに入ると、さらに交友関係を広げることができます。

■ 自分にぴったりの研究室を選べる

薬学部薬科学科の強みは、早期から研究に集中できる環境が整っていることだと思います。研究室への配属が3年生の秋なので、他大学と比べて早く研究のスタートを切ることができます。加えて、1～2年生のときに物理から生物、化学まで幅広く学ぶ中で興味関心のありかを見つけ、研究したいことを考えられる点も大きな魅力です。研究室も、物理系、化学系、生物系、臨床系、情報系と多彩で数も豊富なので、自分にぴったりの研究室を選ぶことができます。

皆さんには、悔いのないように、自分の信念を羅針盤に最大限のことをやり遂げていただきたいと思います。悔いのない受験になれば、きっと悔いのない大学生活を送れるはずです。入学後も努力を惜みず、自分が進んだ道を正解にしてください。

薬学部薬科学科3年 Y.K.(東京都・都立八王子東高等学校 出身)
※掲載内容は2024年度取材当時のもの



科学を広く体系的に学び、 自分が深めたい領域へとつなげる

■ 模擬授業で膨らんだ学びのイメージ

高校時代、私は理数科のサイエンスコースで学びました。科学分野の講演への参加や、興味関心の近い仲間との探究活動を通じて科学の面白さを実感し、中でも特に化学の学びに強く惹かれたことをきっかけに、薬学分野に進みたいと思うようになりました。

都心での生活に憧れもあった中、慶應義塾大学を目指す決心をしたのは、高校3年生の夏に参加したオープンキャンパスです。模擬授業を体験し、学びのイメージを具体的に膨らませることができました。また、「総合大学の強みを活かした分野横断的な学びができる」ことも志望理由です。より広い知見と人間力を身につけられると思いました。

■ 物事を論理的に整理する力を実習で養う

2年生からは実習型の授業の比重が大きくなりました。この授業は少人数グループで受講する期間集中的な講座形式で、年間を通して5つの実習を経験しました。実験スキルの向上だけでなく、得られた結果をもとに仮説を検証し、考察を組み立てる過程を通じて、物事を論理的に整理する力を身につけることができました。

今までに受講した授業では、「免疫学1」が、強く印象に残っています。生体防御反応の仕組みを理解するために、それぞれの免疫担当細胞が担う役割や細胞間のネットワークについて学びました。さらに、この仕組みの破綻や過剰化で引き起こされる自己免疫疾患やアレルギーについて、基礎的な理解へとつなげることもできました。

■ 今まさに更新されている知見に触れる

薬学部の魅力は、化学・物理・生物・数学すべてを横断的に学び、それらを統合して生命現象の仕組みを把握できる点にあると考えています。薬について学ぶイメージが先行しがちですが、実際には「薬」をキーワードとして、その科学的背景を理論レベルから丁寧に学ぶことができます。理系学部の中でも、科学を広く体系的に学び、自分が深めたい領域へとつなげられる環境は、薬学部薬科学科ならではの魅力だと思います。

授業の多くは、各分野の最前線で研究を進めている先生方が担当してください。今まさに更新されている科学的知見に触れることができる授業は、一回一回が非常に新鮮で刺激的です。

■ 自分の興味を本格的に追究する生活へ

3年生の秋学期から研究室での生活が始まります。自分の興味を本格的に追究できる段階に進めることに、期待が高まります。そのためにも今は、ひたすら基礎力の強化に努めていますが、学びを重ねる中で、自分の関心領域や意欲が高まるテーマも少しずつ見えてきました。卒業後の進路についても、より具体的に描いていきたいと考えています。

受験は不安や焦りを感じながらの日々かもしれません。しかしその先には、志を共有する仲間と囲まれた充実した学生生活が待っています。皆さんの挑戦を心より応援しています。

薬学部薬科学科2年 C.S.(新潟県・県立新潟高等学校 出身)

学部を超えた学び

10学部を擁する総合大学としての強みを生かし、学部を超えた幅広い学びの機会を提供しています。

全学部

AI・高度プログラミングコンソーシアム(AIC)

AIとプログラミングで、未来をつくる。新しい「知」と「仲間」に出会う場所、それがAIC



AICは、慶應義塾大学が国内外のリーディングカンパニーと連携し、AIとプログラミングの最先端の学びと実践の場を全学部の学生に無償で提供する、慶應公式の特別なコミュニティです。

塾生が講師を務める「講習会」では、レベルに合わせた多様な講座を開講。短期集中講座やオンデマンド講座も充実しており、文理関係なく自分のペースやレベルに合わせて、効率的に学習を進めることが可能です。生成AIや量子コンピューティングなど、最新トレンド・技術も学べ、G検定もサポートしています。

また、業界の最前線で活躍するプロフェッショナル(社会人)との交流を通じて、社会で活躍するための「学び」と「キャリア」の可能性を広げる様々なイベントも開催しています。

AICの主な活動拠点であるAICラウンジ(日吉協生館2F)は、AIを学び、創造し、交流するイノベーションスペースです。最大150名を収容でき、勉強会、グループワーク、交流会など、目的に応じて多様な使い方が可能です。ぜひ、気軽に立ち寄ってみてください。

■ 講習会やイベントに関する詳細はこちらから▷ 慶應AIC: <https://aic.keio.ac.jp>

全学部

塾生会議

慶應義塾でどのようなSDGsを達成できるかを検討・提言



「塾生会議」は、全学部の学生たちが専門家のアドバイスを受けながらディスカッションを重ね、SDGsを達成するための慶應義塾のビジョン・目標・ターゲットを提言するプログラムです。春学期はSDGsを取り巻く現状を講義・ディスカッションを通して学び、秋学期はグループごとのディスカッションを通して塾長への提言をまとめます。提言は塾長を中心に学内で検討・議論され、慶應義塾の各施策に活かされます。

これまで塾生会議の提言にもとづき、ウォーターサーバーの全キャンパスへの設置、学生食堂でのサステナブル・シーフードの提供、地域の小学校との交流、コンタクトレンズの空ケース回収などが実施されています。

TOPICS: 教養研究センター

教養研究センターでは、学部・学科の枠にとらわれない独自の授業を開講しています。

■ 小佐野弾寄附講座「アカデミック・スキルズI・II」
論文を書く。発表をする。言うは易く行うは難し。大学ではしばしば求められることですが、そこで心得ておくべき作法を学ぶ場はとても限られています。そこを補うために開講されているのが、この少人数授業です。必要な心得にいつも自覚的になれるように、履修者を導いてゆきます。



■ SMBCグループ寄附講座「金融リテラシー入門」
金融リテラシーを身に付けると、働き方や生き方など人生の選択の幅が広がります。また、就職活動の企業選定にも役立ちます。人生100年が多くの人にとって現実化しつつある昨今、65歳で定年を迎えたとして、その後の人生が35年もあり、現状でさえ、年金のみで定年後の生活をやりくりするのは困難な状況にあります。従って、老後の備えは早く始めれば始めるほどよく、知らないがために損をしていることも多い様々な金融リテラシーにまつわる情報を本講座内で考察し、自身の興味に応じて自ら調べ動けるようになります。お楽しみに。

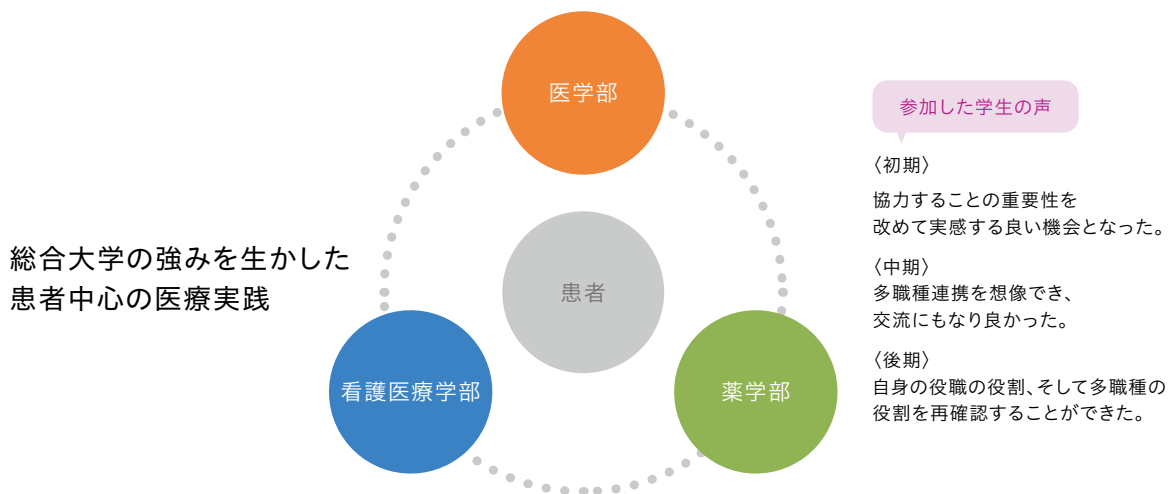
医・看護医療・薬

医療系三学部合同教育

グループアプローチによる患者中心の医療実践



医学部、看護医療学部、薬学部の学生が互いに交流し、将来チーム医療に貢献できる視野の広い医療人となることを目指して、医療系三学部合同教育を実施しています。「グループアプローチによる患者中心の医療実践」という教育テーマを掲げ、初期、中期、後期の3つのプログラムの他、慶應義塾大学病院内の合同臨床実習、地域やラオスなどでの特別合同実習も行っています。学年ごとに共通テーマのもとグループディスカッションを行い、それぞれの立場を尊重しながら交流を深め、医療を受ける人々を中心に置いた質の高い医療を提供するための専門職連携のあり方を実践的に学びます。



	初期	中期	後期	その他のプログラム
学部・学年	医学部1年生 看護医療学部1年生 薬学部薬学科1年生	医学部4年生 看護医療学部2年生 薬学部薬学科4年生	医学部6年生 看護医療学部4年生 薬学部薬学科6年生	医学部 看護医療学部 薬学部薬学科
教育の目標	将来のチーム医療を見据え、チームワークの有用性を体験する	よいチーム医療とは何かを理解する	チーム医療を実践する	
	チームメンバーとの対話を通して、コミュニケーションの重要性を学び、チームの一員としてのあるべき態度を身につけます。	多職種のメンバーと協力して患者中心の医療を提供するために、医療チームについて理解を深め、よい医療チームのあり方を理解します。	患者中心の医療を提供するために、医療チームの構成員としての役割を理解し、幅広い職種からなる他のメンバーと協調して問題に対処します。	慶應義塾大学病院内の合同臨床実習、地域やラオスなどでの合同特別実習を通して、患者中心の医療について考えます。

三学部合同特別実習では、事前に学生が地域に関するデータを収集した上で現地調査を計画します。現地では、学校や医療機関、地域住民への聞き取りを行い、地域の新たな側面を発見します。学生が感じ取ってきた地域の姿を、「地域診断」という枠組みで地域住民に発表し、さらに学生自身が考えたアクションプランを提案します。これらの取り組みを通じて、学生は地域の魅力や課題を深く理解するとともに、地域住民の温かさに触れ、医療や地域づくりに対する新たな視点を養う貴重な機会となっています。

キャンパス紹介

都心に程近い6つのキャンパス

慶應義塾大学は、東京都と神奈川県に、それぞれ独自の雰囲気を持つ6つのキャンパスを擁しています。学部や学年によりメインで通うキャンパスは異なりますが、他のキャンパスで開講されている授業の履修や、クラブ・サークルをはじめとする様々な課外活動への取り組み、興味関心のあるイベントへの参加など、目的に応じて複数のキャンパス間を思い思いに往来する塾生がたくさんいます。

キャンパス見学に関しては、ウェブサイトをご覧ください。



三田キャンパス



[利用学部・学年]

文学部 2～4年

経済学部 3・4年

法学部 3・4年

商学部 3・4年

[アクセス]

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
入学センター

TEL 03-5427-1566

●田町駅 (JR山手線 / JR京浜東北線) 徒歩8分

●三田駅 (都営地下鉄浅草線 /

都営地下鉄三田線) 徒歩7分

●赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分

[通学に便利な学生寮]

- 大森学生寮
- 元住吉宿舍
- 日吉国際学生寮
- 元住吉国際学生寮
- 高輪国際学生寮

日吉キャンパス



[利用学部・学年]

文学部 1年

経済学部 1・2年

法学部 1・2年

商学部 1・2年

医学部 1年

理工学部 1・2年

薬学部 1年

[アクセス]

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
日吉キャンパス事務センター運営サービス担当

TEL 045-566-1000

●日吉駅 (東急東横線 / 東急目黒線 / 東急新横浜線 /
横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩1分

[通学に便利な学生寮]

- 日吉寄宿舍
- 大森学生寮
- 綱島学生寮
- 元住吉宿舍
- 日吉国際学生寮
- 元住吉国際学生寮
- 綱島SST国際学生寮

矢上キャンパス



[利用学部・学年]

理工学部 3・4年

[アクセス]

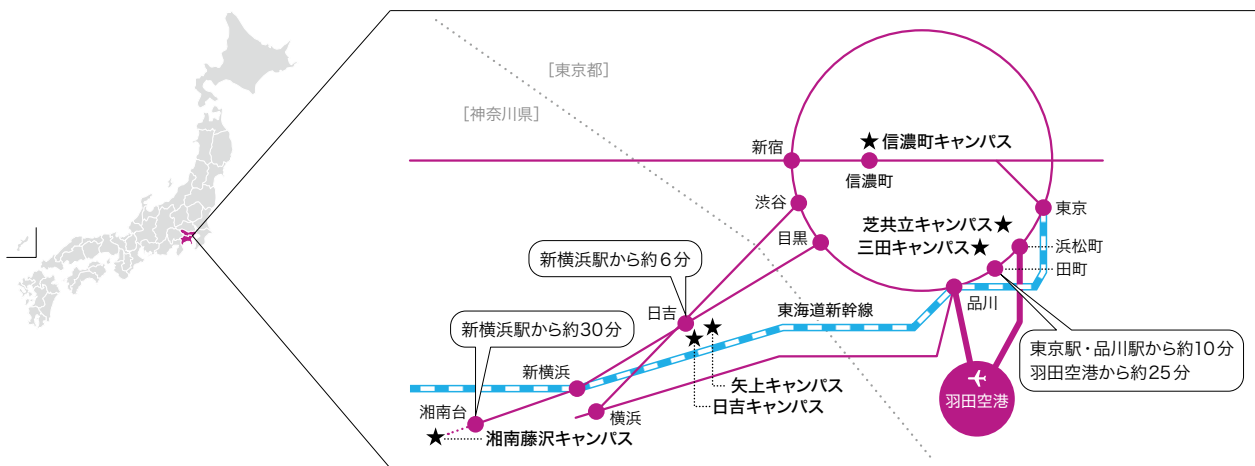
〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
理工学部総務課

TEL 045-566-1454

●日吉駅 (東急東横線 / 東急目黒線 / 東急新横浜線 /
横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩15分 (約1km)

[通学に便利な学生寮]

- 日吉寄宿舍
- 大森学生寮
- 綱島学生寮
- 元住吉宿舍
- 日吉国際学生寮
- 元住吉国際学生寮
- 綱島SST国際学生寮



※詳しい路線図やアクセス情報はp.157をご参照ください。

信濃町キャンパス



[利用学部・学年]

医学部1年(週1回) / 2～6年

看護医療学部3年

[アクセス]

- 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
 信濃町キャンパス学生課
TEL 03-5363-3662
- 信濃町駅(JR総武線)徒歩1分
 - 国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩5分

[通学に便利な学生寮]

- 大森学生寮
- 高輪国際学生寮

湘南藤沢キャンパス



[利用学部・学年]

総合政策学部1～4年

環境情報学部1～4年

看護医療学部1・2・4年

[アクセス]

- 〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322
 湘南藤沢事務室アドミッションズ・オフィス
TEL 0466-49-3407
- 〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
 湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200
- 湘南台駅(小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/横浜市営地下鉄ブルーライン)西口よりバス[慶応大学]行き約15分
 - 辻堂駅(JR東海道線)北口よりバス[慶応大学]行き約25分

[通学に便利な学生寮]

- 湘南藤沢国際学生寮
- H(イータ)ヴィレッジ

芝共立キャンパス



[利用学部・学年]

薬学部薬学科1年(週1回) / 2～6年

薬学部薬科学科1年(週1回) / 2～4年

[アクセス]

- 〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30
 芝共立キャンパス学生課
TEL 03-5400-2488
- 浜松町駅(JR山手線/JR京浜東北線/東京モノレール)徒歩10分
 - 御成門駅(都営地下鉄三田線)徒歩2分
 - 大門駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線)徒歩6分

[通学に便利な学生寮]

- 大森学生寮
- 高輪国際学生寮



三田キャンパス

荘厳でアカデミックな慶應の原点

慶應の代名詞にもなっている“三田”には、長きにわたる歴史と伝統が刻まれています。

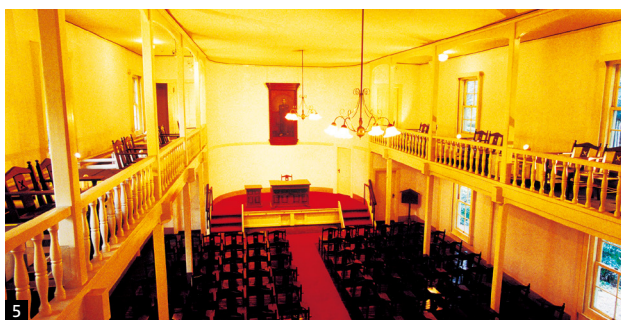
特に国の重要文化財である三田演説館や赤レンガの図書館旧館は、

明治の息吹を今の時代に存続させ、アカデミックな雰囲気を漂わせています。

構内には「福澤諭吉終焉之地」の記念碑をはじめ、数多くの碑や美術作品が点在しています。

慶應の代表的な応援歌のひとつが「丘の上」と題されているように、キャンパスへ続く道はすべて坂道。

登りきったところに学問の庭があります。



1 図書館旧館(重要文化財)

1912年、創立50年を記念して建設。ラテン語で「ペンは剣よりも強し」と記されたステンドグラスは、権力に屈しない精神を表しています。

3 幻の門

旧島原藩邸黒門を改築した旧東門は、「幻の門」と呼ばれ親しまれており、2000年に現在の場所に移築されました。

5 三田演説館(重要文化財)

1875年竣工の我が国初の演説会堂。「スピーチ」を「演説」、「ディベート」を「討論」と訳したのは福澤諭吉です。

2 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

創設者福澤諭吉の生涯と慶應義塾の160年の歴史を紹介する博物館です。様々な企画展も実施しています。(p.105 参照)

4 三田インフォメーションプラザ

大学と社会との「協生」を実践するコミュニケーションの場として、慶應義塾に関する各種パンフレットの配布や映像の配信、公式グッズ販売などを行っています。

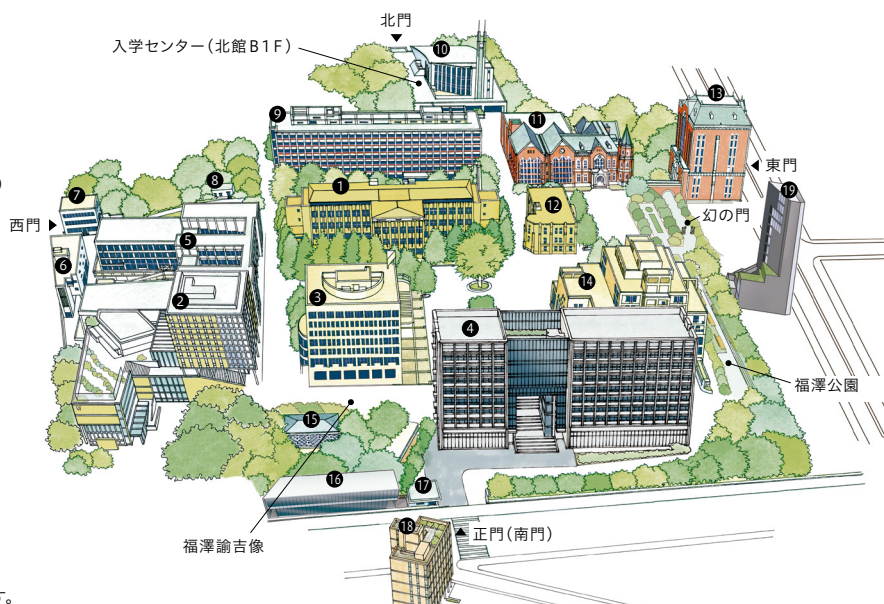
6 大イチョウ

大正時代から三田キャンパスを見守ってきた大イチョウ。多くの塾生の待ち合わせスポットとして親しまれています。

[キャンパスマップ]

- ① 第1校舎
- ② 南館
- ③ 大学院校舎
- ④ 南校舎
(ホール、学生食堂[ザ・カフェテリア]、社中交歓 萬來舎)
- ⑤ 西校舎(ホール、学生食堂[生協食堂、山食])
- ⑥ 購買施設棟(生協購買部)
- ⑦ 西館
- ⑧ 労働組合本部
- ⑨ 研究室棟
- ⑩ 北館(大会議室、ホール、ファカルティクラブ)
- ⑪ 図書館旧館
(福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、カフェ八角塔)
- ⑫ 塾監局
- ⑬ 東館(ホール、G-Lab)
- ⑭ 図書館(三田メディアセンター)
- ⑮ 三田演説館
- ⑯ 三田インフォメーションプラザ
- ⑰ 警備室
- ⑱ 南別館(アート・スペース)
- ⑲ 東別館(慶應義塾ミュージアム・commons)

※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。





日吉キャンパス

7学部3研究科の塾生が集う開放的なキャンパス

日吉駅の改札を抜けて、すぐ目の前に見える

見事なイチョウ並木の通りを歩き始めると、そこはすでにキャンパスの中です。

入口には門がなく、敷地面積約10万坪のキャンパスは街と一体化し、開放感にあふれています。

7学部の1・2年生(文・医・薬学部は1年生のみ)および

3研究科の大学院生が塾生生活を送る日吉キャンパスには、
活気に満ちた雰囲気があります。



1 第4校舎独立館

日吉キャンパスで最も大きな教室棟です。学生関係の事務室のほか、学生生活などにも利用できる日吉コミュニケーション・ラウンジがあります。

3 食堂棟

1階には生協食堂、2階にはグリーンズマルシェ、さぼてん、G'sカフェが入っており多くの学生で賑わいます。

5 陸上競技場

部活やサークル、体育の授業などで使用される陸上競技場。日本陸上競技連盟の第4種公認を取得しています。2024年にリニューアルしました。

2 イチョウ並木

キャンパスの入口から始まり記念館前まで続きます。初夏は新緑が、秋は黄色の紅葉が美しいイチョウ並木です。

4 記念館

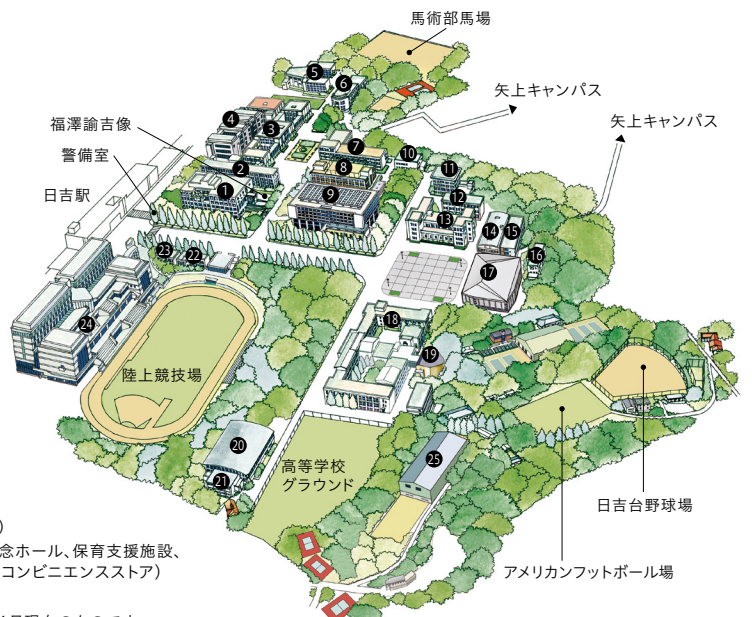
2020年3月に建て替え工事を終えた、日吉キャンパスのシンボルです。約1万人を収容でき、式典等のイベント会場や運動施設として利用されています。

6 AICラウンジ

AI・高度プログラミングコンソーシアム(p.88参照)の活動拠点で、勉強会等に使用しています。

[キャンパスマップ]

- 1 日吉図書館(日吉メディアセンター)
- 2 第4校舎A棟
- 3 第4校舎B棟
- 4 第4校舎独立館
日吉コミュニケーション・ラウンジ
- 5 第6校舎
グリーンズテラス
- 6 第3校舎
- 7 塾生会館(課外活動棟)
- 8 食堂棟(学生食堂、学生団体スペース)
- 9 来往舎(研究室、会議室、シンポジウムスペース、ファカルティラウンジ)
- 10 生協購買部
- 11 藤山記念館(カフェ、学生スペース)
- 12 第7校舎
- 13 第2校舎
- 14 体育館(柔・剣道場)
- 15 スポーツ棟(体育研究所、卓球場)
- 16 第8校舎
- 17 記念館
- 18 第1校舎(高等学校)
- 19 日吉協育棟(高等学校)
- 20 日吉会堂(高等学校体育館)
- 21 高等学校柔道場
- 22 スポーツ医学研究センター
- 23 保健管理センター(日吉診療所)
- 24 協生館(協生館図書室、藤原洋記念ホール、保育支援施設、開放型体育施設、飲食店、コンビニエンスストア)
- 25 蛭谷体育館



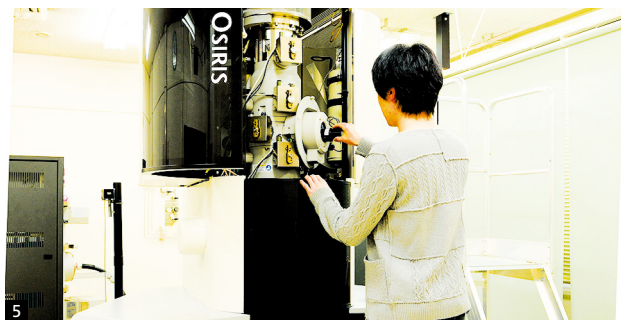
※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。



矢上キャンパス

“次の最先端”を追求する理工学の研究拠点

日吉キャンパスから谷ひとつ隔てた丘の上に建ち、新宿の高層ビル群や富士山を見渡せる眺めのいいキャンパスです。理工学部の3・4年生と大学院生が学び、数々の施設がマトリックスに並ぶ構内は理系の雰囲気にあふれています。最新の理工学教育・研究を担う多様な設備を擁し、研究室ごとに様子が全く異なるのも理系キャンパスの特徴です。さらに、国外研究者や留学生も多く集う、国際色豊かなキャンパスでもあります。



1 2 34 棟 / 教育研究棟

機械系・化学系・管理工学系の実験室および実習室が設置されているほか、最先端の工作機器を備えたマニュファクチャリングセンターやデザインセンターが設置されており、「ものづくり」を総合的にサポートする環境を整えています。

3 14 棟 / 創想館

「創造と想像の拠点」という意味が込められたシンボルタワー。ペカリー、グランドピアノのあるコミュニケーションラウンジは学生で賑わいます。また、地下にあるマルチメディアルームでは定期的に講演会やシンポジウムが開催されています。

5 中央試験所

高精度で高価な測定機器を共同利用機器として集中管理することにより、理工学部全体の研究の活性化を図っています。

4 IBM Q Networkハブ

世界最高性能を誇る米IBMの量子コンピュータに接続できる、アジアで初めてのハブ。量子コンピューティングの学習・スキル開発・実装に向けての環境を整えています。

6 藤原銀次郎の像

理工学部の前身、藤原工業大学の創始者。同大学は1944年に慶應義塾大学理工学部となり、1981年に理工学部へ改組されました。

[キャンパスマップ]

1 07 棟 テクノロジーセンター棟

2 11 棟 教室棟

3 12 棟 教室棟

4 14 棟 創想館

(フォーラム、マルチメディアルーム、矢上ペカリー)

5 15 棟 理工学メディアセンター

(松下記念図書館)

6 16A 棟 厚生棟

(保健管理センター、会議室、生協食堂、ファカルティラウンジ、生協購買部)

7 16B 棟 課外活動棟

8 16D 棟 分子・超分子・超構造体

リサーチセンター棟

9 22 棟 教育研究棟

10 23 棟 教育研究棟

11 24 棟 教育研究棟

コンビニエンスストア

12 25 棟 教育研究棟

13 26 棟 教育研究棟

14 27 棟 体育館

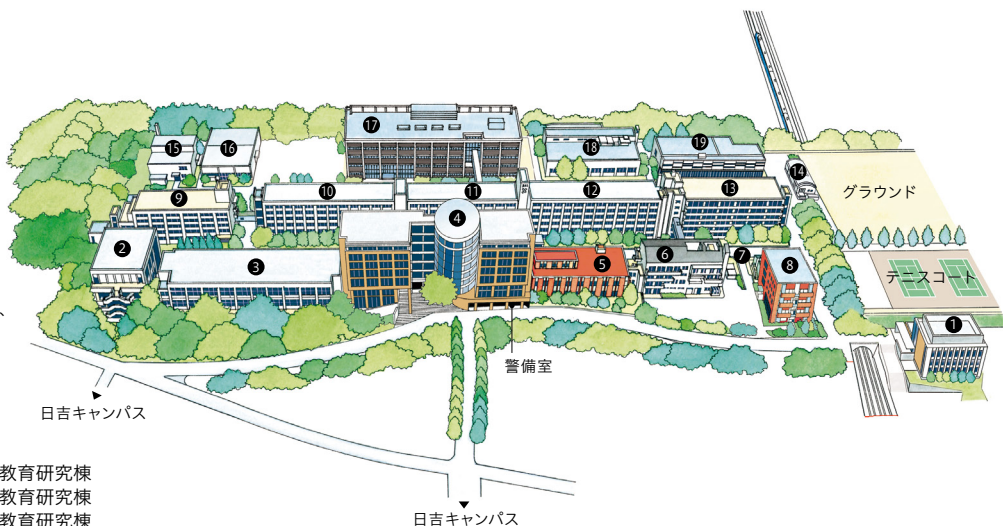
15 31 棟 教育研究棟

16 32 棟 教育研究棟

17 34 棟 教育研究棟

18 35 棟 教育研究棟

19 36 棟 産学官連携棟、YIL



※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。



信濃町キャンパス

神宮の杜に臨む医療に特化したキャンパス

慶應義塾大学病院と一体化したキャンパスでは、医学部の2年生以上*と看護医療学部3年生が学んでおり、薬学部の一部の学生が病院実習を行っているほか

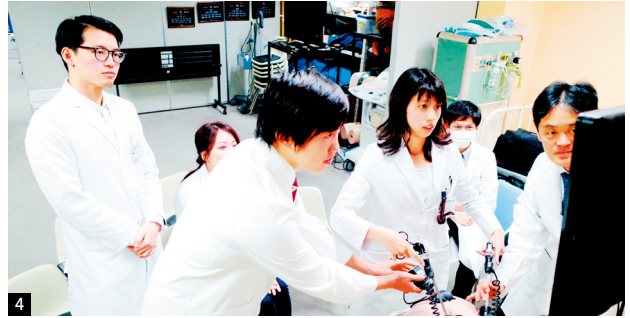
大学院医学研究科および健康マネジメント研究科の授業も行われています。

校舎は病院を取り巻くように建てられており、早い段階から医療現場を体験し、

実際に患者さんと接しながら学ぶことに重点が置かれています。キャンパスの南には緑豊かな神宮外苑の杜が広がっています。

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)など先進的な研究も行われています。

※2021年度より週に一度1年生の講義を行っています。



1 JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター (JKiC)

産・学・医療の連携拠点として、医療分野のニーズや先進的なアイデアを実現し、新たな診断・治療技術や医療支援技術の確立と普及を行います。

3 3号館

医学教育・研究と臨床との有機的な連携を目指し建設された施設です。研究室のある3号館(北棟)と、外来や病棟のある3号館(南棟)が隣接しています。

5 予防医学校舎

ロックフェラー財団の寄附により、1929年に竣工。日本で初めて予防医学を掲げた教室を設置しました。

2 神宮外苑を望む(キャンパスからの風景)

緑豊かな神宮外苑の杜や高層ビル群。自然と都市が調和した環境にキャンパスがあります。

4 クリニカル・シミュレーション・ラボ(2号館10階、東校舎1階)

2つのラボで、実習やメディカル・スタッフのトレーニングのために、さまざまなシミュレーション機器を取り揃えています。BLS、二次救命処置などのトレーニングも行います。

6 総合医科学研究棟

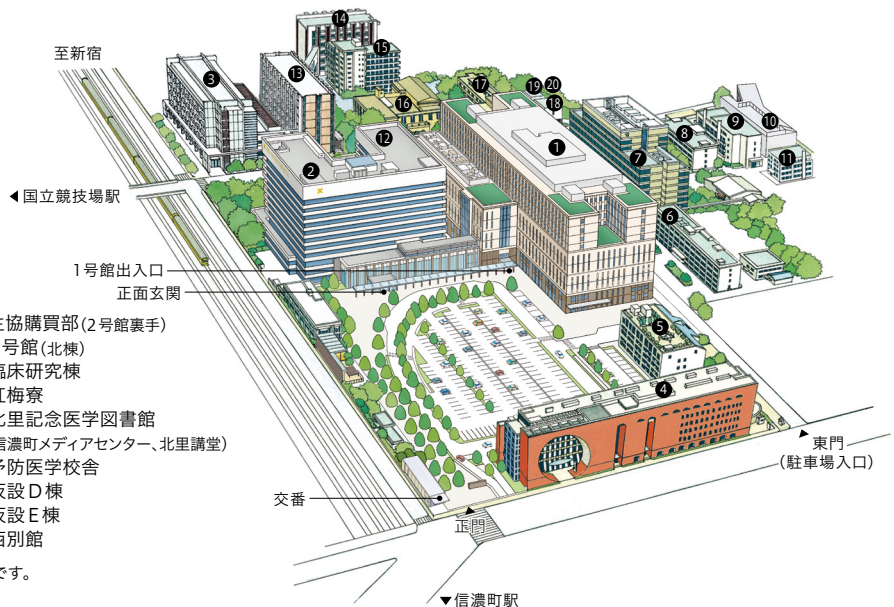
産学協同の生命科学研究を推進するリサーチパークなどの施設があります。

[キャンパスマップ]

- ① 1号館(病院、カフェ、コンビニエンスストア)
- ② 2号館(病院、レストラン、カフェ、コンビニエンスストア)
- ③ 3号館(南棟)(病院)
- ④ 信濃町煉瓦館
- ⑤ 孝養舎
- ⑥ 東校舎
- ⑦ 総合医科学研究棟
- ⑧ 第2校舎
- ⑨ 新教育研究棟
- ⑩ JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター(通称:JKiC)
- ⑪ 北別館

- ⑫ 生協購買部(2号館裏手)
- ⑬ 3号館(北棟)
- ⑭ 臨床研究棟
- ⑮ 紅梅寮
- ⑯ 北里記念医学図書館(信濃町メディアセンター、北里講堂)
- ⑰ 予防医学校舎
- ⑱ 仮設D棟
- ⑲ 仮設E棟
- ⑳ 西別館

※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。





湘南藤沢キャンパス

最先端技術と自然が共存する未来型キャンパス

略してSFCと呼ばれる湘南藤沢キャンパスは、総合政策、環境情報、看護医療の3学部と、政策・メディア、健康マネジメントの2研究科からなります。

敷地面積は約10万坪。最新の技術と豊かな自然が調和する空間で、充実したキャンパス・ネットワーク・システムにより、
塾生、教職員間の活発なコミュニケーションが図られています。



1 M: ミュー館(メディアセンター [図書館]、情報センター、横文彦ルーム)
問題発見・問題解決型キャンパスの特色を反映した図書館サービスや、教育・研究におけるコンピュータやネットワークの利用に先進的に取り組んでいます。

3 Γ: ガンマ館(体育館)
筋力トレーニングも可能なマシンルーム、シャワールーム、フィットネスルームも完備しています。

5 H: イータヴィレッジ
キャンパス内にある4つの居住棟と1つの共用棟からなる学生寮。

2 β: ベータヴィレッジ
学生や教員、研究者が寝食を共にしながら、授業や研究、ものづくりに打ち込むための滞在型教育研究施設です。

4 ν: ニュー棟(研究棟)
別荘のような雰囲気共同研究室。木目のインテリアで統一された静かな環境です。

6 看護医療学部校舎
最新の看護医療教育実現のための施設・設備が整えられています。

[キャンパスマップ]

- 1 A(アルファ)館(本館)
- 2 Ω(オメガ)館
- 3 M(ミュー)館
(メディアセンター[図書館]、
情報センター、横文彦ルーム)
- 4 κ(カツパ)館
- 5 ε(エプシロン)館
- 6 ι(イオタ)館
- 7 ο(オミクロン)館
- 8 λ(ラムダ)館
- 9 θ(シータ)館
- 10 Δ(デルタ)館
- 11 τ(タウ)館(大学院棟)
- 12 ψ(サイ)館(クラブハウス棟)
- 13 φ(フィー)館(クラブハウス棟)
- 14 Γ(ガンマ)館(体育館)
- 15 Σ(シグマ)館(生協購買部、
ファカルティクラブ、学生食堂、
鴨池ラウンジ、コンビニエンスストア)
- 16 学生ラウンジ(サブウェイ、鴨池テラス)
- 17 ガリバー池(通称:鴨池)



- 18 看護医療学部校舎
- 19 慶應藤沢イノベーションビル(β1-4, βドーム、
βパピリオン、βスタジオ、DEF-W)
- 20 セミナーゲストハウス
- 21 ν(ニュー)棟
- 22 Z(ゼータ)館(研究棟)
- 23 β(ベータ)ヴィレッジ(β1-4, βドーム、
βパピリオン、βスタジオ、DEF-W)
- 24 湘南藤沢中等部・高等部
- 25 湘南藤沢国際学生寮

26 H(イータ)ヴィレッジ(ソルト・ハウス[学生食堂*昼食のみ]、パブリカ・ハウス、
ターメリック・ハウス、ローズマリー・ハウス、バジル・ハウス)

※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。



芝共立キャンパス

交通アクセスに優れた都市型キャンパス

主に薬学部の2～6年生と大学院生が学ぶキャンパスです。1年生も週に1回ここで学びます。

構内には1号館(学生厚生棟)、2号館(教育棟)、3号館(教育研究棟)があり、

体育館や附属薬局などのほか、屋上庭園といった憩いの空間も設けられています。

また、東京タワーや増上寺などから程近く、都心にありながら緑の多い落ち着いた環境です。

周囲に鉄道が6路線あり、どの駅からも徒歩10分以内に位置するアクセスのよさも、このキャンパスの大きな魅力です。



1 2号館：253実験室 254実習室

1年次春学期から4年次秋学期まで、数多くの実習をおこなっています。

3 創薬研究センター

塾内外の関連する研究機関等と密接に協力しながら、研究成果による社会貢献と創薬を先導する人材育成を目指しています。

5 附属薬局

調剤室、患者待合室、無菌製剤室などの設備があります。薬剤師としての基本姿勢を実践で学べる施設です。

2 屋上庭園

1号館の屋上にあり、塾生の憩いの場となっています。また薬学を学ぶために必要な薬草の栽培もしています。

4 学生ホール(食堂)

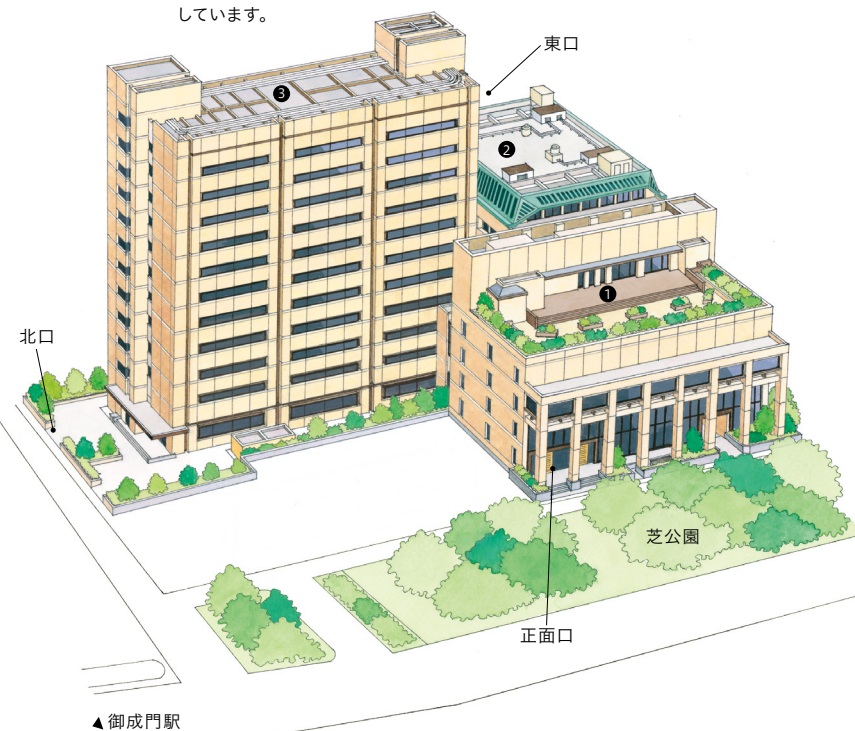
多くの学生が集まり、食事をしながらの意見交換などコミュニケーションの場でもあります。

6 薬用植物園(浦和共立キャンパス)

埼玉県さいたま市にあり、見学することも可能です。ここでは貴重な薬草を栽培しています。

[キャンパスマップ]

- ① 1号館 屋上庭園、体育館 [多目的のホール]、トレーニングジム、学生ホール[食堂]、生協購買部
- ② 2号館 創薬研究センター、講義室、実習室、保健管理センター
- ③ 3号館 芝共立薬学図書館(薬学メディアセンター)、附属薬局



※キャンパスマップの内容は2026年4月現在のものです。



メディアセンター(図書館)

自由に活用できる6つの個性

慶應義塾大学には、各キャンパスに個性豊かな6つのメディアセンター(図書館)があります。500万冊を超える蔵書に加え、自宅からも利用できる電子ブック、電子ジャーナル、データベースを数多く提供し、学習や研究に必要な情報をいつでも入手できる環境を整えています。静かな個人学習スペースやグループ学習室を備えるだけでなく、それぞれのキャンパスの特性を活かし、貴重書の展示、先輩相談員による学習サポート、学生が主体となって開催するイベントなども行っています。おびただしい情報が溢れる現在、適切な情報源から必要な知識を選択・収集し問題解決につなげる情報リテラシーを高めることが塾生には求められています。メディアセンターはそうした皆さんの知的活動を支援します。

1 三田 2 日吉 3 信濃町 4 理工学 5 湘南藤沢 6 薬学



1



ミュージアム

慶應義塾ミュージアム・commons

(Keio Museum Commons 略称: KeMCo)

◎ 展覧会・催事開催中はどなたでも見学できます(無料)



慶應義塾のアートとカルチャーを研究・発信するミュージアムです。三田キャンパスの東別館で、デジタルとリアルが融合したユニークな展覧会や、ワークショップなどのイベントを開催。現役塾生が企画する、文化財を「いま」に接続する参加型プログラムも好評です。デジタル・アーカイブ「Keio Object Hub」の運営など、慶應義塾が蓄積してきた様々な領域の学術資料や文化財を繋ぎ、社会に開く活動も担っています。

- 1 連携展覧会「オブジェクト・リーディング:精読八景」展示室風景
- 2 KeMCo × 中等部 気候変動×ものづくり 成果展示会風景



©katomaki

2



福澤諭吉記念慶應義塾史展示館

◎ 常設展示・企画展示ともどなたでも見学できます(無料)



三田キャンパス図書館旧館2階に設置されています。創立者である福澤諭吉の生涯と160余年にわたる慶應義塾の歴史が展示されています。実物の歴史資料の展示を大切にし、塾史を通して広く日本の近現代史を学べる施設です。年に数回福澤諭吉や塾史に関連した企画展も開催されます。



慶應義塾大学アート・センター

◎ 展覧会・催事開催中はどなたでも見学できます(無料)



南別館一階の慶應義塾大学アート・スペースにて年間を通じて企画展を開催しているアート・センターは、多様な芸術系アーカイブ資料も所管しており、慶應義塾で唯一、「登録博物館」に登録されている施設です。現代芸術や建築などの展覧会を開催するだけでなく、土方巽をはじめとする所管のアーカイブが有する資料の研究成果を展示形式で発表しています。また展覧会以外にも、展覧会に関連するギャラリートーク、アーカイブを主体とした舞踏公演や建築ツアーなど、さまざまなイベントなどを通してアートとの接点を提供しています。

- 1 アート・スペース(展示室)
- 2 新入生歓迎行事での舞踏公演
- 3 建築プロムナード(建築ツアー)



1



2

3

学生生活





クラブ・サークル

慶應義塾大学では、体育会、文化団体連盟をはじめ、380以上の公認学生団体が、

学術・文化・スポーツなどさまざまな分野において活動しています。

学部や学年の域を越え、ともに取り組む密度の濃いチャレンジと追求。

目標への努力や仲間との絆は、心を強く豊かにし、社会へ出てからの力につながっていきます。



体育会・サークル



キャンパス

メディアアセン
ター(図書館)

ミュージアム

クラブ・サークル

留学・海外研修

学生寮

学生相談室・
保健管理センター

学費・奨学金

就職・進路

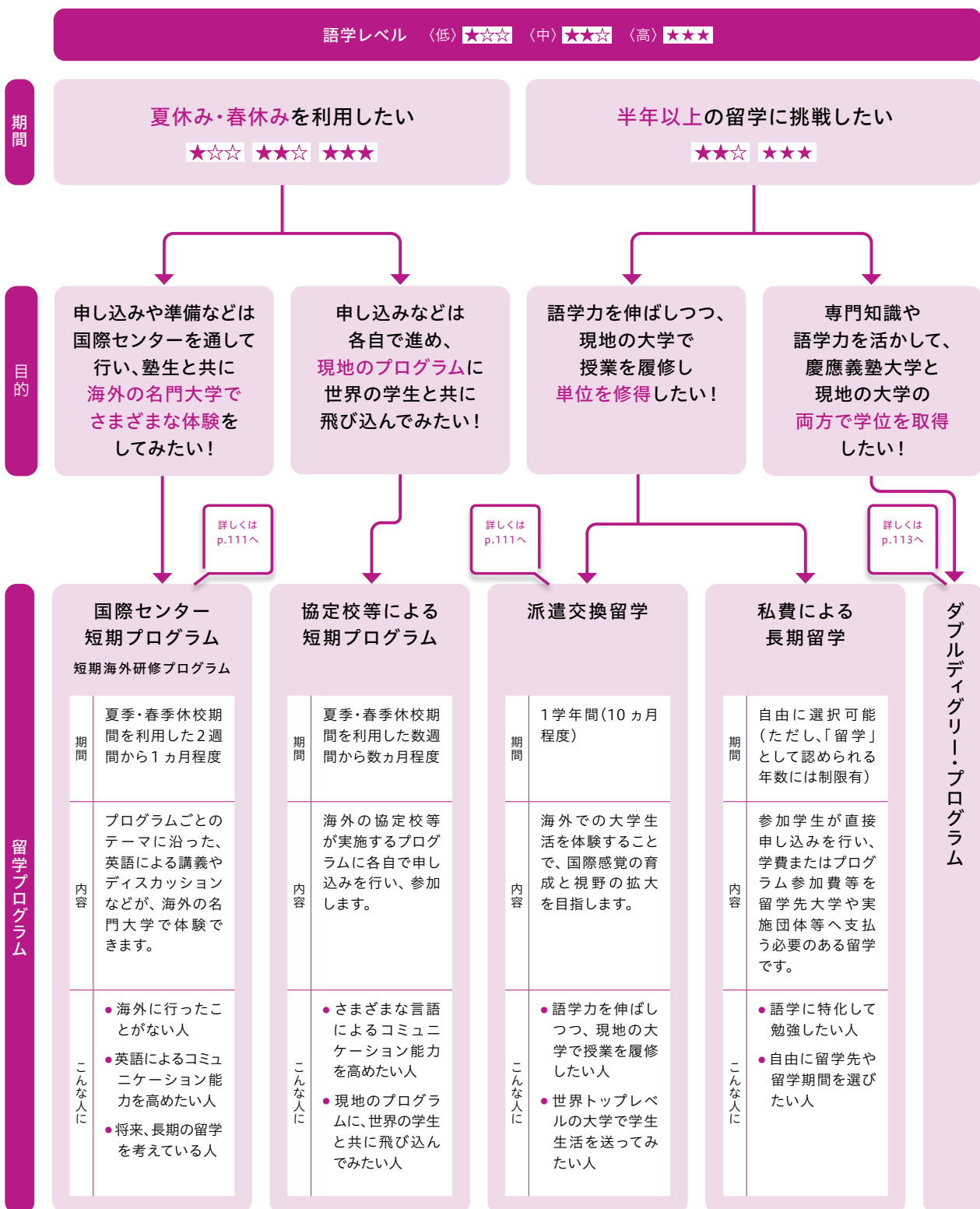
大学院





自分にあった「留学」を見つける

語学習得を目指すものや海外の大学で専門的な内容の授業を履修するもの、数週間の短いものから半年以上の長期にわたるものなど、留学にはさまざまな種類があります。



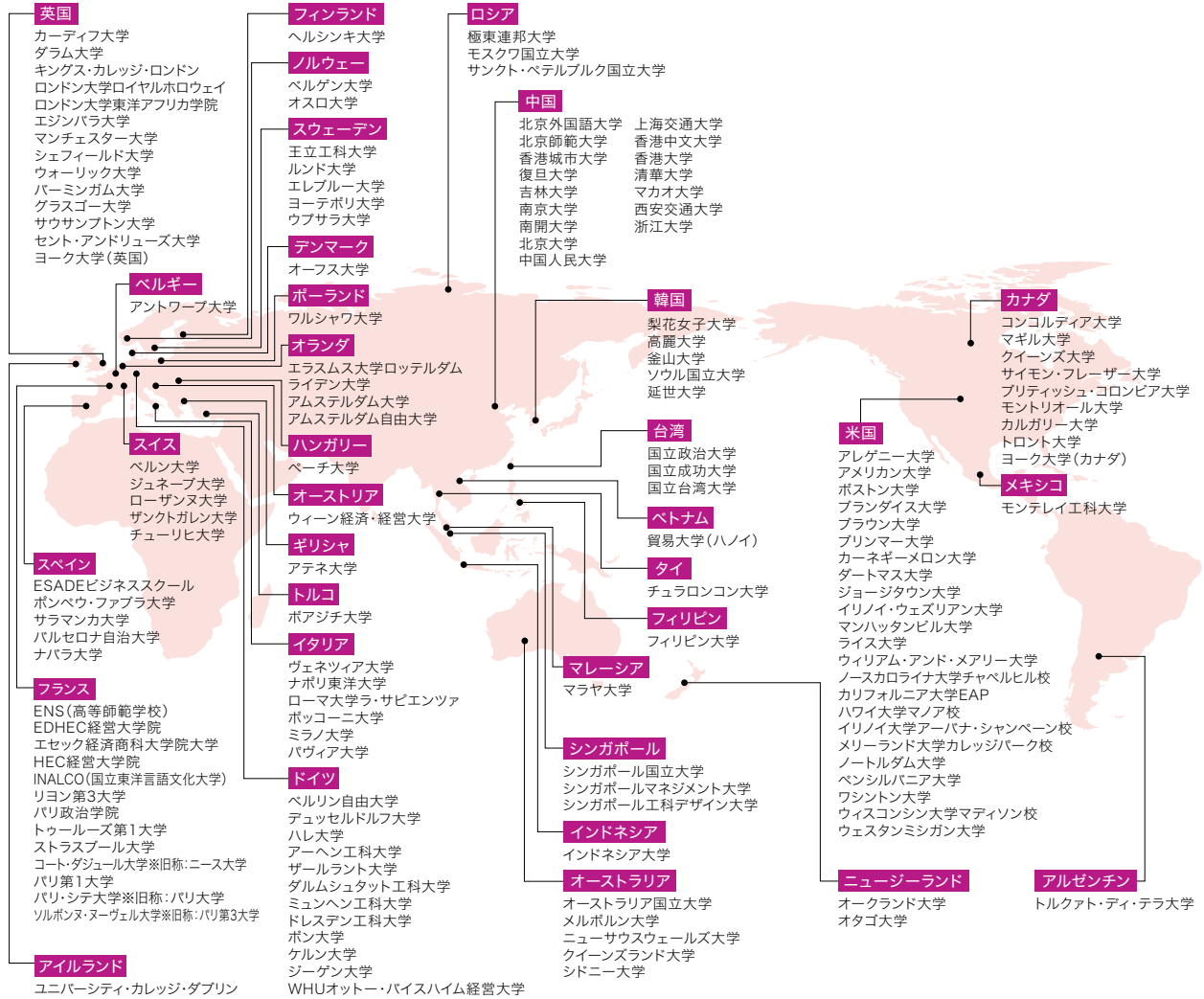
この他に、各学部が実施するプログラムもあります。詳しくは、p.112へ

交換留学

■派遣交換留学制度 (どの学部・研究科からも応募できます)

交換留学は、慶應義塾大学が外国の大学との間で交わした協定に基づいて実施される留学制度です。
1学年間、外国での大学生活を体験する機会を提供することで、国際感覚の育成と視野の拡大を目指します。

「派遣交換留学制度」協定校 (2026年1月現在)



短期海外研修プログラム (国際センター主催)

全学部および研究科の学生を対象に、夏季・春季休校中に実施されるプログラムです。外国語による講義やディスカッション、寮生活などの活動を通して異文化交流を体験できます。海外生活を体験したい人はもちろん、外国語によるコミュニケーション能力を高めたい人や、将来長期の留学を考えている人にもおすすめです。

期間: 2週間~4週間

夏季講座

■ウィリアム・アンド・メアリー大学(米国)



日米比較、アメリカ文化・歴史・社会について幅広く学びます。グループワークやアクティビティを通して現地の学生と数多く交流できます。

■ケンブリッジ大学 ダウニング・コレッジ(英国)



世界的名門校で英語と専門分野(国際、ビジネス、科学、芸術等)をバランス良く学びます。英国の伝統や文化を体感できます。

春季講座

■パリ政治学院(フランス)



政治・経済・社会・文化、および諸外国との国際関係といった様々なテーマを取り扱う講義や本格的なエッセイ作成、フィールドトリップ等を通して、EUについての知識と理解を深めます。

■エセックス大学(英国)



インタラクティブな講義やアクティビティを通じて、英国の歴史・文化を体験しながら少人数で学びます。

※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのウェブサイトでご確認ください。

学部独自の留学プログラム (2026年1月現在) ※諸情勢により中止あるいは実施形態や期間が変わる可能性があります。

経済学部	<p>パリ政治学院(フランス)、ポッコーニ大学(イタリア)と「ダブルディグリー・プログラム」および「学部・修士5年プログラム」、HEC経営大学院(フランス)、ケルン大学(ドイツ)、ブランダイス大学(米国)、ステューヴンス工科大学(米国)と「学部・修士5年プログラム」(HEC経営大学院はPEARL生のみ)を実施。また、海外諸大学への独自の交換留学枠を設けています。</p> 
法学部	<p>ハンブルク大学(ドイツ)、フンボルト大学(ドイツ)、フライブルク大学(ドイツ)、チューリヒ大学(スイス)、清華大学(中国)と交換協定を締結しており、法学部の独自の交換留学枠を設けています。</p> 
商学部	<p>北京大学光華管理学院(中国)と「ダブルディグリー・プログラム」を実施しています。</p> 
医学部	<p>学部5年生を対象とした「短期海外留学プログラム【臨床】」に選抜された学生は、海外の協定大学等における約1ヵ月間の臨床実習により単位を取得できます。</p> 
理工学部	<p>エコールサントラル(フランス)との「ダブルディグリー・プログラム」をはじめ、欧州・米国・韓国への短期留学や、1学期間の交換留学など、多様な国際プログラムを展開しています。また、「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」では、夏は日韓の私立大学4校(慶應義塾大学、早稲田大学、高麗大学、延世大学)、春は淡江大学(台湾)と合同で実地研修を実施しています。</p> 
総合政策学部	<p>環境情報学部 アラビア語、マレー・インドネシア語、朝鮮語、中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語の7つの語種で、海外諸大学・機関での「海外研修」(2または4単位)を実施。</p> 
看護医療学部	<p>夏季および春季休校期間中に、英国サフォーク大学ほか同国の保健・医療施設での海外研修「世界の医療・保健制度II」など、4つの海外研修科目(1または2単位)を開講しています。</p> 
薬学部	<p>米国やタイの大学や機関との協定等に基づき、薬学科6年生を4~5週間の病院実習に派遣しています(3単位)。また、学部2・3年生を対象に、タイの大学を訪問するプログラムや、薬学科6年生・大学院生を対象に、米国西海岸の大学で医薬品開発を学ぶ短期プログラムも実施します(各1単位)。</p> 
医療系二学部	<p>医学部・看護医療学部・薬学部では、学部生対象の国際保健に関する研修「ラオス・プライマリヘルスケア保健医療チーム活動プロジェクト」を実施しています。</p>

■ 慶應義塾大学から世界へ 塾生の国・地域別留学先(私費留学も含む)

米国	68	中国	21	スウェーデン	12	ノルウェー	7	ハンガリー	3	タイ	1
フランス	67	オーストラリア	18	大韓民国	9	シンガポール	5	アイルランド	2	トルコ	
ドイツ	33	スイス		スペイン	8	ポーランド	4	デンマーク		ペルー	
英国	30	オランダ	台湾	ニュージーランド		3	インド	1	ポルトガル		
イタリア	22	カナダ	ベルギー					インドネシア			
合計 391名											

(2025年5月1日現在数。交換留学および私費留学について記載。)

■ 世界から慶應義塾大学へ 留学生の出身国・地域

中国	965	カナダ	15	マレーシア	6	ブルネイ	3	アルゼンチン	1	ニュージーランド	1
大韓民国	358	オランダ	14	キルギス共和国	5	アルバニア	2	イラク		フィンランド	
台湾	105	ミャンマー	13	サウジアラビア		イスラエル		イラン		ブルガリア	
フランス		オーストラリア	12	デンマーク		ウクライナ		エストニア		ベナン	
米国	73	ノルウェー	11	ハンガリー		オーストリア		エリトリア		ペルー	
ドイツ	70	モンゴル	10	パキスタン		ギリシャ		カンボジア		ポリビア	
インドネシア	52	スイス	9	メキシコ	ジンバブエ	北マケドニア	マラウイ				
ベトナム	49	ポーランド	8	トルコ	スリランカ	コソボ	南アフリカ				
イタリア	42	ロシア		ポルトガル	スロバキア	シリア	ヨルダン				
スペイン	28	ウズベキスタン	7	モロッコ	チュニジア	スロベニア	リヒテンシュタイン				
タイ		シンガポール		ルーマニア	ベネズエラ	セネガル	レバノン				
英国		バングラデシュ		エクアドル	ラオス	チェコ					
ベルギー	18	ネパール	6	エジプト	アイルランド	チリ					
スウェーデン	16	フィリピン		カザフスタン	アラブ首長国連邦	1	トルクメニスタン				
インド	15	ブラジル		ブータン	アルメニア		ニカラグア				
合計 2,200名											

(2025年11月1日現在数)

ダブルディグリー・プログラム

慶應義塾大学と海外の協定校の両方で学び、
修了時に慶應義塾と協定校の2つの学位を取得できるプログラムです。
慶應義塾大学では、世界のトップレベルの大学とのダブルディグリー・プログラムを実施し、
国際社会を先導する人材の育成を目指しています。詳細は、ウェブサイトをご確認ください。

ダブルディグリー・プログラム



学内での国際交流の機会

※開催プログラム・イベントや実施形態等に変更がある可能性があります。最新の情報は国際センターのウェブサイトでご確認ください。

■ KJSP(慶應義塾大学短期日本学講座)

春休みに留学生と塾生が共に学ぶ短期プログラムです。
日本の文化・ビジネス・経済・社会等に関する講義や
アクティビティを海外の協定校からの
学生と一緒に、すべて英語で受講します。
日本にいながら英語漬けの2週間を送ることができます。

■ 国際センター講座

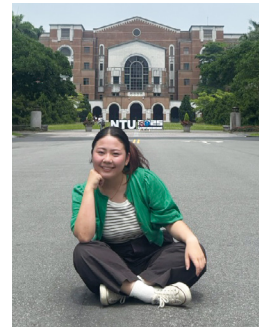
日本や東アジア・東南アジアをテーマとして、
英語で授業が行われます。
講義だけでなく、グループワークを行う科目も多く、
海外からの留学生と交流しながら共に学ぶことができます。
これから留学することを考えている方、
留学から帰ってきた方、多様な価値観に触れて
広い視野を養いたい方などにおススメです。

学生の声

多様な人々との交流を通して、 日本の歴史や政治について新たな視点を獲得

私はアジアで初めて同性婚が法制化された台湾で、ジェンダー論について学びたいと思い留学を決めました。台湾大学は、豊かな自然と台湾の中心地ならではの都会的な雰囲気を併せ持つ場所で、世界各国からの留学生とともに英語と中国語が入り混じる生活を送りながら学びに取り組みました。日本統治時代や戒厳令下を生きた人々、台湾原住民の方々との交流は貴重な経験で、日本の歴史や政治について新たな視点を獲得ことができました。多様な生き方の人々と出会ったことで、自身の将来の可能性も広がったと感じます。

国立台湾大学(台湾)への派遣交換留学 Y.T.(文学部2年)



よくある質問

Q 留学費用はいくらぐらい
必要ですか？

A 留学先の国や地域、また過ごし方によっても大きな差があります。一般的に学費を除いた生活費として、1学年間で150万円～300万円程度かかるといわれています。留学先大学のウェブサイトや、派遣交換留学の場合は、過去の派遣生の留学報告書等も参考にしてください。プログラムによっては、各種奨学金にも申請可能です。

Q 留学の準備はいつ頃から
始めればよいですか？

A 通常、留学を決意してから出発までに、1年～1年半ほどかかります(短期の語学研修の場合は3～6ヵ月程度)。特に、半年以上の長期留学にあたっては、プログラムへの応募時点で、大学の学業成績(GPA等)や語学能力の基準が課されることがほとんどです。早め早めの準備が大切です。

Q 留学のための情報収集は
どのように行ったらよいですか？

A 留学に関する情報をより多くの塾生に提供するために、毎年、日吉キャンパスにて留学フェアを開催しています。また、国際センターウェブサイト上でも、各種留学説明会や留学プログラムの募集案内等、留学に役立つ情報を随時掲載していますので、まずはウェブサイトをぜひご覧ください。

留学プログラムに関する各種パンフレットは、
国際センターウェブサイトでご覧いただけます。





学生寮

日本人学生と留学生の交流を積極的に支援

慶應義塾大学では、全国各地の学生に対するより積極的な入学支援・生活支援を目指し、学生寮の充実を図っています。日本人学生と留学生がともに暮らす混住型学生寮では、日常生活の中で学び合い、交流し、国際感覚を身につけられることも特長の一つになっています。

入寮申込の流れ

学生寮には、入学試験合格後に申し込むことができます。募集時期については、入学試験制度により異なります。



学生寮の詳細情報や
見学・申し込みに関しては、
ウェブサイトをご覧ください。



学生の声

国際的な分野に興味がある私にとって、 留学生との交流は貴重な財産

学生寮は共同生活のため、初めは「プライバシーが少ないのでは」と心配していました。しかし実際には、トイレ、シャワー、洗濯機などが各部屋に備え付けられていて、自分の時間を大切にできる環境が整っています。また、留学生と頻りに交流できることで、自分の視野が広がったと感じています。国籍を問わずみんなで囲む食卓では、様々な機会や学びを得られます。国や文化についての先入観が覆されるような体験も多く、とても刺激的で楽しいです。こうした経験は、国際的な分野に興味がある私にとって貴重な財産になっています。

網島学生寮在住 K.S. (愛知県出身・経済学部3年)



学生寮一覧

	部屋数	アクセス	通学に便利な キャンパス	入寮費	寮費(月額)・食事代
日吉寄宿舎	18室(1室3名) 洋室19㎡	神奈川県横浜市港北区箕輪町1-11-19 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩10分	日吉 矢上	17,000円 ※自治会入会費(7,000円)別	17,000円(食事代別途約12,000円) 食事提供あり(平日の朝・夕)*
大森学生寮	127室(1室1名) 洋室12.28㎡	東京都大田区大森西7-4-27 JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田」駅 徒歩15分 京急本線「梅屋敷」駅 徒歩12分	三田 日吉 矢上 信濃町 芝共立	130,000円(1年契約) 160,000円(2年契約) 220,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	73,560円(食事代込) 54,200円(食事代別途個別精算) 食事提供あり(月～土曜の朝・夕)*
綱島学生寮	124室(1室1名) 洋室15.64～ 16.87㎡	神奈川県横浜市港北区綱島西2-18-3 東急東横線「綱島」駅 徒歩7分 東急新横浜線「新綱島」駅 徒歩9分	日吉 矢上	180,000円(契約期間 1年・更新可・更新料なし)	59,980円～65,980円 (食事代別途29,980円) 食事提供あり(月～土曜の朝・夕)*
元住吉寄宿舎	230室(1室1名) 洋室23.5㎡	神奈川県川崎市中原区木月4-31-8 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩8分 東急東横線・目黒線「元住吉」駅 徒歩10分	三田 日吉 矢上	120,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 170,000円(3年契約) 200,000円(4年契約)	82,000円 食事提供なし
日吉国際 学生寮	200室 1ユニット4個室×50 (1ユニット64.44㎡～(内、個室 9.25㎡～))	神奈川県横浜市港北区日吉5-11-18 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩18分	三田 日吉 矢上	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	71,000円 食事提供なし
元住吉国際 学生寮	156室(1室1名) 洋室14.06～ 14.17㎡	神奈川県川崎市中原区木月住吉町22-1 東急東横線・目黒線「元住吉」駅 徒歩8分	三田 日吉 矢上	170,000円	73,000円～79,000円 (食事代別途26,400円) 食事提供あり(平日の朝・夕)*
綱島SST国際 学生寮	163室(1室1名) 洋室17.40～ 18.85㎡	神奈川県横浜市港北区綱島東4-3-10 東急東横線「綱島」駅 徒歩10分 東急新横浜線「新綱島」駅 徒歩10分 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 「日吉」駅 徒歩15分	日吉 矢上	90,000円(1年契約) 120,000円(2年契約) 150,000円(3年契約) 170,000円(4年契約)	79,800円 食事提供なし
高輪国際 学生寮	44室(1室1名) 洋室12.43～ 13.24㎡	東京都港区高輪2-12-35 都営浅草線、京急本線「泉岳寺」駅 徒歩7分 JR京浜東北線・山手線「高輪ゲートウェイ」駅 徒歩11分 東京メトロ南北線、都営三田線「白金高輪」駅 徒歩14分	三田 信濃町 芝共立	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	69,000円 食事提供なし
湘南藤沢国際 学生寮	109室(1室1名) 洋室14.47～ 14.72㎡	神奈川県藤沢市遠藤6701-1 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 「湘南台」駅西口よりバス「慶応大学」行き約10分	湘南藤沢	90,000円(1年契約) 150,000円(2年契約) 200,000円(3年契約) 240,000円(4年契約)	59,000円(食事代別途個別精算) 食事提供あり(平日の朝・夕)*
Hヴィレッジ	300室 ・1ユニット5個室×52(1ユニット 82.62㎡(内、個室8.38㎡)) ・1ユニット5個室の内、1室車い す対応室×4(1ユニット86.93 ㎡(内、個室8.38㎡・車いす室 20.55㎡)) ・1人室×20(16.22㎡)	神奈川県藤沢市遠藤5232-1 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 「湘南台」駅西口よりバス「慶応大学」行き約10分	湘南藤沢	—	ユニット式: 78,300円(食事代込) 1人部屋: 88,300円(食事代込) 食事提供あり(全日の朝・夕)*

*夏季・年末年始の休業日等、食事提供がない期間があります。

日吉寄宿舎以外の学生寮では、記載の費用のほかに保証金や年間管理費などが必要となります。また、各種費用については変更の可能性があります。

■アパート・マンション紹介

慶應義塾生活協同組合では住まいの紹介をしています。湘南藤沢キャンパスでは3月上旬から中旬の期間、学生団体がアパート・マンション紹介を行います。約200件の物件から好みの部屋を探すことができます。

学生相談室

慶應義塾では、学生生活を送る中で出会う様々な問題について相談できる窓口を設けています。三田、日吉、矢上、芝共立の各キャンパスに学生相談室があり、学業、進路、就職活動、心身の健康など、困ったときには気軽にカウンセラーと話し合うことができます。なお信濃町キャンパスはストレス・マネジメント室、湘南藤沢キャンパス(SFC)は心身ウェルネスセンターにおいてカウンセラーが対応します。



学生相談室



ストレス・マネジメント室(PDF)



心身ウェルネスセンター



保健管理センター

本大学では健康診断・健康管理・健康相談・環境衛生・保健衛生教育などのため、保健管理センター・診療所を設置しており、塾生が利用できるようになっています。また、慶應義塾の各診療所(日吉・三田・矢上・湘南藤沢)では、診療(内科および精神・神経科(有料))、診断書の発行(有料)などを行っています。



学費・奨学金

学びのための費用と経済的なサポート

入学に必要な費用と奨学金に関する情報をまとめました。

奨学金は、返済不要の給付型の拡充を図るとともに、

入学前に申請して候補者認定が受けられる制度も用意しています(p.117～119参照)。

入学に必要な費用 (入学金を含む初年度納入金:2026年度参考例)

費用は春学期と秋学期の2回に分けて納入(分納)できます。

(単位:円)

種別	学部	文学部	経済学部	法学部	商学部	医学部	理工学部	総合政策学部 環境情報学部	看護医療学部	薬学部 薬学科	薬学部 薬科学科
	学費	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
在籍基本料		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
授業料		990,000	990,000	990,000	990,000	3,040,000	1,440,000	1,170,000	1,170,000	1,910,000	1,600,000
施設設備費		240,000	240,000	240,000	240,000	420,000	260,000	330,000	380,000	360,000	360,000
実験実習費		—	—	—	—	220,000	120,000	—	260,000	220,000	220,000
その他の費用	3,350	8,350	13,350	9,850	3,350	3,350	11,350	11,350	3,350	3,350	
合計		1,503,350	1,508,350	1,513,350	1,509,850	3,953,350	2,093,350	1,781,350	2,091,350	2,763,350	2,453,350
分納の場合の春学期分		851,725	854,225	856,725	854,975	2,076,725	1,146,725	990,725	1,145,725	1,481,725	1,326,725
分納の場合の秋学期分		651,625	654,125	656,625	654,875	1,876,625	946,625	790,625	945,625	1,281,625	1,126,625

※2年目以降、入学金は必要ありません。入学金以外の費用については在学中に変動する可能性があります。(参考 <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/fee/>)

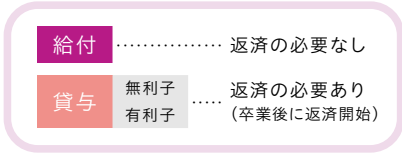
通常履修している科目によっては、教科書代・実験費・各種講座費などが別途必要な場合があります。金額は状況により異なります。また、留学や海外研修プログラムに参加する場合には、学費のほかに別途費用が必要になります。詳細は「国際センター」のウェブサイトをご参照ください。

奨学金

大学生生活を経済面からサポートする制度として奨学金があります。

■奨学金とは

奨学金は、学習意欲と能力のある学生に対してお金を給付あるいは貸与する制度です。給付奨学金は返済不要ですが、貸与奨学金は卒業後に返済する必要があります。貸与奨学金には「無利子」のものと「有利子」のものがあります。



■奨学金の種類

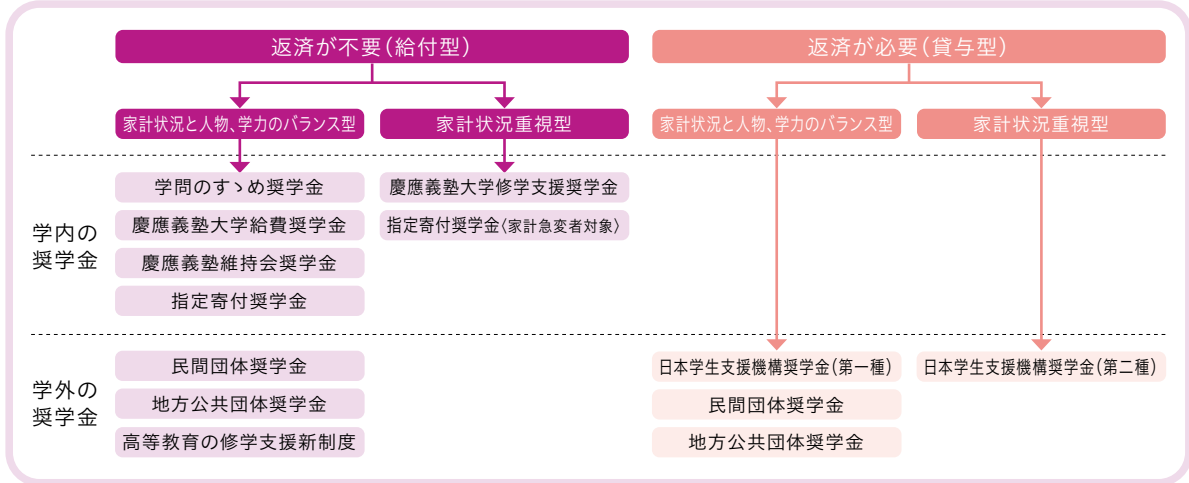
慶應義塾大学は、学業に専念できる環境を整え、良識ある知識人として活躍できる人材育成の支援を目的に、成績優秀者を対象とした奨学金、家計状況が急変した際の奨学金、地方出身者や海外でのグローバルな学習活動への支援など、学生のニーズに対応するさまざまな奨学金を用意しています。奨学金は下記のようなものがあり、いずれも家庭の経済状況や学力・人物によって選考されますが、それぞれ趣旨・金額・返済義務の有無などが異なります。なお、いずれの奨学金も推薦枠・採用枠があるため、希望者全員が採用されるわけではありません。それぞれの奨学金で選考があります。

- ① 慶應義塾大学独自の奨学金(学内の奨学金)
すべて返済の必要がない給付の奨学金です。
- ② 日本学生支援機構奨学金(学外の奨学金)
国が扱う公的な貸与の奨学金です。利用者が最も多い奨学金で、慶應義塾大学では約12人に1人の学生が利用しています。日本学生支援機構ウェブサイトに申し込みから採用までの流れ、貸与金額、返還例などの詳細が掲載されていますのでご参照ください。
- ③ 国による「高等教育の修学支援新制度(多子世帯への授業料等無償化を含む)」(学外の奨学金)
「授業料無償化/減免制度」と給付型奨学金の支援が受けられます。支援対象要件や支援内容は日本学生支援機構ウェブサイトをご参照ください。
- ④ 民間団体・地方公共団体の奨学金(学外の奨学金)
慶應義塾大学では現在、給付と貸与を合わせて約100以上の団体よりご支援いただいています。

日本学生支援機構
ウェブサイト



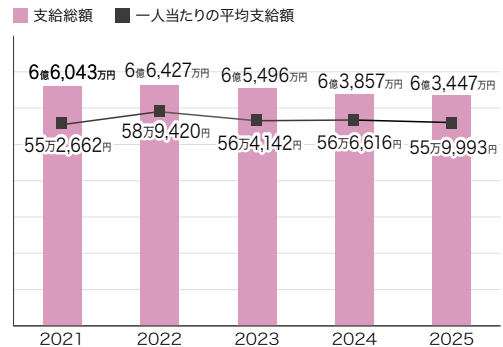
奨学金選びのフローチャート



■奨学金の拡充

慶應義塾大学は、学生が経済的な理由で勉学の機会を失うことのないよう、返済不要の給付型奨学金の拡充を図っています。首都圏以外出身の受験生を対象とした入学前予約型奨学金「学問のすゝめ奨学金」や「慶應義塾維持会奨学金」、「慶應義塾大学給費奨学金」を用意しています。さらに、従来の複数の奨学金制度を一本化した「修学支援奨学金」は、家計急変や大規模自然災害による被災などさまざまな理由で経済的に修学が困難な学生をより幅広く柔軟にサポートしています。また、三田会(同窓会)からの寄付による奨学金を多数用意しているのも、卒業生とのつながりの強い慶應義塾大学ならではの特徴です。これら学内の給付型奨学金制度による奨学生は、年間のべ約1,133名(2025年度学部生)にのぼります。

【学内奨学金支給実績】





■ 主な奨学金制度一覧

入学前申請

一般選抜出願前に申請し、候補者認定が受けられる返済不要の奨学金

学問のすゝめ奨学金

本奨学金は、慶應義塾大学の学部第1学年に入学を強く希望する日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)の高等学校等の出身者で、人物および学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により本学への入学に困難を来している受験生に対し、経済支援を行うことを目的とします。

選考については、一般選抜出願前に申請を受け付け、候補者を決定します。

その後、一般選抜に合格し、入学後に所定の手続きを行うことで奨学生として採用されます。



● 2027年度実施予定(2027年度一般選抜受験生対象)

奨学金額	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部90万円、薬学部80万円、その他学部60万円(年額) ・初年度は上記の金額に入学金相当額(20万円)を加算 ・入学2年目以降は成績優秀者の奨学金額を増額:医学部150万円、薬学部120万円、理工・総合政策・環境情報・看護医療学部90万円、その他学部80万円(年額) <p>※卒業まで継続して受給するためには毎年継続申請を行い、審査を受ける必要があります。 ※採用された学生が、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象となる場合は、奨学金の支給金額が減額となることがあります。</p>
採用候補者数	500名以上

● 申請資格

以下①～⑥のすべての条件を満たしていなければなりません。

- ①日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)の高等学校等を卒業(修了)した者、または2027年3月に卒業(修了)見込みの者
- ②本学の第1学年に入学を強く希望する者で、本学の2027年度一般選抜に出願予定の者
- ③卒業した、または卒業見込みの高等学校等より、調査書の発行が受けられる者
- ④父母の「令和8年度(令和7年分)の所得証明書」記載の収入・所得金額を合算した金額が給与・年金収入金額1,200万円未満(税込)、事業所得金額792万円未満(税込)の者
- ⑤上記の高等学校等の教員より推薦を得られる者
- ⑥家族が東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外の日本国内に居住し、入学後、自宅外から通学する予定の者

※実施内容は変更になる可能性があります。詳細は、「学問のすゝめ奨学金」ウェブサイトをご確認ください。2027年度の募集については2026年7月頃に公開する予定です。
 ※本奨学金の申請が一般選抜や推薦入試に影響を与えることはなく、申請時の選択学部と異なる学部の受験・入学も可能です。また、他大学の受験・入学も自由に決められるほか、他大学に入学した際に申請者の高校やその高校の後輩に影響が及ぶことは一切ありません。
 ※本奨学金の候補者としての決定は、慶應義塾大学一般選抜の合格を保証するものではありません。

学生の声

私が奨学金に助けられているように、 将来は薬に携わり人々の日常を支えたい

私には、人々が健康に、かつ快適に日々を過ごす上で必要不可欠である薬に関する職業に就くことで、人々の日常を支える人になりたい、という夢があります。私の大学生活が奨学金をいただいたことで助けられているように、私も将来困っている人たちの力になり、社会に貢献できる人材になりたいです。まだ具体的には定まっていませんが、現在は研究者として薬に携わりたいという気持ちが強くなりつつあり、大学では薬学の基礎から応用まで幅広く学び、さらに大学院へと進学して専門的な研究に取り組みたいと考えています。

慶應義塾大学維持会奨学金受給中 S.T.(東京都出身・薬学部2年)



入学後申請 (2026年度予定。奨学生数は2025年度実績)

	奨学制度名	種別	金額	期間	対象など	学年	奨学生数		
							申請者数	採用者数	
学内	慶應義塾大学給費奨学金	給付	年額50万円もしくは25万円	1年 (再申請可)	経済的に修学困難であると認められ、勉学の意欲を持ち、成績・人物ともに優秀な者。	1年生 2年生以上	- 218	- 175	
	慶應義塾大学修学支援奨学金	給付	学費の範囲内 (平均支給額：年額約30万円)	1年 (再申請可)	急激な家計状況の変化(大規模自然災害による被災を含む)、あるいは継続的な困窮のため修学が困難な者。	1年生 2年生以上	16 88	8 63	
	慶應義塾創立150年記念奨学金(海外学習支援)	給付	海外学習の種別により、 年額10万円・20万円・30万円	1年	経済的理由により、海外での学習体験が困難な者。対象は、海外短期留学、私費留学、語学研修、海外インターンシップ、海外フィールドワーク、国際学会発表等。	1年生 2年生以上	6 51	5 35	
	慶應義塾維持会奨学金	給付	医・理工・看護医療・薬学部 年額80万円 その他学部 年額50万円	1年 (再申請可)	慶應義塾維持会基金により運営。人物・学業ともに優れた経済的に学業に専念することが困難な者を対象とし、地方出身者を優先する(2026年度は135名採用予定)。	1年生 2年生以上	76 248	30 104	
	指定寄付奨学金	110年三田会記念大学奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ、家計状況の急変により、経済的に学業の継続が困難になった者。	1年生 2年生以上	1 39	- 3
		111年三田会記念大学奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、学生の範となる活動を行っている者。	1年生 2年生以上	1 80	- 5
		118年三田会記念大学奨学金	給付	年額30万円	1年 (再申請可)	生計維持者の死亡・失職などにより家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	1年生 2年生以上	- 37	- 3
		121年三田会記念大学奨学金	給付	年額30万円	1年 (再申請可)	生計維持者の死亡・病氣・失業または災害などにより、経済的に学業の継続が困難となった者。	1年生 2年生以上	- 51	- 4
		地域三田会奨学金※1	給付	年額10万円～20万円	1年 (再申請可)	人物・学業ともに優秀な者。その他の申請条件は各奨学金により異なる。各三田会からの寄付金で運営。	1年生 2年生以上	97 197	12 13
		不動産三田会奨学金	給付	年額10万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	42 76	5 9
		木下雄三奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	57 134	2 5
		いちご基金奨学金	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生 2年生以上	0 1	0 0
		梅田幸彦奨学金	給付	入学金・学費相当額	1年	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	1年生	-	-
		ゴールドマン・サックス・スカーズ・ファンド	給付	年額50万円	1年 (再申請可)	人物・学業成績ともに優れ、経済的に学業の継続が困難な者。	1年生 2年生以上	24 85	2 8
	ゴールドマン・サックス博士課程進学支援奨学金	給付	大学院学費相当額	標準 修業年限	2027年度に本学大学院修士課程又は博士課程に入学予定かつ、人物・学業成績共に優秀で、高度な研究を継続する意志が強いにも関わらず、社会的な制約によって進学が困難である者。	最終学年	3	0	
学外	日本学生支援機構奨学金	貸与	詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.117)。	標準 修業年限	【第一種】人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学が困難な者。 【第二種】学業成績が平均水準以上で、その他の選考基準(家計・人物)に該当する者。 *第二種の利率は、①利率固定型、②利率見直し型のいずれかを選択。利子の上限は3%、在学中は無利子。	※2 1年生 2年生以上	210 172	53 129 22 120	
	高等教育の修学支援新制度(多子世帯への授業料等無償化を含む)	無償化 /減免 + 給付	詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.117)。	標準 修業年限	無償化は多子世帯が対象。家計に係る基準と学業成績に係る基準を満たしていること。各基準に関する詳細は日本学生支援機構ウェブサイトを確認してください(p.117)。	1年生※2 2年生以上※2	1,106 2,273	889 1,719	
	各種奨学金	民間団体の奨学金	給付 (100団体) 貸与 (10団体)	月額10,000円～150,000円 月額15,000円～80,000円	1～6年	詳細は、塾生サイトに掲載する奨学金案内を確認してください。	1年生 2年生以上	217 488	20 67
		地方公共団体の奨学金	給付 (2団体) 貸与 (5団体)	月額9,000円～21,000円 月額16,000円～51,000円			1年生 2年生以上	6 17	1 5
						1年生 2年生以上	2 2	1 0	
						1年生 2年生以上	2 2	0 0	

※1：八千代三田会、名古屋三田会、浜松三田会、新宿三田会、広島慶應倶楽部、讃岐三田会、岐阜県連合三田会、仙台三田会、大阪慶應倶楽部、和歌山三田会、奈良三田会、京都慶應倶楽部、関西婦人三田会、川越三田会、藤沢三田会、神戸慶應倶楽部、杉並三田会、横須賀三田会、調布三田会
 ※2：2025年度定期採用(高校予約採用・家計急変採用・緊急応急採用を除く)。貸与第一種・第二種の採用者数には併用者数を含む(1年生21名、2年生以上14名)。

慶應義塾大学教育ローン制度	学費ローン	提携先金融機関から学費を借り入れる学資ローン。(借入金額は学校納付金の学期ごとの分納金額の範囲内) 申込は直接提携金融機関となります。
---------------	-------	---

奨学制度についての問い合わせ先

慶應義塾大学 学生部 福利厚生支援
 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 TEL 03-5427-1570

奨学制度に関するウェブサイト



就職・進路

 KEIO

UNIVERSITY

就職・進路

企業からの高い評価、国家試験にも確かな実績

慶應義塾は「最も就職に強い大学」のひとつとして、常に確かな就職実績を残しています。企業は、自分の頭で考えられる人材、自主性とコミュニケーション能力を備えた人材を求めています。本学には、実証的な考え方である「実学」重視の学風、自主性を育む「独立自尊」の気風、OB・OG、教職員や塾生同士の密なコミュニケーションを生み出す「半学半教」の伝統など、社会が求める人材を育む土壌があります。本学の就職実績は、その豊かな土壌を活かした、塾生自身による学問への取り組みや、課外活動の積み重ねに対する企業の評価にほかなりません。その他、各種資格を取得するためのサポート環境も整っており、資格試験合格者数でも毎年好成績を収めています。

就職活動のサポート

■ 就職・進路相談

三田、矢上、湘南藤沢、芝共立の各キャンパス就職・進路支援担当部署が、就職・進路全般に関する相談に応じています。就職・進路支援担当部署のスタッフは、日々、塾生の就職活動や進路選択の状況に接し、また、多くの人事採用担当者との情報交換を行っています。大学生の就職・進路に関する情報が氾濫する中、マンツーマンの個別相談サービスを、毎年多くの塾生が利用しています。

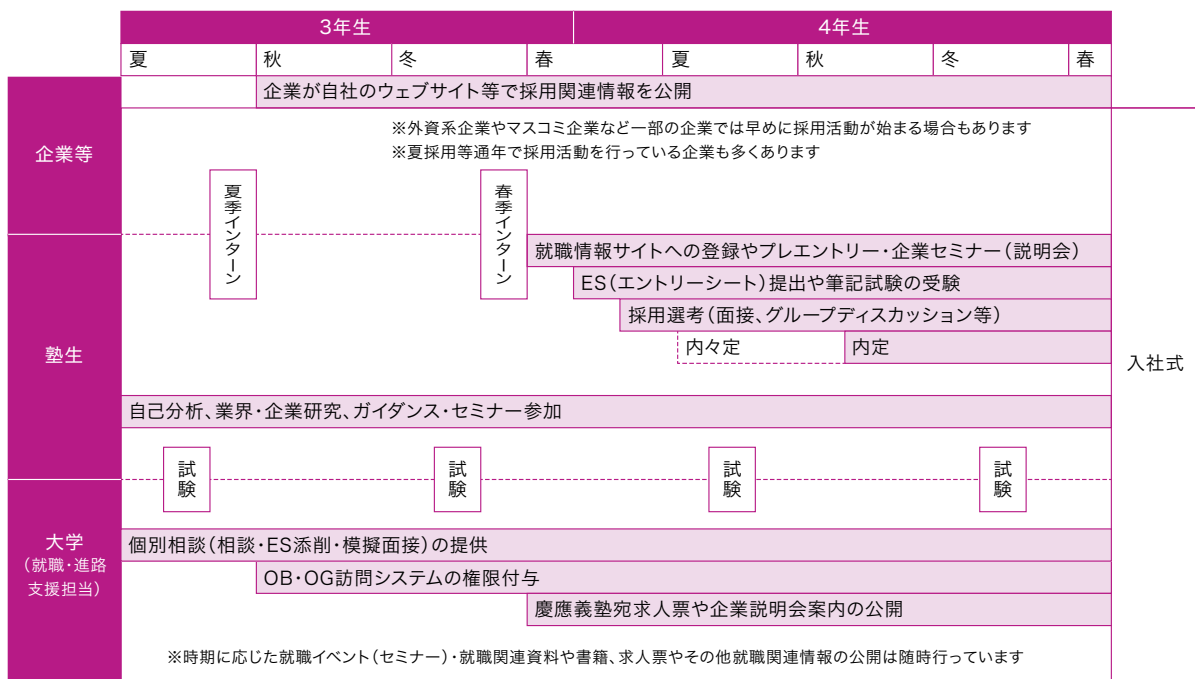
■ 多彩な情報の提供

企業から慶應義塾に届く求人票、企業説明会案内など、多数の情報を閲覧することができます。また、OB・OG訪問のためのコンタクト先を検索・閲覧できるデータベースや、企業内定者による就職活動体験記も、慶應義塾ならではの貴重な情報となっています。

■ 各種就職イベント(セミナー)の開催

就職活動や進路選択の上で一般的におさえておきたい入門セミナーをはじめ、就職活動の進め方、履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策、内定者(4年生)によるパネルディスカッション、外部講師などによる業界研究、公務員志望者向けなど様々なテーマの就職イベント(セミナー)を、各キャンパスの特色を活かしながら、全キャンパスで年間計100回程度開催しています。これらを通して、適切な時期に適切な内容の情報を提供することで、結果として塾生は極めて満足度の高い就職・進路選択を実現しています。

■ 就職活動・就職支援のスケジュール



※上記のスケジュールは、現時点でのおおよその就職活動スケジュールです。
※企業・団体の採用方針に伴い、スケジュールは変更となる場合があります。

各種試験に関わるサポート

■ 公認会計士・税理士

会計研究室

商学部の附置機関である会計研究室は、主として会計のプロフェッショナル(公認会計士・税理士)を目指す塾生ないし目指す可能性がある塾生を対象として、さまざまな啓蒙的イベントを企画・実施しています。公認会計士制度説明会、講演会・シンポジウム、監査法人見学会、税理士法人説明会等のイベントはいずれも、学部・学年を問わず、どなたでも参加することができます。

■ 司法試験・国家公務員

法学研究所



法学部の附属機関である法学研究所は、法律学・政治学の研究・教育機関です。主に法曹および国家公務員を目指す学生に対して、2025年度においては、法曹実務家ゼミ・法曹体験ゼミ・集中講座(夏期：刑事訴訟法と民事訴訟法、春期：行政法)等の各種プログラムの実施に加えて、自習室・専用ロッカー・専門図書の使用などに関する支援を行いました。また、主に法曹志望者を対象として学習到達度確認(答案練習会)を実施しています。プログラムへの参加および施設利用については研修生登録が必要です。

■ 国家試験・国家公務員試験合格状況・地方公務員就職状況

公認会計士試験大学別合格者数一覧(2025年度)

順位	大学名	人数
1	慶應義塾大学	177名
2	早稲田大学	149名
3	明治大学	81名
4	中央大学	64名
	同志社大学	
6	立命館大学	55名
7	東京大学	54名
8	京都大学	49名
9	神戸大学	44名
10	一橋大学	41名

※会計教育研修機構調べ
※51年連続第1位

司法試験法科大学院等別合格者数一覧(2025年度)

順位	法科大学院名	受験者数	最終合格者数	合格率
1	早稲田大学	325名	150名	46.15%
2	京都大学	219名	128名	58.45%
3	慶應義塾大学	236名	118名	50.00%
4	東京大学	232名	116名	50.00%
5	中央大学	190名	77名	40.53%
6	一橋大学	128名	61名	47.66%
7	神戸大学	136名	56名	41.18%
8	東北大学	113名	49名	43.36%
9	大阪大学	168名	48名	28.57%
10	同志社大学	120名	40名	33.33%

※法務省ウェブサイトより受験者数および最終合格者数を抜粋
※合格率=最終合格者数÷受験者数×100(小数点第3位を四捨五入)

国家公務員(総合職)試験合格者数(2025年度)

院卒者試験	14名
大卒程度試験	38名
合計	52名

※「法務区分」「教養区分」は除く。

地方公務員就職状況(2024年度)

地方公務員(教育・医療除く)	51名
----------------	-----

※大学院博士課程を除く。



就職・進路につながる学びのサポート

■ 教員資格

教職課程センター



教職課程センターは、教員養成に関わる調査・研究のほか、中学校および高等学校の教員免許を取得しようとする学生の教育・指導の役割を担っています。希望する学生は教職課程登録を行い、所属学部単位のほかに、「教育の基礎的理解に関する科目」、「教育実践に関する科目」や「教科及び教科の指導法に関する科目」等を所定の単位数履修・修得することで、中学校および高等学校の教員資格を得ることができます。

※小学校の教員資格は取得できません。また、医学部、看護医療学部、薬学部は教員資格の取得はできません。

各学部で取得できる教員免許の種類については、学部インデックス(p.6)をご覧ください。

■ メディア業界を志望する塾生のための副専攻プログラム

メディア・コミュニケーション研究所



ジャーナリズムとメディア・コミュニケーションの研究と教育を目的とした研究所です。毎年11月下旬～12月中旬、学部1、2年に在籍する塾生を対象に入所試験を実施し、選抜された塾生のために、ジャーナリズムとメディア・コミュニケーションに関する基礎科目や、メディア心理学、政治社会学、法学、歴史学などに関するゼミ、業界の最前線で活躍している実務家による新聞・放送・広告・PRなどについての少人数形式の講義や演習を開講しています(研究所在籍生 約200名、入所試験合格者 毎年約60名)。実際のメディア関連の仕事の現状を直接体感できる授業も多く、新聞、放送、通信社、出版、広告などメディア業界で活躍する優秀な人材を輩出し続けています。

卒業後も続くつながり

■ 慶應義塾と同窓会(三田会)

慶應義塾では伝統的に、在學生を「塾生」、卒業生を「塾員」、そして慶應義塾を構成しているすべての人を「社中」と呼び、人と人とのつながりを大切にしています。その拠りどころが、同窓会組織としての「三田会」です。「三田会」は慶應義塾とは別組織の「(一財)慶應連合三田会」によって包括され、現在891の「三田会」が、卒業年次や地域・職域といった区分で登録されています。卒業後もゼミ、サークルあるいは住んでいる地域等での塾員同士のつながりが継続し、様々な活動を通じて相互の親睦、交流を図りつつ三田会活動を続けています。

■ 塾員招待会

毎年、卒業25年を迎えられた塾員を卒業式と「卒業25年塾員招待会」へ、卒業50年を迎えられた塾員を入学式と「卒業50年塾員招待会」へお招きしています。1953年から続く、慶應義塾の大切な伝統行事です。また、2025年からは卒業5年を迎えられた塾員を「卒業5年塾員招待会」へお招きしています。これらの招待会には、たくさんの塾員が集い、旧交を温めています。

■ 慶應連合三田会大会

「(一財)慶應連合三田会」が毎年秋に開催する、社中を対象とした大規模なホームカミングデーです。講演会やシンポジウム、コンサート、福引抽選会といった多彩なアトラクションが企画され、毎年2万人を超える社中が集います。2025年は「集え三色旗の下に」をスローガンに10月19日に日吉キャンパスにて開催しました。



就職状況・主な就職先(2024年度)

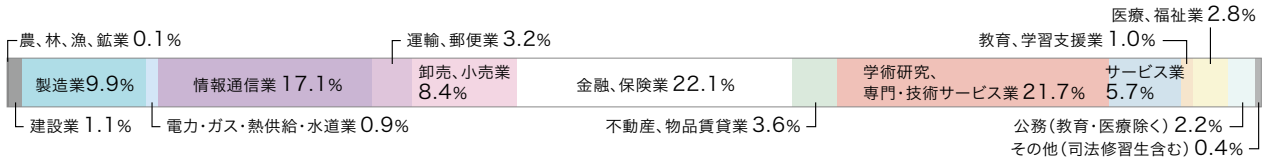
■高い就職率で、多種多様な業界・企業へ

就職状況を見ると、塾生が毎年、世界中の幅広いフィールドへと羽ばたいていることが読み取れます。

文学部・経済学部・法学部・商学部では、就職先の傾向に学部間の大きな違いはありません。一方、理工学部では、研究を深めるために大学院進学を選ぶ塾生が多いことがわかります。塾生は自らの意思で多様な進路を選択しています。

学部合計 就職者数：4,288名 進学者数：1,138名※

※医学部からの就職者1名、進学者1名を含む。



90 三菱UFJ銀行	51 アビームコンサルティング	29 日本生命保険相互会社	21 明治安田生命保険相互会社	19 レバレジーズ
87 慶應義塾	野村證券	三井物産	20 日本航空	18 キーエンス
83 アクセンチュア	48 NTTデータグループ	28 大和証券	有限責任監査法人トーマツ	有限責任あずさ監査法人
79 ベイカレント	44 日本アイ・ピー・エム	野村総合研究所	19 KPMG税理士法人	17 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
72 デロイトマツファイナンシャルアドバイザリー調剤	41 EY新日本有限責任監査法人	27 富士通	SMBC日興証券	16 アマゾンジャパン合同会社
61 三菱UFJ信託銀行	38 PwCコンサルティング合同会社	26 NTTドコモ	サイバーエージェント	日本政策投資銀行
60 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	デロイトマツコンサルティング合同会社	博報堂	シンプレクス・ホールディングス	農林中央金庫
三井住友銀行	みずほ証券	23 全日本空輸	損害保険ジャパン	日立製作所
三井住友信託銀行	37 楽天グループ	東京都	日本放送協会	三菱商事
55 東京海上日動火災保険	34 電通	22 伊藤忠商事	日本電気	りそなホールディングス
53 みずほ銀行	33 三井住友海上火災保険	21 丸紅	ファーストリテイリング	

文学部 就職者数：646名 進学者数：66名

12 アクセンチュア	7 NTTドコモ	5 PwCコンサルティング合同会社	4 ジェシービー	4 三井住友海上火災保険
日本アイ・ピー・エム	楽天グループ	東京都	住友生命保険相互会社	明治安田生命保険相互会社
11 三菱UFJ銀行	6 アビームコンサルティング	みずほサーチ&テクノロジーズ	デロイトマツコンサルティング合同会社	りそなホールディングス
10 デロイトマツファイナンシャルアドバイザリー調剤	サイバーエージェント	レバレジーズ	日本放送協会	3 EYストラテジー・アンド・コンサルティング
9 三菱UFJ信託銀行	全日本空輸	4 Dirbato	日本航空	KPMGコンサルティング
8 東京海上日動火災保険	電通	P&Gジャパン合同会社	日本生命保険相互会社	東京エレクトロン
三井住友信託銀行	ベイカレント	TOPPAN	野村證券	
7 NTTデータグループ	みずほ銀行	慶應義塾	日立製作所	他、3名就職した企業13社

経済学部 就職者数：953名 進学者数：42名

32 デロイトマツファイナンシャルアドバイザリー調剤	14 みずほ証券	7 NTTデータグループ	5 博報堂	4 日本政策投資銀行
31 ベイカレント	13 デロイトマツコンサルティング合同会社	三井不動産	ファーストリテイリング	日本製鉄
29 三菱UFJ銀行	12 東京海上日動火災保険	明治安田生命保険相互会社	富士通	日本郵船
25 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	11 日本アイ・ピー・エム	6 シンプレクス・ホールディングス	4 PwC Japan有限責任監査法人	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
三井住友信託銀行	みずほ銀行	住友商事	SBIホールディングス	三菱重工業
23 アビームコンサルティング	三井物産	損害保険ジャパン	U-NEXT HOLDINGS	3 住友不動産
21 アクセンチュア	10 PwCコンサルティング合同会社	東京都	キーエンス	トヨタ自動車
野村證券	9 KPMG税理士法人	有限責任監査法人トーマツ	経済産業省	ポストン・コンサルティング・グループ
18 三井住友銀行	8 三井住友海上火災保険	楽天グループ	国際協力銀行	リクルート
三菱UFJ信託銀行	8 SMBC日興証券	5 オリックス	全日本空輸	
16 EY新日本有限責任監査法人	大和証券	野村総合研究所	ドリームインキュベータ	他、3名就職した企業20社

法学部 就職者数：920名 進学者数：145名

30 三菱UFJ銀行	11 伊藤忠商事	8 富士通	6 日本放送協会	5 有限責任あずさ監査法人
21 三井住友銀行	三井物産	7 全日本空輸	日本政策投資銀行	有限責任監査法人トーマツ
19 東京海上日動火災保険	10 電通	デロイトマツファイナンシャルアドバイザリー調剤	農林中央金庫	4 KDDI
17 三菱UFJ信託銀行	博報堂	東京都	三菱商事	損害保険ジャパン
16 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	丸紅	みずほ証券	5 NTTドコモ	大和総研
15 三井住友信託銀行	9 デロイトマツコンサルティング合同会社	三井住友海上火災保険	アビームコンサルティング	東海旅客鉄道
14 アクセンチュア	8 EY新日本有限責任監査法人	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	外務省	東京電力ホールディングス
ベイカレント	日本アイ・ピー・エム	楽天グループ	キーエンス	日本銀行
みずほ銀行	日本航空	6 PwCコンサルティング合同会社	住友商事	防衛省
12 野村證券	日本生命保険相互会社	アマゾンジャパン合同会社	大和証券	
11 NTTデータグループ	日本電気	伊藤忠丸紅鉄鋼	野村総合研究所	他、4名就職した企業8社

商学部 就職者数：849名 進学者数：24名

21 ベイカレント	11 野村総合研究所	7 デロイトマツコンサルティング合同会社	5 丸紅	4 ビジョン・コンサルティング
19 デロイトマツファイナンシャルアドバイザリー調剤	10 アビームコンサルティング	電通	三井住友信託銀行	日立製作所
17 EY新日本有限責任監査法人	野村證券	ファーストリテイリング	明治安田生命保険相互会社	三菱UFJニコス
16 アクセンチュア	三菱UFJ銀行	有限責任監査法人トーマツ	楽天グループ	りそなホールディングス
13 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	有限責任あずさ監査法人	6 損害保険ジャパン	4 オービック	レイヤーズ・コンサルティング
みずほ銀行	9 みずほ証券	日本アイ・ピー・エム	シンプレクス・ホールディングス	レバレジーズ
三井住友銀行	三井住友海上火災保険	5 KPMGコンサルティング	第一生命保険	3 アマゾンジャパン合同会社
12 NTTデータグループ	8 PwCコンサルティング合同会社	KPMG税理士法人	日本銀行	キッコーマン
三菱UFJ信託銀行	7 NTTドコモ	PwC Japan有限責任監査法人	日本政策金融公庫	横浜銀行
11 東京海上日動火災保険	キーエンス	日本政策投資銀行	日本総合研究所	
日本生命保険相互会社	大和証券	日本電気	農林中央金庫	他、3名就職した企業20社



理工学部(学部卒) 就職者数: 160名 進学者数: 678名

7 NTTデータグループ	●過去3年で3名以上の就職先 KPMGコンサルティング NTTドコモ PwCコンサルティング合同会社	キーエンス シンプレクス・ホールディングス 全日本空輸 ソニーグループ ソフトバンク 大和証券 デロイト・マツコンコンサルティング合同会社 デロイト・マツファイナンシャルアドバイザリー合同会社 東京都	日産自動車 日本銀行 日本航空 日本生命保険相互会社 野村證券 野村総合研究所 野村不動産 日立製作所 ペイカレント	みずほ銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 三菱電機 三菱プレジジョン リクルート
--------------	---	--	--	--

〈参考〉理工学研究科(修士課程修了) 就職者数: 549名 進学者数: 65名

20 NTTデータグループ	9 アビームコンサルティング	5 東海旅客鉄道	3 JFEエンジニアリング	3 デロイト・マツコンコンサルティング合同会社
17 ソニーグループ	8 富士フイルム	パナソニックホールディングス	KDDI	富士フイルムビジネスイノベーション
日本アイ・ピー・エム	本田技研工業	富士通	PwCコンサルティング合同会社	マツモト・アドカンパニー・インコーポレイテッド(株)
15 野村総合研究所	三菱重工業	4 AGC	旭化成	三菱UFJ銀行
12 キーエンス	6 味の素	全日本空輸	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社	森永乳業
11 NTTドコモ	中外製薬	第一三共	キャノン	リコー
アクセンチュア	東京エレクトロン	東京瓦斯	クボタ	
トヨタ自動車	日産自動車	日鉄ソリューションズ	コーセー	
10 日立製作所	日本電気	三井住友銀行	サントリーホールディングス	
9 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	5 慶應義塾	3 A. T. カーニー	ソフトバンク	

総合政策学部 就職者数: 298名 進学者数: 37名

9 楽天グループ	3 双日	環境省	日本アイ・ピー・エム	三井住友海上火災保険
7 アクセンチュア	ソフトバンク	キリンホールディングス	日本航空	三井物産
5 電通	東京海上日動火災保険	コーエーテクモホールディングス	野村證券	三井不動産
三菱UFJ銀行	ファーストリテイリング	ジェーシーピー	パーソルキャリア	三菱商事
4 PwCコンサルティング合同会社	三井住友銀行	シンプレクス・ホールディングス	パナソニックホールディングス	三菱電機
サイバーエージェント	●過去3年で3名以上の就職先	全日本空輸	光通信	森ビル
博報堂	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	ソニーグループ	日立製作所	有限責任監査法人トーマツ
みずほ銀行	KPMGコンサルティング	大和証券	富士通	横浜銀行
三菱UFJ信託銀行	P&Gジャパン合同会社	テレビ朝日	ペイカレント	リクルート
3 NTTデータグループ	PwCアドバイザリー合同会社	デロイト・マツコンコンサルティング合同会社	星野リゾート・マネジメント	レバレッジズ
アマゾンジャパン合同会社	SMBC日興証券	デロイト・マツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	本田技研工業	
伊藤忠商事	伊藤忠エネクス	トヨタ自動車	丸紅	
サントリーホールディングス		日本放送協会	みずほ証券	

環境情報学部 就職者数: 253名 進学者数: 74名

10 アクセンチュア	●過去3年で3名以上の就職先	グリーホールディングス	日本放送協会	三井住友海上火災保険
5 電通	ADKホールディングス	コナミデジタルエンタテインメント	ニトリ	三井住友銀行
みずほ証券	AnyMind Group	サントリーホールディングス	日本アイ・ピー・エム	三井住友信託銀行
4 ペイカレント	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	シグマックス	日本航空	三井物産
三菱UFJ銀行	NTTデータグループ	住友商事	野村證券	三菱UFJ信託銀行
3 サイバーエージェント	NTTドコモ	セールスフォース・ジャパン	野村総合研究所	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
セガ	PwCコンサルティング合同会社	全日本空輸	博報堂	三菱地所
ソフトバンク	SMBC日興証券	ソニーグループ	パナソニックホールディングス	三菱重工業
デロイト・マツコンコンサルティング合同会社	アビームコンサルティング	大成建設	東日本旅客鉄道	三菱商事
トヨタ自動車	伊藤忠商事	大和証券	富士通	リクルート
日本ビューレット・パッカード合同会社	伊藤忠丸紅鉄鋼	デロイト・マツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	マツモト・アドカンパニー・インコーポレイテッド(株)	レバレッジズ
楽天グループ	キーエンス	東京海上日動火災保険	みずほ銀行	

看護医療学部 就職者数: 89名 進学者数: 6名

71 慶應義塾	3 地方独立行政法人東京都立病院機構	●過去3年で3名以上の就職先	東京大学
3 国立がん研究センター		昭和大学	東京都

薬学部 就職者数: 119名 進学者数: 65名

8 日本調剤	●過去3年で3名以上の就職先	イーピーエス	興和	日本イーライリリー
6 スギ薬局	NTTドコモ	医薬品医療機器総合機構	佐藤製薬	ブリistol・マイヤーズスクイブ
5 大塚製薬	アインファーマシーズ	ウエルシア薬局	サンドラッグ	マツモトキヨシ
慶應義塾	アインホールディングス	エイツヘルスケア	新日本科学PPD	
4 IQVIAサービシーズジャパン合同会社	アクセンチュア	エーザイ	第一三共	
シミック	アステラス製薬	小野薬品工業	大鵬薬品工業	
中外製薬	アストラゼネカ	がん研究会	テルモ	
3 ノバルティスファーマ	アッヴィ合同会社	クリエイトエス・ディー	東京都	

※2025年5月1日現在の原則として本人からの届出に基づく。
 ※2024年9月卒業・修了者を含む。
 ※就職者は復職者を含む。

※就職者は進学就職者(進学者と就職者のどちらにも当てはまる者)を含む。
 ※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。
 ※1学年の人数が少ない一部の学部は、参考として3年間で就職者が3名以上の就職先の一部を記載する。




大学院

■ 広く社会に貢献する、先端的な研究活動を展開

大学院ではそれぞれ独自に目的を定め、「知の最先端機関」としての取り組みを展開しています。成績優秀な学部生への各種推薦入試や、年2回の入試を実施する研究科、2つの修士を取得できるダブルディグリー制度を設けている研究科もあります。また、学部3年修了後に修士課程に進学できる制度や、4年間で学部卒業・修士修了が可能なプログラムを持つ研究科もあります。

文学研究科

Graduate School of Letters


キャンパス	三田キャンパス	
入学定員	135名(修士課程) 45名(後期博士課程)	
専攻	哲学・倫理学 / 美学美術史学 / 史学 / 国文学 / 中国文学 / 英米文学 / 独文学 / 仏文学 / 図書館・情報学	

伝統を受け継ぎつつも 新しい試みに取り組む

永い歴史と伝統を誇り、数多くの研究者や文人を育て、人文科学の研究に貢献してきました。文学だけでなく、哲学や歴史にもおよぶ多様な広範な伝統的領域に加え、美学美術史学のアート・マネジメント分野、図書館・情報学の情報資源管理分野のような現代社会のニーズに応える新しい人文科学の研究体制を整えたほか、修士課程においては本学経済学研究科、商学研究科とのデュアルディグリー制度、他大学との単位互換制度を整備し、後期博士課程においては各専攻で学位の取得促進を行うなど、伝統を踏まえつつ新しい試みに取り組んでいます。

経済学研究科

Graduate School of Economics

キャンパス	三田キャンパス	
入学定員	70名(修士課程) 15名(後期博士課程)	
専攻	経済学	

経済学部 tradition を受け継いで 優れた研究を行い、有為の人材を輩出

明治期以来、義塾の理財科、旧制経済学部・経済学研究科は、我が国の経済学の発展に重要な役割を果たしてきました。その伝統を受け継ぎ、理論経済学、計量経済学、経済史・学説思想史、財政・金融、社会経済政策など、経済学のほとんどすべての分野にわたって、日本を代表する優れた研究を行い、有為の人材を輩出しています。他大学との単位互換制度や、デュアルディグリー制度、ブランダイス大学とのダブルディグリー・プログラム、CEMS MIMプログラムを導入するなど教育体制の一層の充実を図っています。

法学研究科

Graduate School of Law

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	150名(修士課程) 30名(後期博士課程)
専攻	民法法学/公法学/政治学



法学・政治学の知見から社会を見据え、 社会を構想する高度な研究・実務能力を養成

法学研究科は、日本の法律学・政治学をリードする研究拠点の1つとして、学界や実社会に多彩かつ有用な人材を多く送り出してきました。各人の専門分野の研究を深め、周辺学問領域まで視野を広げるための多彩な教育プログラムが用意されています。専門職としての高度な能力を涵養する宇宙法、公共政策、ジャーナリズムの各専修コースも設置されています。また、法学に加え、経済学・商学の修士学位を取得できるデュアルディグリー制度など、他研究科設置の科目を履修して知見を広げるしくみも整えられています。

社会学研究科

Graduate School of Human Relations

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	40名(修士課程) 11名(後期博士課程)
専攻	社会学/心理学/教育学



多彩な研究領域をカバーし、 修了者は国内外の幅広い分野に進出

広く人間と社会に関わる学問領域を研究対象とする本研究科は、特定の学部を母体としない独立大学院です。講義・演習や論文指導にあたる教授陣は、塾内のさまざまな学部・研究機関に所属する教員で構成されています。非常に多岐にわたる専門分野を抱え、社会学・心理学・教育学という3つの専攻領域を総合的に連携させながら「専攻横断的」な教育・研究が行われています。学生の出身も塾内外を問わず多様な広がりを見せています。他研究科との共同研究も盛んに行われており、他大学との単位互換制度や他大学院生との交流も実施されています。

商学研究科

Graduate School of Business and Commerce

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	80名(修士課程) 20名(後期博士課程)
専攻	商学



「実学の精神」を継承し、 現代社会の進歩と変革への方向を洞察

理論と実証を通じてグローバル化した現代社会を把握し、その進歩と変革への方向を洞察していくという基本理念に基づき、理論を重視するとともに演習科目を充実させ、理論を現実問題に適用して解決策を導く訓練をします。修士課程では研究教育者とともに、企業経営や社会システムのリーダーとなるスペシャリストを育成。CEMSとのダブルディグリー・プログラムや、英語による授業も実施しています。後期博士課程では、広い視野と専門的知識の両立をめざし、グローバルに活躍できる人材の育成に力を注ぎます。

医学研究科

Graduate School of Medicine

キャンパス	信濃町キャンパス
入学定員	20名(修士課程) 80名(博士課程)
専攻	医科学(修士課程) / 医学研究系(博士課程) / 医療科学系(博士課程)




豊かな人間性と学識を持つ 医学研究者および教育者の育成をめざす

世界をリードする優れた研究チームの一員として充実した設備を活用しながら、豊かな人間性と学識を持つ優れた医学研究者および教育者の育成をめざしています。博士課程では独創的な医学研究を行える人材育成をめざす「医学研究系専攻」と、がんプロフェッショナル養成プランに代表される臨床研究のプロ育成をめざす「医療科学系専攻」の2専攻を設置しています。修士課程は、高齢化社会を迎え身近な問題として医療や福祉、知財に対する人々の関心が高まるなか、医師以外の方にも門戸を開き医学・生命科学・医療および関連した領域に関わる専門家を育成することを目標にしています。

理工学研究科

Graduate School of Science and Technology


キャンパス	矢上キャンパス	
入学定員	600名(修士課程) 150名(後期博士課程)	
専攻	先端数物科学 / 化学・生命情報科学 / 総合デザイン工学 / 人間・社会システム情報科学	

分野横断型の4専攻制で多様なカリキュラムと先鋭の研究ユニットによる先端科学の広範な研究教育分野をカバー

先端数物科学、化学・生命情報科学、総合デザイン工学、人間・社会システム情報科学から成る4専攻体制は柔軟な組織構造となっており、教育・研究分野を横断できるトランスディシプリナリなカリキュラムを提供します。また、すべての専攻を跨いだ提案型の研究ユニットも設立されます。英語による講義を中心とした「先端科学技術国際コース」や専門分野を意識したダブルディグリー・プログラムも導入され、国際的な雰囲気の中で教育研究が行われます。このような環境を通して、学生のフロンティア精神を育み、修士課程では秘めた創造的能力を最大限に引き出すことを、後期博士課程では科学技術の最先端を切り拓き先導することを主眼として、グローバルに活躍できる人材の育成をめざします。

政策・メディア研究科

Graduate School of Media and Governance


キャンパス	湘南藤沢キャンパス	
入学定員	200名(修士課程) 50名(後期博士課程)	
専攻	政策・メディア	

「実験する精神」で複雑な問題に立ち向かう

本研究科の使命は、複合的・学際的なアプローチをととして、先端的なテクノロジーを前提とした、人間や社会のありようについて探究し、提案していくことです。着想・研究・試行・実装・評価にいたるまでの一連の過程を熟知し、成果を私たちの生活の現場へと行き届かせる研究者、教育者、実践家の養成を目指しています。研究領域は、政策・ガバナンス・社会イノベーション・環境・ICT・デザイン・身体スキル・生命科学など多岐にわたり、テーマに応じて柔軟に研究プランを立てることのできるカリキュラムが構成されています。フィールドワーク、インターンシップや海外大学院とのダブルディグリー制度などを通じ、国際的に開かれた大学院として、進化を続けています。

健康マネジメント研究科

Graduate School of Health Management


キャンパス	信濃町キャンパス 湘南藤沢キャンパス	
入学定員	40名(修士課程) 10名(後期博士課程)	
専攻	看護学 / 公衆衛生・スポーツ健康科学	

あらゆる人々に健康をもたらし、医療・ケアの質の向上を先導する

本研究科は、あらゆる人々に健康をもたらすため、看護・保健・医療・福祉・公衆衛生に関わる幅広い領域で先導的な教育・研究を展開しています。看護学専攻は、看護ケアの新しいあり方を開発・構築し、深遠な知識、卓越した技術および柔軟な発想を持って実践できる人材を、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻は、医療マネジメントを含む公衆衛生やスポーツ、健康のあり方を構想し、科学的方法に基づく高度な実践・マネジメントに求められる深い学識および卓越した能力を持った人材を育成します。

薬学研究科

Graduate School of Pharmaceutical Sciences

キャンパス	芝共立キャンパス	
入学定員	40名(修士課程) 3名(後期博士課程) 5名(博士課程)	
専攻	薬科学(修士課程〈2年〉・後期博士課程〈3年〉) 薬学(博士課程〈4年〉)	

創薬研究と臨床に密着した研究で人類に貢献する

薬科学専攻では、創薬から環境、生命科学など幅広い薬学関連分野での研究教育を通して、人の健康と福祉に貢献できる薬学研究者・教育者を養成します。薬学専攻では、薬学と医療のより臨床に密着した分野での研究教育を通して、高度化している薬物治療や臨床開発に対応できる研究者・教育者および指導的な薬剤師を養成します。両専攻ともに、基礎系・医療系薬学を問わず、あらゆる分野の教員が協同して研究教育を推進しており、塾内の他研究科および塾外の研究機関などとも積極的に共同研究を展開しています。

経営管理研究科

Graduate School of Business Administration

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	140名(修士課程) 8名(後期博士課程)
専攻	経営管理



新たな構想を作り実現する リーダーを育成する

修士課程 MBA プログラムでは、将来の企業経営を担う総合的なマネジメント能力を備えた革新的リーダーの養成を目指しています。学生の多くは学部卒業後5～7年の実務経験を持ち、修了後は経営管理や企業戦略に関わる第一線で活躍しています。職務経験15年相当以上の中核ミドル層を対象とした修士課程 EMBA プログラムでは、職務を全うしながら社会の発展に貢献するビジネスを設計・構想し、実現することができるリーダーを育成していきます。後期博士課程では、経営管理教育機関での研究・教育を担う専門学識者や、高度専門研究者の養成を目指しています。

システムデザイン・マネジメント研究科

Graduate School of System Design and Management

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	77名(修士課程) 11名(後期博士課程)
専攻	システムデザイン・マネジメント



次世代の技術・社会を 創造的にデザインする

科学技術領域、社会領域、人間領域を問わず、広く「システム」という共通の視座から大規模・複雑化する諸問題の解決に取り組む文理融合の大学院です。システムの全体と部分の関係を的確に分析し、解決策を創造的にデザインして、着実にマネジメントする全体統合型の学問 = SDM (システムデザイン・マネジメント) 学を学ぶ当研究科では、新分野に積極的に挑む新卒学生と、あらゆる職業・あらゆる専門性を持った社会人学生が、さまざまな問題の解決を通して新たに世界をリ・デザインするための実践的な方法とともに学び、世界随一の教育・研究に取り組んでいます。

メディアデザイン研究科

Graduate School of Media Design

キャンパス	日吉キャンパス
入学定員	80名(修士課程) 10名(後期博士課程)
専攻	メディアデザイン



近未来を創造するための 創造リーダー「メディア・イノベータ」を育成する

メディアデザイン研究科(KMD)は、イノベーションを生み出し社会に向けて価値を創出する「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。ゼロ(アイデア)からイノベーションを創造し、社会的インパクトを生み出すまでの一連の展開を実践する「リアルプロジェクト」が、KMDの活動の中心です。学術的な貢献を超え、新しい製品やサービスなどのビジネス展開や標準化、制度改正の提言など、グローバルな創造社会へのインパクトを目標としています。国際社会の一員として先端的な活動を行うため、英語と日本語を公用語とし、ネットワークインフラを最大限に活かした環境整備を行っています。

法務研究科

Law School

キャンパス	三田キャンパス
入学定員	220名(法曹養成) (専門職学位課程) 30名(グローバル法務)(専門職学位課程)
専攻	法曹養成 / グローバル法務



21世紀を先導する 法曹を養成

法曹養成専攻は、国際性・学際性・先端性という3つの理念に基づき、法曹の養成を行う専門職大学院です。法律基本科目、法律実務基礎科目のほか、企業・金融・渉外・知財法務など多彩な選択科目が用意され、法曹を目指す者としてさらに専門性を高めることができます。グローバル法務専攻は、英語を使用言語として、原則1年間で学位を取得することができる専門職大学院です。カリキュラムは、9つの科目群からなり、日本や諸外国の法制度について習得し、英語で発信する能力を身につけて、最先端のグローバル・ビジネス法務や国際紛争解決法務を学び、かつドラフティング・交渉・仲裁・模擬裁判などの実務トレーニングを受講します。

入学試験案内

入学試験制度の詳細、アドミッション・ポリシーについては、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。



この「ガイドブック」に掲載しているのは原則として2027年度入学試験の情報となります。2028年度以降の受験を検討されている場合は、入学案内ページ内「入試の変更点」を必ずご確認ください。





新十五
農應義

2027年度 入学試験制度・募集人員一覧

学部	学科・学門	一般選抜		総合型選抜				学校推薦型選抜	その他の選抜方法				
				自主応募制による推薦入学者選考	FIT入試	分野志向型入試	AO入試	指定校による推薦入試	帰国生入試	国際バカロレア(IB)入試	外国人留学生入試	PEARL入試	
		p.135	p.144	p.146	p.148	p.150~153	p.155	p.154	p.154	p.154	p.155		
文学部	人文社会学科	580名		120名	—	—	—	—	—	—	若干名	—	
経済学部	経済学科	A方式	400名	600名	—	—	—	30名	20名	—	20名	100名程度	
		B方式	200名										
法学部	法律学科	230名		460名	—	—	—	160名	20名*1		20名	—	
	政治学科	230名											
商学部	商学科	A方式	480名	600名	—	—	—	200名	—	—	若干名	—	
		B方式	120名										
医学部	医学科	66名*2		—	—	—	—	—	若干名	—	若干名	—	
理工学部	学門A (物理・電気・機械分野)	130名		650名	—	—	*3 (表下参照)	—	195名	若干名	—	若干名	—
	物理学科 物理情報工学科 電気情報工学科 機械工学科												
	学門B (電気・情報分野)	110名											
	電気情報工学科 情報工学科 物理情報工学科 システムデザイン工学科												
	学門C (情報・数学・データサイエンス分野)	140名											
	情報工学科 数理工学科 管理工学科 生命情報学科												
	学門D (機械・システム分野)	140名											
機械工学科 システムデザイン工学科 管理工学科													
学門E (化学・生命分野)	130名												
化学科 応用化学科 生命情報学科													
総合政策学部	総合政策学科	225名		—	—	—	150名	—	—	—	—	—	
環境情報学部	環境情報学科	225名		—	—	—	150名	—	—	—	—	—	
看護医療学部	看護学科	70名		—	—	—	若干名	—	—	—	—	—	
薬学部	薬学科(6年制)	100名	150名	—	—	—	—	30名	—	—	—	—	
	薬科学科(4年制)	50名						—					

〈その他〉塾内進学約1400名(全学部合計) p.155

*1 帰国生入試と国際バカロレア(IB)入試との合計

*2 うち1名は栃木県地域枠として募集

*3 電気情報工学科：最大10名程度 数理工学科：最大10名程度 化学科：最大4名程度

一般選抜(全学部)

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの
入学案内ページを必ずご確認ください。

2027年度 一般選抜 試験日程

学部	第1次試験日	第1次合格発表日	第2次試験日	合格発表日	入学手続期間	
					入学金等支払期限	入学手続締切日
文学部	2月15日(月)			2月24日(水)	3月3日(水)	3月12日(金)
経済学部 A方式 B方式	2月13日(土)			2月25日(木)	3月4日(木)	
法学部 法律学科 政治学科	2月16日(火)			2月25日(木)	3月4日(木)	
商学部 A方式 B方式	2月14日(日)			2月24日(水)	3月3日(水)	
医学部	2月9日(火)	2月19日(金)	3月1日(月)	3月5日(金)	3月12日(金)	
理工学部	2月12日(金)			2月24日(水)	3月3日(水)	
総合政策学部	2月17日(水)			2月25日(木)	3月4日(木)	
環境情報学部	2月18日(木)			2月25日(木)	3月4日(木)	
看護医療学部	2月11日(木・祝)	2月17日(水)	2月20日(土)	2月25日(木)	3月4日(木)	
薬学部 薬学科 薬科学科	2月10日(水)			2月21日(日)	3月1日(月)	

2027年度 一般選抜 出願期間

次の①および②を行うことにより出願は完了します。
一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。

- ①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払」
期間 2026年12月24日(木)10:00～2027年1月18日(月)17:00
- ②「出願書類の郵送」
期間 2027年1月4日(月)～1月18日(月)※締切日消印有効

2027年度 一般選抜要項

2026年11月上旬に
ウェブサイトで公開予定

※冊子での販売や配布は
行いません。



2027年度 一般選抜 試験教科・科目・配点

学部・学科・方式		第1次試験	第2次試験
文学部		<p>「小論文」…………… 資料を与えて、理解力、発想力、論理的構成力、表現力を総合的に問う。(100点)</p> <p>「地理歴史」…………… 世界史(歴史総合・世界史探究)、日本史(歴史総合・日本史探究)のいずれかを選択(100点)</p> <p>「外国語」…………… 英語独自試験(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)、英語外部試験利用(英検CSE総合スコア2500以上)、ドイツ語、フランス語のうち1科目選択(150点)</p>	行わない
経済学部	A方式	<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(200点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C(200点) 数学Ⅱの「微分・積分の考え」においては一般の多項式を扱うこととする。 数学Bは「数列」を、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。 いずれも、これらの範囲および応用を問う。</p>	行わない
	B方式	<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(200点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「地理歴史」…………… 世界史(歴史総合・世界史探究)、日本史(歴史総合・日本史探究)のいずれかを選択(200点) いずれも、出題範囲は1500年以降を中心とし、基礎的理解並びに体系的理解を問う。</p>	行わない
法学部 法律学科 政治学科		<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(200点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「地理歴史」…………… 世界史(歴史総合・世界史探究)、日本史(歴史総合・日本史探究)のいずれかを選択(150点)</p> <p>「小論文」…………… 国家や社会の基本原則を中心とした諸問題について、理解力、分析力、構成力、表現力を問い、論述形式で解答させる。資料やキーワードを与える場合がある。(100点)</p>	行わない
商学部	A方式	<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(200点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「地理歴史」…………… 世界史(世界史探究)、日本史(日本史探究)、地理(地理探究)のいずれかを選択(100点)</p> <p>「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C(100点) 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bからは「数列」、数学Cからは「ベクトル」を出題範囲とする。</p>	行わない
	B方式	<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(200点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「地理歴史」…………… 世界史(世界史探究)、日本史(日本史探究)、地理(地理探究)のいずれかを選択(100点)</p> <p>「論文テスト」…………… 資料を与えて、論理的な理解力と表現力を問う。(100点)</p>	行わない
医学部		<p>「理科」…………… 物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学)、生物(生物基礎・生物)の3つの中から2つを選択(200点)</p> <p>「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C(150点) 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」、 数学Cからは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。</p> <p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(150点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p>	小論文 面接



学部・学科・方式	第1次試験	第2次試験	
理工学部	<p>「理科」…………… 物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学) (物理100点、化学100点の計200点)</p> <p>「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C (150点) 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、「数学と人間の活動」のうち「整数の性質」に関する部分、 数学Bからは「数列」、 数学Cからは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。</p> <p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ (150点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p>	行わない	
総合政策学部	<p>①「外国語」 あるいは ②「数学」 あるいは ③「外国語および数学」 あるいは ④「情報および数学」 (200点)</p> <p>「小論文」…………… 発想、論理的構成、表現などの総合的能力を問う。 (200点)</p>	<p>①「外国語」、②「数学」、③「外国語および数学」、④「情報および数学」の4つの中から1つを選択(いずれも同一試験時間内実施) 外国語—英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学—数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、「数学と人間の活動」を、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」を出題範囲とする。 情報—情報Ⅰ・情報Ⅱ</p>	行わない
環境情報学部	<p>①「外国語」 あるいは ②「数学」 あるいは ③「外国語および数学」 あるいは ④「情報および数学」 (200点)</p> <p>「小論文」…………… 発想、論理的構成、表現などの総合的能力を問う。 (200点)</p>	<p>①「外国語」、②「数学」、③「外国語および数学」、④「情報および数学」の4つの中から1つを選択(いずれも同一試験時間内実施) 外国語—英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学—数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、「数学と人間の活動」を、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」を、 数学Cからは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。 ただし、③「外国語および数学」あるいは④「情報および数学」を選択した場合、 数学Ⅲ、数学Cを出題範囲から除く。 情報—情報Ⅰ・情報Ⅱ</p>	行わない
看護医療学部	<p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ (300点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「数学」あるいは「化学」あるいは「生物」の3つの中から1つを選択(いずれも同一試験時間内実施) 「化学」あるいは「生物」 (200点)</p> <p>「小論文」…………… 知識、理解力、分析力、構想力、表現力を問う。</p> <p>注：①「外国語」と「数学」と「小論文」、②「外国語」と「化学」と「小論文」、③「外国語」と「生物」と「小論文」の3とおりの中から1つを選択する。 注：「小論文」は第1次試験の選考では使用せず、第2次試験の選考に使用する。</p>	面接	
薬学部 薬学科 薬科学科	<p>「理科」…………… 化学(化学基礎・化学) (150点)</p> <p>「外国語」…………… 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ (100点) 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>「数学」…………… 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C (100点) 数学Aからは「図形の性質」、「場合の数と確率」、「数学と人間の活動」のうち「整数の性質」に関する部分、 数学Bからは「数列」、「統計的な推測」、 数学Cからは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とする。</p>	行わない	

※「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」は「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」を示す。

※「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」を示す。

2026年度 一般選抜 得点状況

文学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
外国語(英語)	150	350	67.13	210
地理歴史(日本史)	100		51.31	
地理歴史(世界史)	100		56.02	
小論文	100		55.01	

注1 「外国語(英語)」には、「ドイツ語」、「フランス語」、「英語(外部試験)」は含まれていません。
注2 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

経済学部

	試験科目	配点	計	平均点	合格最低点
A方式	英語	200(90)	420 (160)	255.1	241
	数学	150(70)		[1次選考平均点] 97.3	[1次選考選抜最低点] 108
	小論文	70			
B方式	英語	200(90)	420 (90)	259.1	276
	地理歴史	150		[1次選考平均点] 55.0	[1次選考選抜最低点] 58
	小論文	70			

注1 カッコ内の配点は1次選考分です。注2 「地理歴史」の科目間の難易度の違いを考慮した結果、統計的処理による得点の補正を行いませんでした。注3 最終選考では、1次選考で「選抜最低点」に達した受験生のみを対象とし、1次分も含んだ総点をもとに選考しました。なお、最終選考の「合格最低点」は正規合格者の最低総合点のことです。

法学部

	試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
法律学科	外国語(英語)	200	450	147.28	317
	地理歴史(日本史)	150		85.22	
	地理歴史(世界史)	150		82.41	
	小論文	100		46.66	
政治学科	外国語(英語)	200	450	148.35	317
	地理歴史(日本史)	150		86.08	
	地理歴史(世界史)	150		84.05	
	小論文	100		44.14	

注1 「地理歴史(日本史・世界史)」の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。上記「地理歴史(日本史・世界史)」の平均点は補正前のものです。注2 「小論文」は、「外国語」および「地理歴史」の合計点、ならびに「地理歴史」の得点、いずれもが一定の点数に達した受験生について採点しました。注3 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

商学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
英語	200	400	116.9	A方式 279 B方式 300
地理歴史	100		66.73	
数学	100		67.7	
論文テスト	100		62.17	

注1 各試験科目の「受験者平均点」は、A方式およびB方式受験者全体のものです。注2 「地理歴史」の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。上記「地理歴史」の平均点は補正前のものです。注3 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

医学部

試験科目	配点	計	合格最低点
英語	150	500	295 (第1次試験)
数学	150		
物理	100		
化学	100		
生物	100		

理工学部

試験科目	配点	計	受験者平均点	合格最低点
英語	150	500	247.50	280
数学	150			
物理	100			
化学	100			

注 「合格最低点」は、各学門における正規合格者の最低総合得点を各学門の合格者数で重み付けて平均した値です。

総合政策学部

選択	試験科目	配点	合格最低点
外国語	外国語	200	259
	小論文	200	
数学	数学	200	267
	小論文	200	
外国語および数学	外国語および数学	200	265
	小論文	200	
情報および数学	情報および数学	200	271
	小論文	200	

注1 合格最低点は、選択した試験科目によって異なっていますが、これは4種の試験科目の難易度の違いを表すものではありません。注2 「外国語」「数学」「外国語および数学」「情報および数学」については統計的処理により得点の補正を行いました。注3 選択した試験科目の得点と「小論文」の採点結果を組み合わせ、最終判定を行いました。注4 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

環境情報学部

選択	試験科目	配点	合格最低点
外国語	外国語	200	254
	小論文	200	
数学	数学	200	254
	小論文	200	
外国語および数学	外国語および数学	200	254
	小論文	200	
情報および数学	情報および数学	200	254
	小論文	200	

注1 「外国語」「数学」「外国語および数学」「情報および数学」については統計的処理により得点の補正を行いました。注2 選択した試験科目の得点と「小論文」の採点結果を組み合わせ、最終判定を行いました。注3 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

看護医療学部

試験科目	配点	計	合格最低点
英語	300	500	259 (第1次試験)
数学	200		
化学	200		
生物	200		

注 選択科目(「数学」・「化学」・「生物」)の科目間の難易度の違いから生じる不公平をなくするため、統計的処理により得点の補正を行いました。注 ※第1次試験で小論文を課しますが、第1次試験の選考では使用せず、第2次試験の選考で使用します。

薬学部

試験科目	配点	計	合格最低点
化学	150	350	薬学科 179 薬科学科 195
数学	100		
外国語	100		

注 「合格最低点」は、正規合格者の最低総合点です。

上記は2026年度一般選抜におけるものです。2027年度一般選抜の配点については、p.136～137および、2026年11月上旬に公開予定の一般選抜要項を必ずご確認ください。

2026年度 一般選抜 統計総括

学部・学科・方式		募集人員	志願者数	受験者数	第1次合格者	最終合格者	補欠者		入学許可者 総数
							発表者	許可者	
文学部		580	5,192	4,764	—	1,210	357	215	1,425
経済学部	A方式	400	4,442	3,977	—	964	186	72	1,036
	B方式	200	2,385	2,164	—	363	121	26	389
法学部	法律学科	230	1,722	1,491	—	373	73	20	393
	政治学科	230	1,504	1,347	—	325	60	0	325
商学部	A方式	480	5,171	4,782	—	1,601	496	0	1,601
	B方式	120	3,479	3,216	—	358	222	0	358
医学部		66	1,182	1,058	264	142	103	47	189
理工学部		650	8,461	7,785	—	2,404	508	45	2,449
総合政策学部		225	3,320	3,019	—	404	96	0	404
環境情報学部		225	2,736	2,434	—	349	70	0	349
看護医療学部		70	496	454	233	166	41	0	166
薬学部	薬学科	100	1,113	1,028	—	292	88	41	333
	薬科学科	50	830	768	—	231	97	60	291
合計		3,626	42,033	38,287	497	9,182	2,518	526	9,708

※医学部の数値には栃木県地域枠の志願者数5名および、最終合格者数0名を含みます。

2026年度 一般選抜 学部併願状況

志願者総数	42,033
志願者実数	28,133
併願率	1.49

併願率 = 志願者総数 ÷ 志願者実数

志願者実数内訳	
単願者	18,710
2学部併願者	6,379
3学部併願者	1,995
4学部併願者	750
5学部以上併願者	299

単願者数内訳	
学部・学科・方式	単願者数
文	2,152
経済A	1,299
経済B	229
法・法律	774
法・政治	266
商A	2,308
商B	1,152
医	998
理工	7,008
総合政策	445
環境情報	313
看護医療	447
薬・薬	830
薬・薬科	489

学部間併願状況

文																		
142	経A																	
1,107	—	経B																
394	123	321	法律															
802	67	580	—	政治														
461	1,906	399	244	175	商A													
1,475	16	1,165	315	553	—	商B												
0	36	0	2	1	3	0	医											
1	675	1	1	0	97	0	133	理工										
803	702	483	190	288	382	581	13	106	総合									
652	495	346	124	190	223	434	13	216	1,991	環境								
6	15	2	0	1	10	0	0	3	22	26	看護							
0	56	0	0	0	13	1	22	214	9	17	6	薬						
0	47	0	0	0	6	0	6	312	14	20	3	—	薬科					

2026年度 一般選抜 現浪別(志願者・入学許可者)

※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。

志願者	現役	1浪	※
入学許可者	現役	1浪	※

※2浪以上他(2浪以上の者、高等学校卒業程度認定試験合格者、外国の学校出身者などを含む)

法学部 法律学科

66.7%	25.1%	8.2%
1,149名	432名	141名
80.9%	17.6%	1.5%
318名	69名	6名

医学部

53.3%	29.4%	17.3%
630名	348名	204名
67.2%	30.2%	2.6%
127名	57名	5名

看護医療学部

77.6%	15.5%	6.9%
385名	77名	34名
83.1%	11.4%	5.4%
138名	19名	9名

文学部

63.9%	27.8%	8.3%
3,317名	1,443名	432名
75.4%	20.4%	4.2%
1,075名	290名	60名

法学部 政治学科

62.6%	27.7%	9.7%
941名	417名	146名
75.7%	21.2%	3.1%
246名	69名	10名

理工学部

67.0%	27.9%	5.0%
5,673名	2,363名	425名
67.7%	30.4%	1.9%
1,659名	744名	46名

薬学部 薬学科

61.4%	26.0%	12.7%
683名	289名	141名
69.4%	27.6%	3.0%
231名	92名	10名

経済学部 A方式

61.7%	30.3%	8.0%
2,741名	1,345名	356名
66.3%	30.6%	3.1%
687名	317名	32名

商学部 A方式

66.2%	27.6%	6.3%
3,422名	1,425名	324名
70.0%	27.7%	2.4%
1,120名	443名	38名

総合政策学部

56.6%	28.6%	14.8%
1,879名	951名	490名
68.3%	22.3%	9.4%
276名	90名	38名

薬学部 薬科学科

62.0%	33.3%	4.7%
515名	276名	39名
68.0%	30.2%	1.7%
198名	88名	5名

経済学部 B方式

62.6%	27.4%	10.0%
1,493名	654名	238名
78.4%	19.0%	2.6%
305名	74名	10名

商学部 B方式

66.5%	25.9%	7.7%
2,312名	900名	267名
86.6%	10.6%	2.8%
310名	38名	10名

環境情報学部

55.7%	29.0%	15.3%
1,524名	793名	419名
62.5%	26.6%	10.9%
218名	93名	38名

合計

63.4%	27.9%	8.7%
26,664名	11,713名	3,656名
71.2%	25.6%	3.3%
6,908名	2,483名	317名

2026年度 一般選抜 都道府県別(志願者・入学許可者)

※「都道府県」は、出身高校の所在地

	志願者	入学許可者
北海道	北海道	484 / 86
東北	青森	61 / 13
	岩手	58 / 15
	宮城	263 / 56
	秋田	48 / 8
	山形	60 / 12
	福島	133 / 18
関東	茨城	896 / 179
	栃木	329 / 64
	群馬	439 / 76
	埼玉	3,297 / 691
	千葉	3,057 / 717
	東京	16,500 / 4,071
	神奈川	7,562 / 1,897
	甲信越	新潟
山梨		225 / 41
長野		353 / 73

	志願者	入学許可者
東海	岐阜	196 / 41
	静岡	606 / 136
	愛知	1,356 / 318
	三重	175 / 28
北陸	富山	131 / 39
	石川	133 / 36
	福井	104 / 23
	滋賀	70 / 14
近畿	京都	312 / 64
	大阪	612 / 117
	兵庫	617 / 160
	奈良	302 / 92
	和歌山	51 / 9

	志願者	入学許可者
中国	鳥取	47 / 4
	島根	33 / 11
	岡山	201 / 47
四国	広島	354 / 79
	山口	95 / 11
	徳島	66 / 10
九州	香川	105 / 36
	愛媛	135 / 30
	高知	52 / 8
	福岡	598 / 125
	佐賀	104 / 8
	長崎	89 / 15
	熊本	146 / 21
沖縄	大分	87 / 15
	宮崎	82 / 6
	鹿児島	198 / 39
沖縄	309 / 26	

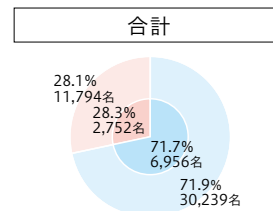
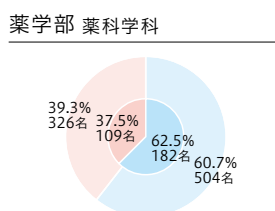
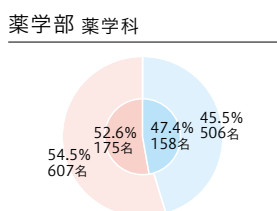
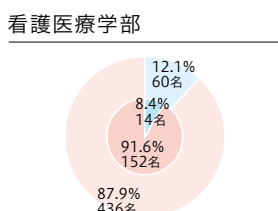
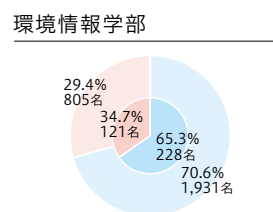
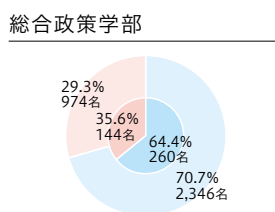
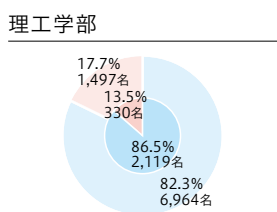
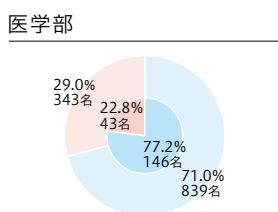
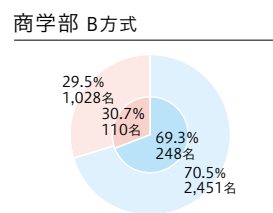
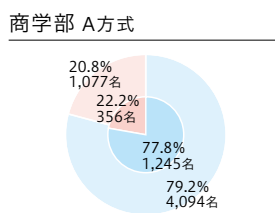
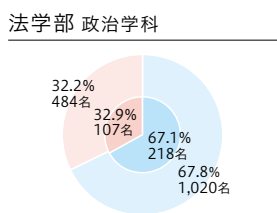
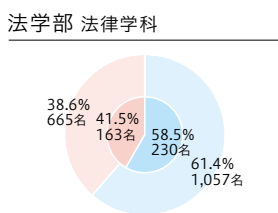
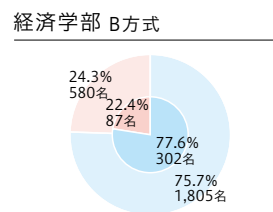
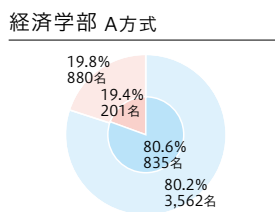
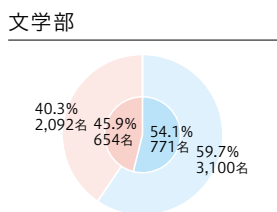
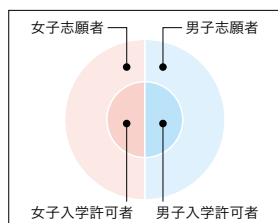
合計* 志願者：42,033 / 入学許可者：9,708

*その他(高等学校卒業程度認定試験など)の志願者：676 / 入学許可者：68を含む。



2026年度 一般選抜 男女別(志願者・入学許可者)

※グラフ中の%の数値は、小数第2位を四捨五入した値のため、合計は必ずしも100.0%にはならない。



一般選抜に関するQ&A

一般選抜に関するよくある質問を掲載しています。

出願資格や手続等の詳細については必ず一般選抜要項をご確認ください。

なお、一般選抜における変更点はウェブサイトを確認してください。

一般選抜に関する
情報はこちら



出願に関する質問

Q 複数の学部へ出願しようと思っています。調査書等は学部ごとに必要ですか？

A 複数の学部へ出願する場合でも、調査書等は1通でかまいません。

Q 卒業してから5年が経過しているため、高等学校で調査書を発行してもらえません。どのような書類を提出すればよいですか？

A 「出願資格を証明する書類」として、以下のものを提出してください。なお、②も発行できない場合は、①のみを提出してください。

- ① 高等学校の卒業(修了)証明書
- ② 高等学校在学中の成績証明書

Q 出願状況を知りたいのですが、どうすればよいですか？

A 例年、1月中旬頃から、志願者状況を慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページでお知らせします。

Q 大学入学共通テストの結果を利用する方式で出願することはできますか？

A 2027年度一般選抜では大学入学共通テストの結果を利用して出願することはできません。

Q 民間の英語4技能試験の結果を利用する方式で出願することはできますか？

A 2027年度一般選抜では文学部において、実用英語技能検定(英検)CSE総合スコアを用いて出願することができます。

入学試験に関する質問

Q 試験会場はどこですか？

A 試験会場は、原則として日吉キャンパスか三田キャンパスのどちらかです。出願の学部・学科・方式・選択科目や指定される受験番号によって異なります。ご自身の試験会場は、必ず受験票で確認してください。

Q 現役生と既卒者によって入学試験の有利、不利はありますか？

A ありません。選考は全く同一の基準で行われます。

Q 選択受験科目によって有利、不利はありますか？

A ありません。選択受験科目の難易度の違いから生じる不公平については、通常は統計的処理により得点の補正を行うことによって対処しています。

Q マークシートを使用している学部はありますか？

A 2026年度一般選抜では経済学部、法学部、商学部、理工学部、総合政策学部、環境情報学部、薬学部にて一部使用しました。詳しくは一般選抜要項で確認してください。

Q 面接を行っている学部はありますか？

A 2027年度一般選抜で面接を行う学部は、医学部、看護医療学部です。いずれも第2次試験で実施します。

Q 大学で受験時の宿泊先の斡旋は行っていますか？

A 行っていません。ただし、慶應義塾大学生協のウェブサイトに宿泊案内が掲載されます。宿泊が必要な方は各自で手配してください。

日吉キャンパスと三田キャンパスのどちらの試験会場になるか確定できない段階では、最終的にどちらのキャンパスになっても利用可能な宿泊先を手配することが多いようです。

Q 飛行機の予約の関係があるのですが、最終時限終了後、すぐに退室することはできますか？

A 試験時間が終了しても、監督者の指示があるまでは退室できません。また、安全上の理由により、退場に制限をかけるため、試験終了から退場までに30分から60分程度かかる場合があります。さらに、試験会場周辺の公共交通機関に大幅な乱れ、遅れが生じた場合には、全体の試験開始時刻を繰り下げることもありますので、それらも留意の上、十分に余裕を持った計画を立てることをお勧めします。

Q 入試当日試験会場内に荷物を預ける場所はありますか？

A ありません。荷物は自分の机の下または空いている横の座席下に置くことになります。大型のものは置けませんので注意してください。



合格発表・入学手続きに関する質問

Q 合格発表はどのような形で行いますか？

A インターネット出願システム上で行います。キャンパス内での掲示や合格通知の郵送は行いません。

Q 補欠について教えてください。

A 合格発表の際に、正規合格者と同時に補欠者も発表します。ただし、医学部・看護医療学部の第1次合格発表には補欠はありません。補欠者は入学が許可されるとは限りません。合格者の入学手続き状況により欠員が生じた場合に限り、順次入学が許可されます。

Q 複数の学部から入学を許可された場合の手続きについて教えてください。

A 複数の学部から入学を許可された場合、入学金等支払期限までにどの学部に入的手続きをするかを選択し、その学部所定の金額を支払ってください。ただし、医学部に入学を許可された場合と、補欠からの入学を許可された場合に限り、先に入的手続きを行った学部の入学手続きが完了していれば、入学に必要な費用を振替えることができます。詳しくは一般選抜要項や入学手続き要項で確認してください。

総合型選抜

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■ 自主応募制による推薦入学者選考(文学部)

一般の学力考査とは異なった視点・尺度を導入することによって、様々な資質を持ち、慶應義塾大学文学部への志望動機が明確で意欲的なみなさんに入学への道を開くことがこの制度の目的です。

特徴としては、第一に高校生のみなさんが自らの自由意思によって直接応募できる点にあります。下記に示す一定の資格を満たしていれば、誰でも自由に応募できます。ただし、慶應義塾大学文学部を第一志望とし、合格後は必ず文学部に入学する決意のある人でなければなりません。

第二の特徴は選考の方法にあります。みなさんから提出された「自己推薦書」、在籍学校からの「調査書」、「評価書」に加えて、「総合考査Ⅰ」、「総合考査Ⅱ」の成績を総合的に評価し判定をします。すなわち、当日の考査のみでなく、学業成績や学校内外での活動実績なども含めた総合的な選考を行います。

出願資格

慶應義塾大学文学部に入学する強い意志を持っている者で、以下の1.2.3.すべての条件を満たし、かつ評価書に、在籍学校長の署名および学校長印を受けることのできる者であれば、誰でも自由に出願できます。

1. 本学文学部での勉学を強く志望し、本学文学部を第一志望とし、合格した場合に入学することを確約できる者。
2. 以下のA.B.C.のいずれかに該当する者。
 - A. 2027年3月に国内の高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者。
 - B. 2027年3月に国内の高等専門学校第3学年修了見込みの者。
 - C. 2027年3月に文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者。ただし、上記A～Cについて、在籍する、もしくは在籍した国内の高等学校、中等教育学校、高等専門学校ならびに在外教育施設(以下「国内の高等学校等」という)の修了月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2026年4月以降2027年2月までの修了者、修了見込み者も、2027年3月修了見込みの者と同じと見なします。これ以外の者、例えば外国の高等学校を卒業見込みの者、高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)の合格者および科目合格者は出願できません。
3. 高等学校全期間(最終学年の第1学期まで、2期制の場合は前期まで)の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.1以上の者。「全体の学習成績の状況」に関しては、中等教育学校、高等専門学校、在外教育施設についても、高等学校と同様とします。ただし、修了月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められており、出願時に修了している者については、修了までの成績を基準とします。なお、海外の高等学校から国内の高等学校等へ編入学した場合、または、国内の高等学校等から海外の高等学校へ留学した場合、国内の高等学校等における在学全期間の「全体の学習成績の状況」が4.1以上の者。

実施内容

- 募集人員：120名
- 提出書類：①高等学校が作成する「調査書」
編入学・海外留学などで複数の高等学校等に在籍した者は、在籍していたすべての高等学校等が発行した成績証明書を必ず調査書に添付してください。その証明書がコピーの場合には、在籍学校長印で原本と相違ないことの証明も併せて受けてください。提出できない場合には、出願が認められないことがあります。
- ②評価書(大学所定用紙をダウンロード)
- ③自己推薦書(大学所定用紙をダウンロード)
- 選考日程：出願登録・出願書類受付期間：次の①および②を行うことにより出願は完了します。一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。
 - ①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払い」
出願登録期間：2026年10月1日(木) 10:00～10月20日(火) 17:00
 - ②「出願書類の郵送」
出願書類受付期間：2026年10月16日(金)～10月20日(火) ※締切日消印有効
- 選考方法：「調査書」、「評価書」、「自己推薦書」、「総合考査Ⅰ」、「総合考査Ⅱ」により選考を行います。
 - ・「総合考査Ⅰ」(120分)
小論文形式を採り、各種資料に対する理解力、文章構成・表現力、分析力などを総合的な視点から考査します。そのなかで、外国語による作文力(英語・ドイツ語・フランス語のいずれか)も合わせて評価します。
 - ・「総合考査Ⅱ」(60分)
与えられたテーマについての記述を評価します。

2026年度 自主応募制による推薦入学者選考結果

学部	募集人員	志願者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計
文学部	120	108	282	390	18	98	116

文学部自主応募制推薦入試特別奨学金

首都圏以外に居住する優秀な学生の当学部への進学を経済的に支援すべく、2025年度より、文学部独自の奨学金制度を開始しました。詳細はウェブサイトをご確認ください。

- ・対象：自主応募制による推薦入試に合格し第1学年に入学した者のうち、南関東(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外の日本国内の通学課程の高等学校等出身者で、特に優秀であると認められた者。
- ・給付人数：4名
- ・給付金額：年額60万円(最長で4年間給付、所定の学業成績などの条件あり)
- ・使途：学費、他の奨学金との併用可

■募集要項入手方法

2027年度募集要項は、6月下旬よりウェブサイトからダウンロードできます(冊子での販売は行いません)。

■問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学 入学センター

TEL 03-5427-1566



詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

FIT入試(法学部)

法学部ではこれまで、様々な能力を持った学生たちが集まるよう、入試制度を充実させて、多様な学生を多様な方法で評価できるように努力してきました。能力や経験を異にする学生たちが互いに切磋琢磨しあう環境の中でこそ、法律学や政治学の修得がより実り豊かなものになると考えているからです。

このような観点を一歩おし進めて、2006年度より導入されたのがFIT入試です。FIT入試は、「第一志望で慶應義塾大学法学部法律学科・政治学科で勉強したい」学生と、「この学生を教えたい」という私たち法学部教員との良好な相性(fit)を実現しようとするものとしてスタートしましたが、受験生の側の「慶應の法学部で学びたい」という姿勢は入学後の勉強意欲と学習成績に反映されています。

2012年度から導入されたB方式においては、地域ブロックで個性を発揮してきた学生が慶應で学び、卒業後にその才能と法学部で学んだ成果を、さまざまな形で自分の出身地域の活性化に活かしてくれることを期待しています。また、B方式では、優秀な成績で合格した者の中から、一定の基準により各学科6名(南関東ブロック以外の各地域ブロックから1名ずつ)に学部独自の特別奨学金(年額30万円、一定の条件を満たすことにより最大4年間の継続受給可能)を給付します。

2022年度からは、A方式の第2次選考では口頭試問を行っています。口頭試問では、口頭で提示されたテーマについて質疑応答を行い、受験生の学問的な理解力や知的表現力等を踏まえ、志望する学科にふさわしい素養の有無を総合的に評価します。

FIT入試では、受験生の皆さん自身の希望によって、法律学科・政治学科いずれかの学科への出願が可能です。また、同じ学科であれば、A方式とB方式の併願も可能です。私たちの心をときめかせるような、才能に光り輝き、次世代の日本をリードしていけるような意欲あふれる皆さんとの出会いを、法学部の教員一同、楽しみにしています。

出願資格

A方式

以下の1～3のすべての条件を満たす者。

- 次のいずれかに該当する者。
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者。
 - 高等専門学校の第3学年を修了した者、または2027年3月修了見込みの者。
 - 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みのある者。
- 慶應義塾大学法学部(法律学科または政治学科)への志望理由、および入学後の目標と構想が明確であり、第一志望としていずれかの学科での勉学を強く希望する者。また、合格した場合に入学することを確約できる者。
- 学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組み、次に例示するような優れた実績をあげた者。(*1)
 - 日本語以外のさまざまな外国語の学習に熱心に取り組み、かつその成果を検定試験などで証明できる者。
 - 文化・芸術・技芸・運動等の分野において優れた成績や成果を残したことが証明できる者。
 - 学外活動や課外活動において高いリーダーシップを発揮し、そのことが何らかの形で証明できる者。
 - ボランティア活動や地域の社会的活動などを熱心に行い、その実績を示せる者。
 - 国際交流や開発途上国援助などの活動に積極的に取り組み、その実績を示せる者。
 - 入試科目に限らない全般的な学業分野で極めて優秀な成績を取ったことを示せる者。
 - その他の分野で、自己の関心や興味からユニークな実績をあげたことを証明できる者。

*1 実績や外国語能力を証明できる証明書、修了証、表彰状などがある場合は、提出してください。詳細は募集要項で確認してください。

B方式

以下の1～3のすべての条件を満たす者。

- 次のいずれかに該当する者。(*2)
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者。
 - 高等専門学校の第3学年を修了した者、または2027年3月修了見込みの者。
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2027年3月31日までに修了見込みの者。
- 慶應義塾大学法学部(法律学科または政治学科)への志望理由、および入学後の目標と構想が明確であり、第一志望としていずれかの学科での勉学を強く希望する者。また、合格した場合に入学することを確約できる者。
- 次の条件をすべて満たす者。
 - 在籍している、もしくは卒業した高等学校等より、調査書の発行が受けられる者。
 - 高等学校等での学業成績が優秀で、高等学校等の全期間の成績を記載した調査書における指定の各教科(外国語、数学、国語、地理歴史、公民)および全体の学習成績の状況が4.0以上の者。(*3)
 - 在籍している、もしくは卒業した高等学校等に現在在籍している教員より1通の評価書(本学所定用紙)を提出できる者。

*2 B方式においては、外国の高等学校の卒業(見込み)者、高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)の合格者および科目合格者等は出願できません。

*3 卒業見込み者は第3学年1学期までの成績が記載された調査書(2期制の高等学校等の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書)を提出してください。何らかの事情により、第3学年1学期(2期制の高等学校等の場合は第3学年前期)の成績を記載できない場合は、その旨が調査書備考欄に記載されていることが必要です。なお、高等学校等のカリキュラムや留学・編入学等の事情により、該当する科目について不明な点がある場合は、入学センターにお問い合わせください。

実施内容

- 募集人員：法律学科・政治学科ともA方式・B方式合計 最大80名

		法律学科				政治学科				
A方式	最大80名	各ブロック最大10名				最大80名	各ブロック最大10名			
B方式		I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 ^(※4)	IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国	Ⅶ. 九州・沖縄			I. 北海道・東北 II. 北関東・甲信越 III. 南関東 ^(※4)	IV. 北陸・東海 V. 近畿 VI. 中国・四国	Ⅶ. 九州・沖縄	

B方式における『地域ブロック』について

日本全国を7つのブロックに分け、各ブロックから法律学科・政治学科それぞれ最大10名程度を合格者として(地域ブロックは出身高等学校等の所在地による区別です)。ただし、選考の結果、各地域ブロックの定員の充足率に著しい偏りが生じた場合や、定員の充足が困難な場合は、総合成績を優先した調整を行います。

※4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設は、「Ⅲ.南関東」に含めます。

- 提出書類：①志願者調査^{*}：経歴やあなたの問題関心などを記入してください。

②志望理由書^{*}：あなたが慶應義塾大学法学部を志望した理由と、入学後、慶應義塾大学の法学部で学ぶ学問が自分の人生でもつ意味について、800字以内で記述してください。

A方式のみ

③調査書等(高等学校等の入学以降の成績・卒業に関する証明書類)^(※5)：詳細は募集要項にて確認してください。

④自己推薦書^{*}：出願資格3に該当する活動と法学部での学びを経て社会にどのように貢献する人材となり得るかを自由に記述してください。実績を証明する書類があれば、所定の量の範囲内で添付してください。また、高等学校等の成績証明書以外で、あなたの学力を客観的に証明する書類(外国語能力を示す公的機関の証明書等)があれば提出してください。書類のみ受け付けません。工作物、ビデオ、CDなどは受け付けません。

B方式のみ

③調査書：高等学校等の全期間の成績が記載されたものを提出してください。卒業見込み者は、第3学年1学期までの成績が記載された調査書(2期制の高等学校等の場合は、第3学年前期までの成績が記載された調査書)を提出してください。出願期間との関係上、第3学年前期の成績を記載できない2期制の高等学校等の場合は、その旨が調査書備考欄に記載されていることが必要です。

④評価書^{*}：在学している、もしくは卒業した高等学校等に現在在籍している教員あるいは学校長が記入・厳封した評価書を提出してください。

※A方式・B方式を併願する場合、①志願者調査・②志望理由書は1部でかまいません。

※★は大学所定用紙をダウンロード。

※5 A方式において、高等学校卒業以外の者の成績評価は提出書類③に準じます。詳細は、募集要項にて確認してください。社会人等で調査書等が提出できない場合や、その他不明な点がある場合は入学センターにお問い合わせください。

- 選考日程：出願期間：次の①および②を行うことにより出願は完了します。一方のみでは出願は受け付けられませんので注意してください。

①「出願登録(インターネット)」および「入学検定料の支払」

2026年8月3日(月) 10:00～9月3日(木) 17:00

②「出願書類の郵送」

2026年9月1日(火)～9月3日(木) ※締切日消印有効(速達・簡易書留)(海外からの出願は締切日必着)

第1次選考合格発表：2026年9月15日(火) 10:00 インターネット

第2次選考：2026年9月19日(土) A方式(法律学科・政治学科)

2026年9月20日(日) B方式(法律学科・政治学科)

第2次選考合格発表：2026年11月2日(月) 10:00 インターネット

入学手続期間：2026年11月27日(金)～12月11日(金)

- 選考方法：下記の各方式におけるすべての選考で好成绩を取った者のなかから、A方式・B方式合わせて、法律学科・政治学科それぞれ最大80名に入学を許可します。

第1次選考：書類選考[提出された書類を総合的に精査して選考を行い、第1次合格者を決定します。]

第2次選考：(A方式)

(1) 論述試験：教員が模擬講義を行い、講義後に論述形式の試験を行います。試験では、法学ないしは政治学の修得に必要な理解力、考察力、表現力などを評価します(両学科とも同時に同一の内容にて実施します)。

(2) 口頭試問：複数の教員と1名の受験生で、口頭で与えられたテーマについて質疑応答を行い、受験生の学問的な理解力や知的表現力などを審査します。

(B方式)

(1) 総合審査：

I 与えられた資料(グラフ、表、データ、条文、判例など)から読み取れることを400字程度にまとめてもらいます。社会科学に必要な論理的な思考力、考察力を評価します。

II 与えられたテーマのもと400字程度の小論文を書いてもらいます。ここでは、創造力、独創性、発想力を審査します。

(2) 面接試験：個人面接を行います。

※提出書類、選考日程、選考方法などに関する詳細は募集要項を確認してください。

2026年度 FIT 入試結果

合格者数には、A方式・B方式の両方式に合格した者を含みます

学科	募集人員	方式	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
法律学科	最大80名	A方式	114	192	306	28	66	94	15	38	53
		B方式	78	119	197	42	76	118	15	31	46
政治学科	最大80名	A方式	146	160	306	28	70	98	15	41	56
		B方式	83	116	199	36	82	118	7	39	46

■ 募集要項入手方法

2027年度募集要項は、6月上旬よりウェブサイトからダウンロードできます(冊子での販売は行いません)。



■ Q&A

ウェブサイトをご覧ください。



■ 問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学 入学センター

TEL 03-5427-1566

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■分野志向型入試(理工学部)

2025年度入試より、学問分野への興味の強さを重視した募集を開始しました。

理工学部の分野志向型入試は、一定水準以上の学業成績をおさめ、明確な志望動機をもっており、慶應義塾大学理工学部を第一志望とする者を対象とする入試制度です。特に学問分野への興味の強さを重視した募集を学科別に行います。高等学校在学時に勉学・課外活動などで研鑽を積みつつ、理工学部に入学後、他の学生の範となることが強く期待される者に入学を許可します。

選考は原則として書類選考、論理的な思考を問う総合審査、面接試験の三段階で行われます。書類選考によって優れた学業成績や課外活動による研鑽が認められた志願者に対し、筆記ならびに記述試験による論理的な思考を問う総合審査が行われ、その結果を踏まえて面接試験に進める志願者が決定されます。面接試験では、論理的思考の確認に加えて、希望する学問分野に対する旺盛な知的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力、といった資質を備えているかを十分な時間をかけて審査します。

出願資格

以下の1～6の内容をすべて満たすことが必要です。

- 慶應義塾大学理工学部での勉学を強く希望し、明確な目標をもって、本学部を第一志望とする者。
- 高等学校在学中あるいはそれに相当する課程の期間中に、勉学・課外活動などで研鑽を積み重ねてきた者。特に、希望する学科の分野に関連して、深い興味を持つに至る探求(より深く理解している科学技術の内容や科学技術系コンテストの実績など)を行ってきた者。
- 次のいずれかに該当する者。
 - ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を2027年3月卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校の第3学年を2027年3月修了見込みの者。
 - ③外国において、学校教育における12年の課程を、2026年4月1日以降、2027年3月31日までに修了(見込み)の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ④我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を、2026年4月1日以降、2027年3月31日までに修了(見込み)の者。
 - ⑤文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、2026年4月1日以降、2027年3月31日までに修了(見込み)の者。
 - ⑥文部科学大臣が指定した者(昭和23年文部省告示第47号)のうち、国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を、2026年4月1日以降、2027年3月31日までに修了(見込み)の者。
- 調査書記載の欠席日数の合計が30日を超えないこと。
- 履修科目については以下の科目をすべて履修し、所定単位数を修得していること。

教科 数学(以下の6科目の合計が15単位以上)
数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C

教科 理科(以下の4科目の合計が12単位以上)
物理基礎・物理・化学基礎・化学

教科 外国語(以下の2科目を含む英語科目の合計が14単位以上)
英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ
- 成績評価については以下が望ましい。
 - ①高等学校第1学年第1学期から第3学年第1学期まで(2学期制の場合は第3学年前期まで)に履修したすべての教科・科目の「全体の学習成績の状況」が4.1以上(小数点以下第2位を四捨五入)であること。
 - ②5で示した数学と理科のすべての科目の評定がそれぞれ4以上であること。

(注1) 5のすべての科目内容を、別の名称の科目により修得している場合には、出願を認めることがあります。
(注2) 5の外国語について、英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡを修得した上で、不足分の単位を英語以外の外国語で充当したい場合はご相談ください。
(注3) 5の外国語の要件を満たせないが、同等以上の英語の能力があることを証明することができる場合には、出願を認めることがあります。
(注4) 高等学校以外に該当する者の成績評価に関する要件は、出願資格5に準じます。高等学校の場合と同様に一定の成績評価基準を満たしていることが求められます。調査書の提出が難しい場合など、出願資格や評価換算方法についてはアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

実施内容

● 募集学科・募集人員：

学科	募集人員
電気情報工学科	最大10名程度
数理科学科	最大10名程度
化学科	最大4名程度

● 提出書類：詳細は募集要項をご確認ください。

● 選考日程：出願期間：2026年10月1日(木)～10月6日(火)(締切日消印有効)

第1次選考合格発表：2026年10月30日(金) インターネット

第2次選考：2026年12月5日(土)

第2次選考合格発表：2026年12月5日(土)夕方以降 インターネット

第3次選考：2026年12月6日(日)

第3次選考合格発表：2026年12月11日(金) インターネット

● 選考方法：第1次選考：提出された書類により選考を行います。

第2次選考：第1次選考合格者に対して、論理的な思考を問う総合審査を行います。

ただし、化学科は第2次選考を行いません。

第3次選考：第2次選考合格者(化学科は第1次選考合格者)に対して、面接試験を行います。

2026年度 入試結果

学部	募集人員	志願者数			第1次合格者数			第2次合格者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
理工学部	前述のとおり	12	7	19	12(0)	6(3)	18(3)	8	0	8	7	2	9

()内は第2次選考を受けずに第3次選考を受験する人数

■ 募集要項入手方法

2027年度募集要項は、6月上旬よりウェブサイトからダウンロード可能となります。



■ 問い合わせ先

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学 理工学部学生課学事担当内アドミッションズ・オフィス

TEL 045-566-1800

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■アドミッションズ・オフィスによる自由応募入試(AO入試)(総合政策学部・環境情報学部)

総合政策学部・環境情報学部のアドミッションズ・オフィスによる自由応募入試(AO入試)では、みなさんが学部の理念や内容を良く理解した上で、「こんなことを学びたい」という問題意識やテーマを持って入学してくれることを期待しています。筆記試験の結果などによる一面的、画一的な能力評価ではなく、中学校卒業後から出願に至るまでの全期間にわたって獲得した学業と学業以外の諸成果を書類選考と面接によって多面的、総合的に評価します。

年3回実施するAO入試では、入学時期を4月にするか9月にするかを、入学者自らが選択でき、2026夏秋AO、2027春AOでは面接使用言語を「日本語」・「英語」・「どちらでも可」の3つから選択することができます。入試の通年実施と入学時期・言語の自由選択制により、自由で開かれた世界基準の入試となっています。

総合政策学部・環境情報学部への入学を強く志望し、より高いレベルでの自己実現を図ろうとする情熱と明確な意志を持った人たちの積極的な出願を期待しています。

募集人員

総合政策学部 150名 環境情報学部 150名 ※募集人員は、複数回実施するAO入試(4月入学/9月入学)の合計数。

選考日程

※学事日程により前後することがあります。詳細は各募集要項で確認してください。

	入学時期 (注2)	募集要項公開	出願言語(募集要項 /書類作成の言語)	出願時期	2次選考 (面接試験)	2次選考 合格発表
2026夏秋AO	2027年4月 2027年9月	2026年5月中旬	日本語 または英語	2026年9月上旬	2026年10月下旬の 4日(土曜日/日曜日)	2026年11月上旬
2026冬AO (GIGA)	2027年9月 2028年4月	2026年9月上旬	英語のみ	2026年12月～ 2027年1月下旬	ビデオによる審査	2027年3月中旬頃
2027春AO (注1)	2027年9月 2028年4月	2027年1月中旬	日本語 または英語	2027年6月上旬	2027年7月中旬の 1日(土曜日)	2027年7月中旬

(注1) 2027年10月以降に高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業見込みで、2028年4月入学を希望する者は出願できません。2027夏秋AO以降を検討してください。(注2) 英語のみ(授業を受けるだけの日本語能力がない)の者は、9月(秋学期)入学を推奨します。

2026年度 AO入試結果

(注)夏秋AOの入試結果(冬AO(GIGA)、春AOは含まず)

学部	募集人員	志願者数			最終合格者数		
		男	女	合計	男	女	合計
総合政策学部	150	472	400	872	62	83	145
環境情報学部	150	331	308	639	65	85	150

2026夏秋AO、2027春AO

出願資格

以下の1)～4)の条件を全て満たす者

1) 次の1つ以上に該当する者

1a. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、または入学までに卒業見込みの者

1b. 高等専門学校第3学年を修了した者、または入学までに修了見込みの者

1c. 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または入学までにこれに該当する見込みの者

c-1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または入学までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

c-2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または入学までに修了見込みの者

c-3. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および入学までに修了見込みの者

c-4. 文部科学大臣の指定した者 ※昭和23年文部省告示第47号

a. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者(見込み者)

b. 国際バカロレア・アビトゥア・バカロレア(フランス共和国)・GCE Aレベル・国際Aレベル・欧州バカロレア資格取得者 ※認定を受けていない日本国内のアメリカンスクール、インターナショナルスクールについては、各期の出願締切の1ヶ月前までにアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

- c-5. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者、または入学までに合格見込みの者で、入学までに18歳に達する者(大学入学資格検定に合格した者を含む)
- c-6. 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに18歳に達する者。なお、出願資格審査の対象者は、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者とします。申請については出願最終日の1ヶ月前までにアドミッションズ・オフィスまで申し出てください。

- 2) 総合政策学部・環境情報学部への志望理由や入学後の構想が明確であり、第一志望としていずれかの学部での勉学を希望する者
- 3) 総合政策学部・環境情報学部の学習・研究環境を積極的に活用し、入学後の目標や構想をより高いレベルで実現するに十分な意欲と能力を有する者
- 4) 大学教育を受けるに足る日本語能力もしくは英語能力を有する者

【1次選考免除申請について】

出願資格に加えて、以下のコンテストについて所定の成績をおさめ、そのことを証明する書面を提出することができる者について、1次選考を免除します。申請希望者は、提出書類に、1次選考免除対象コンテストの所定の成績をおさめたことを証明する書面(厳封されたもの)を添えて、申請してください。所定の成績につきましては、募集要項をご確認ください。

(注意) 1次選考免除申請は、総合政策学部・環境情報学部のいずれかの学部で1回限りとします(また、複数のコンテストで所定の成績をおさめている場合も申請は1回限りとします)。過去にAO入試1次選考免除申請をして出願を受理された者、および2019年度までに実施したAO入試においてC方式で出願した者は申請できません。

1次選考免除対象コンテスト

対象コンテスト(*慶應義塾関連)

小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト*	科学地理オリンピック日本選手権
三田文学新人賞*	日本学生科学賞 物理、化学、生物、地学、広領域
日本数学オリンピック	日本学生科学賞 情報・技術、応用数学
高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC)	情報処理推進機構 未踏IT人材発掘・育成事業
化学グランプリ	一般社団法人未踏 未踏ジュニア
日本生物学オリンピック	全国高校生マイプロジェクトアワード
全国物理コンテスト 物理チャレンジ	高校生ビジネスプラン・グランプリ
日本情報オリンピック	福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会*
日本地学オリンピック	高校生バイオサミット in 鶴岡*

(注意1) 上記は全て個人での受賞のみを対象とする(グループやチームで受賞したものは対象外です)。(注意2) 中学校卒業以降からAO入試出願に至る期間での受賞のみを対象とします。

2025年度入学者から「総環のすゝめ奨学金」を新設

この奨学金は、首都圏以外の地域から優秀な学生を積極的に受け入れることを目的とし、多様性の一つに掲げる「地域性」をより強力に推進するために設けられました。首都圏以外の高等学校出身者で、総合政策学部・環境情報学部のポリシーを理解した上でいずれかの学部で学ぶことを強く希望されている方のうち、AO入試で特に優秀な成績を修め、入学された方が受給することができます。本奨学金が入学後の学費負担の不安を緩和し、勉学や研究活動に没頭できる環境の構築に資することを期待します。

※本奨学金の詳細については、2026夏秋AO入試募集要項公開時期にお知らせいたします。

実施内容

● 選考方法

1次選考：書類(資料を含む)選考 2次選考：面接試験(日本語または英語)*
*出願時に、面接で使用する言語(「日本語」・「英語」・「どちらでも可」)を選択してください。

● 提出書類：募集要項に示された書類等に加えて、任意に作成した諸資料。

※多言語能力評価(ドイツ語またはフランス語)についての詳細は、2026年5月中旬公開の2026夏秋AO募集要項にて公開します。

2027年度入学者用募集要項は、ウェブサイトからダウンロードできます。
(冊子での販売は行っていません。)



2026冬AO(Winter AO(Admissions for the GIGA Program))

出願資格・実施内容

出願資格・詳細はウェブサイトおよび募集要項をご確認ください。

- 選考方法：書類(資料を含む)とビデオ選考
- 提出書類：詳細は、募集要項を確認してください。

■ 問い合わせ先

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス アドミッションズ・オフィス
TEL 0466-49-3407 [土・日・祝日を除く、9:30 ~ 16:30]
E-mail ao-request@sfc.keio.ac.jp



SFCウェブサイト

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

■AO入試(看護医療学部)

看護医療学部は、看護医療の先導者として社会に貢献できる意欲ある人材を求めています。そうした人材を、AO入試という一般の学力試験とは異なる方法で選考します。第1次選考では書類審査を行い、第1次合格者に対し第2次選考で面接を実施し、最終的な合格者を決定します。

AO入試の特徴は、入学希望者自らの自由意思によって応募できる点にあります。当学部への入学を強く希望し、出願資格を満たしていれば、誰でも出願できます(※A方式・B方式の併願はできません)。

出願資格

A方式

以下の1～4の条件をすべて満たす者。なお、外国高等学校出身者については、5の条件も満たすものとする。

1. 次の1つ以上に該当する者。

- ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、および2027年3月卒業見込みの者。
- ②高等専門学校の第3学年を修了した者、および2027年3月修了見込みの者。
- ③学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - (a)外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - (b)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (c)専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (d)文部科学大臣の指定した者。※昭和23年文部省告示第47号
 - (e)高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定に合格した者を含む)。
 - (f)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの。

2. 本学看護医療学部への志望理由や入学後の構想が明確であり、第一志望として本学部での勉学と入学を強く志望する者。

3. 本学看護医療学部の学習・研究環境を積極的に活用し、入学後の目標や構想をより高いレベルで実現するに十分な意欲と能力を有する者。

4. 学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組み、その成果が次の一つ以上に該当すると自己評価できる者。

- A 看護・医療・保健・福祉に関連した国内外での活動で見聞を広めた経験を持っている。
- B 社会的な奉仕活動やその他の社会活動を通し、その成果や業績が認められている。
- C コミュニケーション能力(日本語によるもの、外国語によるもの)やコンピュータ技術などの技能において優れており、高度な資格や技術を有している。
- D 学術・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野において、研究、創作発表、コンクール、競技などの活動を通し、社会的に評価を得ている。
- E 学業が優秀であり、創造的、積極的な学習姿勢を堅持している。
- F 学業、人物ともに優れ、地域社会や高等学校などにおいて指導的な役割を積極的に果たすなど、評価を得ている。
- G 関心や興味を持ったテーマに関して自由研究や自主学習などの自発的な取り組みを開始し、成果をあげている。

5. 日本の大学教育を受けるに足りる日本語能力を有する者。

B方式

以下の1～4の条件をすべて満たす者。

1. 次の1つ以上に該当する者。

- ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者、および2027年3月卒業見込みの者。
- ②高等専門学校の第3学年を修了した者、および2027年3月修了見込みの者。
- ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者。

2. 本学看護医療学部での勉学を強く志望し、第一志望として入学を志す者。

3. 本学看護医療学部の学習・研究環境を積極的に活用し、所定の原稿用紙に記述した自己の志望理由や学習計画上の目標・構想を実現するに十分な意欲と能力を有する者。

4. 高等学校での学業成績が優秀で全体の学習成績の状況4.5以上(4.5を含む)の者。

実施内容

- 募集人員：若干名
- 選考日程：
出願期間：2026年9月15日(火)～9月17日(木)(締切日消印有効)
第1次選考合格発表：2026年10月16日(金)
第2次選考：2026年10月24日(土)
第2次選考合格発表：2026年11月2日(月)
- 選考方法：
第1次選考：提出された書類により選考を行います。
第2次選考：第1次選考合格者に対して面接を行います。

2026年度 AO入試結果

学 部	募集人員	方式	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
看護医療学部	若干名	A方式	4	48	52	0	13	13	0	5	5
		B方式	0	19	19	0	7	7	0	1	1

『看護医療のすゝめ特別奨学金』

看護医療の先導者として社会に貢献できる意欲ある人材を日本全国から募集し育成するために、看護医療学部AO入試において優秀な成績を修めた方*に対し、入学時および入学後の経済支援を行うことを目的とする看護医療学部独自の奨学金制度です。詳細は2027年度看護医療学部AO入試の募集要項に掲載予定です。

*日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く)の高等学校等の出身者に限る。

■ 募集要項入手方法

2027年度募集要項は、6月上旬より看護医療学部ウェブサイトからダウンロード可能となります。



■ 問い合わせ先

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
慶應義塾大学 湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200

その他の選抜方法

詳細については、募集要項、慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページを必ずご確認ください。

帰国生入試、国際バカロレア (IB) 入試、外国人留学生入試

帰国生入試は、海外の高等学校出身者が対象です。募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃です。
また、法学部では、2014 / 2015年度から国際バカロレア (IB) 入試を開始し、日本国内におけるIB資格取得者の受け入れを行っています。募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃です。
外国人留学生入試は、海外の中学校及び高等学校出身者が対象です。募集要項発表は6月下旬頃、出願期間は10月中旬～下旬頃 (医学部のみ募集要項発表は5月下旬頃、出願期間は7月上旬～中旬頃) です。
出願可能な学部や出願資格、必要書類などの詳細は、それぞれ慶應義塾大学ウェブサイトの入学案内ページに掲載する募集要項でご確認ください。

2025 / 2026年度 帰国生入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
経済学部		20	40	34	74	28	25	53	25	18	43
法学部	法律学科	10	9	14	23	6	12	18	6	12	18
	政治学科	10	11	16	27	7	13	20	4	12	16
医学部	若干名	4	10	14	2	5	7	0	0	0	
理工学部	若干名	24	17	41	14	10	24	8	5	13	
総合政策学部	若干名	29	34	63	20	22	42	19	21	40	
環境情報学部	若干名	23	25	48	14	18	32	13	16	29	

※法学部の募集人員は、国際バカロレア (IB) 入試の募集人員を含む。
※法学部、総合政策学部、環境情報学部は、2025年度9月入学を含む。
※総合政策学部、環境情報学部は2026 / 2027年度帰国生入試より募集停止。

2026年度 外国人留学生入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
文学部		若干名	90	83	173	23	17	40	22	15	37
経済学部		20	125	77	202	—			20	23	43
法学部	法律学科	10	42	34	76	—			8	10	18
	政治学科	10	43	32	75	—			11	9	20
商学部	若干名	101	80	181	16	19	35	14	16	30	
医学部	若干名	4	4	8	1	2	3	0	1	1	
理工学部	若干名	92	38	130	—			10	10	20	
総合政策学部	若干名	107	73	180	26	17	43	24	16	40	
環境情報学部	若干名	27	19	46	10	3	13	9	2	11	

※経済学部・法学部・理工学部では書類選考のみ行うため、第1次合格者数は出していない。
※総合政策学部、環境情報学部は2027年度外国人留学生入試より募集停止。

2025 / 2026年度 国際バカロレア (IB) 入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			第1次合格者数			最終合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
法学部	法律学科	10	2	3	5	1	1	2	0	1	1
	政治学科	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※募集人員は、帰国生入試の募集人員を含む。
※2025年度9月入学を含む。

帰国生入試
ウェブサイト



国際バカロレア (IB) 入試
ウェブサイト



外国人留学生入試
ウェブサイト



■ 問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学 入学センター 帰国生、国際バカロレア (IB)、外国人留学生入試事務局

TEL 03-5427-1611

E-mail admissions@info.keio.ac.jp

PEARL入試(経済学部)

「PEARL」は4年間一貫して英語で経済学を学ぶ9月入学のプログラムです。定員は約100名。国内外から多様なバックグラウンドの学生を幅広く受け入れます。入学選考はオンライン出願による審査のみで、学力判定のためのIB、もしくはSATの成績、英語能力を測るためのTOEFLまたはIELTSの結果、志望理由書、2分動画などを総合的に評価して可否を決定します。面接や独自の筆記試験はありません。2027年9月入学者向けの出願資格、出願書類、入試日程などの情報はウェブサイトでご確認ください。

2025年度 PEARL入試結果

学部	種別	志願者					合格者				
		男女別		国籍別		合計	男女別		国籍別		合計
		男	女	日本	外国		男	女	日本	外国	
経済学部	1期	184	184	161	207	368	43	70	52	61	113
	2期	155	131	97	189	286	34	32	19	47	66
	3期	122	87	54	155	209	20	18	9	29	38

問い合わせ先

慶應義塾大学入学センター PEARL入試担当

E-mail pearl_admissions@info.keio.ac.jp

PEARL入試
ウェブサイト



学校推薦型選抜

指定校による推薦入試(経済学部・法学部・商学部・理工学部・薬学部)

指定校からの学校長推薦に基づく推薦入学制度です。学業以外にも優れた実績を持つ、個性豊かな学生を求めています。例年6月頃に、推薦をお願いする高等学校宛に募集要項などをお送りしています。詳しくは、高等学校の進路指導の先生に確認してください。出願は11月頃です。

2026年度 指定校による推薦入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数			合格者数		
			男	女	合計	男	女	合計
経済学部		30	4	22	26	4	22	26
法学部	法律学科	80	20	54	74	20	54	74
	政治学科	80	28	49	77	28	49	77
商学部		200	116	145	261	116	145	261
理工学部		195	101	114	215	101	114	215
薬学部	薬学科	30	6	17	23	6	17	23

塾内進学

慶應義塾では一貫教育によって、多彩な学生を育てています。こうした学生を慶應義塾が設置する高等学校5校から受け入れているのが塾内進学です。全体の2割程度の人数になります。

学園祭

※日程や内容は予定であり変更になる可能性があります。



七夕祭 湘南藤沢キャンパス

2026年7月4日(土)、5日(日)

学生の浴衣姿も鮮やかなSFCの夏の風物詩です。縁日などの地域交流も特徴で、夜は盛大な花火が彩ります。



矢上祭 矢上キャンパス

9月19日(土)・20日(日)

理工学部のキャンパスならではのイベントが多く、科学体験や研究室ツアーを地域の方々と一緒に楽しめます。



芝共薬祭 芝共立キャンパス

10月10日(土)・11日(日)

薬学部生の若さとエネルギーで創り上げる学園祭。アカデミックな催し物や、相談会、実習体験などが行われます。



四谷祭 信濃町キャンパス

10月上旬～11月上旬

医学部説明会や研究室見学会の他、医学関連の様々なテーマを取り上げる医療系三学部らしい学園祭です。

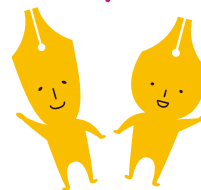


三田祭 三田キャンパス

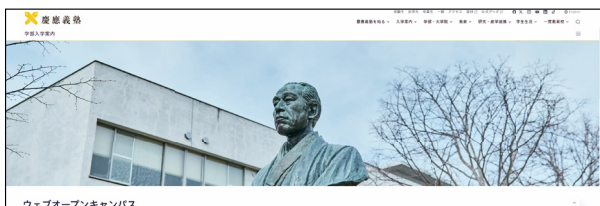
11月20日(金)～11月23日(月・祝)

「独立自尊」の精神に基づき、塾生による三田祭実行委員会が企画・運営します。充実した学術的企画が特徴の、日本最大級の学園祭です。

キャンパス見学についてはこちら



ウェブオープンキャンパス



慶應義塾大学の学び・学生生活を知るためのコンテンツを一堂に集めました。慶應義塾大学に足を運ばなくても、本学について知っていたりするようなコンテンツをまとめています。



イベント

受験生にご参加いただける様々なイベントを紹介しています。

- オープンキャンパス
- 学園祭
- 進学相談会
- 各学部の説明会・公開講座 など



慶應義塾大学入学センター

TEL 03-5427-1566

E-mail admissions@info.keio.ac.jp

WEB <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/faculty/>

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
(三田キャンパス北館地下1階)

窓口利用時間 月～金 9:00～11:30、
12:30～16:30(土・日・祝休業)

※開校記念日(4/23)、夏季休業(8/10～8/17)、冬季休業(12/28～1/5)、福澤先生誕生記念日(1/10)は休み。



メールマガジン
(毎週金曜日配信・無料)

入学センターでは、受験生向けのメールマガジンを配信し、幅広い情報をお届けしています。登録は、右のQRコードから。



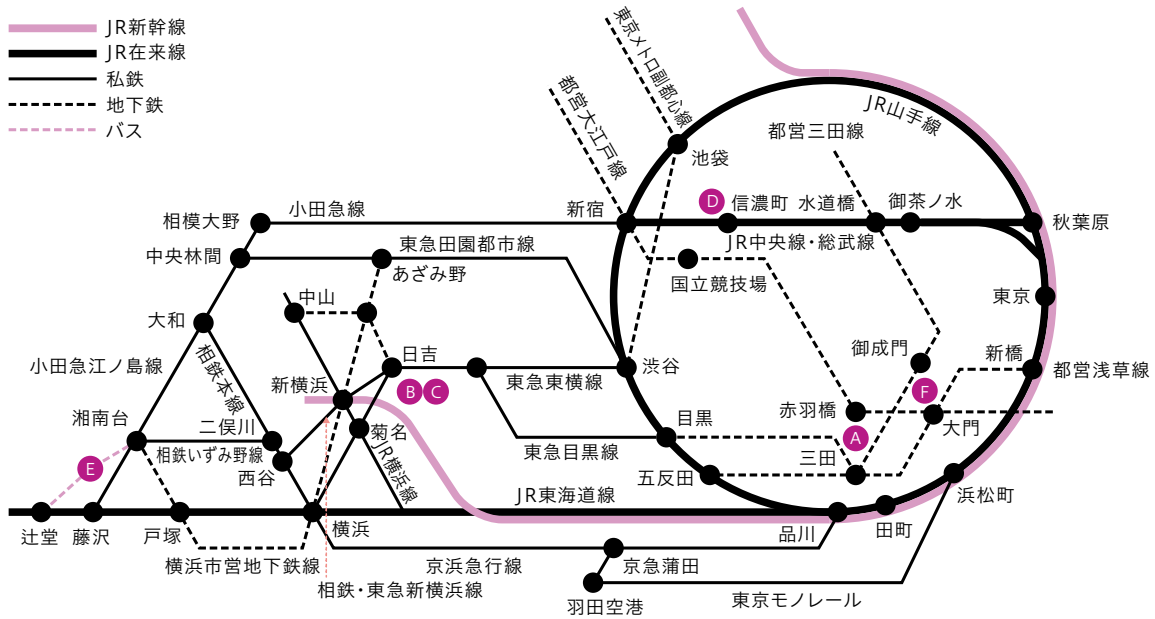
入試情報や教育研究トピックス

塾生(学生)の声

慶應義塾の豆知識

各種イベントのお知らせ

アクセス



※所要時間は目安です。時間には余裕を持っておこしください。

A 三田キャンパス (p.92)

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
 入学センター TEL 03-5427-1566

- ◎ 田町駅(JR山手線/JR京浜東北線) 徒歩8分
 東京～田町＝約10分
 品川～田町＝約4分
 渋谷～田町＝約17分
- ◎ 三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分
 目黒～三田＝約8分
- ◎ 赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分
 新宿～赤羽橋＝約12分
- ✈ 羽田空港～泉岳寺～三田＝約20～30分
 羽田空港～浜松町～田町＝約30～40分

B 日吉キャンパス (p.94)

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
 日吉キャンパス事務センター運営サービス担当
 TEL 045-566-1000

- ◎ 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/
 横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩1分
 渋谷～日吉＝約25分(通勤特急または急行約20分)
 横浜～日吉＝約20分(通勤特急または急行約15分)
 目黒～日吉＝約25分(急行約20分)
 新横浜～日吉＝約6分
- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉＝約55～65分
 羽田空港～浜松町～目黒～日吉＝約65～75分

C 矢上キャンパス (p.96)

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
 理工学部総務課 TEL 045-566-1454

- ◎ 日吉駅(東急東横線/東急目黒線/東急新横浜線/
 横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩15分(約1km)
 渋谷～日吉＝約25分(通勤特急または急行約20分)
 横浜～日吉＝約20分(通勤特急または急行約15分)
 目黒～日吉＝約25分(急行約20分)
 新横浜～日吉＝約6分
- ✈ 羽田空港～京急蒲田～横浜～日吉＝約55～65分
 羽田空港～浜松町～目黒～日吉＝約65～75分

D 信濃町キャンパス (p.98)

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
 信濃町キャンパス学生課 TEL 03-5363-3662

- ◎ 信濃町駅(JR総武線) 徒歩1分
 新宿～信濃町＝約6分
 東京～四ツ谷～信濃町＝約15分
- ◎ 国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線) 徒歩5分
 新宿～国立競技場＝約4分
- ✈ 羽田空港～浜松町・大門～国立競技場＝約45～55分

E 湘南藤沢キャンパス (p.100)

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322
 湘南藤沢事務室アドミッションズ・オフィス TEL 0466-49-3407
 〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
 湘南藤沢事務室看護医療学部担当 TEL 0466-49-6200

- ◎ 湘南台駅(小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/
 横浜市営地下鉄ブルーライン) 西口よりバス[慶応大学] 行き約15分
 横浜～湘南台＝約30～40分
- ◎ 辻堂駅(JR東海道線) 北口よりバス[慶応大学] 行き約25分
 横浜～辻堂＝約25分
- ✈ 羽田空港～上大岡～湘南台＝約70～75分

F 芝共立キャンパス (p.102)

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30
 芝共立キャンパス学生課 TEL 03-5400-2488

- ◎ 浜松町駅(JR山手線/JR京浜東北線/東京モノレール) 徒歩10分
 東京～浜松町＝約6分
 渋谷～浜松町＝約20分
- ◎ 御成門駅(都営地下鉄三田線) 徒歩2分
 目黒～御成門＝約12分
- ◎ 大門駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線) 徒歩6分
 新宿～大門＝約16分
- ✈ 羽田空港～浜松町＝約20分

Keio University



慶應義塾大学 ガイドブック 2027 入学センター発行

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

電話：03-5427-1566

メール：admissions@info.keio.ac.jp

ウェブサイト：<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/faculty/>

